

省エネ法・温対法・フロン法 電子報告システム

操作マニュアル

(省エネ法(工場等)編)

1.12 版

2025 年 9 月 10 日

改訂履歴

版数	日付	改訂内容	改訂箇所
1.00	2022年3月31日	初版作成	—
1.01	2022年3月31日	STEP2 改版	STEP2 機能反映
1.02	2023年5月10日	STEP3 改版	STEP3 機能反映
1.03	2023年6月29日	エネルギー使用量の入力方法に関する補足事項を追記	2.エネルギー使用量入力
1.04	2024年4月1日	STEP4 改版	STEP4 機能反映
1.05	2024年4月24日	操作マニュアルの参照先を追記。 他の入力項目との関連性を追記。 未利用の熱に関する記述を移動。 操作方法を細分化。 不明瞭な記載を修正。 LAPSS 連携を利用した際に連携可能なエネルギーに関する記載を修正。 作成支援ツールに関する記載を削除。 不明瞭な記載を修正。 LAPSS 連携を利用した際に連携可能なエネルギーに関する記載を修正。不明瞭な記載を修正。 EEGS ポータルサイトの URL を追記。	1.3. 事業所の入力について 2.5.6. 電気事業者買電入力画面 2.5.7. 上記以外の買電入力画面 2.5.9. 熱補助画面 2.5.9.1. 補助画面から入力する方法 2.5.10. その他の非化石燃料等入力画面 2.6. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み 4. 定期報告書の作成(定期報告書項目の補完) 6.1.2.1. LAPSS 施設一覧エクスポート、一括登録による紐づけ 6.1.3. エネルギー使用量の取り込み 8. お問い合わせ
1.06	2024年5月22日	画面修正に併せて画像差し替え。	4.3.2.10. 特定-第9表画面
1.07	2025年3月31日	STEP5 改版	STEP5 機能反映
1.08	2025年6月4日	不要な記載削除 画像差し替え 不要な記載削除 ボタン名、画面タイトル等の修正 ボタン名変更に伴う画像差し替え その他非化石燃料の入力に関する補足説明を追記。 その他非化石燃料の入力に関する補足説明を追記。 画像差し替え	2.8. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場) 2.6.6 電気事業者買電入力画面 9.1.2.2 ③ 2.3. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力 2.2. エネルギー使用量入力 他 2.6.10 その他の非化石燃料等入力画面 2.6.12 その他の非化石燃料等入力画面 2.6.10 その他の非化石燃料等入力画面
1.09	2025年6月25日	排出係数をエネルギー種別ごとに算出するよう改修したことに伴う画像差し替え、記載修正 LAPSS 連携を利用した際に連携可能なエネルギーに関する記載を修正	2.6.9. 熱補助画面 2.6.11. 販売電気量、熱量等の入力画面 2.7. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み 9.1.3. エネルギー使用量の取り込み
1.10	2025年7月4日	画像差し替え 中長期計画書入力で事業者の初期登録がされていない場合事業所が入力できない記載を削除	2.6.8. 自家発電補助画面② 5.3.5. 温対法報告書様式第2② 7.1. ヘッダー部の操作説明①② 7.3.2. 中長期計画書様式第8(事業所入力画面)
1.11	2025年8月22日	画像差し替え 最大文字数に関する記述を削除 取組概要③1. ラジオボタンによる選択と入力欄に関する内容を追記	8.1. 遷移方法・画面項目の説明 8.3. 自由記述欄の登録 8.3.1. 参加証明メールの再送
1.12	2025年9月10日	画像差し替え	8.1. 遷移方法・画面項目の説明 8.3. 自由記述欄の登録 8.3.1. 参加証明メールの再送 8.4. 開示制度への参加の取り下げ・その他開示制度に関する問い合わせ

はじめに

「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)」は、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告と、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を目的とするシステムです。各制度の報告書の作成から提出までをこのシステムで完結することができます。

目次

1. 操作概要	5
1.1. 本操作マニュアルの用語の説明	5
1.2. 操作概要	6
1.3. 事業所の入力について	9
2. エネルギー使用量入力	10
2.1. ヘッダー部の操作説明	14
2.2. エネルギー使用量入力	17
2.3. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力	22
2.3.1. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別入力	22
2.3.2. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の時間帯別入力	24
2.4. 前年度エネルギー種類・使用量の取り込み	26
2.5. ファイルから一括入力する方法	28
2.5.1. エネルギー使用量の入力画面からのファイル取込	28
2.5.2. 傘下の事業所のエネルギー使用量のファイル一括登録	29
2.6. 入力補助画面からの入力方法	34
2.6.1. エネルギーの種類選択画面	34
2.6.2. LPG 換算画面	37
2.6.3. 都市ガス供給業者等入力画面	39
2.6.4. その他の燃料等入力画面	43
2.6.5. その他の燃料テナント等入力画面	45
2.6.6. 電気事業者買電入力画面	47
2.6.7. 上記以外の買電入力画面	51
2.6.8. 自家発電補助画面	55
2.6.9. 熱補助画面	57
2.6.10. その他の非化石燃料等入力画面	72
2.6.11. 販売電気量、熱量等の入力画面	75
2.6.12. 独自係数及び実測排出量の入力画面	80
2.7. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み	83
2.8. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場)	89
3. 認証排出削減量入力	92
3.1. 国内認証排出削減量の登録	92
3.1.1. 国内認証排出削減量入力画面からの入力・変更	92
3.1.2. 国内認証排出削減量一覧画面からの削除	98
3.1.3. J-クレジット登録簿システムからのデータの取り込み	100
3.2. 海外認証排出削減量の登録	103
3.2.1. 海外認証排出削減量入力画面からの入力・変更	103
3.2.2. 海外認証排出削減量一覧画面からの削除	107
3.3. 非化石証書の口座残高証明書の報告	108
4. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量入力	109
4.1.1. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力画面からの入力・変更	110

4.1.2. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の一覧画面からの削除	..114
5. 定期報告書の作成(定期報告書項目の補完)116
5.1. ヘッダー部の操作説明117
5.2. 定期報告書データの入力準備119
5.2.1. 定期報告書データの最新化119
5.2.2. XML 形式外部ファイルの取り込み120
5.3. 定期報告書の入力123
5.3.1. 定期報告書様式第 9(指定表)124
5.3.2. 定期報告書様式第 9(特定表)143
5.3.3. 定期報告書様式第 9(認定表)185
5.3.4. 温対法報告書様式第 1 の 2201
5.3.5. 温対法報告書様式第 2203
5.3.6. 添付資料の登録205
5.4. 定期報告書入力エラー時の対応方法208
6. 報告書ファイル(XML 形式)のアップロード209
6.1. 報告書ファイル(XML 形式)のアップロード手順209
6.1.1. 定期報告書様式第 9(特定表)209
6.1.2. 定期報告書様式第 9(指定表)213
6.1.3. 定期報告書様式第 9(認定表)220
6.2. 事業者基本情報との差分の修正手順223
7. 中長期計画書の作成(中長期計画書項目の補完)225
7.1. ヘッダー部の操作説明226
7.2. 中長期計画書データの入力準備228
7.2.1. 中長期計画書データの最新化228
7.3. 中長期計画書の入力229
7.3.1. 中長期計画書様式第 8(事業者入力画面)229
7.3.2. 中長期計画書様式第 8(事業所入力画面)232
7.3.3. 添付資料の登録232
7.4. 中長期計画書入力エラー時の対応方法233
8. 開示制度情報の入力234
8.1. 遷移方法・画面項目の説明234
8.2. 参加表明・選択開示項目の登録238
8.3. 自由記述欄の登録240
8.3.1. 参加証明メールの再送243
8.4. 開示制度への参加の取り下げ・その他開示制度に関する問い合わせ243
9. 外部システム連携244
9.1. LAPSS とのデータ連携245
9.1.1. LAPSS 施設一覧表示247
9.1.2. LAPSS 施設と EEGS 事業所の紐づけ252
9.1.3. エネルギー使用量の取り込み261
10. よくある質問事項264
11. お問い合わせ268

1. 操作概要

1.1. 本操作マニュアルの用語の説明

用語	説明
省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)	省エネ法・温対法電子報告システム、フロン法電子報告システムの2つが統合されたものであり、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とするシステムです。
ユーザ	EEGSを利用するため、ログインIDを付与された利用者を指します。
事業者(事務局)	EEGSに管理者として登録されているユーザです。電子情報処理組織使用届出書を提出した際に発行されたログインIDを持つユーザとなります。 EEGSでは管理者として登録が行われ、事業者の情報の変更、削除が可能です。事業者内の事業所(工場、事業場)の情報の登録、変更、削除が可能です。また、EEGSを利用するためのユーザの登録、変更、削除が可能です。後述の事業者と同様に、事業者全体の報告内容、事業者内の事業所(工場、事業場)の報告内容のすべての情報について登録、変更、削除が可能です。 なお、管理者のユーザの追加もできます。
事業者	EEGSを利用する際、報告に係る事業者の報告内容について登録、変更、削除が可能なユーザです。 自事業者全体の報告内容、自事業者内の事業所(工場、事業場)の報告内容のすべての情報について登録、変更、削除が可能です。 事業者(事務局)がアカウントを発行し、ログインIDはメールアドレスとなります。
事業所	EEGSを利用する際、事業所(工場、事業場)の報告内容について登録、変更、削除が可能なユーザです。他拠点の事業所(工場、事業場)の報告内容の確認はできません。他事業所の報告内容の確認はできません。事業者(事務局)がアカウントを作成し、ログインIDはメールアドレスとなります。

1.2. 操作概要

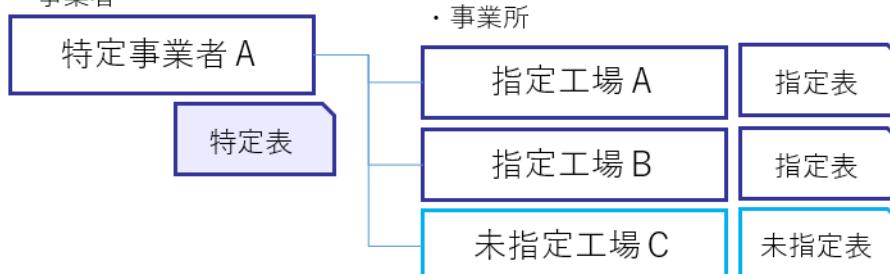
本操作マニュアルは、特定事業者、特定連鎖化事業者、認定管理統括事業者、管理関係事業者が、「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム」(以下、EEGS)において、「省エネ法定期報告書(様式第9)」の提出を行う際の操作説明となります。

なお、操作にあたり、EEGS共通の操作は「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム操作マニュアル(共通編)」に記載されていますので、あわせてご確認ください。

各事業者間の関係性と事業者および、工場・事業所ごとに提出が必要になる定期報告書の種類を下記に示します。

① 特定事業者、特定連鎖化事業者として定期報告書を提出する場合

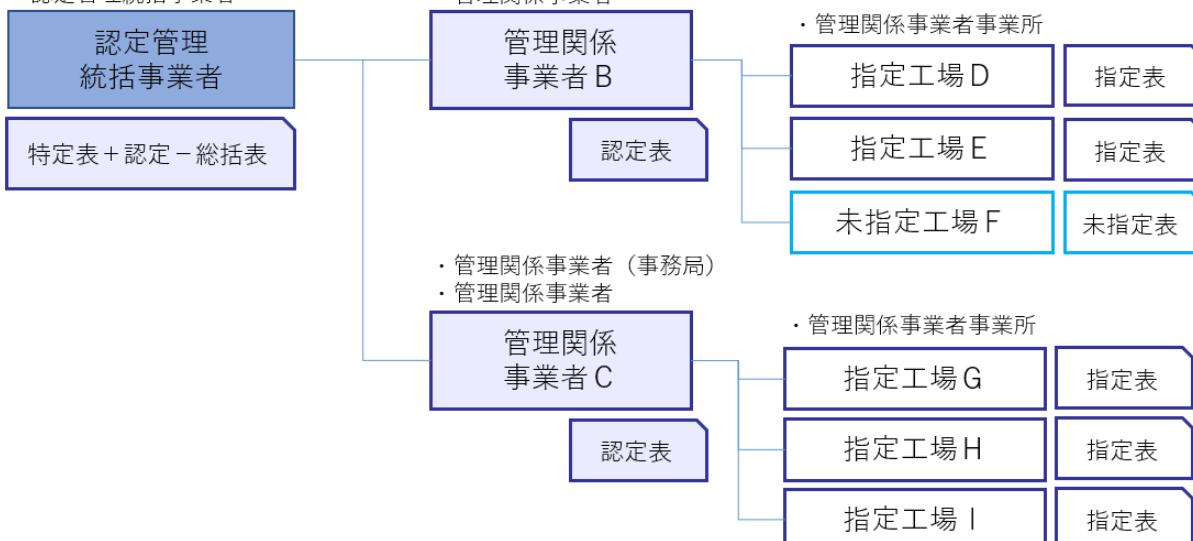
- ・事業者（事務局）
- ・事業者



② 認定管理統括事業者制度指定により、認定管理統括事業者、管理関係事業者として定期報告書を提出する場合

- ・認定管理統括事業者（事務局）
- ・認定管理統括事業者

- ・管理関係事業者（事務局）
- ・管理関係事業者



未指定工場の指定表(未指定表)は、定期報告書としての提出書類の対象ではありません。

特定表作成にあたり、バックデータとして必要な項目(※1)の入力のみを行います。

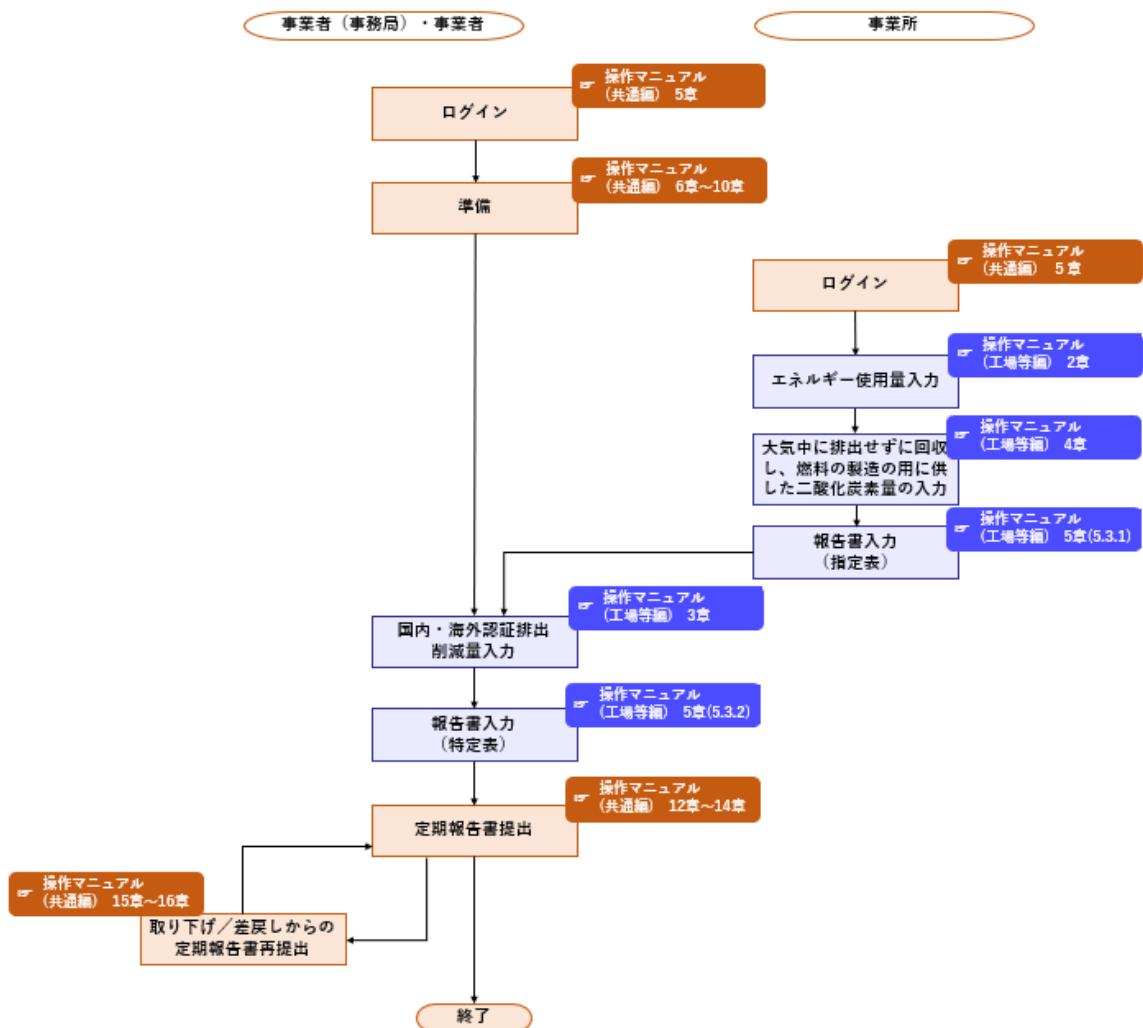
(定期報告書様式第9(指定表)画面において入力内容の保存は可能であるため、エネルギー使用量や原単位経年変化等の確認にご活用いただけます。)

(※1)細分類番号等の基本情報及びエネルギー使用量です。

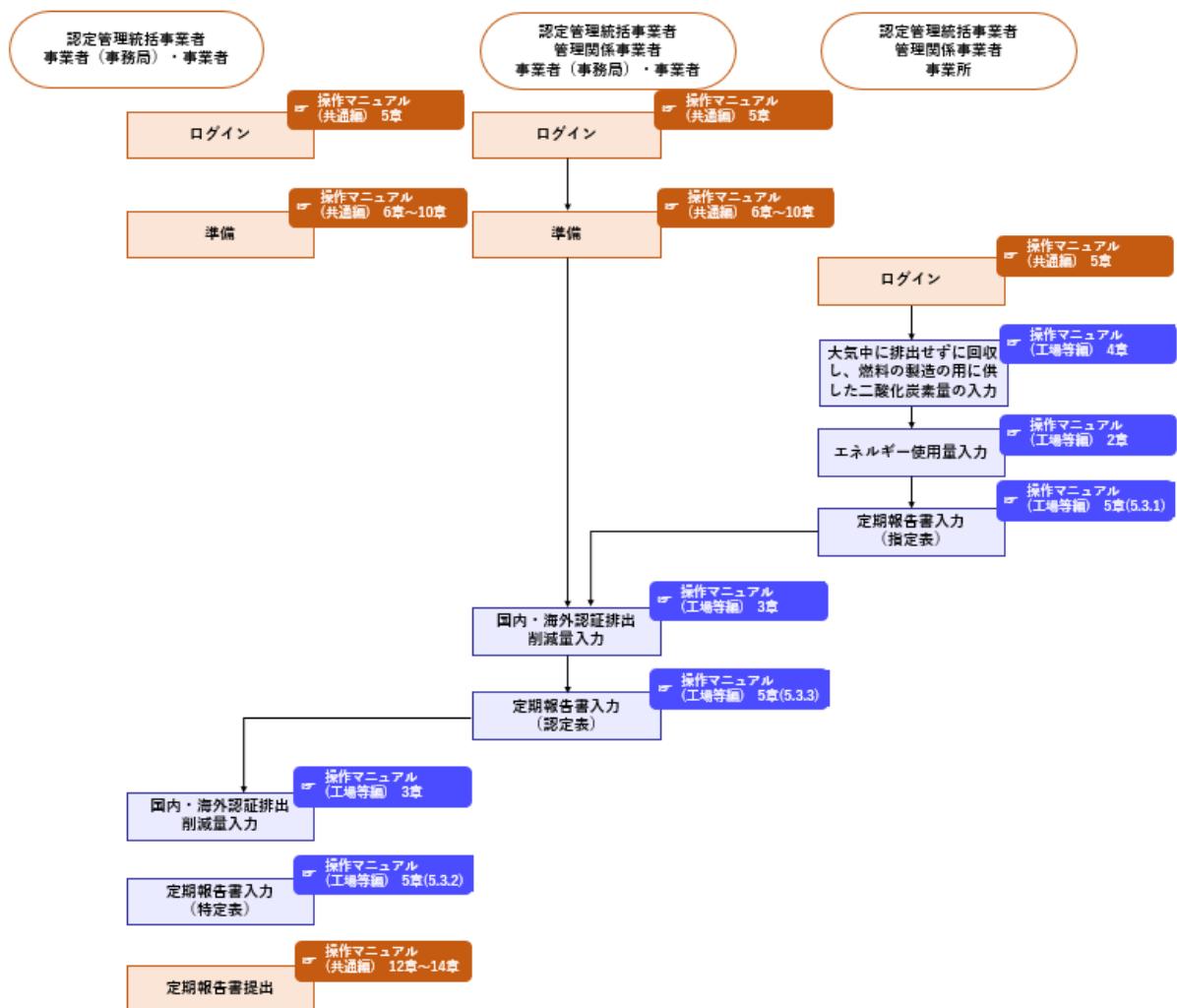
詳細は「1.3 事業所の入力について」を参照してください。

本操作マニュアルに記載されている手続きは、以下のとおりです。

① 特定事業者、特定連鎖化事業者として定期報告書を提出する場合



- ② 認定管理統括事業者制度指定により、認定管理統括事業者、管理関係事業者として定期報告書を提出する場合



1.3. 事業所の入力について

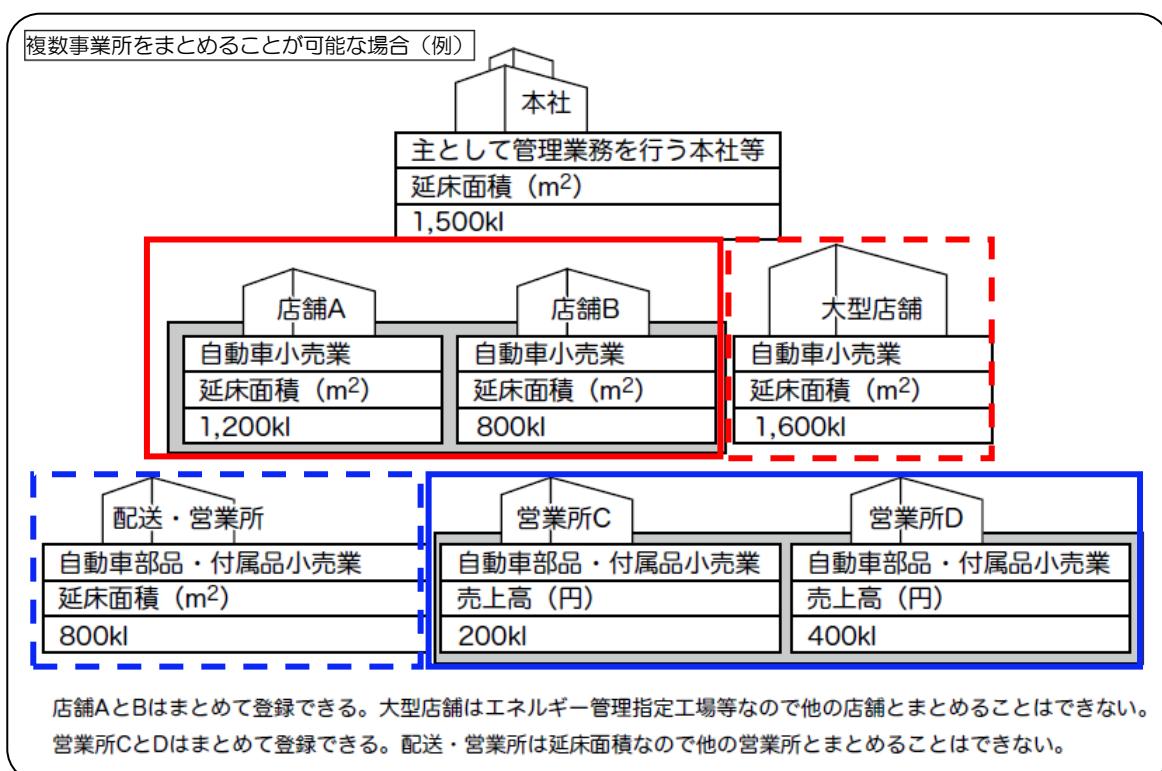
- 指定工場がない事業者は細分類番号ごとに任意の事業所名をつけて事業所を作成する必要があります。
- 「事業所情報詳細登録」の「生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用と密接な関係をもつ値」については、「2.8. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場)」を参照してください。
- 事業所が入力したエネルギー使用量や指定表の情報から、特定表が作られます。

① エネルギー管理指定工場等については、それぞれの「指定-第1表～第10表」を作成する必要があるため、個別に事業所情報詳細登録、エネルギー使用量の入力、定期報告書の入力を行ってください。

② エネルギー管理指定工場等以外の事業所の場合

- 各事業所のエネルギー使用量がいずれも1,500kl未満(原油換算)
- 各事業所の主たる事業が、いずれも同じ産業分類(細分類番号)
- 各事業所のエネルギーの使用と密接な関係をもつ値が、いずれも同じ項目かつ同じ単位

上記すべてを満たしているなら、複数事業所をまとめて登録することができます。詳しい操作方法については、「操作マニュアル(共通編) 8.2.1 事業所情報の登録・変更」を参照してください。



2. エネルギー使用量入力

工場・事業所ごとのエネルギー使用量を入力します。

※事業者全体のエネルギー使用量は、入力内容を基に自動計算しますので入力不要です。

エネルギー使用量の入力画面で入力するエネルギーの種類を下表に示します。

「エネルギー使用量の入力」画面で入力するエネルギーの種類(省エネ法・温対法共通)

分類(*1)	エネルギーの種類(*2)	注意事項
化石燃料の使用	原油(コンデンセート除く)	
	原油のうちコンデンセート(NGL)	
	揮発油	
	ナフサ	
	ジェット燃料油	
	灯油	
	軽油	
	A重油	
	B・C重油	
	石油アスファルト	
	石油コークス	
	液化石油ガス(LPG)	
	石油系炭化水素ガス	
	液化天然ガス(LNG)	
	その他可燃性天然ガス	液化天然ガス以外の天然ガスはここに入力してください。
	輸入原料炭	
	コークス用原料炭	
	吹込み用原料炭	
	輸入一般炭	
	国産一般炭	
	輸入無煙炭	
	石炭コークス	
	コールタール	
	コークス炉ガス	
	高炉ガス	
	発電用高炉ガス	
	転炉ガス	
	その他燃料	
	テナント空調等推計値	テナントにおけるエネルギー使用量を推計する場合はこの項目を選択してください。
	都市ガス	
	FCCコーク	
	潤滑油	
非化石燃料の使用	黒液	
	木材	
	木質廃材	
	バイオエタノール	
	バイオディーゼル	
	バイオガス	
	その他バイオマス	
	RDF	
	RPF	
	廃タイヤ	
	廃プラスチック(一般廃棄物)	
	廃プラスチック(産業廃棄物)	
	廃油	
	廃棄物ガス	
	混合廃材	
	水素	
	アンモニア	
	廃プラスチック類から製造された燃料炭化水素油	
	廃油から製造された燃料炭化水素油	
	テナント空調等推計値	テナントにおけるエネルギー使用量を推計する場合はこの項目を選択してください。
	その他燃料	

電気の使用	電気使用量	電気事業者からの買電(化石電気) 電気事業者からの買電(非化石電気)	
	上記以外の買電	オフサイトPPA(重み付けなし) オフサイトPPA(重み付けあり) 自己託送(非燃料由来の非化石電気) 自己託送(化石電気) 自己託送(その他非化石電気) 他事業所からの供給(自営線)(非燃料由来の非化石電気) 他事業所からの供給(自営線)(化石電気) 他事業所からの供給(自営線)(その他非化石電気) その他(非燃料由来の非化石電気) その他(化石電気) その他(その他非化石電気)	他事業所が自家発電により発生させた電気の供給を受けた場合はこの項目で入力してください。 バーチャルPPAなど、他の項目に該当しない電気の供給を受けた場合はこの項目で入力してください。
	自家発電	太陽光発電 風力発電 地熱発電 水力発電 その他(非燃料由来の非化石電気)	太陽光、風力、地熱、水力を除く自然発電はこの項目で入力してください。
		その他(燃料)化石 その他(燃料)非化石	燃料を使用した自家発電はこの項目で入力してください。
		その他(熱)化石 その他(熱)非化石	熱を使用した自家発電はこの項目で入力してください。
熱の使用	産業用蒸気		
	産業用以外の蒸気		
	温水		
	冷水		
	その他の熱(自然熱を除く)		
	地熱		
	温泉熱		
	太陽熱		
	雪水熱		
	その他の自然熱		

*1 「分類」の「電気炉(製銅用・製鋼用・合金鉄製造用・カーバイド製造用)における電気の使用」は、温対法報告のための項目なので、省エネ法様式のみ提出する場合は選択しないでください。

なお、温対法報告書で、エネルギーの使用に伴うメタンや一酸化二窒素の排出量を報告する際には、エネルギー種類ごとに、使用量の燃焼炉・機関別内訳を入力する必要があります。手順は操作マニュアル(温対法編)を参照してください。

省エネ法のみ報告する場合は、エネルギー使用量の燃焼炉・機関別内訳やその他活動量の入力は不要です。

エネルギー使用量の入力方法には、下記の方法があります。

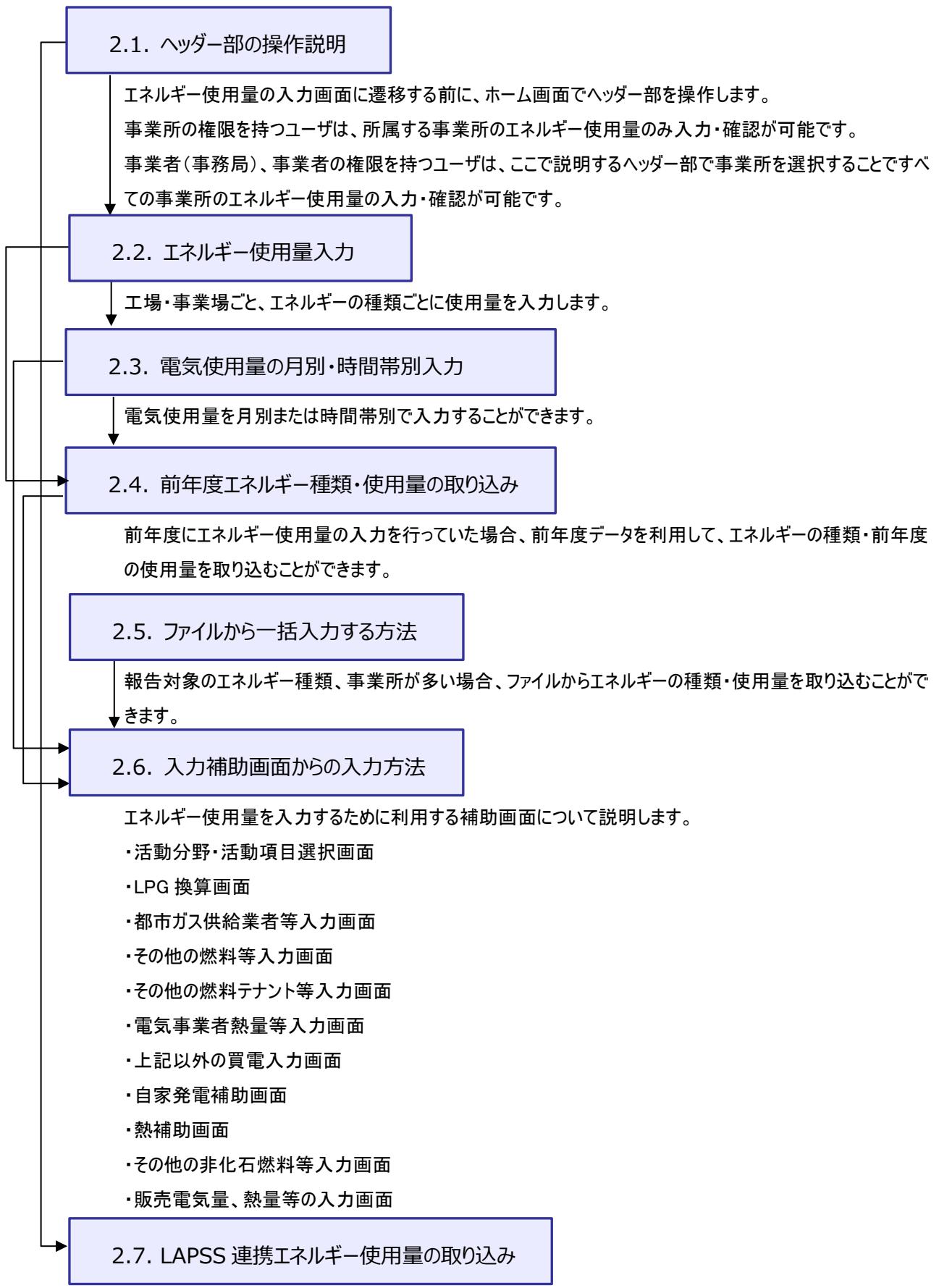
※手動入力の手間を省きたい場合は、②もしくは③(※1)の入力方法をご活用ください。

①入力補助画面より入力する方法。(項番 2.1→2.2→エラー! 参照元が見つかりません。→2.6)

②前年度にEEGSより入力したデータを取り込み、入力補助画面より入力する方法。(項番 2.1→2.2→2.4→2.6)

③LAPSSと連携し、データを取り込む方法。(項番 2.1→2.7)

(※1)この機能を利用できるのは、地方公共団体に所属する事業者ユーザのみです。



2.8. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力

事業所全体または各事業所に対してエネルギー使用量と密接な関係を持つ値を入力します。

2.1. ヘッダー部の操作説明

エネルギー使用量の入力画面に遷移する前に、ヘッダー部を操作します。

事業所の権限を持つユーザは、所属する事業所のエネルギー使用量のみ入力・確認が可能です。事業者（事務局）、事業者の権限を持つユーザは、ここで説明するヘッダー部で事業所を選択することすべての事業所のエネルギー使用量の入力・確認が可能です。

- ① ヘッダー部のリストから対象の「事業所」を選択します。ヘッダー部で「事業所」を選択しないと、「エネルギー使用量の入力」メニューでエネルギー使用量の入力画面に遷移できません。



② ホーム画面の「エネルギー使用量の入力」メニューをクリックします。

The screenshot shows the 'お知らせ' (Announcement) section with a message about notifications for February 17, 2025. Below it is a search bar and a table of results. On the left sidebar, the 'Energy Use Input' menu item is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this menu item with the text 'クリックします。' (Click here).

③ 「エネルギー使用量の入力」または「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力」をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use Input' page. It features two main buttons: 'エネルギー使用量の入力' (Energy Use Input) and 'エネルギー一括登録' (Energy One-Stop Registration). The 'Energy Use Input' button is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this button with the text '用途に応じていずれかをクリックします。' (Click either one depending on the purpose). Below the buttons, there is a note about system operation manuals.

ヘッダー部で「事業所」を設定せずにクリックすると、エネルギー使用量の入力画面、エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力画面に遷移できません。

④ エネルギー使用量の入力画面では「削除」と「入力内容を保存」の機能が使用できます。またエネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力画面では、「入力内容を保存」の機能が使用できます。

「削除」ボタンをクリックすると、画面に表示されている内容がクリアされます。

「入力内容を保存」ボタンをクリックすると、画面に表示されている内容を保存します。

エネルギー使用量およびエネルギー使用量と密接な関係を持つ値に関する情報を入力した際は、必ず保存してください。

The screenshot shows the 'Energy Usage · Sales Volume Input' screen. At the top right, there are two buttons: 'Delete' (削除) and 'Save Input Content' (入力内容を保存). A green callout points to the 'Delete' button with the text: 'When you click the "Delete" button, the content displayed on the screen will be cleared.' Another green callout points to the 'Save Input Content' button with the text: 'When you click the "Save Input Content" button, the content displayed on the screen will be saved. If you do not click the "Save Input Content" button after entering content, it will not be saved, so please click it.' Below the buttons is a table for entering energy usage data.

エネルギーの種類	対象年度	2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
		使用量	販売したエネルギー	使用量	販売したエネルギー					
電気	新年度のエネルギーの種類を読み込み	ファイルを選択	選択されていません	ファイルから読み込み	ダウンロード					
	+エネルギーの種類を追加する	電気需要変動化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力								
		抽出件数を表示								

The screenshot shows the 'Setting values related to energy usage' screen. At the top right, there is a 'Save Input Content' button. A green callout points to it with the text: 'When you click the "Save Input Content" button, the content displayed on the screen will be saved. If you do not click the "Save Input Content" button after entering content, it will not be saved, so please click it.' Below the button is a table for setting values.

番号	事業所	項目	エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力
1	売上重量	*値の名称	
1	千t	*値の単位	
1		*値の数量	
2	売上重量	*値の名称	
2	千t	*値の単位	
2		*値の数量	
3	売上重量	*値の名称	
3	千t	*値の単位	
3		*値の数量	

※一括設定を行つ場合は、該当事業所にチェックをつけてから一括設定ボタンをクリックしてください。
○事業所全体で設定する

エネルギー管理指定工場を持つ事業者、原油換算エネルギー使用量が1,500t以上未指定工場を持つ事業者は、事業所全体で設定することはできません。事業所ごとに設定してください。
※事業者権限・管理者権限で事業者全体の直接開帳値を設定した場合、各事業所での設定はできません。

エネルギー使用量の入力画面、エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力画面で、ヘッダー部の「事業所」を変更する事も可能です。

但し、「事業所」を変更すると、入力した内容が破棄されますので、必ず「入力内容を保存」ボタンをクリックしてから、「事業所」の変更をおこなってください。

2.2. エネルギー使用量入力

工場・事業場ごと、エネルギーの種類ごとに使用量を入力します。

- ① エネルギー使用量の入力画面で、使用量や販売量を入力するには、「+エネルギーの種類を追加する」ボタンをクリックします。熱量換算係数(数量単位あたり GJ)が表示されています。

数値の入力欄は、半角数字で入力します。

また、事業者全体で集計しますので、少量であっても小数点以下まで入力してください。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギー使用・販売量等を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。
入力は半角数字、また単位にご注意ください。数値は、少數であっても小数点以下まで入力してください(自動集計します)。
実績がない場合は空欄にしてください。

エネルギーの種類が分かれています。ファイルからの読み込み、ファイル選択、データマッチはどちらも可能ですが、エネルギーの種類を複数選択する場合は、複数選択用のPOWERPOINT画面で入力してください。

選択用のPOWERPOINT画面は、本画面ではなく、定期報告書のWORD入力画面で入力してください。

省エネ法、工場・道に対する制度改正により変更があった活動項目は、前年度の使用量は表示されません。
自家発電で発生させた電気を他の事業所に譲り受けた場合、送電して電気の発生に使用したエネルギー量を、
供給を受けた事業所側で「他の事業所からの供給」欄を避けた場合、入力しない電気の発生に使用したエネルギー量を、
エネルギー一括取扱いと一緒に削除する機能はありません。一律での削除をお願いします。

また、LAPSS連携エネルギー使用量の情報が登録される場合があるため、ご注意ください。

前年度のエネルギーの種類を読み込み ファイルを選択 選択されていません ファイルから読み込み ダウンロード LAPSS連携エネルギー使用量読み込み

+エネルギーの種類を追加する

電気高圧

輸出供給を表示

入力項目を追加する際、クリックします。

「+エネルギーの種類を追加する」をクリックすると活動分類選択画面が表示されます。

詳しくは「2.6.1 エネルギーの種類選択画面」を参照してください。

活動分類・活動項目は、エネルギーの種類の内訳を示します。

② エネルギー使用量の入力画面のレイアウトは、事業者情報の登録内容によって異なります。温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用する場合は、事業者基本情報入力画面において「温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。」で「はい」を選択してください。この設定を行うことで、エネルギー使用量の入力画面に「独自係数及び実測排出量の入力」列が表示されます。事業者基本情報入力画面への遷移方法および詳しい操作方法については、「操作マニュアル(共通編) 7.1. 事業者情報の編集」を参照してください。独自係数及び実測排出量の入力方法については「2.6.12 独自係数及び実測排出量の入力画面」を参照してください。

The screenshot shows the 'Energy Usage · Sales Volume Input' section of the system. A red box highlights the '独自係数または実測排出量の入力' (Own Coefficient or Measured Emissions Input) column in the table under the 'Sales Volume' heading. Below the table, a green box highlights the question 'Is there a business you are engaged in that uses the own coefficient method?' with the answer 'Yes' selected.

エネルギーの種類	対象制度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量			独自係数または 実測排出量の入力	
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度		2024年度
化石燃料の使用		揮発油	300	kl	687,038		120	kl	274,8152			

事業者基本情報入力画面において、「温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。」で「はい」を選択すると表示されます。

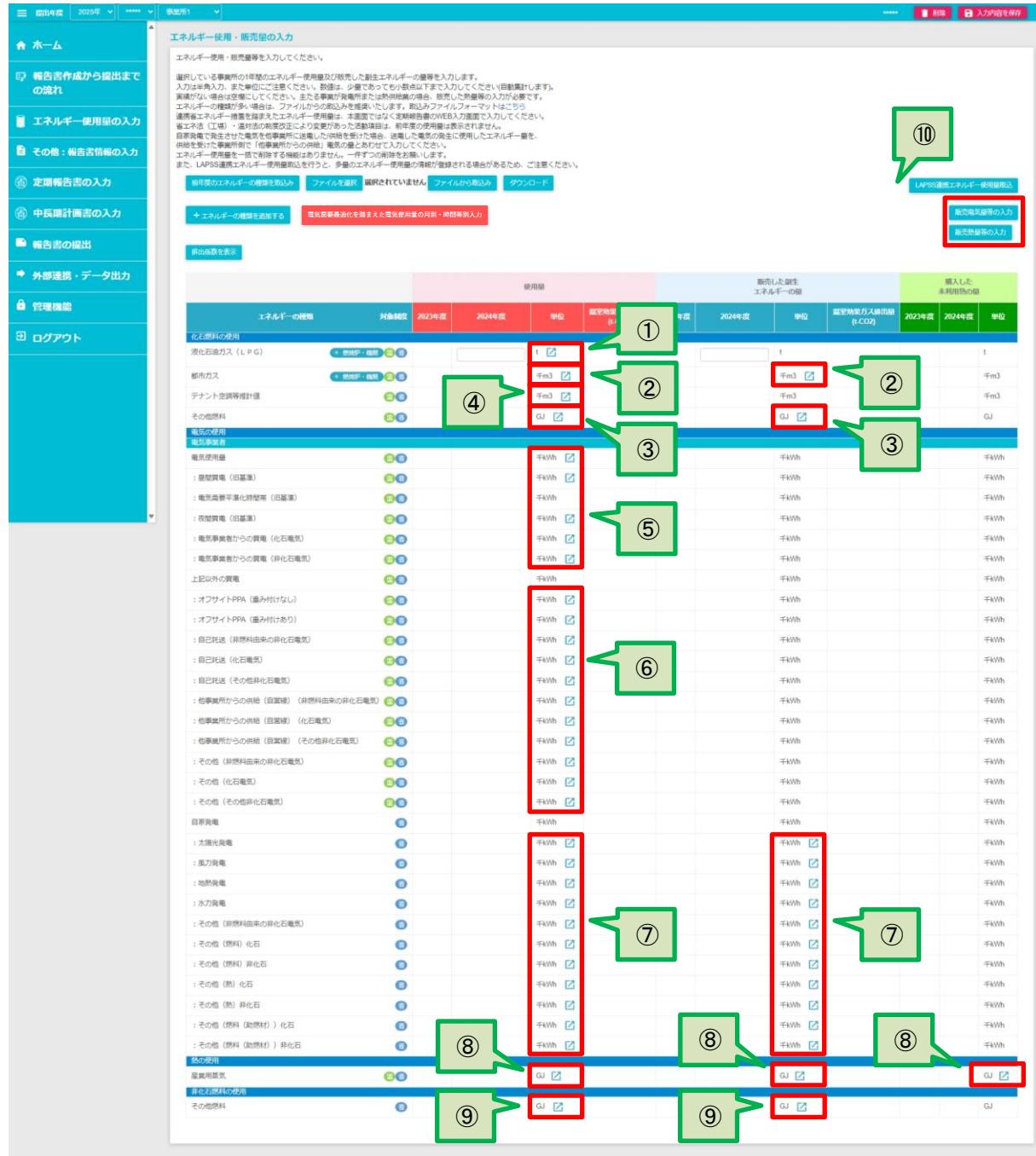
* ベンチマーク指標が設定された事業を行っていますか。
※対象となる事業は[こちらを参考ください](#)。

* 連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。

* 温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。

* 電気の使用量を報告する形式を選択してください。
※電気を使用していない場合、変更の必要はありません。

③ 値を直接入力する他に、をクリックすることによって表示される補助画面によって使用量を入力することができます。入力補助画面の操作は「2.5 ファイルから一括入力する方法」を参照してください。



エネルギーの種類	対象年度	使用量		販売した属性エネルギーの総額		積算した未利用料金					
		2023年度	2024年度	単位	販売料金	年齢	2024年度	単位	販売実行枚数出庫(L-CO2)	2023年度	2024年度
化石燃料の使用											
液化石油ガス (LPG)		<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="checkbox"/>							
都市ガス		<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="checkbox"/>							
テナント空調等推計値		<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="3"/>	<input type="checkbox"/>							
その他の燃料		<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="4"/>	<input type="checkbox"/>							
電気の使用		<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="5"/>	<input type="checkbox"/>							
電気事業者		<input type="text" value="6"/>	<input type="text" value="6"/>	<input type="checkbox"/>							
電気使用量		<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="7"/>	<input type="checkbox"/>							
：基盤買電（旧基盤）		<input type="text" value="8"/>	<input type="text" value="8"/>	<input type="checkbox"/>							
：電気事業者平準化調整電（旧基盤）		<input type="text" value="9"/>	<input type="text" value="9"/>	<input type="checkbox"/>							
：夜間買電（旧基盤）		<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="checkbox"/>							
：電気事業者からの買電（化石電気）											
：電気事業者からの買電（新化石電気）											
上記以外の買電											
：オフサイトPPA（重み付けなし）											
：オフサイトPPA（重み付けあり）											
：自己送達（非燃料由来の非化石電気）											
：自己送達（化石電気）											
：自己託送（その他の化石電気）											
：他事業所からの供給（自営業）（燃料由来の非化石電気）											
：他事業所からの供給（自営業）（化石電気）											
：他事業所からの供給（他営業）（その他の化石電気）											
：その他（燃料由来の非化石電気）											
自家発電											
：太陽光発電											
：風力発電											
：地熱発電											
：水力発電											
：その他の（燃料由来の非化石電気）											
：その他（燃料）化石											
：その他（燃料）非化石											
：その他（燃科）化石											
：その他（燃科）非化石											
：その他（燃料（燃科材））化石											
：その他（燃料（燃科材））非化石											
熱の使用											
：高圧用蒸気											
：低圧用蒸気											
：その他の燃料											

をクリックするとそれぞれ入力補助画面に遷移します。

詳しくは下記の章を参照してください。

- ① 「2.6.2. LPG 換算画面」 LPG の単位を換算する場合に使用
- ② 「2.6.3. 都市ガス供給業者等入力画面」 都市ガスを使用した場合に入力
- ③ 「2.6.4. その他の燃料等入力画面」 その他の燃料を使用した場合に入力
- ④ 「2.6.5. その他の燃料テナント等入力画面」 テナントにおいてエネルギー使用量を推計した場合に入力
- ⑤ 「2.6.6. 電気事業者買電入力画面」 電気の供給を受けた場合に入力
- ⑥ 「2.6.7. 上記以外の買電入力画面」 一般電気事業者・特定規模電気事業者以外からの買電があった場合に入力
- ⑦ 「2.6.8. 自家発電補助画面」 自家発電を行った場合に入力
- ⑧ 「2.6.9. 热補助画面」 販売した熱がある場合に入力
- ⑨ 「2.6.10. その他の非化石燃料等入力画面」 その他の非化石燃料を使用した場合に入力
- ⑩ 「2.6.11. 販売電気量、熱量等の入力画面」 主たる事業が発電所または熱供給業の場合に入力

④ エネルギー使用量の入力完了後、「入力内容を保存」をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Usage Input' section of the software. A yellow callout points to the 'Save Input Content' button in the top right corner of the main input area. The table contains various energy consumption data for different fuel types and categories.

エネルギーの種類	対象年度	使用量			販売実績ガス供出量 (t CO ₂)		販売した再生 エネルギーの量	購入した未利用 熱の量
		2023年度	2024年度	単位	2023年度	2024年度		
化石燃料の使用								
液化石油ガス (LPG)	+ 資料印・横線	t	14.97155		t		t	t
都市ガス	+ 資料印・横線	千m ³		千m ³	千m ³	千m ³	千m ³	
テナント空調等推計値		千m ³	50	千m ³	千m ³	千m ³	千m ³	
その他燃料		GJ		GJ	GJ	GJ	GJ	
電気の使用 電気事業者		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 屋間賃電 (旧基準)		kWh	301.145	kWh	kWh	kWh	kWh	
: 電気需要平準化均整 (旧基準)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 夜間賃電 (旧基準)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 電気事業者からの賃電 (化石電気)		kWh	435	kWh	533	kWh	kWh	
: 電気事業者からの賃電 (非化石電気)		kWh	565	kWh	301.145	kWh	kWh	
上記以外の賃電		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: オフサイトPPA (並み付けなし)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: オフサイトPPA (並み付けあり)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 自己託送 (非燃科由来の非化石電気)		kWh	1000	kWh	500	kWh	kWh	
: 自己託送 (化石電気)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 自己託送 (その他非化石電気)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 他事業所からの供給 (自営地) (非燃科由来の非化石電気)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	
: 他事業所からの供給 (自営地) (化石電気)		kWh		kWh	kWh	kWh	kWh	

⑤ 確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a confirmation dialog box titled '確認' (Confirmation) with the message '入力中の内容を保存します。よろしいですか。' (Do you want to save the input content?). A yellow callout points to the 'OK' button. The background shows the same energy usage input screen as the previous step.

⑥ 入力内容が保存され入力作業は完了です。事業所が複数ある場合は、繰り返し入力する必要があります。

The screenshot shows a software interface for energy reporting. At the top, there's a green banner with the message: 'エネルギー使用・販売量の入力' (Energy Use - Sales Volume Input) and 'エネルギー使用・販売量等を登録しました' (Energy use and sales volume registered). Below the banner, there's a note about entering energy use and sales volume for the current year. A red box highlights the message: '電気需要量を踏まえた雪氷使用量の合計・時間毎別入力' (Enter the total electricity demand considering snow and ice usage, by time period). The main area contains a table with columns for energy type, category, unit, and values for 2023 and 2024. Buttons for saving and closing are at the bottom.

エネルギーの種類	対象年度	使用量		販売した当年度のエネルギーの量		輸入した未利用熱の量	
		2023年度	2024年度	単位	蓄電効率万ガス換算量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度
化石燃料の使用							
液化石油ガス (LPG)	+ 燃焼炉・機器	t	5	t	14 97155	t	
都市ガス	+ 燃焼炉・機器	千m ³		千m ³		千m ³	
テオノ・空調等推計値		千m ³	50	千m ³		千m ³	
その他燃料		GJ		GJ		GJ	
電気の使用							
電気使用量		千kWh		千kWh		千kWh	
: 基盤電量 (旧基準)		千kWh	301 145	千kWh		千kWh	

2.3. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力

電気需要最適化を踏まえた電気使用量を月別または時間帯別で入力することができます。月別・時間帯別のどちらの形式で使用量を入力するかは、事業者基本情報入力画面で選択することができます。

2.3.1. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別入力

- ① 事業者基本情報入力画面において、「電気の使用量を報告する形式を選択してください。」で「月別」を選択し、「入力内容を保存」ボタンをクリックします。事業者基本情報入力画面への遷移方法および詳しい操作方法については、「操作マニュアル(共通編) 7.1. 事業者情報の編集」を参照してください。

*ベンチマーク指標が設定された事業を行っていますか。 ※対象となる事業は こちらをご参照ください。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
*連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
*温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
*電気の使用量を報告する形式を選択してください。 ※電気を使用していない場合、変更の必要はありません。	<input checked="" type="radio"/> 月別 <input type="radio"/> 時間帯別

- ② エネルギー使用量の入力画面において、「+エネルギーの種類を追加する」ボタンより「電気事業者」または「上記以外の買電」を選択したあと、「+電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力」をクリックします。

クリックします。

エネルギーの種類	対象制度	使用量		販売した再生エネルギーの量		購入した未利潤熱の量					
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度
電気の使用											
電気事業者											
電気使用量			千kWh								
:電気事業者からの買電（化石電気）		2133.474502	千kWh								
:電気事業者からの買電（非化石電気）		1953.641448	千kWh								

- ③ 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の入力(月別)画面が表示されます。電気使用量及び「電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツール」を使用して算出した原油換算の値を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックしてください。「電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツール」は、画面の「こちら」をクリックしてダウンロードしてください。

- ④ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。入力内容は特定-第2表1-2、指定-第2表1-2、認定-第2表1-2に反映されます。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギー使用・販売量を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。
入力は角入力、また単位にご注意ください。数値は、少量であっても小数点以下まで入力してください(自動計算計算します)。
実数がない場合は空欄にしてください。主な事業が発電所または供給会社の場合、簡便した熱量等の入力が必要です。

エネルギーの種類が多い場合は、ファイルからの読み込みを推奨いたします。読み込み用のファイルフォーマットはこちら
連絡省エネルギー指標を踏まえたエネルギー使用量は、画面ではなく定期報告書のWEB入力画面で入力してください。

エネルギーの種類により変更があった活動項目は、前年度の使用量は表示されません。

電子申請（工場）・温排水の制御改修により変更があった活動項目は、前年度の使用量は表示されません。

開設年月日：開設年月日を入力してください。開設年月日より前に開設された場合は、開設年月日から開設時に使用したエネルギー量を、開設を翌とした事業所での「事業者からの開設年月日」と同じとさせてください。

また、LAPSS連携エネルギー使用量取込を行うご、多段のエネルギー使用量の情報が登録される場合があるため、ご注意ください。

前年度のエネルギーの種類を選込み ファイルを選択 選択されません ファイルから読み込み ダウンロード LAPSS連携エネルギー使用量取込

エネルギーの種類を追加する 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間割別入力 販売電力量等の入力 販売熱量等の入力

抽出件数を表示

エネルギーの種類	対象制度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した非利用熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度
電気の使用 電気事業者											
電気使用量	② ③		千kWh <input checked="" type="checkbox"/>				千kWh				
：電気事業者からの貢献（化石電気）	② ③	2133.474552	千kWh <input checked="" type="checkbox"/>				千kWh				
：電気事業者からの貢献（非化石電気）	② ③	1953.641448	千kWh <input checked="" type="checkbox"/>				千kWh				

2.3.2. 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の時間帯別入力

- ① 事業者基本情報入力画面において、「電気の使用量を報告する形式を選択してください。」で「時間帯別」を選択し、「入力内容を保存」ボタンをクリックします。事業者基本情報入力画面への遷移方法および詳しい操作方法については、「操作マニュアル（共通編） 7.1. 事業者情報の編集」を参照してください。

* ベンチマーク指標が設定された事業を行っていますか。 ※対象となる事業は こちら をご参考ください。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
* 連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
* 温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
* 電気の使用量を報告する形式を選択してください。 ※電気を使用していない場合、変更の必要はありません。	<input type="radio"/> 月別 <input checked="" type="radio"/> 時間帯別

- ② エネルギー使用量の入力画面において、「+エネルギーの種類を追加する」ボタンより「電気事業者」または「上記以外の買電」を選択したあと、「+電気需要最適化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力」をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use - Purchase Volume Input' page. On the left, there's a sidebar with various menu items like Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, etc. The main area has a heading 'Energy Use - Purchase Volume Input'. Below it is a detailed explanatory text about energy use and purchase. At the bottom of this text, there are several buttons: 'Previous year's energy type selection' (disabled), 'File selection' (disabled), 'File selection from purchase volume' (disabled), 'Add electricity under electricity needs optimization' (highlighted with a red border), and 'Display output volume'. A large yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) is positioned over the 'Add electricity under electricity needs optimization' button.

- ③ 電気需要最適化を踏まえた電気使用量の入力(時間帯別)画面が表示されます。「電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツール」を使用して各時間帯の電気使用量を算出し入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックしてください。「電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツール」は、画面の「こちら」をクリックしてダウンロードしてください。

The screenshot shows the 'Electricity Use and Sales Volume Input' screen. A yellow box highlights the 'LAPSS Electricity Demand Optimization Tool' download button, which is labeled 'こちら' (here). Another yellow box highlights the 'Enter after inputting this content.' button, also labeled 'こちら'.

クリックして算出支援ツールをダウンロードします。

入力後、クリックします。

- ④ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。入力内容は特定-第2表1-2、指定-第2表1-2、認定-第2表1-2に反映されます。

The screenshot shows the 'Electricity Use and Sales Volume Input' screen. It displays a table for electricity usage input. The table has columns for 'Energy Type' (電気の種類), 'Target System' (対象制度), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), 'Unit' (単位), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse gas emissions), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), 'Unit' (単位), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse gas emissions), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), and 'Unit' (単位).

エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位
電気の使用 電気事業者				千kWh					千kWh			
：電気事業者からの販電（化石電気）		2133.474502		千kWh					千kWh			
：電気事業者からの販電（非化石電気）		1953.641448		千kWh					千kWh			

2.4. 前年度エネルギー種類・使用量の取り込み

前年度にEEGSでエネルギー使用量の入力を行っていた場合、前年度データを利用して、エネルギーの種類・前年度の使用量を取り込むことができます。

- ① 前年度、EEGSでエネルギー使用量の入力を行っていた場合、前年度のデータを取り込むことができます。取り込むことができる前年度のデータは、前年度EEGSで入力したエネルギーの種類・使用量です。「前年度のエネルギーの種類を取り込み」をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use and Sales Volume Input' page. On the left, there's a sidebar with various menu items. In the center, there's a large input form. At the top of the form, there's a note about entering energy use and sales volume. Below it, there's a section for selecting energy types and a button labeled 'Import from Previous Year' which is highlighted with a red box. The main area contains tables for electricity and gas usage.

エネルギーの種類	対象制度	使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用熱の量	
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度
電気の使用	電気事業者	電気使用量	2133.474552	千kWh	2133.474552	千kWh	千kWh
		電気事業者からの買電 (化石電気)	1953.641448	千kWh	1953.641448	千kWh	千kWh
		電気事業者からの買電 (非化石電気)					

- ② 確認メッセージが表示されます。前年度データを取り込む場合、入力中の情報は破棄されます。問題なければ、「OK」をクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、前年度データの取り込みを中止することができます。

The screenshot shows the 'Energy Usage - Input of Sales Volume' screen. A modal dialog box titled '確認' (Confirmation) is displayed, containing the message: '本年度のデータ及び入力内容が破棄されますよろしいですか。' (The data for this year and the input content will be deleted. Is it okay?). Two buttons are visible: 'OK' (highlighted with a red box and a yellow arrow pointing from the previous step) and 'キャンセル' (Cancel). Below the dialog, two explanatory text boxes are overlaid:

- '現在の入力内容が破棄されることに関して問題なければ「OK」ボタンをクリックします。' (If there is no problem with deleting the current input content, click the 'OK' button.)
- '「キャンセル」ボタンのクリックにより、前年度エネルギーの種類の取り込みを中止することができます。' (By clicking the 'Cancel' button, you can cancel the import of the previous year's energy type.)

- ③ エネルギー使用量の入力画面に前年度のデータが反映されます。

なお、「+」で展開する燃焼炉・機関の内訳(温対法の報告に必要な情報)については、前年度の情報は取り込まれません。

The screenshot shows the same energy usage input screen, but now the 'Combustion Equipment Details' section under 'Combustion Equipment' is expanded. It displays a table for 'Residual Energy' (副生エネルギー) with data for 2023 and 2024. The table includes columns for 'Energy Type' (エネルギーの種類), 'Target System' (対象制度), 'Year' (年度), 'Unit' (単位), and 'Greenhouse Gas Emissions' (温室効果ガス排出量 (t-CO2)). The data shown is:

エネルギーの種類	対象制度	2023年度		2024年度		温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度		2024年度		温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度		2024年度		温室効果ガス排出量 (t-CO2)
		年	月	年	月		年	月	年	月		年	月			
電気使用量		2023年	01月	2133.474552	2024年	01月	千kWh	2023年	01月	1963.641448	2024年	01月	千kWh	2023年	01月	千kWh

2.5. ファイルから一括入力する方法

2.5.1. エネルギー使用量の入力画面からのファイル取込

エネルギーの種類が多い場合は、ファイルからの取込みを推奨します。

本画面からダウンロードした Excel ファイルに報告内容を入力し、編集後のファイルを、再度本画面へ取り込むことで、ファイルの入力内容が画面に反映されます。(入力方法は、ファイル内を参照してください。)

- ① 本画面の「こちら」をクリックすると Excel ファイルがダウンロードされます。

※本画面で登録済みの値が反映された Excel ファイルをダウンロードする場合、「ダウンロード」ボタンをクリックするとファイルがダウンロードされます。

- ② ファイル内に必要な情報を入力します。
- ③ 「ファイルを選択」ボタンをクリックし、②にて作成したファイルを選択します。
- ④ 「ファイルからの取込み」ボタンをクリックします。
- ⑤ Excel ファイルの内容が自動反映されます。
- ⑥ 自動反映されたエネルギー使用量を削除する場合は、「+エネルギーの種類を追加する」ボタンをクリックし該当項目のチェックを外してください。

The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' screen. A yellow box labeled ① points to the 'Download' button. A yellow box labeled ② points to the 'Select File' button. A yellow box labeled ③ points to the 'Import from File' button. A yellow box labeled ④ points to the 'Import' button. A yellow box labeled ⑤ points to the table where data is reflected. A yellow box labeled ⑥ points to the 'Add Energy Type' button. The table at the bottom shows energy usage data for various categories like Natural Gas and Non-fossil Fuel.

エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	運営効率ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	販売した副生 エネルギーの量 (t-CO ₂)	単位
化石燃料の使用	輸入一般炭	燃焼炉・機関	50000	t	116275.5			t		t
非化石燃料の使用	RDF	燃焼炉・機関	50000	t	53460			t		t

2.5.2. 傘下の事業所のエネルギー使用量のファイル一括登録

エネルギー使用量一括ファイル取込・出力画面にて、複数の入力ファイルをまとめた ZIP ファイルを取り込むことで、傘下の事業所のエネルギー使用量を一括で登録することができます。

取込ファイルの作成規則は以下の通りです。

取込ファイル名	任意 例:ABC.zip
取込ファイルの拡張子	zip
取込 zip ファイル内のファイル名	energy_usage_{対象事業所の事業所 ID}.xlsx 例:energy_usage_12345.xlsx
取込 zip ファイル内のファイルの拡張子	xlsx

※取込 zip ファイル内のファイルは、2.5.1 で使用するファイルと同様です。作成規則に従い、ファイル名を変更してご使用ください。

ZIP ファイル構成

XXXX.zip (ファイル名は任意)

| - energy_usage_{事業所 ID 1}.xlsx
| - energy_usage_{事業所 ID 2}.xlsx
...
| - energy_usage_{事業所 ID n}.xlsx

・登録手順

①「取込 zip ファイル内のファイル名」に含める事業所 ID を事業所検索画面にて確認します。

※事業所検索画面の操作方法は、操作マニュアル(共通編)「8.1. 事業所情報の一覧検索」を参照してください。

The screenshot shows the 'Business Premises Search' interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has a search bar and a table with columns: Business Premises ID, Business Premises Name, Prefecture, Address, Energy Management System Registered Number, Business License (Business Type), Business License Number, Operation, and Reporting Status. A red box highlights the 'Business Premises ID' column. An orange box with the text '事業所 ID を確認します。' covers the bottom left area of the table. A yellow arrow points from the text to the highlighted column.

②作成規則に従い、取込ファイルを用意します。

③ホーム画面の「エネルギー使用量の入力」メニューをクリックします。

The screenshot shows the system's main menu on the left with various options like 'Report Submission Flow', 'Other Report Submission Information Input', etc. A red box highlights the 'Energy Use Input' option. On the right, there is a message box with the text 'クリックします。' (Click here) and some system logs.

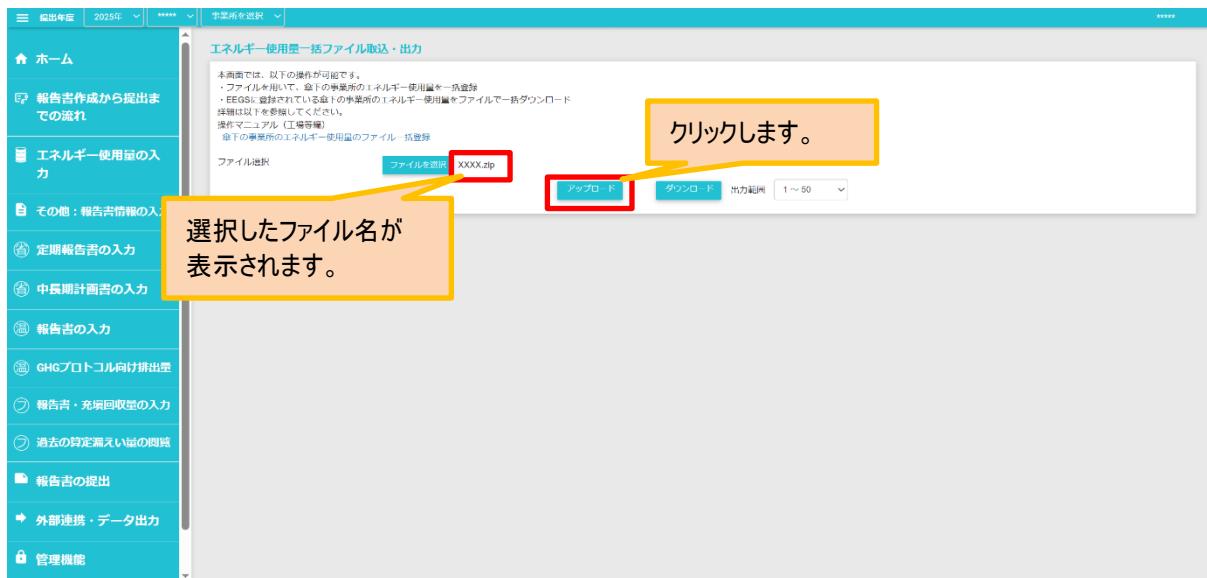
④「エネルギー使用量の一括ファイル取込・出力」をクリックします。

The screenshot shows the same main menu. A red box highlights the 'Batch File Import/Export' button under the 'Energy Use Input' section. A message box with the text 'クリックします。' (Click here) is overlaid on the button.

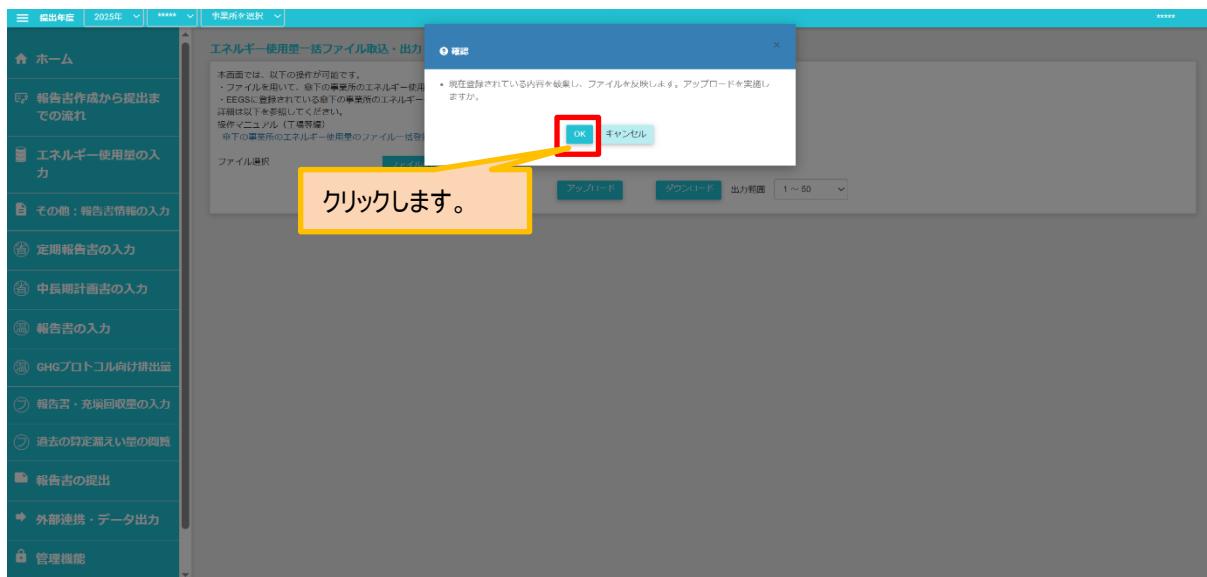
⑤「ファイルを選択」をクリックし、表示されるファイル選択ダイアログにて用意した取込ファイルを選択します。

The screenshot shows the 'Batch File Import/Export' dialog box. A red box highlights the 'Select File' button at the bottom left. A message box with the text 'クリックします。' (Click here) is overlaid on the button.

⑥選択した取込ファイル名が画面に表示されていることを確認し、「アップロード」ボタンをクリックします。



⑦登録確認メッセージが表示されます。内容に問題がない事を確認し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑧アップロードしたファイルに取り込めない値がある場合は、エラーファイルがダウンロードされます。
 エラーがあった場合は、エラーファイルを確認し取込ファイルを修正して、再度アップロードしてください。
 アップロードが完了すると、エネルギー使用量の情報が一括でEEGSに登録されます。

- ⑨各事業所に取込ファイルの情報が反映されます。

エネルギーの種類	対象年度	使用量			購入した 未利用熱の量		
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度
化石燃料の使用		1000.0	t	2325.51	0.0	t	0

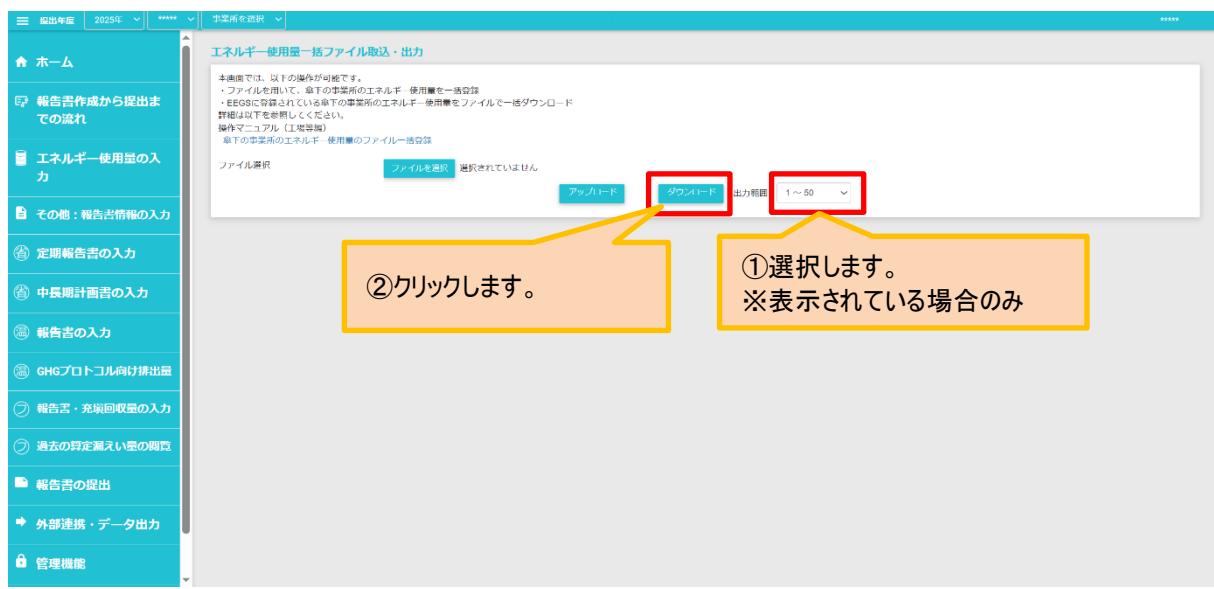
・ダウンロード

登録済みのエネルギー使用量の値が反映された各事業所の Excel ファイルを一括でダウンロードすることができます。

①「出力範囲」プルダウンリストにて、出力する事業所の範囲を選択します。

※「出力範囲」プルダウンリストは、1回当たりの出力可能件数より、出力対象事業所数が多い場合のみ表示されます。本プルダウンリストが表示されない場合は、そのまま②を実行してください。

②「ダウンロード」ボタンをクリックすると、登録済みのエネルギー使用量の値が反映された各事業所の Excel ファイルをまとめた ZIP ファイルがダウンロードされます。

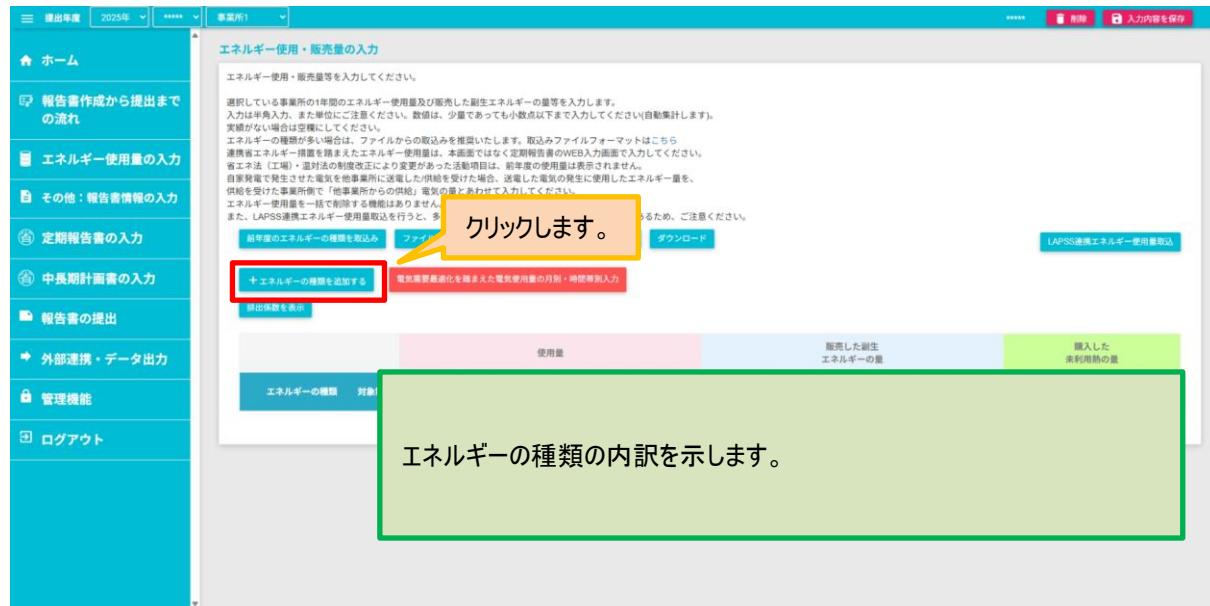


2.6. 入力補助画面からの入力方法

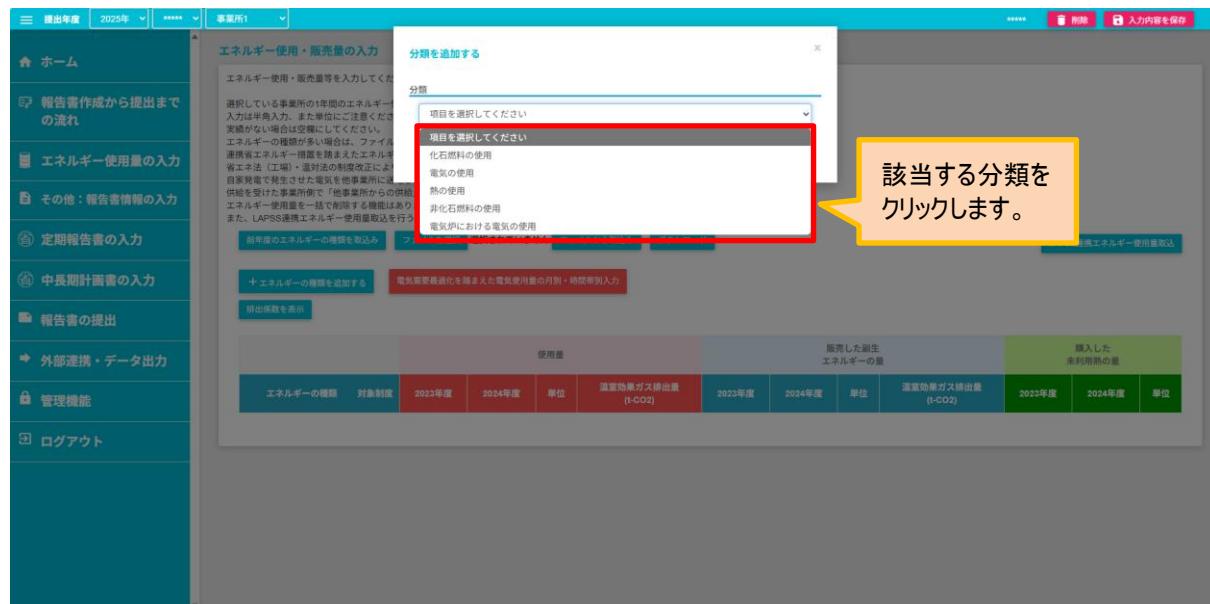
エネルギー使用量を入力するために利用する補助画面について説明します。

2.6.1. エネルギーの種類選択画面

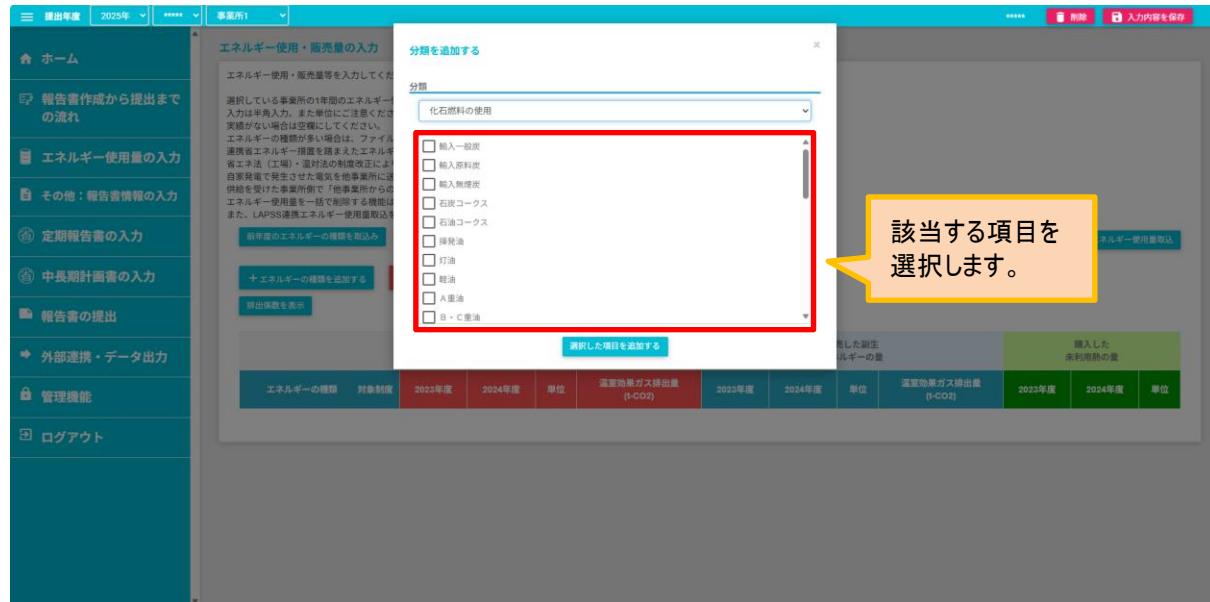
- ① 「+エネルギーの種類を追加する」ボタンをクリックします。



- ② リストから追加する「分類」を選択します。



③ 活動分類を選択すると、そこに含まれる「活動項目」が表示されるので、入力する項目を選択します。



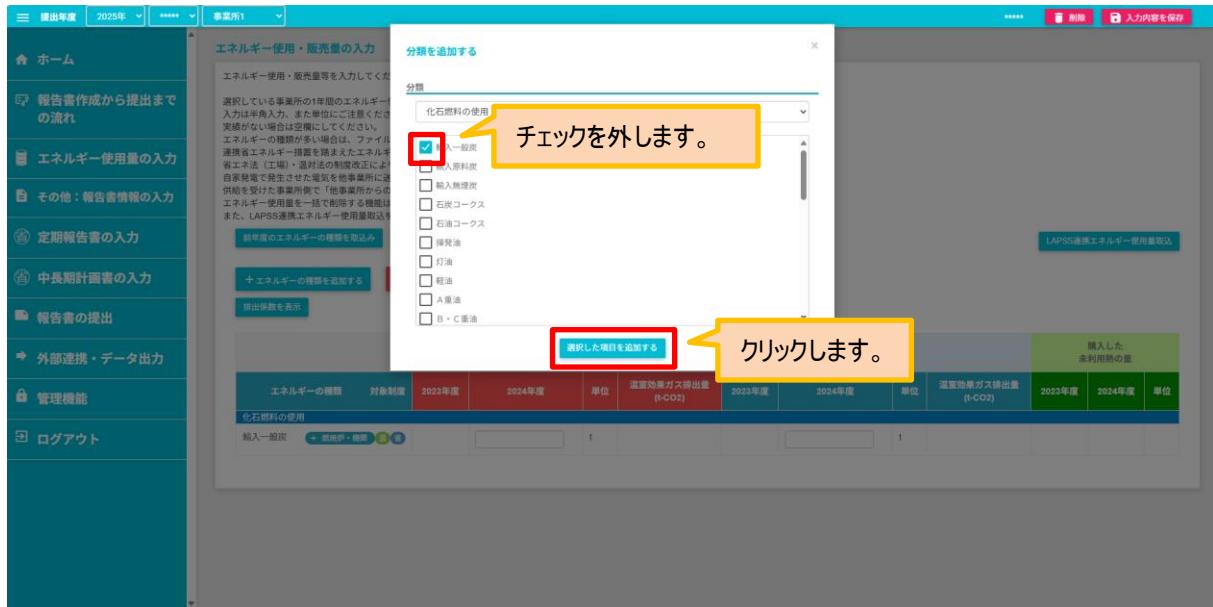
④ 追加する項目にチェックを入れ、「選択した項目を追加する」をクリックします。



⑤ エネルギー使用量の入力画面が表示され、選択した項目が追加されています。



- ⑥ 誤った項目を選択した場合は、同様の操作でチェックを外して「選択した項目を追加する」をクリックすることで削除することができます。



2.6.2. LPG 換算画面

液化石油ガス(LPG)の使用量はトン単位で入力する必要があります。立方メートル単位の値しか分からぬ場合は、LPG の供給事業者に立方メートルあたりのトンへの換算係数を確認して、トンに換算してください。確認が困難な場合は、下記の立方メートルの欄に使用量を入力してトンに換算してください。

①  をクリックします。



The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' screen. In the center, there is a table for LPG conversion. A red box highlights the '換算係数' (Conversion Factor) column under the '対象年度' (Target Year) heading. A yellow callout bubble with the text 'クリックします。' (Click here) points to the first row of the table where the conversion factor is listed as '半角数字 x1/502'. The table also includes columns for 'エネルギーの種類' (Type of Energy), '対象年度' (Target Year), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), '単位' (Unit), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), '単位' (Unit), '販売した副生エネルギーの量' (Quantity of Secondary Energy Sold), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), '単位' (Unit), and '購入した未利用熱の量' (Quantity of Unutilized Heat Purchased).

② LPG の使用量を入力します。



The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' screen with a modal window titled 'LPG換算' (LPG Conversion). The modal contains a table with conversion factors for different energy types. A red box highlights the '半角数字 x1/458' (Half-width number x1/458) entry for 'プロパン・ブタンの混合' (Propane-Butane mixture). A yellow callout bubble with the text 'この内容で入力する' (Input with this content) points to the 'この内容で入力する' (Input with this content) button at the bottom of the modal. The background shows the main input screen with the LPG conversion table.

③ 入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'LPG換算' (LPG Conversion) section of the energy usage input form. It includes fields for 'プロパン' (Propane), 'ブタン' (Butane), and their mixture, with conversion factors x1/502, x1/355, and x1/458 respectively. A large yellow box surrounds the 'この内容で入力する' button, with an arrow pointing to it from the right.

④ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

The screenshot shows the 'エネルギー使用・販売量の入力' (Energy Usage and Sales Input) section. A red box highlights the entire table where the converted energy usage data is displayed. The table includes columns for 'エネルギーの種類' (Type of Energy), '対象制度' (Target System), '2023年度' (FY2023), '2024年度' (FY2024), '単位' (Unit), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), '2023年度' (FY2023), '2024年度' (FY2024), '単位' (Unit), '温室効果ガス排出量 (t-CO2)' (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), and '2023年度' (FY2023), '2024年度' (FY2024), '単位' (Unit). The table shows data for LPG (液化石油ガス) with a value of 1.234.

2.6.3. 都市ガス供給業者等入力画面

都市ガス供給事業者を選択すると、当該事業者のガスグループ(例: 13A)、換算係数(GJ/千 m³)が自動表示されます。

- ① をクリックし、都市ガス供給業者等入力画面に遷移します。

The screenshot shows the 'Energy Use · Emissions Input' page. On the right, there is a table for 'Emissions Input'. The last column of the table has a unit 'thousand m³' with a dropdown arrow. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to this dropdown arrow.

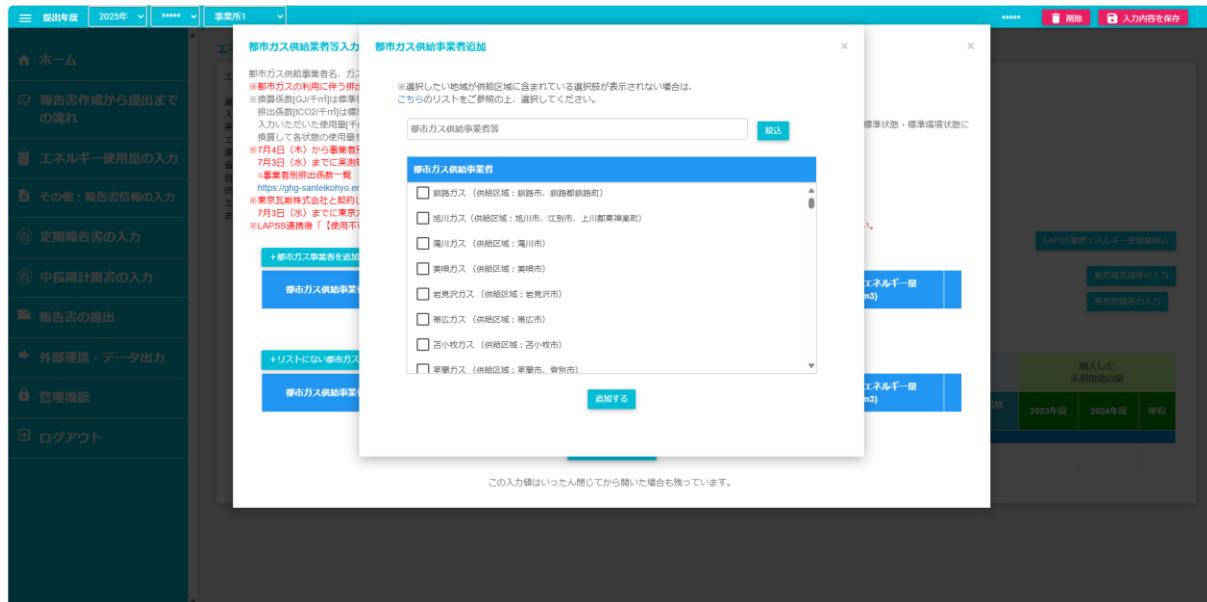
エネルギーの種類	対象制度	2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		2023年度		2024年度		単位		
		2023年度	2024年度	単位	2023年度		2024年度	単位	2023年度	2024年度	単位	2023年度		2024年度	単位							
化石燃料の使用	都市ガス	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³	+ 検索		thousand m ³

- ② 「+都市ガス事業者を追加する」ボタンをクリックします。

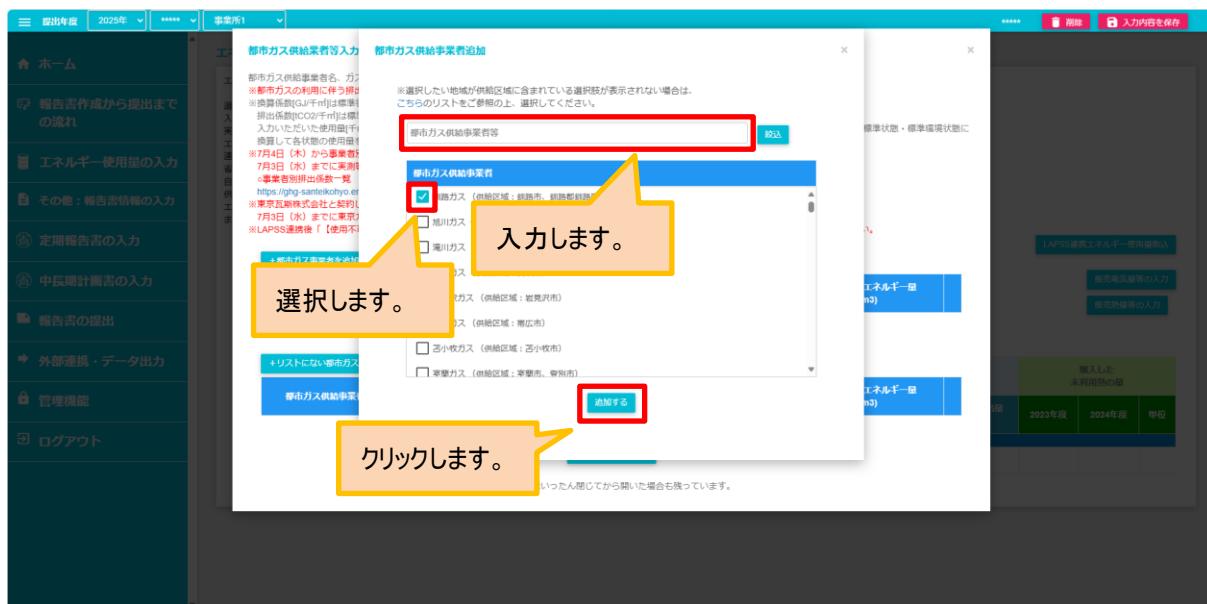
The screenshot shows the 'Add City Gas Supplier' page. In the center, there is a table for adding suppliers. The first column has a button '+ 都市ガス事業者を追加する' (Add Supplier). A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button.

新規登録						
既存登録						
登録する都市ガス供給事業者名	ガスグループ	換算係数 (GJ/千m ³)	基礎排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	使用量 (千m ³)	貯先した誕生エネルギー量 (千m ³)
新規登録	+ 検索		この内容で入力する			

③ 都市ガス供給事業者の選択画面が表示されます。



④ 「検索欄」に都市ガス供給事業者名を入力し表示された検索結果の中から、事業者を選択し、「追加する」ボタンをクリックします。



⑤ 都市ガス供給業者等入力画面が表示され、選択した都市ガス供給事業者が追加されています。

使用量または、販売した副生エネルギー量を入力してください。

The screenshot shows the 'Add City Gas Supplier' input screen. At the top right, there is a yellow callout box with the text '入力します。' (Enter). The main input area contains a table with columns: ガスグループ (Gas Group), 基礎排出係数 (GJ/Fm³), 調整後排出係数 (t-CO2/Fm³), 使用量 (Fm³), and 販売した副生エネルギー量 (tMWh). Below this table is a button labeled 'この内容で入力する' (Enter this content). To the left, there is another table for 'List of city gas suppliers to add' with columns: 市市ガス供給事業者名 (Name), ガスグループ (Gas Group), 地理区域 (Geographic Area), 基礎排出係数 (t-CO2/Fm³), 調整後排出係数 (t-CO2/Fm³), 使用量 (Fm³), and 販売した副生エネルギー量 (tMWh).

⑥ ④の都市ガス供給事業者のリストにない場合は、「+リストにない都市ガス事業者を追加する」ボタンをクリックし、事業者名等を入力してください。

⑦ 「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Add City Gas Supplier' input screen. A yellow callout box points to the 'Enter' button in the bottom right corner of the main input area. Another yellow callout box points to the 'Enter this content' button below the tables. The main input area contains a table with columns: ガスグループ (Gas Group), 基礎排出係数 (GJ/Fm³), 調整後排出係数 (t-CO2/Fm³), 使用量 (Fm³), and 販売した副生エネルギー量 (tMWh). Below this table is a button labeled 'この内容で入力する' (Enter this content). To the left, there is another table for 'List of city gas suppliers to add' with columns: 市市ガス供給事業者名 (Name), ガスグループ (Gas Group), 地理区域 (Geographic Area), 基礎排出係数 (t-CO2/Fm³), 調整後排出係数 (t-CO2/Fm³), 使用量 (Fm³), and 販売した副生エネルギー量 (tMWh). A yellow callout box labeled '⑥クリックします。' (Click here) points to the 'Add' button in the 'List of city gas suppliers to add' table.

⑧ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されます。

エネルギーの種類	対象年度	2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度		2024年度		単位
		2023年度	2024年度	2023年度	2024年度			2023年度	2024年度									
都市ガス	燃焼供給・燃焼	500	千m ³	6.6	400	千m ³	5.44											

2.6.4. その他の燃料等入力画面

リストにない燃料（ジェット燃料油、潤滑油等）を使用した場合は、ここで使用量等を入力してください。

なお、テナントにおけるエネルギー使用量を推計する場合は、「2.6.5. その他の燃料テナント等入力画面」より入力を行います。

- をクリックし、他の燃料等入力画面に遷移します。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギーの種類 対象年度 2023年度 2024年度 単位 GJ

エネルギーの種類	対象年度	単位	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用の量		
			2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位		
化石燃料の使用		GJ									
その他燃料		GJ									

- 他の燃料の使用量等を入力します。

他の燃料は以下に入力してください。

(※1) 数値は半角で入力してください。
 (※2) 記載した燃料の単位にあわじの発熱量(換算係数)については、その内容を説明する資料を作成し、定期報告書に添付してください。
 (※3) 「FCC」一語もしくは「潤滑油」について報告する場合、「その他の名稱」欄に「FCC」もしくは「潤滑油」と記載した上で、使用量等を入力してください。
 (※4) テナントにおけるエネルギー使用量を推計した場合は、本欄ではなく別に入力が必要です。

操作	その他の名稱	単位	使用量 (数値)	使用量 (GJ)	販売した副生エネルギー量 (数値)	販売した副生エネルギー量 (GJ)
削除	BBB	GJ	1	2	3	4

③ 入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Usage Input' section of the system. A red box highlights the blue rectangular button labeled 'この内容で入力する' (Input this content). An orange callout bubble points to this button with the text 'クリックします。' (Click here.). Below the button, a note says 'この入力値はいったん削除した後も残っています。' (This input value remains even after deletion).

④ エネルギー使用量の入力画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Energy Usage Input' section. It includes several input fields and buttons:

- Top navigation: 報告年度 (2025年), 報告月 (選択), 報告所 (選択), 行動規制 (選択), 機構コード (選択), 入力内容を保存.
- Section title: エネルギー使用・販売量の入力.
- Text instructions: 選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。入力は半角入力、また単位にご注意ください。数値は、少量であっても小数点以下まで入力してください(自動計算します)。実勢がない場合は、たとえば「0.00」と入力して下さい。他の欄は、既定の値でそのままお使いください。
- Buttons: 前年度のエネルギーの種類を選択, ファイルを選択, 選択されていません, フォームから読み込み, ダウンロード.
- Text: 電気需要量変化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力.
- Buttons: +エネルギーの種類を選択する, 電気需要量変化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力.
- Text: 排出係数を表示.
- Table: 使用量, 販売した副生エネルギーの量, 買入した未利用熱の量.
- Table: エネルギーの種類, 対象制度, 2023年度, 2024年度, 単位, 温室効果ガス排出量 (t-CO2), 2023年度, 2024年度, 単位, 温室効果ガス排出量 (t-CO2), 2023年度, 2024年度, 単位.
- Text: 化石燃料の使用, その他燃料.
- Buttons: GJ, GJ, GJ, GJ.
- Right sidebar buttons: LAPSS連携エネルギー使用量入力, 新規電気量等の入力, 新規熱量等の入力.

2.6.5. その他の燃料テナント等入力画面

「その他の燃料」のうち、テナントの空調等エネルギーの推計値(※)については、エネルギー起源 CO₂ 排出量を算定する必要がありますので、使用量とともに排出係数を入力してください。

※テナントの推計エネルギーについては、推計したエネルギーの種類が分かる場合は当該エネルギーとして記入し、また種類が分からない場合は「その他の燃料」として記入することが必要です。

- ①  をクリックし、他の燃料テナント等入力画面に遷移します。

The screenshot shows the LAPSS system interface with the following details:

- Header:** 報告書年度 (Report Year) 2025年, 報告書種別 (Report Type) 営業所 (Business Office), 検索 (Search), 入力内容を保存 (Save Input Content).
- Left Sidebar:** ホーム (Home), 報告書作成から提出までの流れ (Flow from Report Creation to Submission), エネルギー使用量の入力 (Energy Usage Input), その他: 報告書情報の入力 (Other: Report Information Input), 定期報告書の入力 (Periodic Report Input), 中長期計画書の入力 (Medium-Long Term Plan Input), 報告書の提出 (Report Submission), 外部連携・データ出力 (External Integration・Data Output), 管理機能 (Management Functions), ログアウト (Logout).
- Main Content Area:**
 - Section: エネルギー使用・販売量の入力 (Energy Usage and Sales Volume Input)**

エネルギー使用・販売量等を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販出した再生エネルギーの量等を入力します。
入力は半角入力、また単位にご注意ください。数値は、小数点以下まで入力してください(自動計算式です)。
実績がない場合は、空欄にしてください。主な事業所が発電所または供給組織の場合、発売した熱量等の入力が必要です。

エネルギーの種類が多い場合は、ファイルからの読み込みを推奨いたします。読み込まれたエネルギー一覧はこちら
連絡省エネルギー情報を踏まえたエネルギー使用量は、本画面ではなく定期報告書のWEB入力画面で入力してください。

省エネ(工場)、温対策の体制改定により変更された活動項目は、前年度の使用量は表示されません。
自家発電で発電させた電気の他の機器へ供給する場合、自家発電した供給量を、自家発電で発電して外へ使用したエネルギー量を、

エネルギーの種類を一括で記録する機能があります。複数のエネルギー使用量の情報を登録される場合があるため、ご注意ください。

また、LAPSS連携エネルギー使用量取込を行って、多量のエネルギー使用量の情報が登録される場合があるため、ご注意ください。
 - Buttons:** 前年度のエネルギーの種類を読み込み (Import Energy Types for Previous Year), ファイルを選択 (Select File), 選択されていません (File Not Selected), ファイルから読み込み (Import from File), ダウンロード (Download).
 - Links:** LAPSS連携エネルギー使用量取込 (Import LAPSS Energy Usage Data), 販売電力量等の入力 (Input of Sold Electricity Amounts), 販売熱量等の入力 (Input of Sold Heat Amounts).
 - Table:** 説明 (Explanation) column, 使用量 (Usage Volume) column, 販売した再生エネルギーの量 (Quantity of Sold Renewable Energy) column, 購入した未利用熱の量 (Quantity of Purchased Unutilized Heat) column.
 - Form:** エネルギーの種類 (Energy Type), 対象年度 (Target Year) 2023年度, 2024年度, 単位 (Unit), 温室効果ガス排出量 (t-CO2) (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), 温室効果ガス排出量 (t-CO2) (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)), 温室効果ガス排出量 (t-CO2) (Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)).
 - Input Fields:** 化石燃料の使用 (Use of Fossil Fuels), テナント空調等推計値 (Estimated Value of Tenant Air Conditioning), 単位 (Unit) (m3).
 - Buttons:** フラッシュモード (Flash Mode) (highlighted with a red box and yellow callout).

- ② 使用量等を入力します。

The screenshot shows the LAPSS system's energy usage reporting interface. On the left sidebar, there are several menu items: ホーム (Home), 報告書作成から提出までの流れ (Flow from report creation to submission), エネルギー使用量の入力 (Input of energy usage), その他: 報告書情報の入力 (Other: Input of report book information), 定期報告 (Regular reports), 中長期計画 (Medium-to-long-term plan), 報告書の登録 (Report book registration), 外部連携・データ出力 (External integration・Data output), 管理機能 (Management functions), and ログアウト (Logout). The main content area has tabs for 'エネルギー使用・販売額' (Energy usage and sales amount) and '他の燃料テナント入力' (Input of other fuel tenants). The '他の燃料テナント入力' tab is active, showing a table for inputting fuel tenant details. A yellow box highlights the '明細行を追加する際、クリックします。' (Click here when adding a detailed line) button, which is located next to the '削除' (Delete) button in the table header. Another yellow box highlights the '明細行を削除する際、クリックします。' (Click here when deleting a detailed line) button, which is also located next to the '削除' button in the table header. The bottom part of the screen shows a summary table for energy usage.

③ 入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a modal dialog titled 'Other Fuel Type Input'. It contains instructions about calculating CO2 emissions and a table for entering fuel type details. The 'Click here to input' button is highlighted with a red box.

其他の燃料名	使用量 (GJ)	排出係数 (t-CO2/GJ)
燃料①	100	1.5

Below the table, a note says: "This input value is used when entering from the previous screen." There are also buttons for 'LAPSS connection' and 'Fuel type addition'.

④ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。

The screenshot shows the main input page for energy use. The 'Fuel consumption' section is highlighted with a red box. It includes a table for entering fuel consumption data across different years and units.

エネルギーの種類	対象制度	2023年度			2024年度			単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度			2024年度			単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度			2024年度			単位
		2023年度	2024年度	単位	2023年度	2024年度	単位			2023年度	2024年度	単位												
エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位								

2.6.6. 電気事業者買電入力画面

他人から電気を購入して使用した場合、電気を購入した事業者を選択し、その使用量を入力してください。

電気事業者からの買電を入力する場合、電力メニューごとの使用量に加え、それらを月別または時間帯別に集計した「月別・時間帯別の使用量」を入力していただく必要があります。月別・時間帯別の使用量の入力方法については、「2.3. 電気使用量の月別・時間帯別入力」を参照してください。

- ①  をクリックし、電気事業者買電入力画面に遷移します。



エネルギーの種類	対象期間	2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)		2023年度		2024年度		単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)		2023年度		2024年度		単位
		2023年度	2024年度	2023年度	2024年度		2023年度	2024年度	2023年度	2024年度										
電気の使用																				
電気事業者																				
電気使用量		<input type="button" value="千kWh"/>																		
: 電気事業者からの買電 (化石電気)		<input type="button" value="千kWh"/>																		
: 電気事業者からの買電 (非化石電気)		<input type="button" value="千kWh"/>																		

- ② 購入した電気の使用量を入力するには「+電気事業者を追加する」ボタンをクリックします。「+電気事業者を追加する」ボタンをクリックして表示される電気事業者のリストに存在しない電気事業者を追加するには、「+一般電気事業者・特定規模電気事業者以外の電気事業者を追加する」ボタンをクリックします。



+電気事業者を追加する		この内容は入力する					
+一般電気事業者・特定規模電気事業者以外の電気事業者を追加する							
電気事業者	出典事業者からの購電 (千kWh)	出典事業者の 非化石混焼の 使用状況(%)	うち非化石 (千kWh)	基礎排出係数 (t-CO2/kWh)	調整後排出係数 (t-CO2/kWh)	操作	
電気事業者	<input type="button" value="千kWh"/>						
出典事業者 からの購電 (千kWh)	<input type="button" value="千kWh"/>						
出典事業者の 非化石混焼の 使用状況(%)	<input type="button" value="千kWh"/>						
うち非化石 (千kWh)	<input type="button" value="千kWh"/>						
基礎排出係数 (t-CO2/kWh)	<input type="button" value="千kWh"/>						
調整後排出係数 (t-CO2/kWh)	<input type="button" value="千kWh"/>						
操作							

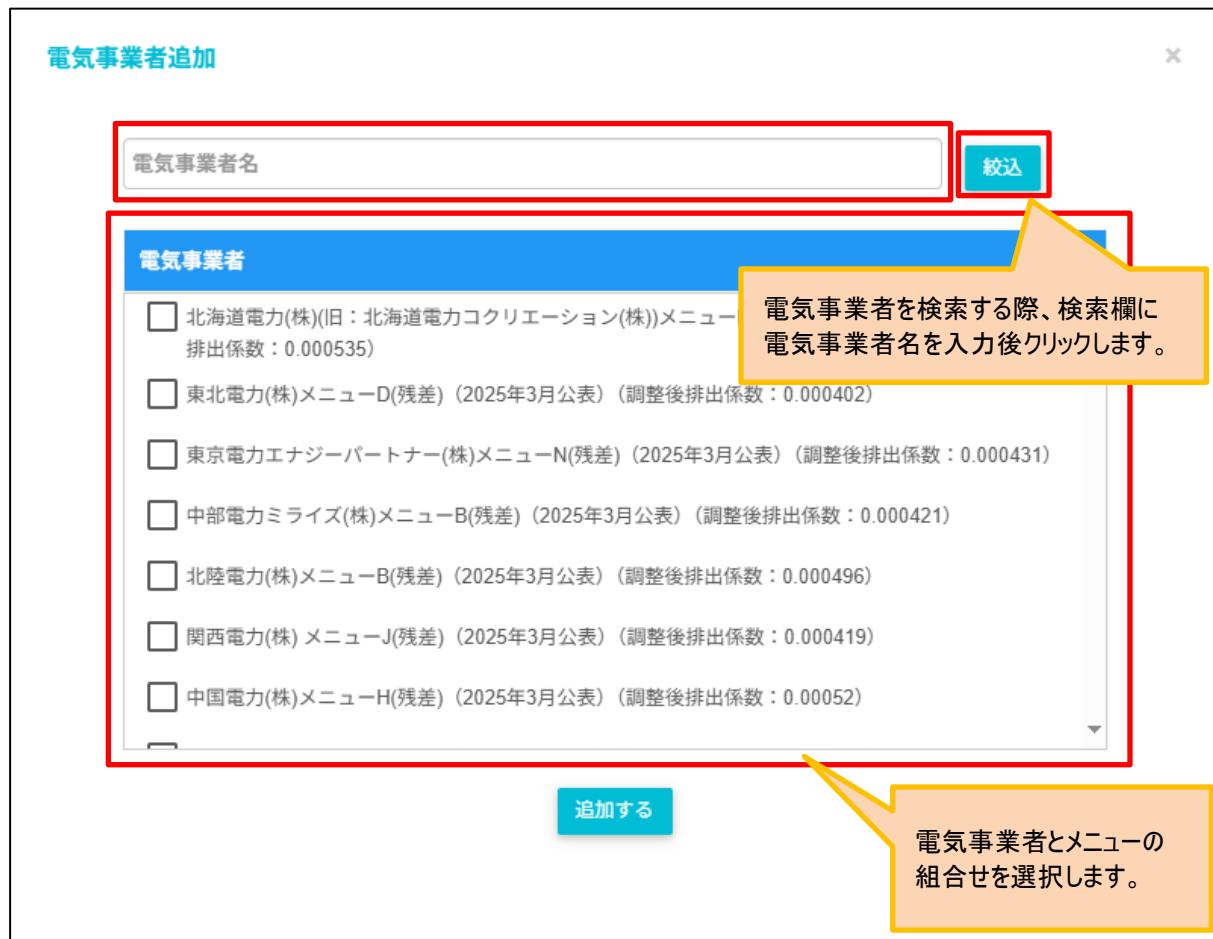
③ 「+電気事業者を追加する」ボタンをクリックすると、電気事業者追加画面が表示されます。「検索欄」に電気事業者名を入力し、表示された検索結果の中から、適切な電気事業者とメニューの組合せを選択します。

※再エネを使用した特別なメニューを契約していない場合は「残差」のメニューを選んでください。

(「残差」がない場合は「参考値」を選んでください。)

※離島供給または最終保障供給を受けている場合は、該当する「一般送配電事業者」を選択してください。

※現在契約している電気事業者が掲載されていない場合は「代替値」を選択してください。



④ 選択完了後に「追加する」ボタンをクリックします。



⑤ 電気事業者買電入力画面が表示され、選択した電気事業者が追加されています。

該当する電力会社の欄に買電量(単位千 kWh)を入力してください。(半角入力)

(昼間買電: 8 時から 22 時まで、夜間買電: 22 時から翌日 8 時まで)

電気事業者	電気事業者からの買電 (千kWh)	電気事業者の排出石炭量の算出基準 (t-CO2/kWh)	うち非化石 (千kWh)	基礎排出係数 (t-CO2/kWh)	調整後排出係数 (t-CO2/kWh)	操作
北海道電力(株)(旧: 北海道電力クリエーション(株))メニューE(残差) (2025年3月公表)	20	0.000535	0.000535	削除		

⑥ 購入した電気の使用量を入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Electricity Purchase Input' section of the reporting system. It includes a note about entering purchase volume (unit: kWh) and a detailed note about entering volumes from multiple power companies. A table lists purchases from Hokkaido Electric Power Co., Inc. (北海道電力(株)) for March 2025. The table has columns for '電気事業者' (Power Company), '電気事業者からの買電 (kWh)' (Purchased Electricity from Power Company (kWh)), '電気事業者の非化石燃費の使用状況(%)' (Non-fossil fuel usage ratio (%)), 'うち非化石 (kWh)' (Non-fossil fuel (kWh)), '基礎排出係数 (t-CO2/kWh)' (Basic Emission Factor (t-CO2/kWh)), '調整後排出係数 (t-CO2/kWh)' (Adjusted Emission Factor (t-CO2/kWh)), and '操作' (Operation). A yellow callout box highlights the 'この内容で入力する' (Input this content) button at the bottom right of the table area.

⑦ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

The screenshot shows the 'Energy Use / Purchase Volume Input' section. It includes notes on entering energy use and purchase volumes. A table lists energy use by power company for 2023 and 2024. The table has columns for 'エネルギーの種類' (Type of Energy), '対象割合' (Target Ratio), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), '単位' (Unit), '温更効率ガス排出量 (t-CO2)' (Efficiency Gas Emission (t-CO2)), '2023年度' (2023), '2024年度' (2024), '単位' (Unit), '温更効率ガス排出量 (t-CO2)' (Efficiency Gas Emission (t-CO2)), and '購入した未利用熱の量' (Purchased Unutilized Heat Volume). A red box highlights the table area.

2.6.7. 上記以外の買電入力画面

「一般電気事業者及び特定規模電気事業者に該当しない電気事業者」からの買電がある場合、「上記以外の買電」欄に買電量(単位千 kWh)を入力してください。

上記以外の買電のうち、「オフサイト PPA」または「その他」のうちバーチャル PPA などの系統電気を入力する場合は、電力メニューごとの使用量に加え、それらを月別または時間帯別に集計した「月別・時間帯別の使用量」を入力していただく必要があります。月別・時間帯別の使用量の入力方法については、「2.3. 電気使用量の月別・時間帯別入力」を参照してください。

- ①  をクリックし、上記以外の買電入力画面に遷移します。上記以外の買電入力画面のレイアウトは、エネルギーの種類によって異なります。



エネルギーの種類	対象年度	2023年度	2024年度	単位	購入した副生エネルギーの量		購入した未利用熱の量	
					温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
電気の使用				千kWh				千kWh
上記以外の買電				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: オフサイトPPA（重み付けなし）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: オフサイトPPA（重み付けあり）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 自己送付（非燃料由来の非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 自己送付（化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 自己送付（その他非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 他事業所からの供給（非燃料由来の非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 他事業所からの供給（化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: 他事業所からの供給（その他非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: その他（非燃料由来の非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: その他（化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh
: その他（その他非化石電気）				千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	千kWh

クリックします。

② 使用量等を入力します。

The screenshot shows a web-based electricity reporting application. On the left, a sidebar menu lists various report types and management functions. The main area displays a table for entering electricity usage details. A yellow callout box points to the '行追加' (Add Row) button at the top left of the table. Another yellow callout box points to the '削除' (Delete) button at the top right of the table. A yellow speech bubble in the upper right corner contains the text: '明細行を削除する際、クリックします。' (Click when deleting a detail row). The table has columns for '事業者名' (Business Name), '買電量 (kWh)' (Purchase Volume), '買電係数 (GJ/kWh)' (Purchase Factor), '種類' (Type), and checkboxes for '重み付けなし' (No Weighting) and '重み付けあり' (With Weighting). The table also includes a 'ご不明な点で入力する' (Enter if you have any questions) button.

事業者名 (メニュー名含む)	買電量 (kWh)	買電係数 (GJ/kWh)	種類
<input checked="" type="radio"/> 重み付けなし			
<input type="radio"/> 重み付けあり			
ご不明な点で入力する			

※他事業所から電気の供給を受けた場合は、「他事業所からの供給(自営線)」からエネルギー量を入力してください。

「他事業所からの供給(自営線)」では、補助画面からの入力が必要になります。をクリックすると表示される

画面で使用量を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックしてください。



上記以外の賃貸入力：他事業所からの供給（自営線）

他事業所が自家発電で発生させた電気を自営線により送電して使用した場合、その使用量（単位kWh）を入力してください。
また、「発電に使用したエネルギー」により、供給を受け電気の発電に使用したエネルギーの量を入力してください。
※数値は半角入力

行番号	使用量 (±kWh)	施設種別 (G=千kWh)	種別	送電元の事業所	発電に使用した エネルギーの順位 入力	操作
1	<input type="text"/>	<input type="button"/>	<input type="radio"/> 非燃料由来の非化石電気 <input type="radio"/> 燃料由来の化石電気 <input type="radio"/> 燃料由来の非化石電気	事業所を選択	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button"/>
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



自家発電（他事業所からの供給）

此高元の事業所にて自家発電に使用したエネルギーについて、発電量全量のうち送電した分の電気を発生させるために使用したエネルギーの量を入力してください。
※数値は半角入力

分類	使用量	単位
輸入一般炭	<input type="text"/>	t
輸入原木炭	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭コーカス	<input type="text"/>	t
自家発電（化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
自己送電（その他非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
他事業所からの供給（自営線）（非燃料由来の非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
他事業所からの供給（自営線）（化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
他事業所からの供給（自営線）（その他非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
その他（非燃料由来の非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
その他（化石電気）	<input type="text"/>	千kWh
その他（その他非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh

③ 入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Report Submission' screen with the following details:

- Top Bar:** Includes 'Report Submission' (提出年版), '2023版' (2023 Edition), 'Report Submission' (事業用), and 'Save Changes' (変更内容を保存).
- Left Sidebar:** Navigation menu with items like 'Home' (ホーム), 'Report Submission Flow' (報告書作成から提出までの流れ), 'Energy Use Input' (エネルギー使用量の入力), 'Other Input' (その他: 報告書情報の入力), 'Periodic Report Input' (定期報告書の入力), 'Medium-Long-term Plan Input' (中長期計画書の入力), 'Report Submission' (報告書の提出), 'External Integration - Data Output' (外部連携・データ出力), and 'Management Functions' (管理機能).
- Section Header:** 'Enter Other Consumption Input: Off-Site PPA' (上記以外の貢電入力：オフサイトPPA).
- Text Instructions:**
 - For electricity consumers and specific large-scale electricity consumers who do not have their own power generation, enter the electricity consumer's name where there is no power generation.
 - Enter electricity consumption (unit: kVWh) to be input.
 - If the consumer is a small-scale electricity consumer, enter the consumer's name.
 - If the consumer is a large-scale electricity consumer, enter the consumer's name (two names combined) and the consumer's name where there is no power generation.
 - 例: 〔電力会社〕(二名入力)
- Text Notes:**
 - ※ This section is for electricity consumers. It is for large-scale electricity consumers who do not have their own power generation, and it is for monthly or time-of-use electricity consumption input. It is not for medium-long-term plan electricity consumption input.
 - ※ Monthly electricity consumption input: 'Energy Use Input' (エネルギー使用量の入力) section (top part) of the 'Energy Use Input' (エネルギー使用量の入力) section. Monthly electricity consumption input: 'Time-of-use Electricity Consumption Input' (時間帯別電気消費量の入力) section (bottom part) of the 'Energy Use Input' (エネルギー使用量の入力) section. Time-of-use electricity consumption input: Click the 'Time-of-use Electricity Consumption Input' (時間帯別電気消費量の入力) button and input from the help guide.
- Form Fields:**

Other Electricity Consumer Name (Two names combined)		Electricity Consumption (kVWh)	Consumption Volume (GJ/kVWh)	Type	Action
Electricity Consumer A	100	3.6	<input checked="" type="radio"/> 追加なし <input type="radio"/> 追加あり	<button>Delete</button>	
- Bottom Section:** Shows electricity consumption data for various categories:
 - From business premises (自営地): (other business premises' natural gas)
 - From business premises (自営地): (natural gas from other sources)
 - From business premises (自営地): (other business premises' natural gas)
 - From other sources (非燃焼由来の化石電気)
 - From other sources (化石電気)Each row has a 'Edit' (編集) button.

④ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギー使用・販売量等を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。

入力は角丸入力で、また単位にご注意ください。数値は、少量であっても小数点以下まで入力してください(自動集計します)。実数がない場合は空欄にしてください。主な事業所が賃貸寓所または供給範囲の場合は、販売した熱量等の入力が必要です。

エネルギーの種類が多い場合は、ファイルからの読み込みを推奶いたします。読み込みファイルオーバーフォーマットはご自ら選択して下さい。また、複数のエネルギーの場合は、複数回の登録を行ってください。複数回登録する場合は、WEBS入力画面で入力してください。

電子工作(工場)、温泉などの施設の改修により需要が少なくなった場合(閉鎖)の電気の使用量は表示されません。

自家発電で発電させた電気を自家用所で「自家用所からの供給」、発電した電気の発生に使用したエネルギー量を、供給を目的とした事業所側で「供給事業所からの供給」、電気の量とあわせて入力してください。

また、LAPSS連携エネルギー使用量変更を行ふう。多量のエネルギー使用量の情報が登録された場合があつたため、ご注意ください。

LAPSS連携エネルギー使用量変更

前年度のエネルギーの種類を選込み ファイルを選択 選択されていません ファイルから読み込み ダウンロード

+エネルギーの種類を追加する 電気需要最適化を読んだ電気使用量の別別、時間別別入力

抽出件数を表示

エネルギーの種類	対象年度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未燃熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度
電気の使用											
上記以外の電気			千kWh				千kWh				
：オフサイトPPA(重み付けなし)		100	千kWh	□	0		千kWh				
：オフサイトPPA(重み付けあり)			千kWh	□			千kWh				
：自己託送(非燃料由来の非化石電気)			千kWh	□			千kWh				
：自己託送(化石電気)			千kWh	□			千kWh				
：自己託送(その他非化石電気)			千kWh	□			千kWh				

2.6.8. 自家発電補助画面

「自家発電量に係る温室効果ガス排出量及び発電量」を算出するため、「当該事業所の自家発電量及び電気を発生させるために使用した燃料の使用量」を入力してください。

- ①  をクリックし、自家発電補助画面に遷移します。自家発電補助画面のレイアウトはエネルギーの種類によって異なります。

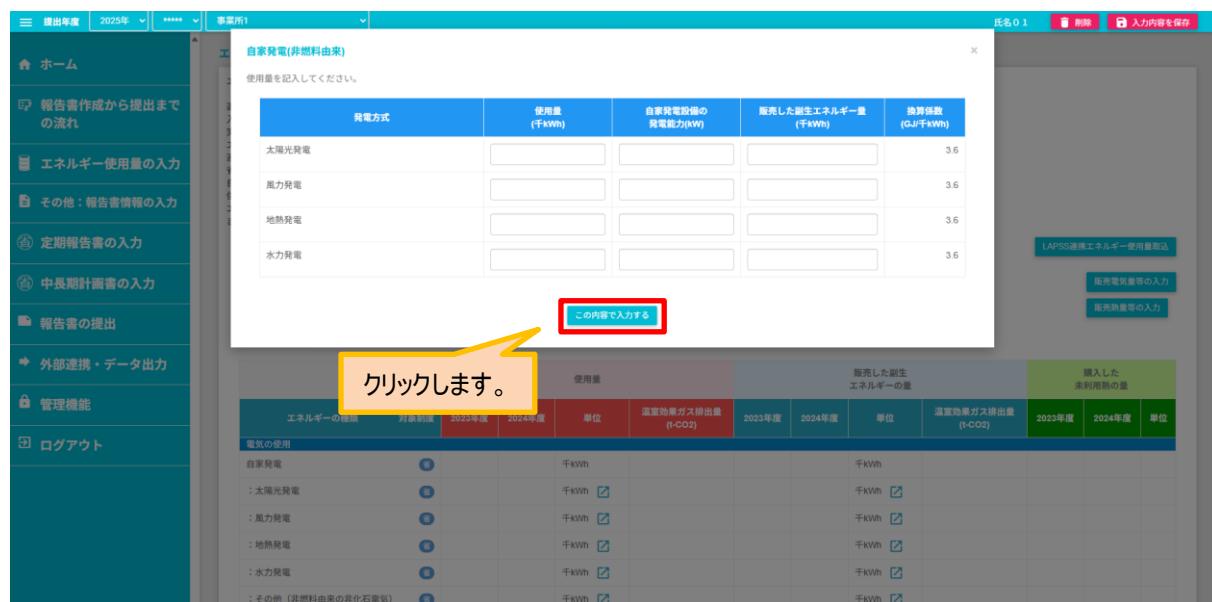


エネルギー使用・販売量の入力

選択している事業所の11箇目のエネルギー使用量及び販売した再生エネルギーの量等を入力します。
入力は半角入力、また単位にご注意ください。数値は、少しあっても小数点以下まで入力してください(自動計算します)。
実績がない場合空欄でOKです。ただし、たとえば発電所または供給事業の場合は、販売した熱量等の入力が必要です。
このページでは、多くの項目が表示されていますが、このうちの1つ目であるエネルギーの種類は、オーバーフローでこちら
選択用エネルギー一覧表で選択されたエネルギー選択用は、本画面ではなく定期報告書のWEB入力画面に入力してください。
自家発電で発生させた電気を他の事業所に供給して販売を受けた場合、送電した電気の発生に使用したエネルギー量を、
供給を受けた事業所側で「他の事業所からの供給」電気の量と一緒に記入して下さい。
エネルギー使用量を一括で登録する機能はありません。一度ずつ削除をお願いします。
また、LAPSS連携エネルギー使用量収入を行うと、多量のエネルギー使用量の情報が登録される場合があるため、ご注意ください。

エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
自家発電				千kWh				千kWh				
:太陽光発電				千kWh				千kWh				
:風力発電				千kWh				千kWh				
:地熱発電				千kWh				千kWh				
:水力発電				千kWh				千kWh				
:その他（非燃料由来の非化石電気）				千kWh				千kWh				
:その他（燃料）化石				千kWh				千kWh				
:その他（燃料）非化石				千kWh				千kWh				
:その他（燃料（助燃材））化石				千kWh				千kWh				
:その他（燃料（助燃材））非化石				千kWh				千kWh				
:その他（熱）化石				千kWh				千kWh				
:その他（熱）非化石				千kWh				千kWh				

- ② 自家消費した使用量を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。



自家発電(非燃料由来)

使用量を記入してください。

発電方式	使用量 (千kWh)	自家発電設備の 発電能力(kW)	販売した再生エネルギー量 (千kWh)	換算係数 (GJ/kWh)
太陽光発電				3.6
風力発電				3.6
地熱発電				3.6
水力発電				3.6

エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
自家発電				千kWh				千kWh				
:太陽光発電				千kWh				千kWh				
:風力発電				千kWh				千kWh				
:地熱発電				千kWh				千kWh				
:水力発電				千kWh				千kWh				
:その他（非燃料由来の非化石電気）				千kWh				千kWh				

③ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

The screenshot shows the 'Energy Use · Electricity Consumption' input screen. The table displays electricity consumption by source for the current year:

エネルギーの種類	対象年度	使用量			発生した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量				
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
自家発電		千kWh		千kWh		千kWh		千kWh		千kWh		
太陽光発電		100	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		70	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		90	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>
風力発電		200	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		110	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		110	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>
地熱発電		300	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		70	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>		70	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>
水力発電		400	千kWh	<input checked="" type="checkbox"/>								
その他(非燃料由来の非化石電気)		千kWh				千kWh						

2.6.9. 熱補助画面

「販売した熱量に係る温室効果ガス排出量及び発熱量」を算出するため、「当該事業所の熱を発生させるために使用したエネルギーの使用量」を入力してください。

エネルギーの種類として「熱の利用」を選択した場合、他者から購入した未利用熱の量を入力する必要があります。他者から購入した未利用熱の量は、エネルギー使用量の入力画面の「購入した未利用熱の量」欄に入力してください。なお、未利用熱とは、「自社内で用途がないため、他事業者へ提供しなければ、省エネ法判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず廃棄することが見込まれる熱」を指します。

※別途未利用熱であることを証明する書類として『未利用熱に関する覚書』を定期報告書に添付してください。添付の方法は「5.3.6添付資料の登録」を参照してください。

The screenshot shows the 'Energy Use - Purchase Volume Input' page. On the left, there's a sidebar with navigation links like Home, Report Submission, Energy Use Input, etc. The main area has a header 'Energy Use - Purchase Volume Input' with sub-sections for 'Purchase Volume Input' and 'Purchase Heat Volume Input'. A note at the top says 'Please enter the volume of heat used by others to purchase.' Below this are sections for 'Purchase Volume Input' and 'Purchase Heat Volume Input'. A red box highlights the 'Purchase Heat Volume Input' section, which contains a table:

Energy Type	Period	Purchase Volume			Purchase Heat Volume			Purchased Heat Volume		
		2023	2024	Unit	2023	2024	Unit	2023	2024	Unit
Industrial Gas			GJ			GJ			GJ	
Industrial Gas Other Than Natural Gas			GJ			GJ			GJ	
Hot Water			GJ			GJ			GJ	
Cold Water			GJ			GJ			GJ	
Other Heat (Natural Heat)			GJ			GJ			GJ	
Natural Heat			GJ			GJ			GJ	
Geothermal			GJ			GJ			GJ	
Thermal Power			GJ			GJ			GJ	
Solar Heat			GJ			GJ			GJ	
Wind Heat			GJ			GJ			GJ	
Other Natural Heat			GJ			GJ			GJ	

をクリックすると、熱補助画面に遷移します。表示される熱補助画面のレイアウトは、エネルギーの種類によって異なります。入力したいエネルギーの種類が、以下の図の「①」に該当する場合は「2.6.9.1. 補助画面から入力する方法」を、「②」に該当する場合は「2.6.9.2. 直接入力する方法」を参照してください。



エネルギーの種類	対象年度	使用量		販売した副生エネルギーの量		購入した未利用料の量					
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度
熱の使用											
産業用蒸気	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
産業用以外の蒸気	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
温水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
冷水	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
その他の熱（自然熱を除く）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
自然熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
：地熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
：温湿度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
：太陽熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
：雪氷熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	
：その他の自然熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GJ	

2.6.9.1. 補助画面から入力する方法

- ① をクリックし、熱補助画面に遷移します。熱補助画面のレイアウトはエネルギーの種類によって異なります。熱補助画面での使用量等の入力方法については、エネルギーの種類として「産業用蒸気」を選択した場合は②のうち「(i) 「産業用蒸気」を選択した場合」を、「産業用以外の蒸気」、「温水」、「冷水」を選択した場合は②のうち「(ii) 「産業用以外の蒸気」、「温水」、「冷水」を選択した場合」を参照してください。

- ② 使用量等を入力します。エネルギーの種類として「産業用蒸気」を選択した場合は(i)、「産業用以外の蒸気」、「温水」、「冷水」を選択した場合は(ii)を参照してください。

(i) 「産業用蒸気」を選択した場合

1. 使用量等を入力してください。販売した副生エネルギー量を入力する場合は、をクリックします。行を追加したい場合は、「行追加」ボタンをクリックします。

2.  をクリックすると、販売した副生エネルギー量を入力する画面が表示されます。本画面の操作方法については、手順③以降を参照してください。



The screenshot shows the 'Reported Energy Input' screen with the 'Manufacturing Heat' section selected. The interface includes a sidebar with navigation links like 'Home', 'Report Generation', 'Energy Input', etc. The main area has several input fields for different types of energy input, each with a dropdown menu for units (GJ, kWh, t). A table at the bottom lists energy input categories (e.g., Imported General, Imported Raw Materials, Imported Coke) with their respective usage amounts and units. A blue button at the bottom right says 'Enter this content'.

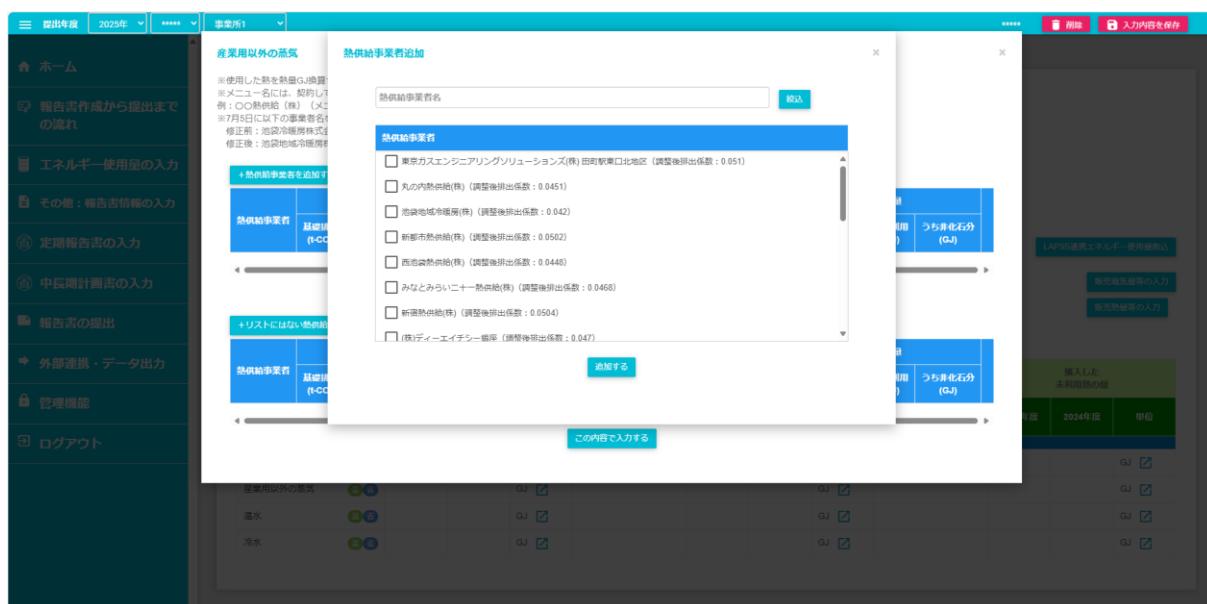
分類	使用量	単位
輸入一般炭	<input type="text"/>	t
輸入原料炭	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭コーカス	<input type="text"/>	t

(ii) 「産業用以外の蒸気」、「温水」、「冷水」を選択した場合

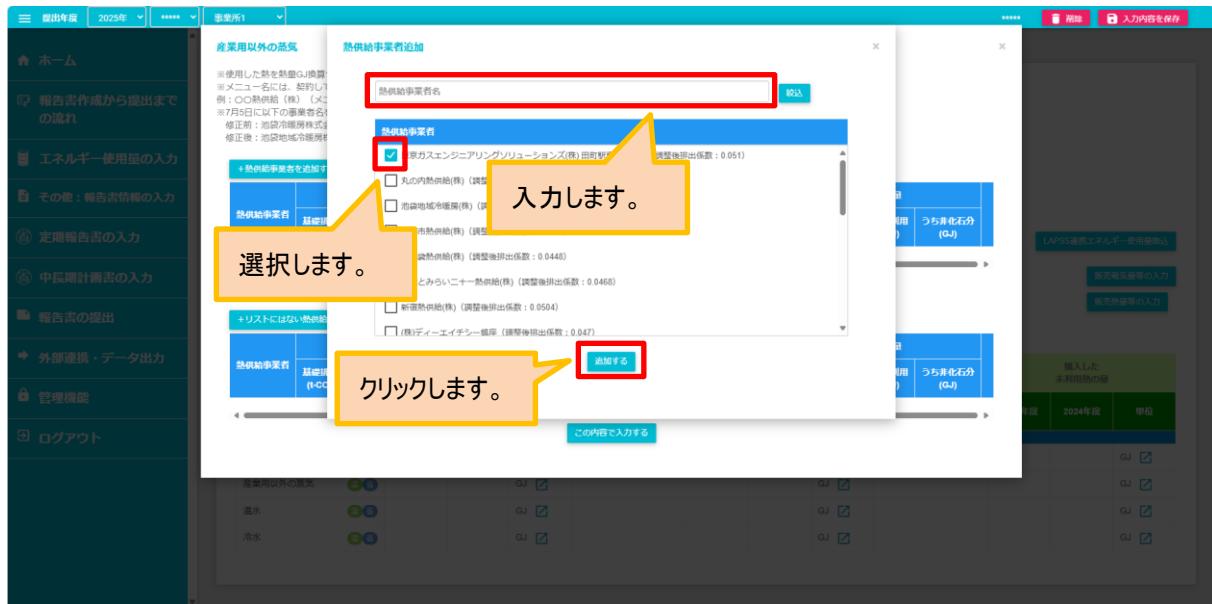
1. 使用量等を入力してください。行を追加するには「+熱供給事業者を追加する」ボタンをクリックします。「+熱供給事業者を追加する」ボタンをクリックすることで表示されるリストに存在しない熱供給事業者を追加するには、「+リストにはない熱供給事業者を追加する」ボタンをクリックします。



2. 「+熱供給事業者を追加する」ボタンをクリックすると、熱供給事業者の選択画面が表示されます。



3. 「検索欄」に熱供給事業者名を入力し、表示された検索結果の中から事業者を選択して「追加する」ボタンをクリックします。



4. 追加された行に情報を入力してください。



5. 販売した副生エネルギー量を入力する場合は、をクリックします。



事業用以外の蒸気										
熱供給事業者	基底排出係数 (t-CO2/GJ)	調整後排出係数 (t-CO2/GJ)	熱貯蔵係数	換算係数 (GJ)	使用量(GJ)	うち非化石分 (GJ)	販売した副生 エネルギー量(GJ)	購入した未利用熱量		
東京ガスエンジニアリングソリューションズ(有)田町駒込口北地区	0.051	0.051		1.19	1.19			1.19	1.19	

+リストにはない熱供給事業者を追加する										
熱供給事業者	基底排出係数 (t-CO2/GJ)	調整後排出係数 (t-CO2/GJ)	熱貯蔵係数	換算係数 (GJ)	使用量(GJ)	うち非化石分 (GJ)	販売した副生 エネルギー量(GJ)	購入した未利用熱量		
		0.0532	0.0532		1.19	1.19		1.19	1.19	

6. をクリックすると、販売した副生エネルギー量を入力する画面が表示されます。本画面の操作方法については、手順③以降を参照してください。



分類	使用量	単位
輸入一般炭		t
輸入原木炭		t
輸入無煙炭		t
石炭コーカス		t

- ③ 「液化石油ガス(LPG)」の項目では LPG 換算画面から値を入力できます。 をクリックします。



分類

分類	使用量	単位
コールタール	<input type="text"/>	t
ナフサ	<input type="text"/>	kl
液化石油ガス (LPG)	<input type="text"/> 	t

この内容で入力する



この内容で入力する

報告書作成から提出までの流れ

エネルギー使用量の入力

その他：報告書情報の入力

定期報告書の提出

中長期計画書の入力

外部連携・データ出力

ログアウト

事業用以外の LPG換算

LPG使用量が立方メートルの場合、LPGの供給事業者に立方メートルあたりのトンへの換算係数を確認して、トンに換算してください。
確認が困難な場合は、下記の立方メートルの欄に使用量を入力してください。

立方メートル	換算係数
プロパン	半角数字 x1/502
ブタン	半角数字 x1/55
プロパン・ブタンの混合	半角数字 x1/458

この入力値はいつたん既にから聞いた場合も残っています。

販売した熱量に係る満塗効率ガス排出量及び発熱量を算出するため、当該事業所の熱を発生させるために使用したエネルギーの使用量を入力してください。

最初に以下の当該事業所で発生させた熱と分類ごとの使用量を入力してください。

当該事業所で発生させた熱 G J

分類	使用量	単位
コールタール	<input type="text"/>	t
ナフサ	<input type="text"/>	kl
液化石油ガス (LPG)	<input type="text"/> 	t

詳しくは「2.6.2. LPG 换算画面」を参照してください。

- ④ 「都市ガス」の項目では都市ガス供給業者等入力画面から値を入力できます。 をクリックします。

分類	使用量	単位
液化天然ガス（LNG）	<input type="text"/>	t
その他可燃性天然ガス	<input type="text"/>	千m ³
都市ガス	<input type="text"/>	千m ³ 
コークス炉ガス	<input type="text"/>	千m ³

 この内容で入力する

都市ガス供給業者等入力画面

都市ガス供給事業者名、ガスグループ(例：13A)、換算係数(GJ/千m³)を入力してください。

※**都市ガスの利用に伴う排出量算定についてはこちらをご参照ください。**

※換算係数[GJ/Ft³]は標準状態の値を表示しており、手入力する際も標準状態の値を入力してください。

排出係数[CO₂/千m³]は標準環境状態の値を表示しており、手入力する際も標準環境状態の値を入力してください。

入力いただいた使用量[千m³]は、エネルギー使用量の算定においては標準状態の値として扱い、排出量算定においては標準環境状態の値として扱うため、標準状態・標準環境状態に換算して各状態の使用量を入力いただく必要はございません。

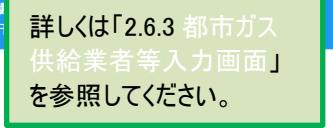
※7月4日（木）から事業者別排出係数も反映いたしました。

7月3日（水）までに実測等に基づく係数や代替値で算定して提出いただいた方は、修正して提出し直していく必要があります。

○事業者別排出係数一覧
https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_gas_coefficient_rev2.pdf

※東京瓦斯株式会社と契約している方は、7月4日（木）以降は「東京瓦斯」を選択してください。（「東京ガスネットワーク」ではなく）

7月3日（水）までに東京ガスネットワークを選択して提出済みの方は、修正して提出し直していく必要があります。

 + 都市ガス事業者を追加する						
都市ガス供給事業者名	ガスグループ	換算係数 (GJ/千m ³)	基礎排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	単位 (t)	
						 詳しくは「2.6.3 都市ガス供給業者等入力画面」を参照してください。
 + リストにない都市ガス事業者を追加する						
都市ガス供給事業者名	ガスグループ	換算係数 (GJ/千m ³)	基礎排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /千m ³)	使用量 (千m ³)	販売した副生エネルギー量 (千m ³)

 この内容で入力する

この入力値はいったん閉じてから開いた場合も残っています。

⑤ 「電気事業者からの買電(化石電気)」、「電気事業者からの買電(非化石電気)」の項目では電気事業者買

電入力画面から値を入力できます。 をクリックします。

クリックします。

分類	使用量	単位
電気事業者からの買電（化石電気）	<input type="text"/>	千kWh 
電気事業者からの買電（非化石電気）	<input type="text"/>	千kWh 
オフサイトPPA（重み付けなし）	<input type="text"/>	千kWh 
オフサイトPPA（重み付けあり）	<input type="text"/>	

[この内容で入力する](#)

電気事業者買電入力

該当する電力会社の欄に買電量(単位千kWh)を入力してください。(半角入力)
(昼間買電：8時から22時まで、夜間買電：22時から翌日6時まで)
※沖縄電力会社が1日供給している場合は、沖縄電力の功率測定時間に即して入力することが可能
※半角で入力してください。全角で入力した場合自動集計されません。
※残差が参考値のメニュー以外を選択している場合は該当するメニューを選んでください。(残差と参考値についての説明は[こちら](#))
(注) メニューの選択間違いが頻発しておりますのでよくご確認ください。
※一般送配電事業者は、離島供給や最終保険供給の場合のみ使用してください。
※7月中に審査に報告をする場合、「月公表」とあるメニューを選択してください。
※小売電気事業者が小売への事業移管等により、小売電気事業を行わなくなった場合、「使用不可」のメニューしか表示されない場合があります。
報告年度に契約されていた事業者の名称を改めてご確認ください。
もし、契約されている小売電気事業者について「使用不可」のメニューしかない場合は、「代替値」をご使用ください。
※省エネ法対象事業者は、電力メニューごとの使用量と、それらを月別または時間帯別に集計した月別・時間帯別使用量を双方入力していただくなっています。
月別・時間帯別使用量は、「エネルギー使用・販売量の入力」画面上部の「電気使用量の月別・時間帯別入力」ボタンをクリックし、
入力補助画面より入力してください。

+電気事業者を追加する						
電気事業者	電気事業者からの買電(千kWh)	電気事業者の非化石運営の使用状況(%)	うち非化石(千kWh)	基礎排出係数(t-CO2/kWh)	調整後排出係数(t-CO2/kWh)	操作
+一般電気事業者・特定規模電気事業者以外の電気事業者を追加する	<input type="text"/>	操作				
電気事業者	電気事業者からの買電(千kWh)	電気事業者の非化石運営の使用状況(%)	うち非化石(千kWh)	基礎排出係数(t-CO2/kWh)	調整後排出係数(t-CO2/kWh)	操作

[この内容で入力する](#)

この入力値はいったん閉じてから開いた場合も残っています。

詳しくは「[2.6.6 電気事業者買電入力画面](#)」を参照してください。

- ⑥ 「オフサイト PPA(重み付けなし)」、「オフサイト PPA(重み付けあり)」、「自己託送(非燃料由来の非化石電気)」、「自己託送(化石電気)」、「自己託送(その他非化石電気)」、「その他(非燃料由来の非化石電気)」、「その他(化石電気)」、「その他(その他非化石電気)」の項目では上記以外の買電入力画面から値を入力できます

ます。 をクリックします。

クリックします。

分類	使用量	単位
オフサイトPPA (重み付けなし)		千kWh 
オフサイトPPA (重み付けあり)		千kWh 
自己託送 (非燃料由来の非化石電気)		千kWh 
自己託送 (化石電気)		千kWh 

この内容で入力する

上記以外の買電入力：オフサイトPPA

一般電気事業者及び特定規模電気事業者に該当しない電気事業者から買電がある場合、買電量（単位千kWh）を入力してください。

※数値は半角入力

※電気事業者名にはメニュー名を含めて入力してください。メニュー名が存在しない場合、電気事業者名のみ入力してください。

例：○○電力(株) (メニュー)

※省エネ法対象事業者は、電力メニューごとの使用量と、それらを月別または時間帯別に集計した月別 / 時間帯別使用量を双方入力していただく必要があります。

月別 / 時間帯別使用量は、「エネルギー使用・販売量の入力」画面上部の「電気使用量の月別・時間帯別入力」ボタンをクリックし、入力補助画面より入力してください。

行追加

その他電気事業者名
(メニュー名含む)

買電量
(千kWh)

換算係数
(GJ/千kWh)

種別

操作

この内容で入力する

詳しくは「2.6.7 上記以外の買電入力画面」を参照してください。

- ⑦ 热を発生させるために使用したエネルギーの使用量を一覧に入力している状態で「下記の情報から自動計算」ボタンをクリックすると排出係数と調整後排出係数に計算結果が入力されます。
- 热を発生させるために使用したエネルギーの使用量の内訳は、報告書に反映される販売量に係る CO2 捨除量算定にも利用されるため、必ず入力してください。

The screenshot shows the 'Energy Usage Reporting' section of the system. A red box highlights the 'Calculation from below information' button. A yellow callout bubble says: 'クリックすると自動計算結果が入力されます。' (Click to enter automatic calculation results). Another yellow callout bubble points to the input field for 'Heat energy used for generation' with the text: 'エネルギー使用量の内訳を入力します。' (Enter the breakdown of energy usage).

項目	使用量	単位
熱エネルギー	1000	G.J
輸入一般用		I
輸入原燃料		I
輸入熱源		I
石油コーカス		I

- ⑧ 当該事業所の販売した副生エネルギー(熱)の量を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same reporting interface. A red box highlights the input field for 'Heat energy sold'. A yellow callout bubble says: '入力します。' (Input). Another yellow callout bubble points to the 'Enter this content' button with the text: 'クリックします。' (Click).

項目	使用量	単位
熱エネルギー	1000	G.J
輸入一般用		I
輸入原燃料		I
輸入熱源		I
石油コーカス		I

⑨ 熱補助画面に戻ります。「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use Input' section of the LAPSS system. It displays a table for heat auxiliary input with columns for menu name, output volume, and various energy types. A red box highlights the 'この内容で入力する' button, which is overlaid by a yellow callout box containing the text 'クリックします。' (Click here).

⑩ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

The screenshot shows the 'Energy Use - Electricity Consumption' section of the LAPSS system. It displays a table for electricity consumption with columns for energy type, target period, and various energy types. A red box highlights the '電気需要量を反映する' button, which is overlaid by a yellow callout box containing the text 'クリックします。' (Click here).

2.6.9.2. 直接入力する方法

- ①  をクリックし、熱補助画面に遷移します。



The screenshot shows the LAPSS system interface. The main menu on the left includes options like 'Home', 'Report Submission Flow', 'Energy Use Input', 'Others: Report Submission Information', 'Periodic Report Submission', 'Medium-Long Term Plan Submission', 'Report Submission', 'External Integration / Data Output', 'Management Functions', and 'Logout'. The current page is 'Energy Use - Sales Volume Input'. A sub-menu on the right lists 'New energy source energy input', 'Sales volume input', and 'Sales quantity input'. The main content area displays tables for energy use, sales volume, and purchase volume across various energy sources and years. A yellow callout box highlights the 'Add' button in the 'Other Heat' section of the sub-menu.

- ② 使用量等を入力してください。行を追加したい場合は、「追加」ボタンをクリックします。



This screenshot shows the LAPSS system with a modal dialog for adding new energy source data. The dialog has a blue header 'Add' and a table with columns: Energy Type, Factor Period, 2023 Year, 2024 Year, Unit, Sales Volume (t-CO2), Purchase Volume (t-CO2), 2023 Year, 2024 Year, and Unit. The 'Add' button is highlighted with a yellow callout. Below the dialog, the main table for 'Sales Volume Input' is shown, with a yellow callout pointing to the 'Sales Volume Input' section. The main table has columns: Energy Type, Factor Period, 2023 Year, 2024 Year, Unit, Sales Volume (t-CO2), Purchase Volume (t-CO2), 2023 Year, 2024 Year, and Unit.

③ 「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Other Heat' input screen. On the right, there is a table for inputting heat usage. A yellow callout with the text 'クリックします。' (Click) points to a red-bordered button labeled 'この内容で入力する' (Input this content).

熱の種類	熱使用量			販売した副生エネルギー量(GJ)		購入した未利用熱量		
	換算係数	使用量(GJ)	うち再生化石分(GJ)	販売した副生エネルギー量(GJ)	うち再生化石分(GJ)	購入した未利用熱量(GJ)		
熱 <small>J</small>	1.5	100	80	50	40	20		

④ エネルギー使用量の入力画面が表示され、入力内容が反映されています。

The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' screen. On the right, there is a table for inputting energy use. A red box highlights the 'Energy Use' section, showing the values entered in the previous step.

エネルギーの種類	対象制度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度
熱の使用											
その他の熱(自然熱を除く)		100	GJ <input checked="" type="checkbox"/>		50	GJ <input checked="" type="checkbox"/>		30	GJ <input checked="" type="checkbox"/>		
自然熱				GJ		GJ		GJ		GJ	
:地熱				<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
:温水熱				<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
:太陽熱				<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
:雪氷熱				<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	

2.6.10. その他の非化石燃料等入力画面

リストにない非化石燃料を使用した場合は、ここで使用量等を入力してください。

※例外として、リストにある非化石燃料を使用した場合であっても、独自の熱量換算係数と法定の排出係数を使用する場合は、ここで入力してください。

テナントにおけるエネルギー使用量を推計する場合は、以下 □ をクリックすると遷移する「その他の燃料テナント等入力画面」において、使用量を入力します。 詳しい操作方法については、「2.6.5. その他の燃料テナント等入力画面」を参照してください。											
エネルギーの種類	対象制度	使用量				販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量		
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度
非化石燃料の使用											
テナント空調等推計値	省			GJ	□	クリックします。			GJ		

① をクリックし、その他の非化石燃料等入力画面に遷移します。

② その他の非化石燃料の使用量等を入力します。

他の非化石燃料入力

他の非化石燃料を以下に入力してください。
 (※1) 数値は単角で入力してください。
 (※2) 記入した燃料の単位あたりの発熱量(換算係数)については、その内容を説明する「非化石燃料の熱量換算係数の根拠となる資料」を作成し、報告書作成時に添付する必要があります。
 (※3) エネルギーと運河双方で規定されているエネルギーを独自の換算係数を用いて報告する場合、「その他名称」欄には誤りのないよう以下の名称をコピー・ペーストして入力してください。
 PDF, RPF, 報告書入力方法規定
 入力方法規定
 運河
 省エネ
 自然
 供給
 工事
 また
 (※4) 個人手帳で規定されているエネルギーと運河双方で規定されているエネルギーを独自の換算係数を用いて報告する場合、「その他名称」欄には誤りのないよう以下の名称をコピー・ペーストして入力してください。
 温度、木材、木質廃材、バイオガス
 (※5) 「(廃)プラスチック類から製造された燃料(化水素油)」
 (※6) ナンバーに記入する
 行追加

その他名称	エネルギー使用量		発熱量		操作
	換算係数	エネルギー量 (数値)	換算係数	エネルギー量 (数値)	
燃料①	1.3	100	1.5	50	削除

この内容を入力する

テント空調等推計値
その他燃料

LAPSS連携エネルギー使用量登込

③ 入力後、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

他の非化石燃料入力

他の非化石燃料を以下に入力してください。
 (※1) 数値は単角で入力してください。
 (※2) 記入した燃料の単位あたりの発熱量(換算係数)については、その内容を説明する「非化石燃料の熱量換算係数の根拠となる資料」を作成し、報告書作成時に添付する必要があります。
 (※3) 個人手帳で規定されているエネルギーと運河双方で規定されているエネルギーを独自の換算係数を用いて報告する場合、「その他名称」欄には誤りのないよう以下の名称をコピー・ペーストして入力してください。
 温度、木材、木質廃材、バイオガス
 (※4) 個人手帳で規定されているエネルギーと運河双方で規定されているエネルギーを独自の換算係数を用いて報告する場合、「その他名称」欄には誤りのないよう以下の名称をコピー・ペーストして入力してください。
 温度、木材、木質廃材、バイオガス、その他(温水、廃棄物)、水道
 (※5) 「(廃)プラスチック類から製造された燃料(化水素油)」もしくは「(廃)プラスチック類から製造された燃料(化水素油)」もしくは「(廃)プラスチック類から製造された燃料(化水素油)」について報告する場合、「その他名称」欄には誤りのないよう以下の名称をコピー・ペーストして入力してください。
 (※6) ナンバーに記入する

その他名称	エネルギー使用量		発熱量		操作
	換算係数	エネルギー量 (数値)	換算係数	エネルギー量 (数値)	
燃料①	1.3	100	1.5	50	削除

この内容で入力する

クリックします。

テント空調等推計値
その他燃料

LAPSS連携エネルギー使用量登込

④ エネルギー使用量の入力画面が表示されます。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギー使用・販売量等を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。
 入力は単量入力、また単位をご注意ください。数値は、少量であるて小数点以下まで入力してください(自動集計します)。
 実績がない場合は空欄にしてください。またある事業が発電または熱供給業の場合、販売した数量等の入力が必要です。
 エネルギーの種類が多い場合は、ファイルからの読み込みを推奨いたします。読み込みファイルのカーマットはどちら選択者エネルギー一括読み込みされたエネルギー使用量は、本画面ではなく定期報告書のWEB入力画面で入力してください。
 省エネ法(工場)・温排水法の制度改正により変更があった活動項目は、前年度の使用量は表示されません。
 自家発電で発生させた電気を他の事業所に送電した供給の量、送電した電気の発生に使用したエネルギー量を、供給を受けた事業所にて「他の事業所からの供給」電気の量とあわせて入力してください。
 エネルギー使用量を一括で削除する機能はありません。一括ずつ削除をお願いします。
 また、LAPSS連携エネルギー使用量登込を行なうと、多量のエネルギー使用量情報を登録される場合があるため、ご注意ください。

前年度のエネルギーの種類を読み込み
ファイルを選択
選択されていません
ファイルから読み込み
ダウンロード

+エネルギーの種類を追加する
電気需要基準化を踏まえた電気使用量の月別・時間別入力

排出係数を表示

エネルギーの種類	対象年度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO2)	2023年度	2024年度
非化石燃料の使用											
テント空調等推計値		GJ			GJ			GJ		GJ	
その他燃料		GJ			GJ			GJ		GJ	

LAPSS連携エネルギー使用量登込
販売電気量等の入力
販売熱量等の入力

○添付資料のアップロード

その他の非化石燃料を報告する場合、「非化石燃料の換算係数の根拠となる資料」の添付が必要です。ヘッダーの添付資料アップロードボタンより資料をアップロードすることができます。ファイルの種類に「非化石燃料の換算係数の根拠となる資料」を選択し、資料をアップロードしてください。詳しい操作方法については、「5.3.6添付資料の登録」を参照してください。詳しい操作方法については、「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

添付資料アップロード

ファイルの種類 (選択なし) 新規アップロード

ファイル形式 (選択なし)

ファイル選択

添付資料
過年度の原単位分母修正に係る説明書
非化石証書の口座残高証明書
非化石燃料の換算係数の根拠となる資料
回収した二酸化炭素と使途の証明書

選択します。

閉じる

2.6.11. 販売電気量、熱量等の入力画面

「主たる事業が発電所または熱供給業」の場合に、「販売した電気・熱を発生させるために使用したエネルギーの使用量」を入力する画面です。

この画面で入力した内容をもとに「他人に供給した発電量及び電気の供給に係るエネルギー起源 CO2 排出量」または「他人に供給した熱の供給に係るエネルギー起源 CO2 排出量」が算出され、当該事業所の CO2 排出量から控除されます。

販売した電気量、熱量によってクリックするボタンが異なります。

販売したエネルギーが電気の場合は、「販売電気量等の入力」をクリックします。

販売エネルギーが熱の場合は「販売熱量等の入力」をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' page. On the left, there's a sidebar with various menu items like Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, etc. The main area has a large text box for inputting energy use. At the bottom right of this box, there are two red-bordered buttons: 'Sales Electricity Volume Input' and 'Sales Heat Volume Input'. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to the 'Sales Electricity Volume Input' button.

2.6.11.1. 販売したエネルギーが電気の場合

- ① 販売電力量等の入力画面で、「当該事業所の電気販売のために使用したエネルギーの使用量」を入力してください。

The screenshot shows the 'Sales Electricity Usage Input' screen. On the right, there's a table for entering electricity usage by category. A red box highlights the 'Emissions Factor' section where the user enters values for various fuel types. An orange callout box points to the 'Calculate Automatically from Below' button.

分類	使用量	単位
輸入一般炭	<input type="text"/>	t
輸入原科炭	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭コークス	<input type="text"/>	t

この内容で入力する

この入力値はいったん閉じてから開いた場合も残っています。

- ② 「下記の情報から自動計算」ボタンをクリックすると、排出係数と調整後排出係数の計算結果が反映されます。

The screenshot shows the same screen after clicking the 'Calculate Automatically from Below' button. The 'Emissions Factor' section now displays calculated values (0.232551 and 0.232551) instead of empty input fields. An orange callout box points to the 'Calculate Automatically from Below' button.

分類	使用量	単位
輸入一般炭	100	t
輸入原科炭	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭コークス	<input type="text"/>	t

③ 当該事業所の販売電気量を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

④ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。

入力内容に基づいた計算結果は、特定-第12表に反映されます。

2.6.11.2. 販売したエネルギーが熱の場合

- ① 販売熱量等の入力画面で、「当該事業所の熱を発生させるために使用したエネルギーの使用量」を入力してください。

新規熱量等の入力

当該事業所の販売熱量 数値は半角入力
GJ

当該事業所の新規熱量 うち廃熱由来のもの
GJ

廃棄物燃料以外の燃料の使用量から算定した
排出係数

廃棄物燃料以外の燃料の使用量から算定した
調整後排出係数

下記の情報から自動計算

廃棄物燃料の使用量から算定した
排出係数

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
排出係数

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
調整後排出係数

最初に以下の当該事業所で発生させた熱と分類ごとの使用量を入力してください。

分類	使用量	単位
輸入一般炭	<input type="text"/>	t
輸入原燃料	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭 コークス	<input type="text"/>	t

この内容で入力する

この入力欄はいったん閉じてから開いた場合も残っています。

- ② 「下記の情報から自動計算」ボタンをクリックすると、排出係数と調整後排出係数の計算結果が反映されます。

新規熱量等の入力

当該事業所の販売熱量 数値は半角入力
GJ

当該事業所の新規熱量 うち廃熱由来のもの
GJ

廃棄物燃料以外の燃料の使用量から算定した
排出係数

廃棄物燃料以外の燃料の使用量から算定した
調整後排出係数

廃棄物燃料の使用量から算定した
排出係数

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
排出係数

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
調整後排出係数

最初に以下の当該事業所で発生させた熱と分類ごとの使用量を入力してください。

分類	使用量	単位
輸入一般炭	<input type="text" value="100"/>	t
輸入原燃料	<input type="text"/>	t
輸入無煙炭	<input type="text"/>	t
石炭 コークス	<input type="text"/>	t

この内容で入力する

この入力欄はいったん閉じてから開いた場合も残っています。

③ 当該事業所の販売熱量を入力し、「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

エネルギー使用・販売量の入力

当該事業所の販売熱量 GJ
数値は半角入力

当該事業所の販売熱量
うえ原熱由来のもの

下記の情報から自動計算

販賣物燃料以外の燃料の使用量から算定した
排出係数 0.232561

販賣物燃料以外の燃料の使用量から算定した
調整後排出係数 0.232561

販賣物燃料の使用量から算定した
排出係数 0

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
排出係数 0

他人から供給された電気及び熱の使用量から算定した
調整後排出係数 0

販売熱量等の入力

輸出熱量等の入力

購入した
未利用熱の量

温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
-----------------------------------	--------	--------	----

④ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。

入力内容に基づいた計算結果が、特定-第 12 表に反映されます。

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギーの種類を登録する

エネルギーの種類を登録する

温室効果ガス排出量を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力

エネルギーの種類を登録する

購入した
未利用熱の量

エネルギーの種類	対象割合	使用量			販賣した副生 エネルギーの量			購入した 未利用熱の量		
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度

2.6.12. 独自係数及び実測排出量の入力画面

温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用する場合は、ここで情報を入力してください。

※省エネ法で規定された非化石燃料については、法定の排出係数を使用する場合、「その他の非化石燃料等入力画面」から報告してください。詳しい操作方法については、「2.6.10 その他の非化石燃料等入力画面」72 を参照してください。

- ① をクリックし、独自係数及び実測排出量の入力画面に遷移します。

独自係数または実測排出量の入力

クリックします。

- ② 「法に基づく命令に定める算定方法と異なる算定方法で、実測等により算出した排出量を使う」または「法に基づく命令に定める算定方法で、独自の排出係数(単位発熱量・排出係数)を使う」を選択します。

どちらかを選択します。

選択します。

③「法に基づく命令に定める算定方法と異なる算定方法で、実測等により算出した排出量を使う」を選択した場合は「実測排出量(使用量)」、「実測排出量(販売した副生エネルギーの量)」、「当該算定方法又は係数の内容」を入力します。

④「法に基づく命令に定める算定方法で、独自の排出係数(単位発熱量・排出係数)を使う」を選択した場合は「算定に用いる単位発熱量」、「算定に用いる排出係数」、「当該算定方法又は係数の内容」を入力します。

⑤ 「この内容で入力する」ボタンをクリックします。

年度別ガス排出量	2023年度	2024年度	単位
室内空気ガス排出量 (t-CO ₂)			

⑥ エネルギー使用量の入力画面に戻ります。

エネルギーの種類	対象年度	2023年度	2024年度	単位	実測使用量	排出係数	購入した未利用熱の量	単位
化石燃料の使用								
揮発油	+ 暖炉・機器	300	kL	687.038	120	kL	274.8152	
原油のうちコンデンセート (NGL)	+ 暖炉・機器	120	kL	280.2096	50	kL	116.754	
原油 (コンデンセート除く)	+ 暖炉・機器	200	kL	533.6466666666667	150	kL	400.235	
：金属（鉛、船及び船舶を除く）精錬用 焼結炉		50	kL	2.575675				

2.7. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）にエネルギー使用量の入力を行っている場合、LAPSS からエネルギー使用量を取り込むことができます。この機能を利用できるのは、地方公共団体に所属する事業者ユーザのみです。利用する前に、事業者情報に地方公共団体 ID を登録する、EEGS に登録されている事業所と LAPSS に登録されている施設の紐づけを行う必要があります。EEGS に登録されている事業所と LAPSS に登録されている施設の紐づけ処理は「9.1. LAPSS とのデータ連携」を参照ください。

※都市ガス供給事業者の情報が 1 施設あたり 100 を超えた場合、該当する施設の都市ガス使用量は取り込めません。

※熱（「産業用蒸気」「産業用以外の蒸気」「温水」「冷水」）については、連携できませんので熱を使用した場合は、「2.6.9 热補助画面」を参照し熱使用量を入力してください

- ① 「LAPSS 連携エネルギー使用量取込」をクリックします。

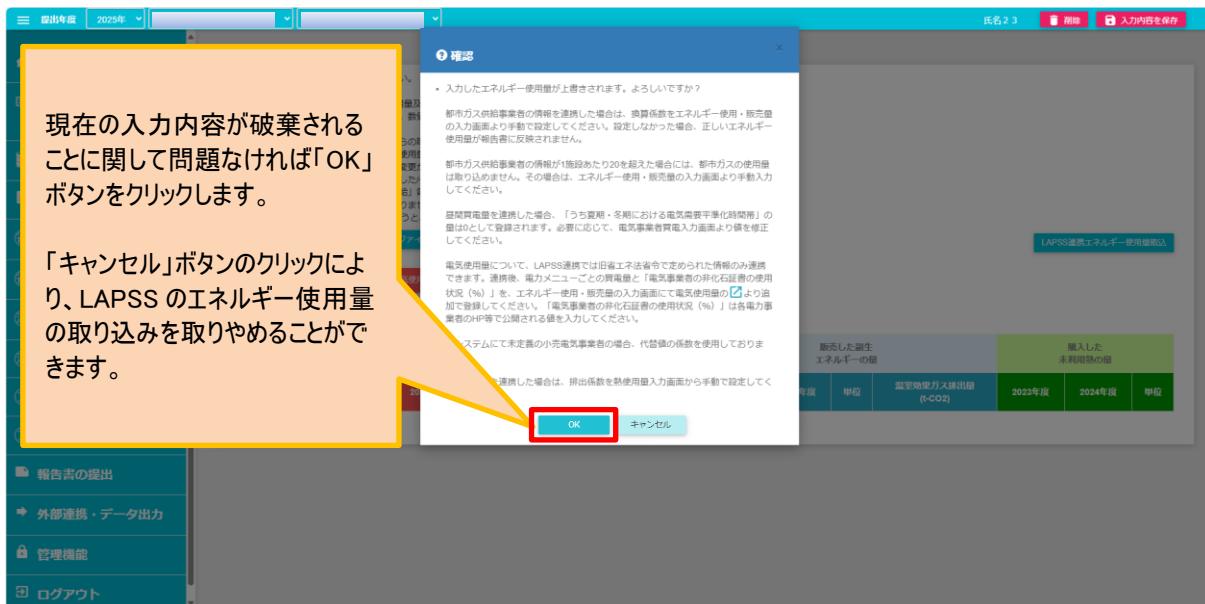
The screenshot shows the 'Energy Use and Sales Volume Input' page. At the top right, there is a red box around the button labeled 'LAPSS連携エネルギー使用量取込'. Below it, a yellow box with the text 'クリックします。' (Click here) also points to the same button.

- ② 初回実行時には、LAPSS 連携のログイン画面が表示されます。

LAPSS 連携のログイン画面で LAPSS のユーザー名とパスワードを入力し、「確定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use and Sales Volume Input' page with a login overlay for 'LAPSS Connect'. Inside the overlay, two yellow boxes with the text '入力します。' (Input) point to the 'Account ID' and 'Password' fields. A third yellow box with the text 'クリックします。' (Click here) points to the 'Confirm' button. The background shows the LAPSS interface with a red box highlighting the 'LAPSS連携エネルギー使用量取込' button.

- ③ 確認メッセージが表示されます。LAPSS データを取り込む場合、入力中の情報は破棄されます。問題なければ、「OK」をクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、LAPSS データの取り込みを中止します。



- ④ LAPSS に登録したエネルギー使用量が反映されます。



- ⑤ 都市ガス供給事業者の情報を連携した場合は、換算係数を設定する必要があります。設定には、都市ガスの

使用量の を押下します。

進度年度 2023年

事業所1

エネルギー使用・販売量の入力

エネルギー使用量、販売量等を入力してください。

選択している事業所の1年間のエネルギー使用量及び販売した副生エネルギーの量等を入力します。
入力は右角入力で、左側に並んでござります。数字は、少しあつても小数点以下まで入力してください(自動集計します)。

右側には回転ボタンで選択していただけます。数字は、少しあつても小数点以下まで入力してください(自動集計します)。

エネルギーの種類が無い場合は、ファイルからの読み込み機能をクリックして下さい。読み込みファイルごとに、
通常省エネエネルギー開設を開設エネルギー使用量は、本画面にはなく、定期報告書内のWEIS入力画面で入力してください。
右スライダー(工場)：選択する年度改定により変更があった項目は、該年度の使用量は表示されません。
自家発電で発生させた電力を他事業所に送達した(供給を受ける場合)、送電した電気の発生に使用したエネルギー量を、
供給を受いた事業所で「供給事業者から」の取扱いとあります。一件ずつの操作をお願いします。

また、LAPSSは購入エネルギー使用量を行ふと、多量のエネルギー使用量の情報が登録される場合があるため、ご注意ください。

前年度のエネルギーの種類を読み込み ファイルを選択 選択されていません ファイルから読み込み ダウンロード LAPSS連携エネルギー使用量取込

エネルギーの種類を追加する 電気需要基準化を踏まえた電気使用量の月別・時間帯別入力

領出数を表示

使用量 販売した副生エネルギーの量 購入した未利用熱の量

エネルギーの種類	対象制度	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位
化石燃料の使用									

都市ガス + 電気炉・機器 選択 m³

クリックします。

- ⑥ プルダウンから換算係数を選択し、「この内容で入力する」ボタンを押下します。

都市ガス供給事業者登録画面

都市ガス供給事業者名、ガスグループ(例：13A)、換算係数(GJ/m³)を入力してください。

*※都市ガスの利用に伴う排出量算定についてはこちらをご参照ください。

※換算係数(GJ/m³)は標準状態の値を表示しており、手入力する際も標準状態の値を入力してください。

排出量係数(CO₂/Nm³)は標準状態状態の値を表示しており、手入力する際も標準状態状態の値を入力してください。

入力いただいた使用量(千t)は、エネルギー費用の算定においては標準状態の値として扱い、排出量算定においては標準状態状態の値として扱うため、標準状態・標準状態状態に適用する場合、手入力をいただく必要があります。

8月7日(木)までに実施報告用換算係数を反映いたしました。

7月9日(火)までに実施報告用換算係数を算定して提出いただいた方は、修正して提出し直していただく必要はありません。

*事業者登録排出量欄に複数登録されている場合は、修正して提出し直していただく必要があります。

[※東京ガス㈱会員登録と契約している方へ 7月9日\(火\)以降は「東京瓦斯」を選択してください。【\(東京ガスネットワーク\)ではなく】](https://gas.santekiroku.evo.mext.go.jp/files/calc/r05_gas_coefficient_rev2.pdf)

7月9日(火)までに東京ガスネットワークへを選択して提出された方は、修正して提出し直していただく必要があります。

* LAPSS道譲拂「【使用不可】○○ガス」が選択されている場合、項目を削除し、「都市ガス事業者を追加する」から正しい項目を選択し直してください。

+都市ガス供給事業者を追加する

都市ガス供給事業者名	ガスグループ	換算係数 (GJ/m ³)	基礎排出係数 (t-CO ₂ /Nm ³)	標準排出係数 (t-CO ₂ /Nm ³)
創価ガス（供給区域：鶴ヶ島市、創価郡鶴ヶ島町）	13A	45	2.09	2.09

該当するものを選択します。

+リストにない都市ガス事業者を追加する

都市ガス供給事業者名	ガスグループ	換算係数 (GJ/m ³)	基礎排出係数 (t-CO ₂ /Nm ³)	標準排出係数 (t-CO ₂ /Nm ³)
この内容を入力する				

換算係数を選択後、クリックします。

この入力値はいつたん荷てから聞いた場合も残っています。

- ⑦ 電気の使用について、LAPSS 連携では R6 年度より省エネ法定期報告書に適用される省令改正に対応した情報のうち、月別の電気使用量・自家発電のみを連携することができます。連携後、電気事業者からの買電については、電力メニューごとの買電量と「電気事業者の非化石証書の使用状況(%)」、自家発電については、「自家発電設備の発電能力(kWh)」と「販売した副生エネルギー量(千 kWh)」、「発電方式」(その他(非燃料由來の非化石電気)のみ)を入力してください。電気使用量の設定には、電気使用量または電気事業者からの買

電のを押下します。

The screenshot shows the 'Energy Use - Purchase Volume Input' page. On the left sidebar, under 'Energy Use Input', there is a section for 'Electricity Purchase Volume'. It includes a table with columns for 'Energy Type', 'Target System', 'Year', 'Unit', and 'Greenhouse Gas Emissions (t-CO2)'. The table has three rows: one for electricity from power companies (37,502,746 kWh), one for electricity from power companies (non-fossil fuel) (15,066,274 kWh), and one for electricity from power companies (fossil fuel) (0 kWh). A yellow callout box with the text 'いづれかをクリックします。' (Click one of them) points to the 'Select' button next to the 'Purchase Volume' input field.

- ⑧ 電力メニューごとの買電量と、「電気事業者の非化石証書の使用状況(%)」を入力し、「この内容で入力する」ボタンを押下します。

The screenshot shows the 'Electricity Purchase Input' page. On the left sidebar, under 'Electricity Purchase Input', there is a section for 'Electricity Purchase Volume'. It includes a table with columns for 'Electricity Supplier' and 'Purchase Volume (kWh)'. There are two rows: 'Electricity Supplier 1 Menu' and 'Electricity Supplier 2 Menu'. Below the table, there is a note: 'この内容で入力する' (Input this content). A yellow callout box with the text '買電量、使用状況を入力します。' (Enter purchase volume and usage status) points to the 'Select' button next to the 'Purchase Volume' input field. Another yellow callout box with the text '買電量、使用状況を選択後、クリックします。' (Click after selecting purchase volume and usage status) points to the 'Select' button.

⑨ 自家発電の設定には、自家発電の□をクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use - Sales Volume Input' page. On the left sidebar, under 'Energy Use Input', there is a section for 'Self-generation'. A yellow box highlights the 'Select' button next to the 'Self-generation' option. A yellow callout points to this button with the text 'クリックします。' (Click here).

⑩ 「発電方式」(その他(非燃料由来の非化石電気)のみ)、「自家発電設備の発電能力(kWh)」、「販売した副生エネルギー量(千 kWh)」を入力し、「この内容で入力する」ボタンを押下します。

※自家発電補助画面のレイアウトはエネルギーの種類によって異なります。

The screenshot shows a modal dialog for 'Self-generation (Other: Non-fuel source non-fossil electricity)'. It has fields for 'Generation Method', 'Generation Capacity (kWh)', and 'Sales Volume (kWh)'. A yellow box highlights the 'This content' button at the bottom right. A yellow callout points to this button with the text '必須項目を入力後、クリックします。' (After entering required items, click here).

⑪ 必要事項を入力し、「入力内容を保存」ボタンをクリックします。

※「入力内容を保存」ボタンをクリックしないと、画面上に反映されるだけで、登録されません。

The screenshot shows the 'Energy Usage - Purchase Volume Input' section of the LAPSS interface. A yellow callout points to the red 'Save Input Content' button at the top right. The table below shows energy usage data for various sources like oil and gas.

エネルギーの種類	対象割度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度
揮発油	+ 損耗供・機械・電気	100	kl	229.01266666666667			kl				
経油	+ 損耗供・機械・電気	150	kl	392.92			kl				
液化石油ガス（LPG）	+ 損耗供・機械・電気	10	t	29.9431			t				

⑫ 確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックし、入力内容を保存します。



⑬ 入力内容の保存完了です。

The screenshot shows the completed energy usage reporting interface. A yellow callout points to the red 'Save Input Content' button at the top right. The table below shows the same energy usage data as the previous screenshots.

エネルギーの種類	対象割度	使用量			販売した副生エネルギーの量			購入した未利用熱の量			
		2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度	単位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	2023年度	2024年度
揮発油	+ 損耗供・機械・電気	100	kl	229.01266666666667			kl				
経油	+ 損耗供・機械・電気	150	kl	392.92			kl				
液化石油ガス（LPG）	+ 損耗供・機械・電気	10	t	29.9431			t				

2.8. エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場)

事業所全体または各事業所に対してエネルギー使用量と密接な関係を持つ値を入力します。

- ① リスト作成を選択し、項目・追加を追加する画面を表示します。

The screenshot shows a web-based application interface for energy reporting. On the left, there's a sidebar with various menu items like Home, Energy Use Input, and Reporting. The main area has a title 'Energy Use and Closely Related Value Input (Factory)'. A red box highlights the 'List Creation' button. Below it, there's a note about selecting items from a list. A table is displayed for creating entries across three factories (Factory 1, Factory 2, Factory 5). Each row in the table has fields for 'Item Name' (e.g., Production Cost), 'Unit' (e.g., Yen), and 'Value' (e.g., 500, 450, 300). At the bottom, there's a note about selecting factories.

番号	項目名	事業所	項目	エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力
1	工場1	工場1	● 値の名称	選択してください
			● 値の単位	選択してください
			● 値の数量	500
2	工場2	工場2	● 値の名称	選択してください
			● 値の単位	選択してください
			● 値の数量	450
3	工場5	工場5	● 値の名称	選択してください
			● 値の単位	選択してください
			● 値の数量	300

- ② エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場)画面で使用する入力項目と入力単位のリストをそれぞれ作成します。

入力項目の追加・削除および入力単位の追加・削除をする場合は、以下の手順を踏みます。

<入力項目への追加>

- ・項目例のリストから追加対象の項目を選択して、「追加」ボタンを選択する。
- ・項目例にない項目を追加する場合は、自由記述欄に項目名を入力して、「追加」ボタンを選択する。

<入力項目からの削除>

- ・入力項目リストから削除対象の項目を選択して、「削除」ボタンを選択する。

<入力単位への追加>

- ・単位例のリストから追加対象の単位を選択して、「追加」ボタンを選択する。
- ・単位例にない項目を追加する場合は、自由記述欄に単位名を入力して、「追加」ボタンを選択する。

<入力単位からの削除>

- ・入力単位リストから削除対象の単位を選択して、「削除」ボタンを選択する。

入力項目のリストと、入力単位のリストが一通り整ったら「この内容で追加する」ボタンを選択します。

項目・単位を追加する

「エネルギーの使用と密接な関係をもつ値」の項目と単位を追加します。こちらで追加した値はシステムに入力した全事業所で利用可能です。

- 項目、単位は左のリストから追加するか、自由記入欄で入力して「追加」ボタンをクリックします。
- 右欄(入力項目、入力単位)が、それぞれ選択できるようになります。
- 不要な項目、単位がある場合は、選択して「削除」ボタンを押すと削除されます。

(注1) 「エネルギー使用と密接な関係を持つ値」は、当該事業所における生産量、生産額、当該業務に供した施設の規模など、当該事業所でのエネルギー使用量と密接な関係を持つ指標を入力してください。(詳細はユーザーズマニュアル参照)

(注2) 使用中の項目、単位は削除できません。

(注3) 立方メートルはm³、平方メートルはm²と表示しています。

項目の追加

■項目例 :

- 生産数量
- 生産重量
- 生産金額
- 売上金額
- 延床面積
- 売場面積
- 貸室面積
- 従業員数
- 利用者数
- 来客数
- 営業時間
- 利用時間
- 延床面積×営業時間
- 延床面積×利用時間

■自由記述 :

追加 削除

単位の追加

■単位例 :

- t
- 千t
- kg
- m³
- 千m³
- m²
- 千m²
- 枚
- 千枚
- 円
- 千円
- 百万円
- kl
- 千kl
- 人

■自由記述 :

追加 削除

この内容で追加する

③「事業所全体で設定する」と「各事業所で設定する」のいずれかを選択します。

「事業所全体で設定する」を指定した場合

事業所全体で適用する「値の名称」「値の単位」「値の数量」を指定します。

「各事業所で設定する」を指定した場合

事業所ごとに「値の名称」「値の単位」「値の数量」を指定します。

なお、以下の手順で複数事業所に一括で「値の名称」「値の単位」「値の数量」を設定することが可能です。

- i) 設定対象の事業所のチェックボックスにチェックを入れる。(「一括ボタン」が活性化します。)
- ii) 「一括設定」ボタンを選択する。(一括設定ダイアログが表示される。)
- iii) ダイアログから「値の名称」「値の単位」「値の数量」を指定して「設定」ボタンを選択する。

The screenshot shows the 'Energy Use Input' screen. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has a title 'Energy Use Input' and a sub-section 'Input of values with close relationships'. A red box highlights the 'All Companies' setting section, which contains a table for multiple companies (1, 2, 3) with columns for 'Code', 'Company', 'Item', and 'Energy Use Input with close relationships'. Another red box highlights the 'One-click Setting' section at the bottom, which contains fields for 'Item', 'Name', 'Unit', and 'Quantity'.

The screenshot shows the 'One-click Setting' dialog box. It has a title 'One-click Setting' and a sub-section 'Energy Use Input'. The dialog contains a table with three rows for 'Item', 'Name' (selected as 'Sales Weight'), 'Unit' (selected as 'Thousand tons'), and 'Quantity' (set to '1000'). At the bottom is a blue 'Set' button.

④「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値の入力(工場)」について一通り設定できたら、「入力内容を保存」ボタンを選択する。

3. 認証排出削減量入力

国内認証排出削減量・海外認証排出削減量の入力を行う場合、以下の作業を実施します。

3.1. 国内認証排出削減量の登録

- 国内認証排出削減量の登録を行います。
- ・国内認証排出削減量入力画面からの入力・変更
 - ・国内認証排出削減量一覧画面からの削除
 - ・J-クレジット登録簿システムからのデータの取り込み

3.2. 海外認証排出削減量の登録

- 海外認証排出削減量の登録を行います。
- ・海外認証排出削減量入力画面からの入力・変更
 - ・海外認証排出削減量一覧画面からの削除

3.3. 非化石証書の口座残高証明書の報告

非化石証書の口座残高証明書の報告を行います。

3.1. 国内認証排出削減量の登録

国内認証排出削減量の登録を行います。

3.1.1. 国内認証排出削減量入力画面からの入力・変更

① 国内認証排出削減量を入力するには、ホーム画面の「その他：報告書情報の入力」メニューをクリックします。



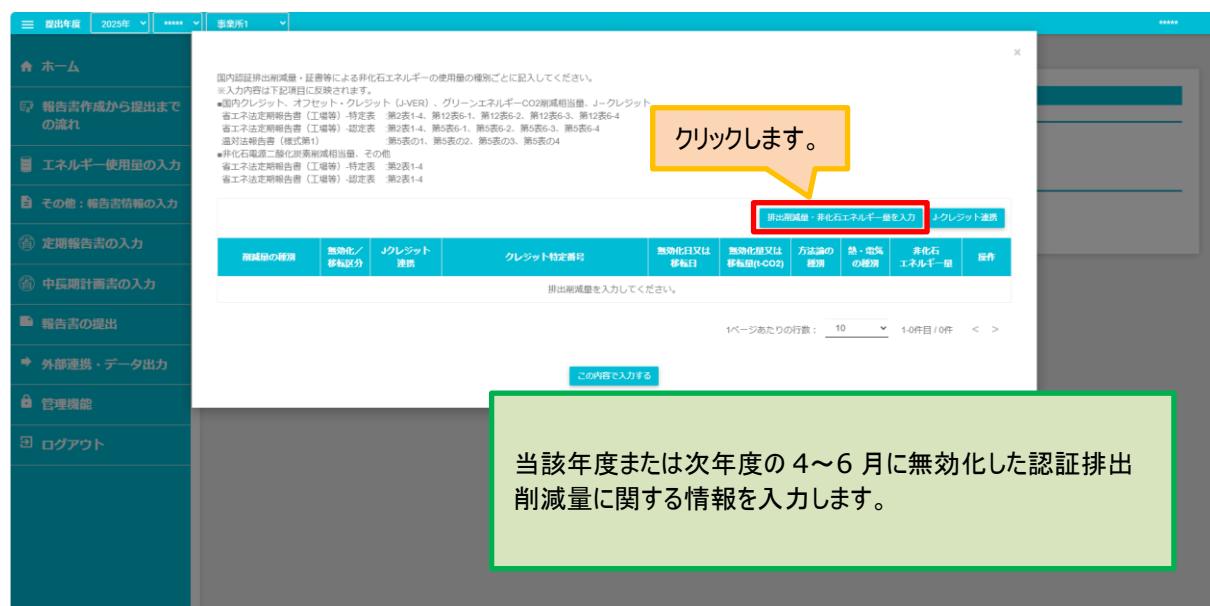
② 「認証排出削減量・認証等による非化石エネルギーの使用量の入力」ボタンをクリックします。



③ 「入力」ボタンをクリックします。



④ 「排出削減量・非化石エネルギー量を入力」ボタンをクリックします。



⑤ 削減量・証書等の種別を選択します。

⑥ 情報を入力します。「省エネ法の対象証書等」にチェックを入れると、「証書等による非化石エネルギーの使用量
入力」欄が表示されます。「熱・電気の別」で「電気」を選択した場合のみ「事業者エネルギー使用量等の欄に
おいて計上済」にチェックが可能になります。

- ⑦ 情報を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。無効化量又は移転量は、クレジット特定番号ユニットの開始番号と終了番号から自動計算されます。

The screenshot shows the 'Report Submission' interface. In the center, there's a form titled 'Report Submission - Verification Document'. It includes fields for 'Reduction Type / Verification Document Type' (set to 'Domestic Credit'), 'Credit Specific Number Unit Start Number' (set to 'KC'), 'Credit Specific Number Unit End Number' (empty), 'Inactivation Date' (set to '2023/04/01'), and 'Methodology Type' (set to 'Select'). Below the form is a note: 'Please check if you have performed inactivation or transfer by referring to the document attached to the right side of the page.' A yellow callout with the text 'クリックします。' (Click here) points to the blue 'Enter' button (入力する) at the bottom right of the form area.

- ⑧ 入力した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、入力した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、入力内容が登録されません。

なお、国内認証排出削減量の入力を行った場合、無効化又は移転を行ったことを確認できる書類の添付が必要になります。操作方法については「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。ただし、J-クレジット登録簿システムから連携した国内認証排出削減量については、書類の添付を省略できます。

The screenshot shows the 'Report Submission' interface. In the center, there's a table titled 'Report Submission - Verification Document Input' with the following columns: 'Reduction Type / Transfer Type', 'Credit Specific Number Unit', 'Credit Specific Number Unit', 'Inactivation Date / Transfer Date', 'Inactivation Type / Transfer Type', 'Methodology Type', 'Heat / Electricity', 'Non-fossil Energy', and 'Remarks'. The first row shows 'Domestic Credit' and 'Inactivation'. The second row shows '2025/02/19', '1', 'Renewable Electricity', 'Electricity', and an edit icon. A yellow callout with the text 'クリックします。' (Click here) points to the blue 'Enter' button (入力する) at the bottom left of the table area.

⑨ 入力済みの認証排出削減量について変更する際は、「編集・詳細」ボタン(鉛筆マーク)をクリックします。

国内認証排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量の種別ごとに記入してください。
※入力内容は下記欄に反映されます。

■国内クレジット、オフセット・クレジット（J-VER）、グリーンエネルギー-CO2削減担当量、J-クレジット
省エネ法定期報告書（工場等）-特表表 第2表1-4、第12表6-1、第12表6-2、第12表6-3、第12表6-4
省エネ法定期報告書（工場等）-認定表 第2表1-4、第5表6-1、第5表6-2、第5表6-3、第5表6-4
省エネ法定期報告書（機器第1） 第5表の1、第5表の2、第5表の3、第5表の4
■非化石電源・脱炭素削減相当量、その他
省エネ法定期報告書（工場等）-特表表 第2表1-4
省エネ法定期報告書（工場等）-認定表 第2表1-4

削減量の種別	無効化／移転区分	Jクレジット連携	クレジット特定番号	無効化日又は移転日	無効化量又は移転量(CO ₂)	方法論の種別	熱・電気の種別	非化石エネルギー	操作
国内クレジット	無効化			2025/02/19	100	再エネ電力由来	電気	非化石エネルギー	

1ページあたりの行数： 10 1-1件 / 1件 < >

この内容で入力する

⑩ 変更したい情報を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。J-クレジット登録簿システムから連携した国内認証排出削減量については、方法論の種別以外の内容の変更ができません。

排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量

削減量・証書等の種別 国内クレジット

省エネ法の対象証券等 □ 省エネ法で報告対象となる証券等の種別は「省エネ法－法定期報告書・中長期計画書（特定事業者等）記入要領」をご参照下さい。

排出削減量の入力

無効化／移転区分 無効化 移転

クレジットト特左番号ユニットの開始番号

クレジットト特定番号ユニットの終了番号

無効化日又は移転日 2025/02/19

無効化量又は移転量(t-CO₂) 100

方法論の種別 再エネ電力由来

※無効化量は正の値、移転量は負の値(マイナス)で表示されます。
※熱・電気の別は方法論の種別に合わせて反映されます。

※生産・販売面で無効化又は移転を行ったことを確認できる資料を添付してください。

入力する キャンセル

- ⑪ 変更した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、変更した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、変更内容が登録されません。

The screenshot shows the 'Report Submission' screen with the year set to '2025年'. The left sidebar includes links for Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, Other Input, Periodic Report Input, Long-term Plan Input, Report Submission, External Connection, Data Output, Management Functions, and Logout.

The main content area displays the 'Credit' section. It includes a note about reporting based on the 'Non-fossil Fuel Energy Use Report' and a table for 'Credit Specific Items'.

削減量の種別	無効化／移転区分	クレジット特定番号	無効化日又は移転日	方法論の種別	禁・燃気 非化石 エネルギー	操作
国内クレジット	無効化		2025/02/19	100 再エネ電 力由来	電気	

At the bottom right of the table area, there is a blue button labeled 'この内容で入力する' (Enter this content) with a yellow arrow pointing to it, and a text box containing the instruction 'クリックします。' (Click).

3.1.2. 国内認証排出削減量一覧画面からの削除

- ① 入力済みの認証排出削減量について削除する際は、「削除」ボタン(ゴミ箱マーク)をクリックします。

削減量の種類	無効化／移転区分	Jクレジット 連携	クレジット特定番号	無効化日又は 移転日	無効化理由又は 移転理由(CO2)	方法論の 種別	禁・出気 の種別	非化石 エネルギー量	操作
国内クレジット	無効化			2025/02/19	100	再エネ電 力由来	電気		

- ② 確認メッセージが表示されます。削除して問題ないか確認後、「OK」ボタンをクリックします。

削減量の種類	無効化／ 移転区分	Jクレジット 連携	クレジット特定番号	無効化日又は 移転日	無効化理由又は 移転理由(CO2)	方法論の 種別	禁・出気 の種別	非化石 エネルギー量	操作
国内クレジット	無効化			2025/02/19	100	再エネ電 力由来	電気		

③ 該当の認証排出削減量が削除されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、削除した内容を登録します。

「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、削除内容が登録されません。

The screenshot shows the 'Report Submission' screen with the following details:

- Top navigation bar: 非法排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量の種別ごとに記入してください。※入力内容は下記項目に反映されます。
- Left sidebar menu:
 - ホーム
 - 報告書作成から提出までの流れ
 - エネルギー使用量の入力
 - その他：報告書情報の入力
 - 定期報告書の入力
 - 中長期計画書の入力
 - 報告書の提出
 - 外部連携・データ出力
 - 管理機能
 - ログアウト
- Main content area:
 - Report Submission Form:
 - Report Type: 非法排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量の種別ごとに記入してください。
 - Buttons: 排出削減量・非化石エネルギー量を入力 and ノクレジット選択
 - Input Field: 排出削減量を入力してください.
 - Buttons: この内容で入力する and クリックします。（The 'クリックします' button is highlighted with a yellow arrow pointing to it from the text above.)
 - Page Number: 1ページあたりの行数: 10
 - Page Information: 1-0件目 / 0件 < >

3.1.3. J-クレジット登録簿システムからのデータの取り込み

J-クレジット登録簿システムから国内認証排出削減量を取得することができます。

- ① 国内認証排出削減量一覧画面にて、「J-クレジット連携」ボタンをクリックします。



- ② 検索条件(日付、区分)を指定し、「検索」ボタンをクリックします。検索条件を指定しない場合は、全ての国内認証排出削減量が表示されます。

「クリア」ボタンをクリックすると、検索条件がクリアされます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、国内認証排出削減量一覧画面に戻ります。



- ③ 表示された国内認証排出削減量一覧から入力するものを選択し、「選択」ボタンをクリックします。

ここを選択すると、一覧の全てにチェックを付ける、または解除することができます。

選択しチェックを付けます。

クリックします。

「クレジットを創出した事業者が他者に移転した国内認証排出削減量」のうち、「森林の整備及び保全による吸收量として認証されたもの」については、上乗せ加算の対象から除外されているため、チェックを付けることができません。

- ④ 選択した内容が反映されます。連携後は、「編集・詳細」ボタン(鉛筆マーク)をクリックして、3.1.1 と同様に方法論の種別を入力します。

クリックします。

⑤ 「この内容で入力する」ボタンをクリックすると、入力内容の保存完了です。

国内認証提出用箇欄・証書等による算定エネルギーの使用量の種別ごとに記入してください。

*入力内容は下記項目に反映されます。

■国内クリジット、オフセット・クリジット（J-VER）、グリーンエネルギー-CO2削減担当者、J-クリジット
省エネ認定報告書（工場等）：特定業 種表1-4、第12表-1、第13表-2、第14表-3、第15表-4
省エネ認定報告書（工場等）：認定業 種表1-4、第12表-1、第13表-2、第14表-3、第15表-4
省エネ認定報告書（機器類）
・省エネ二級（貢献割合相当量、その他）
省エネ認定報告書（工場等）：特定業 種表1-4
省エネ認定報告書（工場等）：認定業 種表1-4

種別		測定化／参考値	ソリューション	クリジット特定期	測定日又は 登録日	測定結果 移動量(CO2)	方法の 種別	目・表示 の種別	省エネ エネルギー量	操作
J-クリジット	基準化						省エネ由 来	電気		

1ページあたりの行数: 10 1-10行 / 1件 < >

クリックします。

3.2. 海外認証排出削減量の登録

海外認証排出削減量の登録を行います。

3.2.1. 海外認証排出削減量入力画面からの入力・変更

認証排出削減量入力画面を表示します。表示手順は「3.1.1.国内認証排出削減量入力画面からの入力・変更」を参照してください。

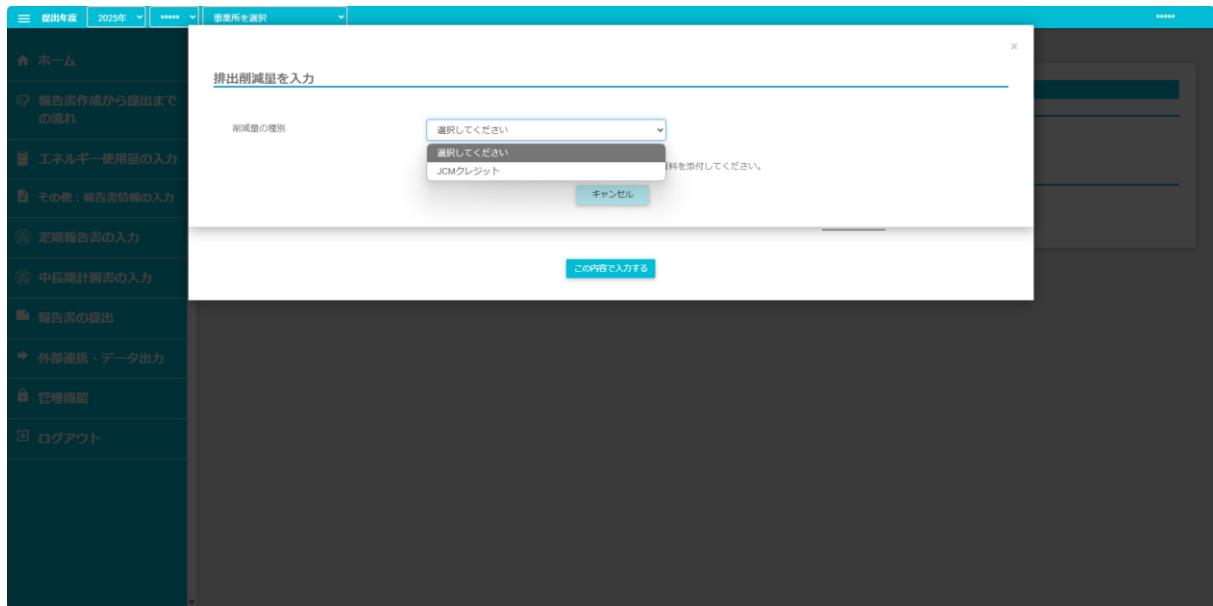
- ① 海外認証排出削減量を入力するには、「入力」ボタンをクリックします。



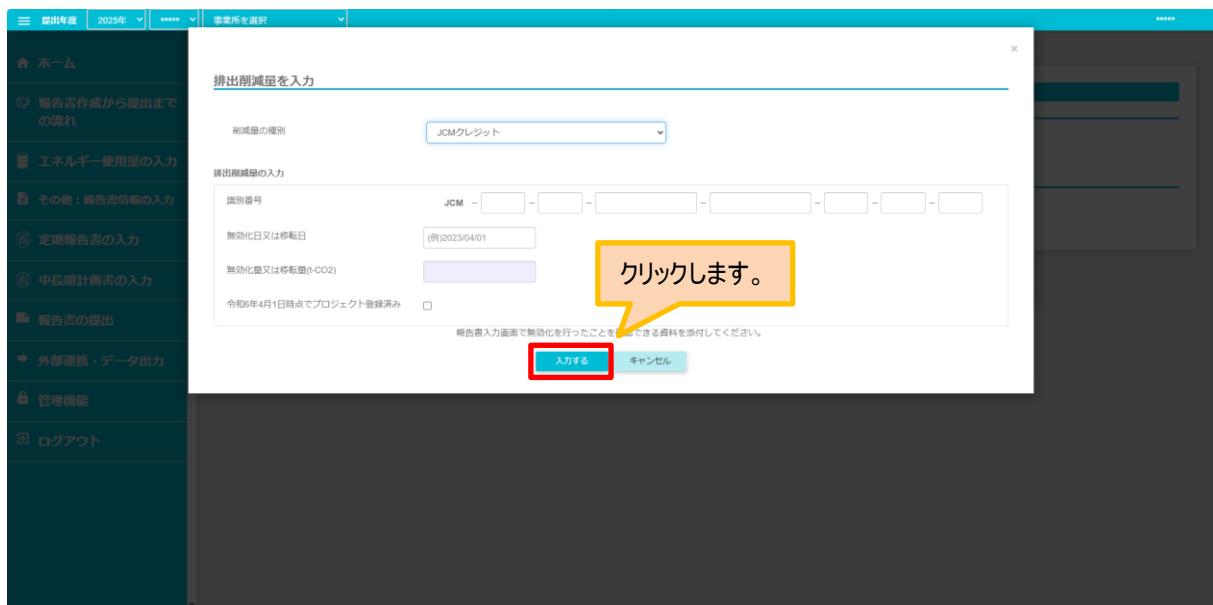
- ② 「排出削減量を入力」ボタンをクリックします。



③ 削減量の種別を選択します。



④ 情報を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。無効化量は、識別番号から自動計算されます。



- ⑤ 入力した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、入力した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、入力内容が登録されません。

なお、海外認証排出削減量の入力を行った場合、無効化又は移転を行ったことを確認できる書類の添付が必要になります。操作方法については「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

報告書作成から提出までの流れ

JCMクレジット

2025/02/28 5.000

この内容で入力する

クリックします。

- ⑥ 入力済みの認証排出削減量について変更する際は「編集・詳細」ボタン(鉛筆マーク)をクリックします。

報告書作成から提出までの流れ

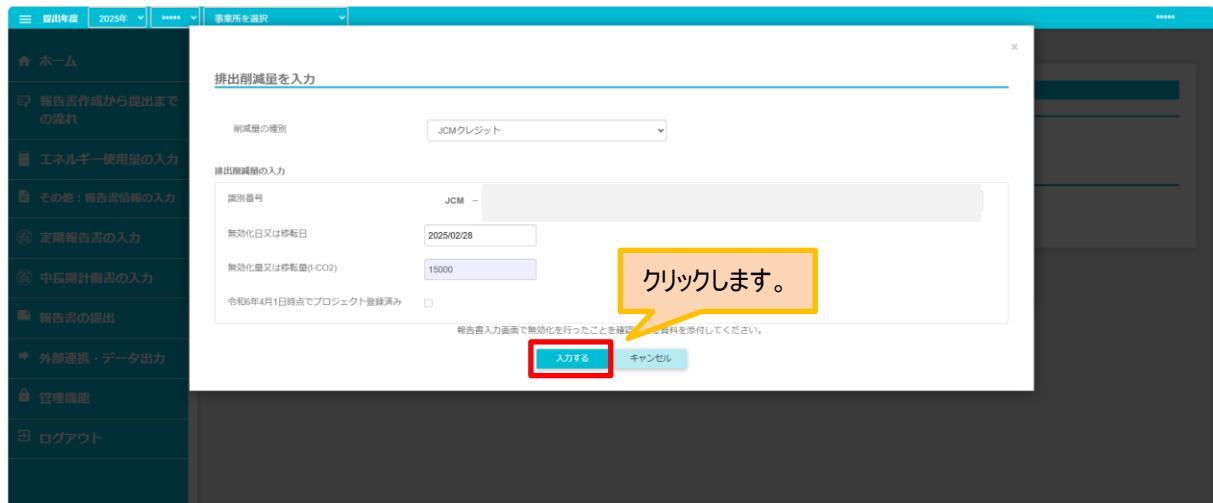
JCMクレジット

2025/02/28 5.000

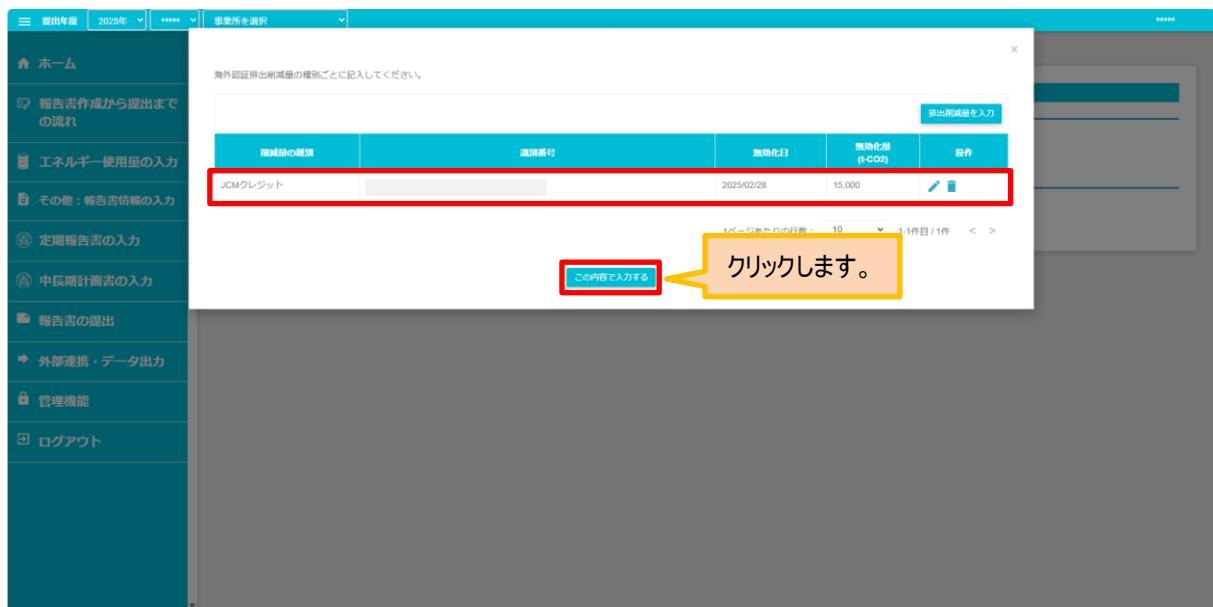
この内容で入力する

クリックします。

- ⑦ 海外認証排出削減量入力画面が表示されます。変更したい情報を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。

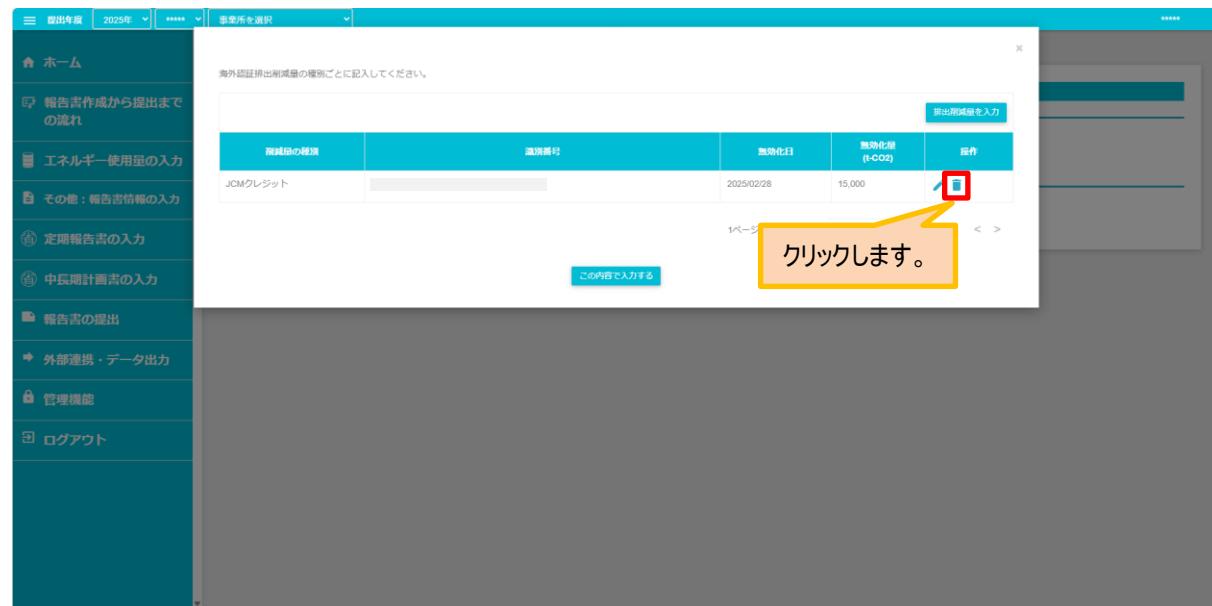


- ⑧ 変更した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、変更した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、変更内容が登録されません。

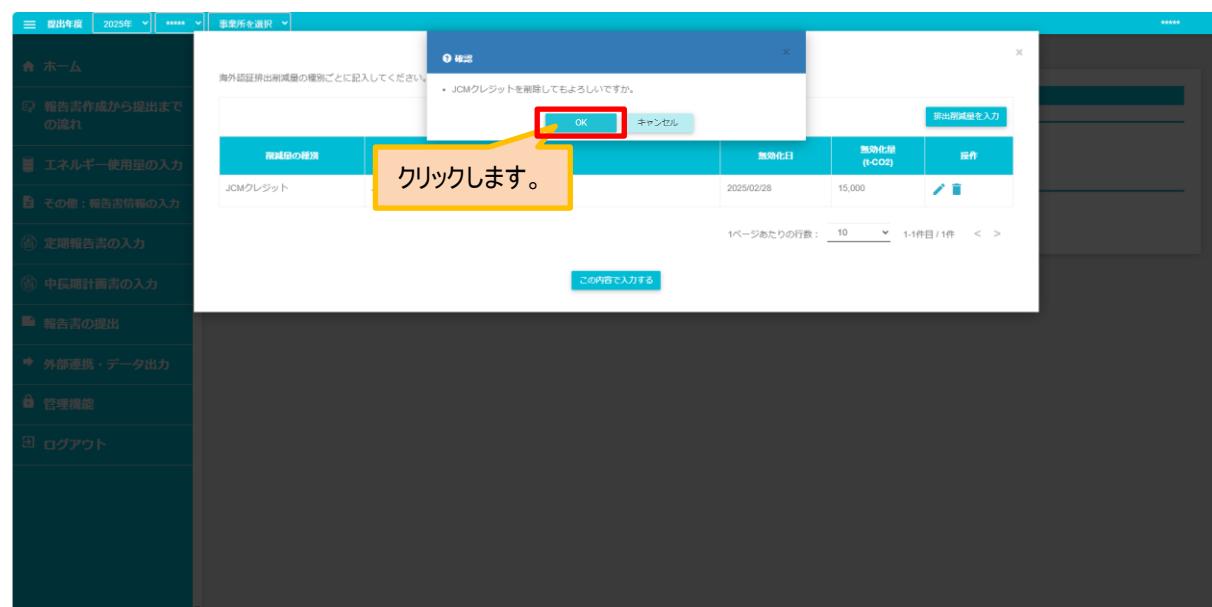


3.2.2. 海外認証排出削減量一覧画面からの削除

- ① 入力済みの認証排出削減量について変更する際は「削除」ボタン(ゴミ箱マーク)をクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されます。削除して問題ないか確認後、「OK」ボタンをクリックします。



③ 該当の認証排出削減量が削除されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、削除した内容を登録します。

「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、削除内容が登録されません。

The screenshot shows a user interface for managing overseas carbon emission reduction amounts. On the left is a vertical navigation menu with items like 'Home', 'Report Submission Flow', 'Energy Use Input', etc. The main area has a title 'Overseas Carbon Emission Reduction Amount Registration' and a sub-instruction 'Please enter the category by category'. A table with columns 'Reduction Method', 'Registration Number', 'Materiality', and 'Non-fossil CO2' is shown. A red box highlights the 'Reduction Method' column. Below it is a text input field with placeholder 'Enter the reduction amount'. A red button labeled 'Enter this content' is highlighted with a yellow arrow pointing to it. To the right of the input field is a list titled 'List of deleted items' with one item: '10'.

3.3. 非化石証書の口座残高証明書の報告

非化石証書の口座残高証明書についての記載は、「5.3.2.13. 特定-第 12 表画面」にて説明していますので参照してください。

4. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量入力

大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力を行う場合、以下の作業を実施します。

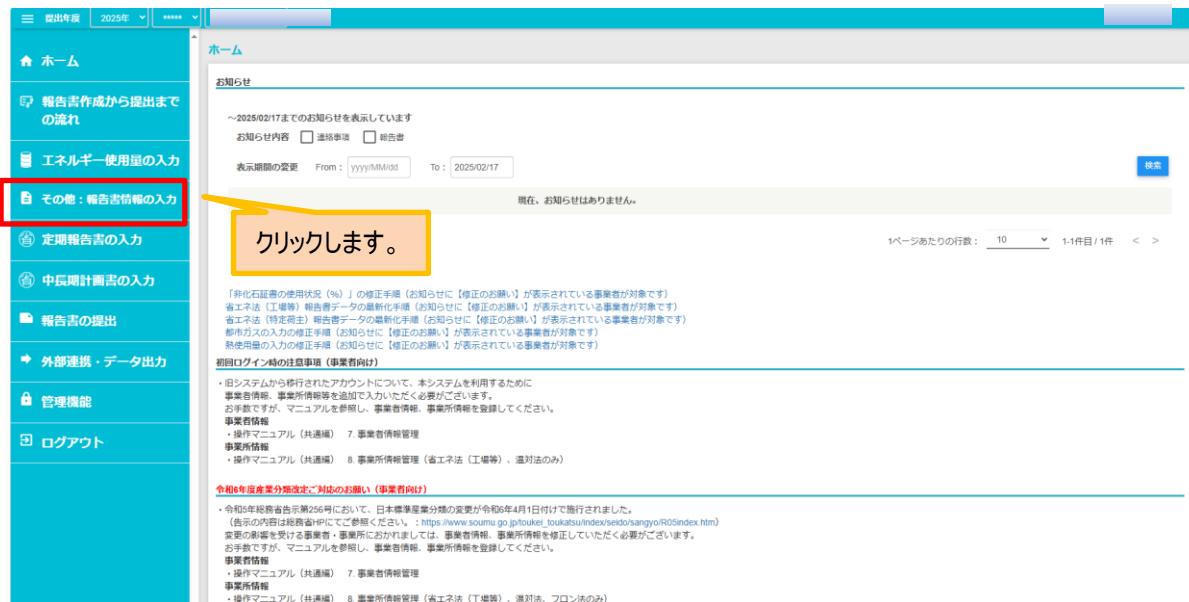
4.1. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の登録

大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の登録を行います。

- ・大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力画面からの入力・変更
- ・大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の一覧画面からの削除

4.1.1. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力画面からの入力・変更

- ① ホーム画面の「その他：報告書情報の入力」メニューをクリックします。



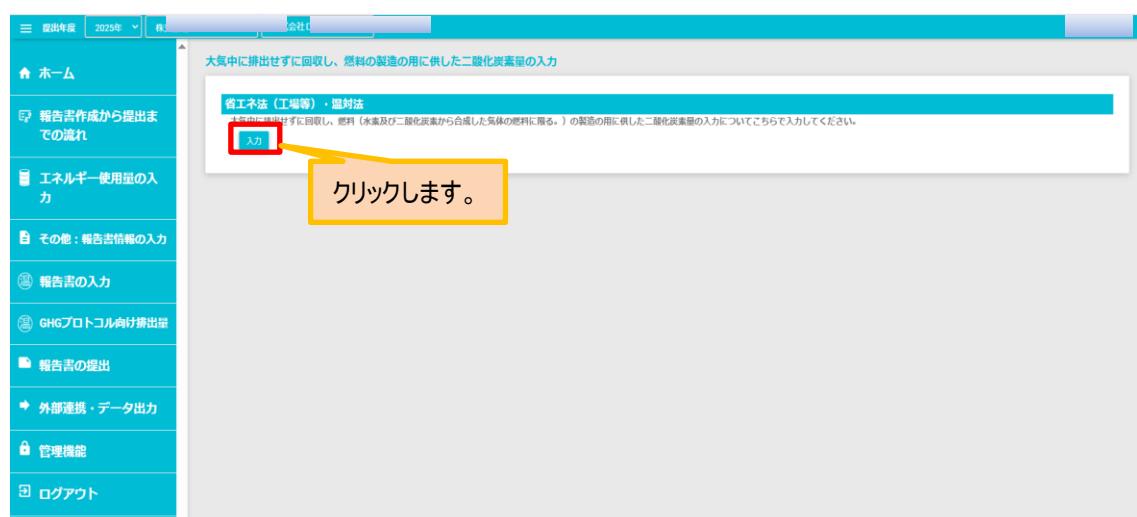
The screenshot shows the top navigation bar with '提出年度' (Submission Year) set to '2025年'. Below it is the 'Home' section with various menu items. The 'Other: Report Information Input' item is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this menu item with the text 'クリックします。' (Click here).

- ② 「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Other: Report Information Input' page. It features four large buttons: '認証排出削減量・証書等による非化石エネルギーの使用量の入力' (Carbon reduction amount certified by certificates, etc., and non-fossil energy usage), '大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量の入力' (Input of CO2 emitted from fuel production without release into the atmosphere), 'その他活動量の入力' (Input of other activity amounts), and 'その他活動量の一括ファイル取込・出力' (Import/export of all files for other activities). The second button is highlighted with a red box. A yellow callout box points to this button with the text 'クリックします。' (Click here).

- ③ 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力画面が表示されます。省エネ法(工場等)・温対法の下の「入力」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Input' page for CO2 emissions from fuel production. At the top, there is a banner with the text '大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量の入力' (Input of CO2 emitted from fuel production without release into the atmosphere). Below the banner is a red box around the 'Input' button. A yellow callout box points to this button with the text 'クリックします。' (Click here).

- ④ 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量一覧画面が表示されます。入力する際は「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量を入力」ボタンをクリックします。

大気中に排出せずに回収し、燃料（水素及び二酸化炭素から成った气体の燃料に限る。）の製造の用に供した二酸化炭素量を記入してください。
※入力内容は下記項目に反映されます。

省エネ法定期報告書（工場等）特定表 第12表-1、第12表-2、第12表-3、第12表-6-7、第12表-6-8
省エネ法定期報告書（工場等）認定表 第5表-1、第5表-2、第5表-3、第5表-6-7、第5表-6-8
省エネ法定期報告書（工場等）指定表 第10表-1、第10表-2、第10表-3、第10表-5
温排水法定期報告書（工場等） 第1表、第2表、第5表-7、第5表-8
温排水法定期報告書（工場等） 第1表、第4表、第5表

回収した二酸化炭素の種別	回収した二酸化炭素に係る情報			回収した二酸化炭素の用途に係る情報			操作
	回収した二酸化炭素の量	回収した年月日	発生由来	燃料にされる量	引き渡した年月日	燃料の種類	
大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量を入力してください。							

1ページあたりの行数： 10 1件目 / 0件 < >

この内容で入力する

- ⑤ 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量の入力画面が表示されます。内容を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。

大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素

* 控除する二酸化炭素の種別

回収した二酸化炭素に係る情報

* 回収した二酸化炭素の量 ※1日の場合、左の項目のみ入力してください。

* 当該二酸化炭素を回収した者

* 当該二酸化炭素を回収した年月日 ~

* 当該二酸化炭素を回収した地点

* 当該二酸化炭素の発生由来

回収した二酸化炭素の用途に係る情報

* 当該燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量 ※1日の場合、左の項目のみ入力してください。

* 当該燃料の製造者

* 当該二酸化炭素を引き渡した年月日 ~

* 当該燃料の製造地点

* 当該燃料の種類

入力する キャンセル

- ⑥ 入力した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、入力した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、入力内容が登録されません。

The screenshot shows the reporting system's interface. A modal window titled '回収した二酸化炭素の使途を登録する' (Register the destination of recovered CO₂) is displayed. Inside, there is a table with columns: '回収する二酸化炭素の種類' (Type of recovered CO₂), '回収した二酸化炭素の量' (Quantity of recovered CO₂), '回収した年月日' (Year and month of recovery), '発生由来' (Source of generation), '燃料にされる量' (Quantity used as fuel), '引き落した年月日' (Year and month of deduction), and '燃料の種類' (Type of fuel). A row for '燃科の使用に伴うエネルギー一起CO₂' is selected. A red box highlights the '操作' (Operation) column for this row. Below the table, a blue button labeled 'この内容で入力する' (Enter with this content) is shown, with an orange callout pointing to it and the text 'クリックします。' (Click here). A green box contains the instruction: '回収した二酸化炭素と使途の証明書の添付が必要です。添付資料の詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照ください。' (Attachment of the recovered CO₂ and proof of destination is required. For details on attached materials, refer to '5.3.6 Registration of Attached Materials').

- ⑦ 入力済みの大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量について変更する際は、「編集・詳細」ボタン(鉛筆マーク)をクリックします。

The screenshot shows the reporting system's interface, similar to the previous one but with a different table. The table has columns: '回収した二酸化炭素の種類' (Type of recovered CO₂), '回収した二酸化炭素の量' (Quantity of recovered CO₂), '回収した年月日' (Year and month of recovery), '発生由来' (Source of generation), '燃料にされる量' (Quantity used as fuel), '引き落した年月日' (Year and month of deduction), and '燃料の種類' (Type of fuel). A row for '燃科の使用に伴うエネルギー一起CO₂' is selected. A red box highlights the '操作' (Operation) column for this row. Below the table, a blue button labeled 'この内容で入力する' (Enter with this content) is shown, with an orange callout pointing to it and the text 'クリックします。' (Click here).

- ⑧ 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量の入力画面が表示されます。変更したい情報を入力後、「入力する」ボタンをクリックします。

大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素

* 指定する二酸化炭素の種別

回収した二酸化炭素に係る情報

* 回収した二酸化炭素の量

* 当該二酸化炭素を回収した者

* 当該二酸化炭素を回収した年月日 ~ ※1日の場合、左の項目のみ入力してください。

* 当該二酸化炭素を回収した地点

* 当該二酸化炭素の発生由来

回収した二酸化炭素の便途に係る情報

* 当該燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

* 当該燃料の製造者

* 当該二酸化炭素を引き渡した年月日 ~ ※1日の場合、左の項目のみ入力してください。

* 当該燃料の製造地点

* 当該燃料の種類

クリックします。

- ⑨ 変更した内容が反映されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、変更した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、変更内容が登録されません。

大気中に排出せずに回収し、燃料（水素及び二酸化炭素から合成した気体の燃料に限る。）の製造の用に供した二酸化炭素量を記入してください。

※入力内容は下記項目に反映されます。

省エネ法定期報告書（工場等）-特定表 第12表-1、第12表-2、第12表-3、第12表-6-7、第12表-6-8
省エネ法定期報告書（工場等）-認定表 第5表-1、第5表-2、第5表-5-3、第5表-6-7、第5表-6-8
省エネ法定期報告書（工場等）-指定表 第10表-1、第10表-2、第10表-3、第10表-5
温対法報告書（様式第1別紙） 第1表、第2表、第5表-7、第5表-8
温対法報告書（様式第1別紙） 第1表、第4表、第5表

大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素量を入力							
指定期間	回収した二酸化炭素に係る情報			回収した二酸化炭素の便途に係る情報			操作
	回収した二酸化炭素の量	回収した年月日	発生由来	燃料にされる量	引き渡した年月日	燃料の種類	
燃料の使用に伴うエネルギー起 源CO2	10000	2025/02/01 ~ 2025/03/01	セメント製造	9000	2025/03/14	合成メタン	

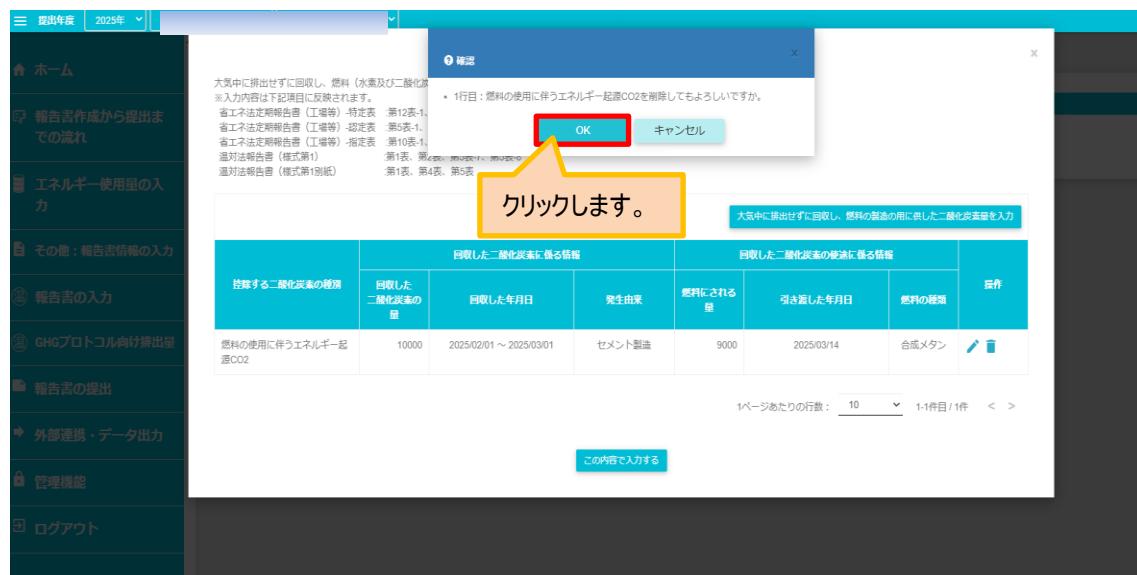
クリックします。

4.1.2. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の一覧画面からの削除

- ① 入力済みの大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量を削除する際は、「削除」ボタン(ゴミ箱マーク)をクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されます。削除して問題ないか確認後、「OK」ボタンをクリックします。



③ 該当の大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量が削除されます。「この内容で入力する」ボタンを押下し、削除した内容を登録します。「この内容で入力する」ボタンを押下せずに画面を閉じると、削除内容が登録されません。

The screenshot shows the GHG Reporting System's 'Delete CO2 Emissions' page. The left sidebar includes links like Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, Other Report Submission Input, Report Submission, GHG Protocol Scope 1 Emissions, Report Submission Submission, External Integration / Data Output, Management Functions, and Logout. The main content area has a header: '大気中に排出せずに回収し、燃料（水素及び二酸化炭素から合成した気体の燃料を除く。）の製造の用に供した二酸化炭素量を記入してください。※入力内容は下記項目に反映されます。' Below it is a table with columns: '指揮する二酸化炭素の種類' (Type of CO2 emitted), '回収した二酸化炭素に係る情報' (Information about recovered CO2), '回収した二酸化炭素の用途に係る情報' (Information about the use of recovered CO2), and '操作' (Action). A red box highlights the '回収した二酸化炭素の種類' column. A red button at the bottom center labeled 'この内容で入力する' (Enter this content) is also highlighted with a red box. A yellow callout bubble points to this button with the text 'クリックします。' (Click here).

5. 定期報告書の作成(定期報告書項目の補完)

提出する定期報告書の書式にあわせて作成します。

まず、事業所ユーザが指定表を作成し、その後、事業者ユーザが特定表(必要であれば認定表)を作成します。

なお、報告書の作成には複数のユーザが関わっているため、必ず、「報告書データの更新」を行った上で作業を行ってください。

なお、「2. エネルギー使用量入力」「3. 認証排出削減量入力」「4. 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量入力」で入力された内容が、定期報告書に反映されます。

ここでは、定期報告書の提出にあたり、不足している情報の入力を行います。

5.1. ヘッダー部の操作説明

定期報告書の入力画面で使用するヘッダー部の操作説明です。

5.2. 定期報告書データの入力準備

定期報告書のデータの更新について説明します。他の画面で入力・変更した内容を反映させるため、報告書の入力を行う前に、報告書データを最新化します。

- ・定期報告書データの最新化

5.3. 定期報告書の入力

省エネ法定期報告書の様式に沿って入力を行います。

事前に入力したエネルギー使用量、認証排出削減量入力等の情報は既に反映されています。ここでは、定期報告書提出にあたり不足している情報を入力し、定期報告書を完成させます。

- ・定期報告書様式第9(指定表)
- ・定期報告書様式第9(特定表)
- ・定期報告書様式第9(認定表)
- ・温対法報告書様式第1の2
- ・温対法報告書様式第2
- ・添付資料の登録

5.4. 定期報告書入力エラー時の対応方法

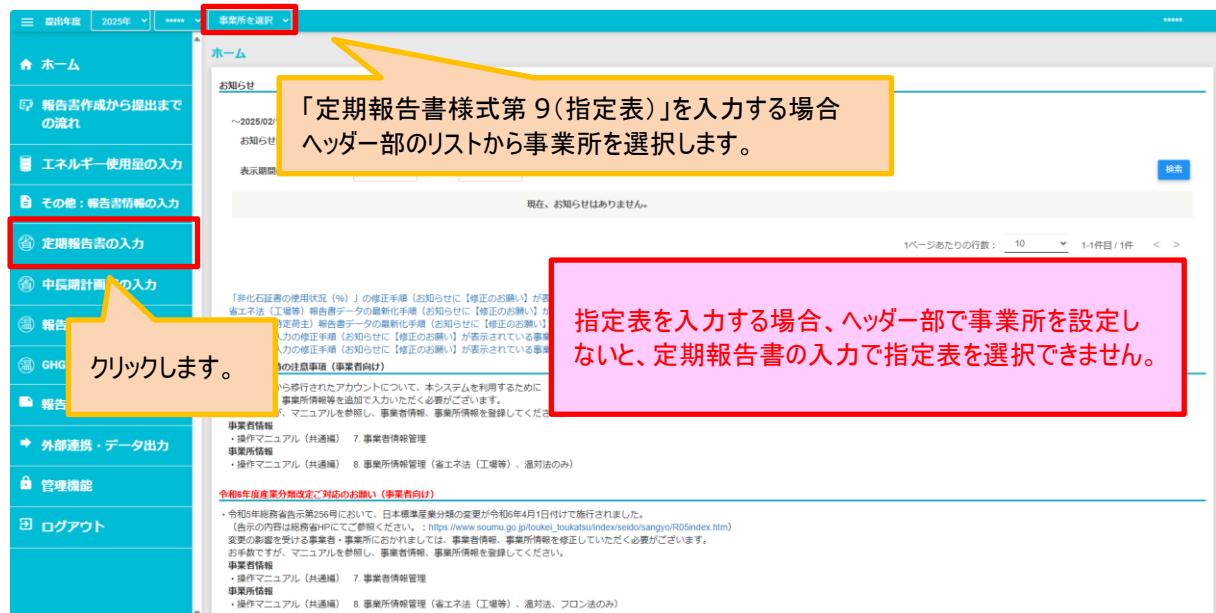
「入力内容を保存」ボタンクリック時、保存の前に入力内容がチェックされます。定期報告書の入力時にエラーがあった場合、エラーメッセージの内容に従って、修正します。

5.1. ヘッダー部の操作説明

定期報告書の入力画面で使用するヘッダー部の操作説明です。

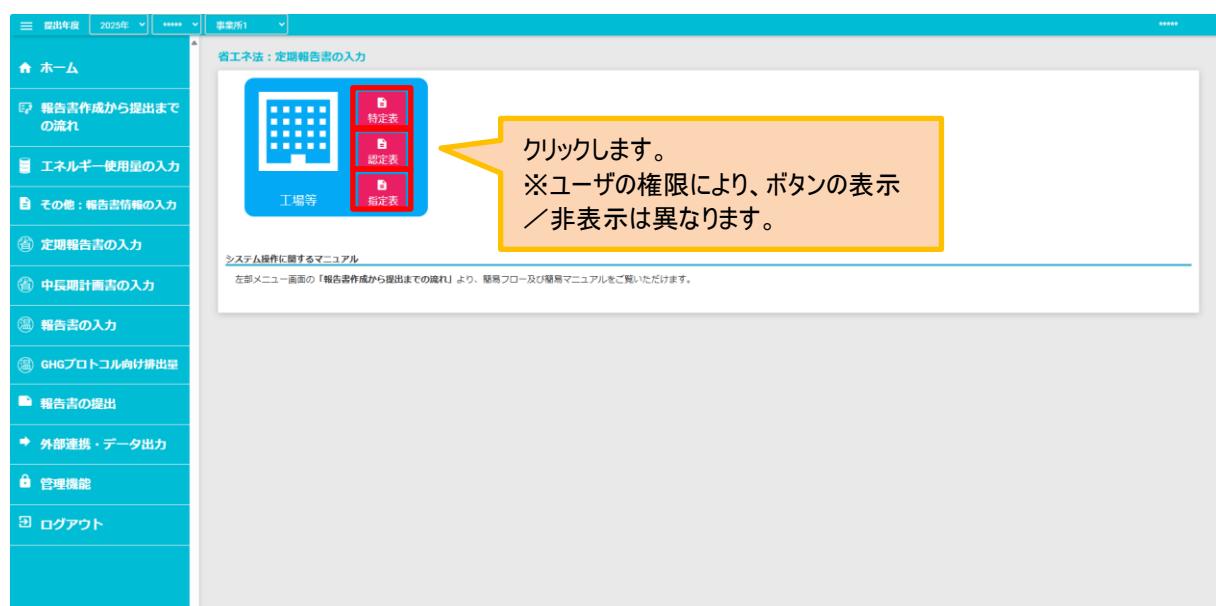
- ① ホーム画面のメニューより「定期報告書の入力」をクリックします。

なお、「定期報告書様式第9(指定表)」の入力を行う場合は、ヘッダー部のリストから対象の「事業所」を選択後、ホーム画面の「定期報告書の入力」メニューをクリックします。



- ② 入力する帳票のボタンをクリックすると定期報告書の入力画面に遷移します。

ヘッダー部で事業所を設定していない場合、「指定表」の画面に遷移できません。ヘッダー部で事業所を設定してください。



- ③ 定期報告書の入力画面では「添付資料アップロード」、「削除」、「入力内容を保存」の機能が使用できます。
- 「添付資料アップロード」ボタンは、添付資料をEEGSにアップロードする際に使用します。詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。
 - 「削除」ボタンは、入力内容をクリアする場合に使用します。「削除」ボタンをクリックすると表示している画面でユーザが入力可能な項目がクリアされます。
 - 「入力内容を保存」ボタンは、現在入力している内容を一時保存する場合に使用します。
なお、「入力内容を保存」ボタンをクリックせずに、EEGSを終了すると入力内容が保存されません。保存するには、必ず「入力内容を保存」ボタンをクリックしてください。

「添付資料アップロード」ボタンをクリックすると添付資料アップロード画面が表示されます。画面の詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

「削除」ボタンをクリックすると表示している画面の入力内容がクリアされます。

「入力内容を保存」ボタンをクリックすると表示している画面の内容が保存されます。

5.2. 定期報告書データの入力準備

定期報告書データの入力準備についての説明です。他の画面で入力・変更した内容を反映させるため、報告書の入力を行う前に、報告書データを最新化します。定期報告書の入力画面を表示するまでの手順は「5.15.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

5.2.1. 定期報告書データの最新化

EEGS では事業所の担当者単位でアカウントを付与することが可能であるため、事業所の各担当者が、自身の事業所に関するエネルギー使用量を入力したり「定期報告書様式第 9(指定表)」を作成することを想定しています。

「定期報告書様式第 9(特定表)」は事業者(事務局)、または事業者の担当者が作成することを想定しています。

また、「定期報告書様式第 9(特定表)」は各事業所の担当者が EEGS で入力したエネルギー使用量等を基にして作成されます。

各事業所の担当者が EEGS に入力した最新のエネルギー使用量等を取り込むため、「定期報告書様式第 9(特定表)」を作成する前に、必ず「報告書データの更新」ボタンをクリックし、最新の状態にしたうえで、「定期報告書様式第 9(特定表)」の作成を実施してください。

なお、「定期報告書様式第 9(指定表)」、「定期報告書様式第 9(認定表)」においても同様に、最新のエネルギー使用量等を取り込むため、必ず「報告書データの更新」ボタンをクリックしてから報告書の作成を実施してください。

The screenshot shows the EEGS reporting system interface. On the left is a sidebar with various menu items like 'Home', 'Report Submission from Submission until Submission', 'Energy Use Input', etc. The main area is titled '省エネ法: 定期報告書(特定表)' and shows a form for 'Report Data Update'. At the top right of the update form, there is a red box highlighting the 'Report Data Update' button. An orange callout bubble with the text 'クリックします。' (Click here.) points to this button. The form contains fields for 'Submission Date', 'Address', 'Organization Name', and 'Contact Person'.

5.2.2. XML 形式外部ファイルの取り込み

前年度に EEGS で定期報告書の入力を行っていた場合、前年度データを利用して定期報告書のデータを取り込むことができます。

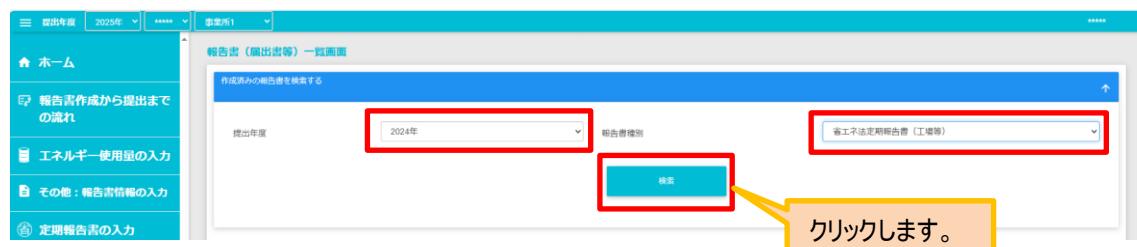
5.2.2.1. 前年度報告データのダウンロード

前年度に報告したデータは、本システムの報告書基本情報よりダウンロードすることができます。

- ① メニューより「報告書の提出」を選択し、「報告書(届出書等)の一覧」をクリックします。



- ② 「報告書(届出書等)の一覧」画面の検索条件として、「提出年度」欄に前年度、「報告書種別」欄に取得したい報告書種別を設定し、「検索」をクリックします。



- ③ ファイル一覧に表示された報告書の編集アイコンをクリックします。



- ④ 報告書基本情報画面「本体一括ダウンロード形式選択」のプルダウンより「XML 形式」を選択しダウンロードすることで「XML 形式」にてファイルダウンロードできます。

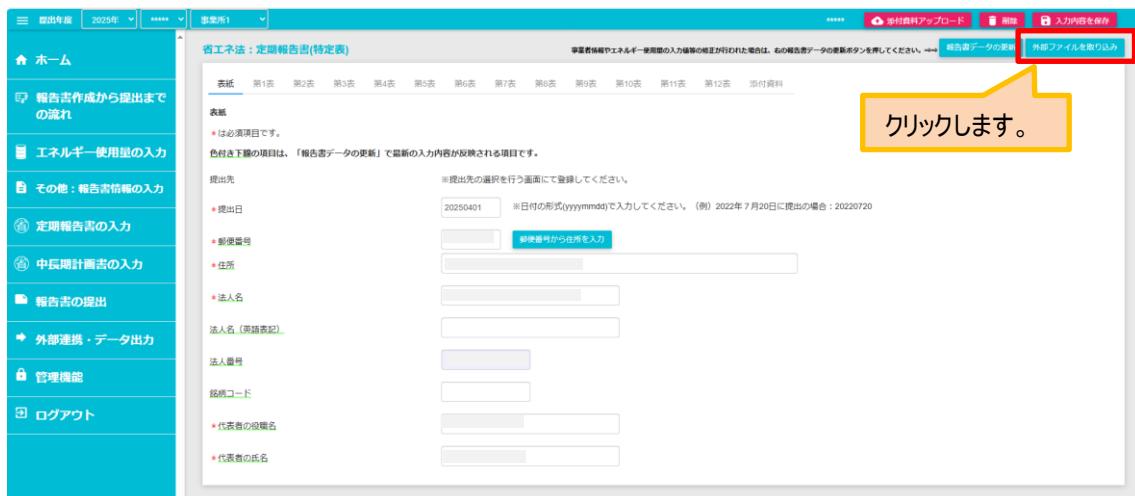


5.2.2.2. XML 形式外部ファイルの取り込み手順

ダウンロードした XML 形式の外部ファイルは、報告書入力画面で取り込むことが可能です。

(特定表・指定表・認定表ともに、同様の手順で取り込み可能です)

①報告書入力画面で「外部ファイル取り込み」ボタンをクリックします。



②「XML 形式報告書取り込み」画面が表示されます。



③前年度の報告書を選択し、「ファイル取込」ボタンをクリックします。



④報告書画面に戻り、前年度の報告書内容が反映されます。

5.3. 定期報告書の入力

事前に入力した事業者・事業所情報、エネルギー使用量等の情報は既に反映されています。ここでは、報告書提出にあたり不足している情報を追加で入力し、定期報告書を完成させます。

定期報告書の入力画面を表示するまでの手順は「2.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

「連携省エネルギー措置による省エネ効果」の報告がある場合、事業者基本情報入力画面の「連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。」が「はい」に設定されているか確認してください。「はい」に設定されていないと各入力画面で関連する項目が非表示になります。事業者基本情報入力画面の表示手順は「操作マニュアル(共通編) 5.4. メニュー ⇒ 5.4.11. 管理機能メニュー ⇒ 5.4.12 事業者管理メニュー」を参照してください。

* ベンチマーク指標が設定された事業を行っていますか。
※対象となる事業は[こちらを参考ください](#)。

はい いいえ

* 連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。

はい いいえ

* 電気の使用量を報告する形式を選択してください。
※電気を使用していない場合、変更の必要はありません。

月別 時間帯別

* 温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用しますか。

はい いいえ

5.3.1. 定期報告書様式第9(指定表)

まず工場・事業所ごとに指定表を作成します。

定期報告書様式第9(指定表)の表示手順は「5.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

5.3.1.1. 指定-第1表画面

① 第1表タブを選択すると指定-第1表画面が表示されます。事業所情報で登録されている内容が、自動的に反映されます。報告書提出にあたり不足している情報を入力します。

なお、*印は必須入力項目です。制度上で必要な項目について「*」を付けるように、システムで統一しております。既に、事業者情報で入力がされている場合は、その画面入力時点で「*」を付けるようにしています。

電話番号・FAX番号は、半角英数字で入力してください。ハイフンの有無は問いません。(例) 0123456789, 012-3456-7890

② エネルギー管理者(管理員)情報を追加する場合は、「エネルギー管理者(員)情報を追加する」ボタンをクリックします。

③ エネルギー管理者(管理員)情報を削除する場合は、「エネルギー管理者(員)情報」欄の「削除する」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Manager Information' section of the reporting system. A yellow callout box points to the 'Delete' button in the bottom right corner of the dialog box. The dialog box contains the message: 'Are you sure you want to delete the energy manager (员)?'. The background form includes fields for business name, address, and contact information.

④ 確認メッセージが表示されるので問題なければ、「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same interface after clicking 'OK'. A yellow callout box points to the 'OK' button in the confirmation dialog box. The dialog box displays the message: 'Are you sure you want to delete the energy manager (员)?'. The background form remains visible.

5.3.1.2. 指定-第2表画面

- ① 第2表タブを選択すると指定-第2表画面が表示されます。

省エネ法：定期報告書(指定表)

事業者情報やエネルギー使用量の入力端末等の修正が行われた場合は、おの報告書データの更新ボタンを押してください。→ 報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表添付資料

指定-第2表 事業所

色付き下線の項目は、「報告書提出までの流れ」
クリックします。
5項目です。

指定-第2表の「エネルギー使用量の入力」の当該事業所の原油換算エネルギー使用量を入力します。

(※1) 指定-第2表は、エネルギー使用量の入力を自動集計しています。

(※2) 前年度に定期報告を提出している事業者は前回の値を入力してください(記入のヒント)。

1-1 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等のエネルギーの使用量

換算係数(8)を表示

エネルギーの種類	単位	2024年度							
		使用量		換算する際に気温を考慮するため使用した他の使用量		販売した再生エネルギーの量		購入したエネルギーの量	
		数値	熱量GJ	数値	熱量GJ	数値	熱量GJ	数値	熱量GJ
原油 (コンテンセート無く)	kL	-	-	-	-	-	-		
原油のうちコンテンセート (NGL)	kL	-	-	-	-	-	-		
揮発油	kL	-	-	-	-	-	-		
ナフサ	kL	-	-	-	-	-	-		
ジェット燃料油	kL	-	-	-	-	-	-		
灯油	kL	-	-	-	-	-	-		
軽油	kL	-	-	-	-	-	-		
△重油	kL	-	-	-	-	-	-		

- ② 前年度の当該事業所の原油換算エネルギー使用量を入力してください。
- ③ 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、「前年度原油換算 kL」の値を直接入力していただくようになります。

省エネ法：定期報告書(指定表)

事業所

ホーム 報告書作成から提出までの流れ エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力 定期報告書の入力 中長期計画書の入力 報告書の提出 外部連携・データ出力 管理機能 ログアウト

エネルギーの種類	単位	2024年度							
		使用量		換算する際に気温を考慮するため使用した他の使用量		販売した再生エネルギーの量		購入したエネルギーの量	
		数値	熱量GJ	数値	熱量GJ	数値	熱量GJ	数値	熱量GJ
自家発電	kW	-	-	-	-	-	-		
水力	千kWh	-	-	-	-	-	-		
その他 (非燃料 由来の非 化石)	kW	-	-	-	-	-	-		
その他 (燃耗)	千kWh	-	-	-	-	-	-		
化石	千kWh	-	-	-	-	-	-		
石油	千kWh	-	-	-	-	-	-		
その他 (燃)	千kWh	-	-	-	-	-	-		
井化石	千kWh	-	-	-	-	-	-		
小計	千kWh	-	0	-	-	-	0		
うち非化石	千kWh	-	0	-	-	-	0		
重み付け非化石	千kWh	-	0	-	-	-	0		
合計 GJ		658	-	0	-	329	-	0	
うち非化石 GJ		136	-	0	-	68	-	0	
原油換算 kL	(⑥)	17	-	0	-	⑤	8	⑥'	
うち非化石 kL		4	-	0	-	2	-	0	
前年度原油換算 kL	(※半角入力)	654	-	0	-	-	-	-	
対前年度比(%)		2.6	-	-	-	-	-	-	

1-2 出荷必要超過化を踏まえた電力使用量の内訳

- ④ 電気需要の最適化の為、再生エネルギー余剰時などに電力需要を増加させる「上げ DR」、電力供給ひつ迫時に電力需要を抑制させる「下げ DR」など、DR(ディマンド・リスポンス)に資する措置を実施した回数、実績値、実施状況を入力します。

1-3 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数	日
------------------------	---

備考 1 ディマンド・リスポンスの対応を行った日数を記載すること。
 2 ディマンド・リスポンスとは、電気の需給に係る状況の変動に応じて電気の需要量を増加又は減少させることをいう。
 3 1日に数回ディマンド・リスポンスの対応を行った場合にも、「1日」として報告を行うこと。

1-4 電気の需要の最適化に資する措置の実績値等（任意で報告を求める事項）

アグリゲーター等とのディマンド・リスポンスに関する契約の状況		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
ディマンド・リスポンス実施時の最大供給容量	下げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kW
	上げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kW
ディマンド・リスポンス実施量	下げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kWh
	上げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kWh
	需給調整市場約定量	<input type="text"/> kWh

備考 1 ディマンド・リスポンス実施時の最大供給容量は、当該工場等におけるディマンド・リスポンス実施時の最も大きい値を記載すること。
 2 ディマンド・リスポンス実施量は、当該工場等における年度の合計量を記載すること。

1-5 電気の需要の最適化に資する措置を実施するにあたり活用した設備（任意で報告を求める事項）

自家発電設備	<input type="text"/>
電気を消費する機械器具	<input type="text"/>
空気調和設備	<input type="text"/>
蓄電池及び蓄熱システム	<input type="text"/>
その他	<input type="text"/>

備考 1 ディマンド・リスポンスの対応を行うにあたり設置する当該工場で活用した設備を報告すること。

5.3.1.3. 指定-第3表画面

① 第3表タブを選択すると指定-第3表画面が表示されます。「エネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況」を入力します。

② 「エネルギーの使用の合理化に関する設備」、「上記以外のエネルギーを消費する主要な設備」の追加を行う場合はそれぞれの「行追加」ボタンをクリックします。

③「エネルギーの使用の合理化に関する設備」、「上記以外のエネルギーを消費する主要な設備」入力欄が不要な場合はそれぞれの「行削除」ボタンをクリックします。

省エネ法：定期報告書(指定表)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 添付資料

指定-第3表 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

エネルギー-指定管理工場におけるエネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況

(※1) 入力欄の各項目に記入がされていない場合、出力できませんのでご注意ください。

エネルギーの使用の合理化に関する設備

設備の名称	設備の概要	稼働状況	新設、改修又は撤去の状況	行追加	削除
					削除

上記以外のエネルギーを消費する主要な設備

設備の名称	設備の概要	稼働状況	新設、改修又は撤去の状況	行追加	削除
					削除

(参照) 【記入要領】
2. 様式第9について
[エネルギー-管理指定工場等単位の報告]
(3)指定-第3表

④ 確認メッセージが表示されるので、問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

省エネ法：定期報告書(指定表)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 添付資料

指定-第3表 エネルギー管理指定工場等

● 確認

削除してもよろしいですか。

OK キャンセル

主な設備の概要、稼働状況及び新設、改修又は撤去の状況

エネルギー-指定管理工場におけるエネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況

(※1) 入力欄の各項目に記入がされていない場合、出力できませんのでご注意ください。

エネルギーの使用の合理化に関する設備

設備の名称	設備の概要	稼働状況	新設、改修又は撤去の状況	行追加	削除
ダミー					削除

上記以外のエネルギーを消費する主要な設備

設備の名称	設備の概要	稼働状況	新設、改修又は撤去の状況	行追加	削除
					削除

(参照) 【記入要領】
2. 様式第9について
[エネルギー-管理指定工場等単位の報告]
(3)指定-第3表

5.3.1.4. 指定-第4表画面

- ① 第4表タブを選択すると指定-第4表画面が表示されます。
- ② 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、「前年度の当該事業所のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値」を直接入力していただくようになります。

省エネ法：定期報告書(指定表)

事業者情報やエネルギー使用量の入力等の修正が行われた場合は、おの報告書データの更新ボタンを押してください。

報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 添付資料

指定-第4表 エネルギーの使用量と密接な関係をもつ値

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

指定期間：2024年度 | 前年度生産比(%)

生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値	2024年度	前年度生産比(%)
名称：(小麦粉使用量) 単位：(千袋)	◎ 767.0	100.0%
前年度の当該事業所のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値	767	

5.3.1.5. 指定-第5表画面

- ① 第5表タブを選択すると指定-第5表画面が表示されます。
- ② 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、「前年度の当該事業所のエネルギーの使用に係る原単位」および「前年度の当該事業所の電気需要平準化評価原単位」を直接入力していただくようになります。

1. エネルギー消費原単位		
	2024年度	対前年度比(%)
原単位=	0	0.0%
生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と 密接な関係をもつ値 (※2表第4表④)	7.16669254889178	

2. 電気需要平準化評価原単位		
	2024年度	対前年度比(%)
電気需要平準化評価原単位(原油換算kWh) エネルギー使用量(原油換算kWh)	0	0.0%
生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と 密接な関係をもつ値 (※2表第4表④)	7.51694176923076	

5.3.1.6. 指定-第6表画面

- ① 第6表タブを選択すると指定-第6表画面が表示されます。
- ② 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、過去5年度間の「エネルギーの使用に係る原単位」および「電気需要平準化評価原単位」を直接入力していただくようになります。また、エネルギー消費原単位と電気需要最適化評価原単位の欄には旧法に基づく数値と新法に基づく数値の両方が表示され、括弧書きで表示されている数値が旧法に、そうでないものが新法に基づいた数値となっています。
- ③ 過年度の原単位または対前年度比を変更する場合は、ヘッダー(添付資料アップロード)画面で説明書を添付してください。添付ファイルは、「5.3.6 添付資料の登録」を参照し、ファイルをアップロードしてください。

説明書を添付する場合はクリックしてください。画面の詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

1. エネルギー消費原単位		2. 電気需要平準化評価原単位				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
エネルギー消費原単位		(7,293)	(7,521)	(7,345)	(7,522654)	(7,166692)
対前年度比(%)	-	103.1	97.7	103.8	(※1)	

2. 電気需要平準化評価原単位		3. 化石エネルギーの使用状況				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気需要平準化評価原単位		(7,777)	(8,079)	(7,896)	(8,208908)	(7,516941)
対前年度比(%)	-	103.9	97.7	104.0	(※1)	

5.3.1.7. 指定-第7表画面

① 第7表タブを選択すると指定-第7表画面が表示されます。指定-第6表の入力で、原単位が改善できなかった場合に、その理由を入力してください。(入力が不要な欄は紫で表示されます)

省エネ法：定期報告書(指定表)

事業所2

2025年

添付資料アップロード 削除 入力内容保存

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 添付資料

指定-第7表 エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位が改善できなかった場合の理由

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1 エネルギー消費原単位の改善 (注入のヒント)

過去5年度間のエネルギー消費原単位が年平均1%以上改善できなかった場合、(イ)に理由を入力してください。

イ

エネルギー消費原単位が前年度に比べ改善できなかった場合、(イ)に理由を入力してください。

2 電気需要最適化評価原単位の改善

過去5年度間電気需要最適化評価原単位が年平均1%以上改善できなかった場合、(イ)に理由を入力してください。

八

電気需要最適化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合、(二)に理由を入力してください。

5.3.1.8. 指定-第8表画面

① 第8表タブを選択すると指定-第8表画面が表示されます。「エネルギー管理指定工場等の判断基準遵守状況」を入力します。

② 指定-第8表-1は、管理機能メニューの事業所情報詳細登録で「1.専ら事務所」を選択した場合に入力します。該当する対象項目(設備)にチェックを入れると、判断基準の遵守状況を選択できるようになります。

事業所情報管理の登録は「操作マニュアル(共通編) 8.2.1. 事業所情報の登録・変更」を参照してください。

選択	対象項目(設備)	運転の管理	計測及び記録	保守及び点検	新設・更新に当たっての措置
	(1) 燃料の燃焼の合理化	燃料の燃焼の管理 管理標準の設定の状況 ○ 設定済 ○ 一部設定済(<input type="text"/> %) ○ 未設定	燃料の燃焼に関する計測及び記録 管理標準に定めている状況 ○ 実施している ○ 一部実施している	燃料の燃焼の保守及び点検 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 ○ 実施している ○ 一部実施している	燃料設備の新設・更新に当たっての措置 ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置した ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置していない ○ 当該年度に設備を新設・更新していない
	(2) ガス器具、瓦斯器具、瓦斯エンジン等専ら発電のみに供される設備(熱電併用設備)、(3) エネルギーネーション設備	熱電併用設備、エネルギー再生設備の管理 管理標準の設定の状況 ○ 設定済 ○ 一部設定済(<input type="text"/> %) ● 未設定	熱電併用設備、エネルギー再生設備に関する計測及び記録 管理標準に定めている状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	熱電併用設備等の保守及び点検 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	熱電併用設備等の新設・更新に当たっての措置 ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置した ● 新設・更新の際、既存設備とおり措置していない ○ 当該年度に設備を新設・更新していない
	(4) 太陽光発電設備等	太陽光発電設備等の管理 管理標準の設定の状況 ● 設定済 ○ 一部設定済(<input type="text"/> %) ○ 未設定	太陽光発電設備等に関する計測及び記録 管理標準に定めている状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	太陽光発電設備等の保守及び点検 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	太陽光発電設備等の新設・更新に当たっての措置 ● 新設・更新の際、既存設備とおり措置した ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置していない ○ 当該年度に設備を新設・更新していない
	(5) 事務用機器、民生用機器	事務用機器の管理 管理標準の設定の状況 ○ 設定済 ● 一部設定済(<input type="text"/> %) ○ 未設定	事務用機器に関する計測及び記録 管理標準に定めている状況 ○ 実施している ○ 一部実施している ● 実施していない	事務用機器の保守及び点検 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	事務用機器、民生用機器の新設・更新に当たっての措置 ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置した ● 新設・更新の際、既存設備とおり措置していない ○ 当該年度に設備を新設・更新していない
	(6) 業務用機器	業務用機器の管理 管理標準の設定の状況 ● 設定済 ○ 一部設定済(<input type="text"/> %) ○ 未設定	業務用機器に関する計測及び記録 管理標準に定めている状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	業務用機器の保守及び点検 管理標準に定めている保守及び点検の実施状況 ● 実施している ○ 一部実施している ○ 実施していない	業務用機器の新設・更新に当たっての措置 ● 新設・更新の際、既存設備とおり措置した ○ 新設・更新の際、既存設備とおり措置していない ○ 当該年度に設備を新設・更新していない
	(7) その他	(7) 業務用機器についての情報提供			

必ず事業所内のすべての施設を正確に入力してください。

③ 指定-第8表-2は、管理機能メニューの事業所情報詳細登録で「2.工場等」を選択した場合に入力します。

該当する対象項目(設備)にチェックを入れると、判断基準の遵守状況を選択できるようになります。

対象項目 (設備)	規制の管理	計測及び記録	保守及び点検	新設・更新に当たっての措置
燃料の燃焼の管理	燃料の燃焼に関する計測及び記録	燃料設備の保守及び点検	燃料設備の新設・更新に当たっての措置	
管理標準の設定の状況	計測及び記録に関する管理標準の設定の状況	保守及び点検に関する管理標準の設定の状況		
<input checked="" type="checkbox"/> (1) 燃料の燃焼の合理化	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済(<input type="text" value="0"/> %) <input type="radio"/> 未設定	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済(<input type="text" value="0"/> %) <input type="radio"/> 未設定	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済(<input type="text" value="0"/> %) <input type="radio"/> 未設定	<input type="radio"/> 新設・更新の際、判断基準どおり措置した <input type="radio"/> 新設・更新の際、判断基準どおり措置していない <input type="radio"/> 当該年度に設備を新設・更新していない
管理標準に定めている管理の状況	管理標準に定めている計測及び記録の実施状況	管理標準に定めている保守及び点検の実施状況		
<input type="radio"/> 実施している <input type="radio"/> 一部実施している <input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> 実施している <input type="radio"/> 一部実施している <input type="radio"/> 実施していない	<input type="radio"/> 実施している <input type="radio"/> 一部実施している <input type="radio"/> 実施していない		
(2) 加熱及び余排熱及び伝熱の合理化				

④指定-第8表2-2の入力欄は、「追加」ボタンをクリックすると表示されます。

クリックします。

表示されます。

5.3.1.9. 指定-第9表画面

① 第9表タブを選択すると指定-第9表画面が表示されます。先に入力した以外に「省エネのための改善措置」を実施している場合記入します。

5.3.1.10. 指定-第10表画面

① 第10表タブを選択すると指定-第10表画面が表示されます。

- ・指定-第10表1、2には、入力されたエネルギー使用量から自動計算したCO₂排出量が表示されます。
- ・指定-第10表3の1では「エネルギー使用量入力」で入力した都市ガス供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・指定-第10表3の2では「エネルギー使用量入力」で入力した電気事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・指定-第10表3の3では「エネルギー使用量入力」で入力した熱供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・指定-第10表4では、温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用する場合に、その内容を入力します。
- ・指定-第10表5の1では「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力」で入力した大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量が表示されます。複数入力がある場合は、合算値が表示されます。
- ・指定-第10表5の2では「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力」で入力した回収した二酸化炭素に関する情報が表示されます。
- ・指定-第10表6で該当がある場合は「1:有」を選択し、必要書類を準備の上で、定期報告書に添付します。

※ 報告書情報やエネルギー使用量の修正が行われた場合は、その報告書データの更新ボタンを押してください。→ [報告書データの更新](#) [外部ファイルを取り込み](#)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 [添付資料](#)

指定-第10表 エネルギー管理指定工場等、連鎖エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等におけるエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

*は必須項目です。
色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

CO₂排出量は、登録されたエネルギー使用量などから自動計算しています。
指定-第10表2は、当該事業所の主たる事業が発電所(311)又は熱供給業(351)の場合のみ該当します。
登録量が排出量を上回っている場合、負の値ではなくて報告してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	産業物の燃料使用に伴うものを除く二酸化炭素	0 t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	産業物の燃料使用に伴う二酸化炭素	0 t-CO ₂

2 電気事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給施設が設置されている工場等において燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

「産業物の燃料としての使用」、「産業物由来の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
※EEGSで報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。
登録量が排出量を上回っている場合、負の値ではなくて報告してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO ₂
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO ₂

3.01 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数

都市ガスの使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギー使用量の入力から編集してください。

② 3 の 2 の排出量算定係数を追加する場合は「行追加」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the reporting system's main interface. On the left is a sidebar with various menu items like Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, etc. The main area displays a table for calculating greenhouse gas emissions. A specific row for 'エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素' (CO₂ from energy use) is highlighted. To the right of this row, there are two columns for '係数' (Coefficient) and '係数の適用範囲' (Scope of application), both currently showing '0 t-CO₂'. Below the table, there are three numbered sections (3.01, 3.02, 3.03) detailing the calculation logic. At the bottom right of the table area, a red-bordered '行追加' (Add Row) button is visible. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button.

This screenshot shows the same reporting system interface after a new row has been added. The newly added row at the bottom of the table now contains the value 't-CO₂/kWh' in the '係数' column and a light blue '削除' (Delete) button in the '係数の適用範囲' column. The rest of the interface remains identical to the first screenshot, including the sidebar and the detailed explanatory sections below the table.

③ 3の2の排出量算定係数の不要な入力欄を削除する場合は「行削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the reporting system's interface for energy usage reporting. On the left is a sidebar with various menu items. The main area displays energy usage data and coefficients for calculating greenhouse gas emissions. A yellow callout box points to a red-bordered '削除' (Delete) button located in the bottom right corner of the coefficient table for section 3.03.

④ 確認メッセージが表示されるので問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the reporting system's interface after attempting to delete a row. A confirmation dialog box titled '確認' (Confirmation) is displayed in the center. It contains the message '削除してもよろしいですか。' (Is it okay to delete?). Two buttons are visible: 'OK' (highlighted with a yellow box) and 'キャンセル' (Cancel). A yellow callout box points to the 'OK' button.

⑤エネルギー使用量の入力画面において、独自係数及び実測排出量の入力を行った場合は「4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容」を入力します。独自係数及び実測排出量の入力画面で入力した「当該算定方法又は係数の内容」を転記するには、「実測値の内容を転記」ボタンをクリックしてください。

2 热供給事業の用に供する施設又は热供給事業の用に供する热供給施設が設置されている工場等において燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量の算定における
「施設の使用料としての使用」、「施設の出荷の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
※EEGSで報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。
修正が必要な場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 0 t-CO₂

301 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
都市ガスの使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

302 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された熱の使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

303 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された熱の使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
内容を入力してください。

実測値の内容を転記

501 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量 0 t-CO₂

502 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

503 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

5 極利税の促進による減税扶助情報の提供の確認

⑥「実測値の内容を転記」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックしてください。

2 热供給事業の用に供する施設又は热供給事業の用に供する热供給施設
「施設の使用料としての使用」、「施設の出荷の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
※EEGSで報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。
修正が必要な場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 0 t-CO₂

301 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
都市ガスの使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

302 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された熱の使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

303 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された熱の使用に伴うCO₂排出係数について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギーの使用量の入力から編集してください。

施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭
施設の概要	燃料の概要	燃料の適用範囲	行頭

4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
内容を入力してください。

実測値の内容を転記

501 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量 0 t-CO₂

502 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

503 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

⑦「温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報等の提供」を行う場合、「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「1:有」を選択します。提供を行わない場合は「2:無」を選択します。
「1:有」を選択後、温対法様式第2タブが表示されます。

(記入方法については「5.3.5.温対法報告書様式第2」を参照してください。)

クリックします。

省エネ法：定期報告書(指定表)

事業者情報やエネルギー使用量の入力履歴の修正が行われた場合は、右の報告データの更新ボタンを押してください。➡[報告データの更新](#)

[添付資料アップロード](#) [用紙](#) [外部ファイルを取り込み](#)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 [温対法様式案](#) [添付資料](#)

指定-第10表 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等におけるエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

*は必須項目です。

赤付下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

表示されます。

1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

CO2排出量は、登録されたエネルギー使用量から自動計算しています。
指定-第10表-2は、当該事業所の主たる事が発売所(3311)又は熱供給業(3511)の場合のみ該当します。
控除量が引出量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	廃棄物の燃焼料使用に伴うものを算く二酸化炭素	0 t-CO2
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	廃棄物の燃焼料使用に伴う二酸化炭素	0 t-CO2

2 電気事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給施設が設置されている工場等において燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

「廃棄物の燃料としての使用」、「廃棄物由來の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
左EPCで報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。
控除量が引出量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO2
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO2

3の1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
新規方との使用に伴うCO2排出係数について、間に登録された情報をもとに表示しています。

表示されます。

「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「2:無」を選択すると、温対法様式第2タブが非表示になります。

都市ガスの使用に伴うCO2排出量について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギー一使用量の入力から編集してください。

3.02 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された電気の使用に伴うCO2排出量について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギー一使用量の入力から編集してください。

3.03 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
他人から供給された熱の使用に伴うCO2排出量について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギー一使用量の入力から編集してください。

4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
内容を入力してください。

5.01 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の際に使用した二酸化炭素の量

5.02 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の際に使用した二酸化炭素に関する情報

6 燃料料金の改定に係る請求及び情報の提供の有無

権利利益の存続に係る請求及び情報の提供の有無について、「1: 有」を選択する場合は選びなおしてください。
※料金改定に係る請求の有無
(該当するものを選択すること)

1: 有 2: 無

その他の関連情報の提供の有無
(該当するものを選択すること)

1: 有 2: 無

上記1の報告に際して地球温暖化対策の推進に関する法律第32条第1項の規定による
「温室効果ガスの排出量の算定に用いること」として、
当該事業所の運営に係る温室効果ガスの排出量が算出される場合があると想定すると
この算定に係るものである場合は、「1: 有」を選び、下部に提出用紙欄の内容を入力してください。

実測値の内容を記入
0 t-CO2

2番

クリックします。

事業者情報やエネルギー一使用量等の修正が行われた場合は、その報告データの更新ボタンを押してください。➡> 報告データの更新 | 外部ファイルを取り込み

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 **第11表** **添付書類**

指定・第10表 エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括工場等のエネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等におけるエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

*は必須項目です。
色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

CO2排出量は、登録されたエネルギー一使用量などから自動計算しています。
指定・第10表-2は、当該事業所の主たる事業が発電(331)又は供給販売(351)の場合のみ該当します。
控除量が用出量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

廃棄物の原燃料使用に伴うもの以外の二酸化炭素	0 t-CO2
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	0 t-CO2

2 電気事業の用に供する発電所又は供給事業の用に供する供給施設が設置されている工場等において燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

「廃棄物の燃料としての使用」、「廃棄物由来の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
※EGSで報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。
控除量が用出量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	t-CO2
-----------------------	-------

3.01 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
都市ガスの使用に伴うCO2排出量について、既に登録された情報をもとに表示しています。
修正の必要がある場合は、エネルギー一使用量の入力から編集してください。

5.3.2. 定期報告書様式第9(特定表)

事業所が指定表を作成した後で、事業者が特定表を作成します。「報告書データの更新」ボタンを押してから入力を開始してください。指定表で入力した内容が集約されて特定表の第2表等に自動計算して反映されます。

定期報告書様式第9(特定表)の表示手順は「5.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

5.3.2.1. 特定-表紙画面

① 表紙タブを選択すると表紙画面が表示されます。事業者情報で登録されている内容が、自動的に反映されます。報告書提出にあたり不足している情報を入力します。

なお、*印は必須入力項目です。制度上で必要な項目について「*」を付けるように、システムで統一しております。既に、事業者情報で入力がされている場合は、その画面入力時点で「*」を付けるようにしています。

報告年版 2025年 事業所を選択 布告書データの更新 外部ファイルを取り込み 入力内容を保存

省エネ法: 定期報告書(特定表)

事業者情報やエネルギー使用量の入力履歴の修正が行われた場合は、右の報告書データの更新ボタンを押してください。

表紙 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 添付資料

表紙
必須項目です。
付箋下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

提出先
提出日
郵便番号
住所
法人名
法人名(英語表記)
法人番号
銘柄コード
代表者の役職名
代表者の氏名

※提出先の選択を行う画面にて登録してください。
例) 2022年7月20日に提出の場合: 20220720

郵便番号から住所を入力

クリックすると表紙画面が表示されます。

クリックすると入力されている郵便番号から住所が反映されます。

5.3.2.2. 特定-第1表画面

① 第1表タブを選択すると特定-第1表画面が表示されます。事業者情報で登録されている内容が、自動的に反映されます。報告書提出にあたり不足している情報を入力します。

電話番号・FAX 番号は、半角英数字で入力してください。ハイフンの有無は問いません。(例) 0123456789, 012-3456-7890

② 「産業分類から細分類番号を取得」ボタンをクリックすると細分類番号検索画面が表示されます。大分類、中分類、小分類、細分類を選択し、「この内容で入力する」ボタンをクリックすると元画面の細分類番号に反映されます。

※細分類番号は直接入力もできます。存在しない値を入力するとエラーメッセージが表示されます。

5.3.2.3. 特定-第2表画面

① 第2表タブを選択すると特定-第2表画面が表示されます。

省エネ法：定期報告書(特定表)

事業所を選択

ホーム 報告書作成から提出までの流れ エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力 定期報告書の入力 中長期計画書の入力 報告書の提出 外部連携・データ出力 管理機能 ログアウト

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 添付資料

特定-第2表 事業者のエネルギーの使用量
色付点下線の項目は、「報告書データの確認」
1-1 エネルギーの使用量及び運営省エネ法による算定値

特記事項
(※1) 特定-第2表は、エネルギー使用量の対前年度比(%)を算出するため、前年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を入力します。
(※2) 前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を入力してください(記入のヒント)。

計算値(①)を表示

		使用量		他省に供給する熱・電気を発生させるために使用した燃料の使用量		販売した再生エネルギーの量		購入した再生燃料の量	
エネルギーの種類		熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ
原油 (コンデンセート無く)	①	③ = ① × ①	②	③ = ② × ①	④	⑤ = ④ × ①	⑥	⑦ = ⑤ × ①	⑧
原油のうちコンデンセート (NGL)									
揮発油									

② 前年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を入力してください。

③ 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、「前年度原油換算 kJ」の値を直接入力していただくようになります。

省エネ法：定期報告書(特定表)

事業所を選択

ホーム 報告書作成から提出までの流れ エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力 定期報告書の入力 中長期計画書の入力 報告書の提出 外部連携・データ出力 管理機能 ログアウト

計算値(①)を表示

(※2) 前年度に定期報告を提出している事業者は報告した数値を入力してください(記入のヒント)。

		使用量		他省に供給する熱・電気を発生させるために使用した燃料の使用量		販売した再生エネルギーの量		購入した再生燃料の量	
(資源調査結果の修正)		熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ	熱量	熱量 GJ
化石 その他の(熱) 非化石	①	③ = ① × ①	②	③ = ② × ①	④	⑤ = ④ × ①	⑥	⑦ = ⑤ × ①	⑧
化石 その他の(熱) 非化石	千kWh	—	864	—	—	—	0	—	—
小計 うち非化石	千kWh	—	488	—	—	—	0	—	—
重み付け非化石	千kWh	—	0	—	—	—	0	—	—
合計 kJ		1,970	—	0	—	553	—	—	—
うち非化石 kJ		724	—	0	—	118	—	—	—
原油換算 kJ	⑧-1	51	—	0	—	⑦	14	—	⑧
うち非化石 kJ		19	—	0	—	3	—	—	—
原油換算換算kJ(※半角入力)		1399	—	0	—	—	—	—	—
対前年度比(%)		3.6	—	—	—	—	—	—	—

備考
1. 他省に供給する熱・電気を発生させるために使用した燃料の使用量については、自ら使用する熱・電気を発生させるために使用する化石燃料及び非化石燃料も含めた全体のエネルギー使用量の内数とすること。
2. ⑧欄に記入する熱量換算値は、電気の量1キロワット時を熱量0.64ギガジユルとして換算した値を用いること。また、この熱量換算値は小計欄には含めないこと。

④電気需要の最適化の為、再生エネルギー余剰時などに電力需要を増加させる「上げ DR」、電力供給ひつ迫時に電力需要を抑制させる「下げ DR」など、DR(ディマンド・リスポンス)に資する措置を実施した回数、実績値、実施状況を入力します。

1-3 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数	<input type="text"/> 日
備考	
1 ディマンド・リスポンスの対応を行った日数を記載すること。 2 ディマンド・リスポンスとは、電気の需給に係る状況の変動に応じて電気の需要量を増加又は減少させることをいう。 3 1日に数回ディマンド・リスポンスの対応を行った場合にも、「1日」として報告を行うこと。 4 設置する指定工場等のうち最も多い事業所の日数を記載すること。	

1-4 電気の需要の最適化に資する措置の実績値等（任意で報告を求める事項）

アグリゲーター等とのディマンド・リスポンスに関する契約の状況		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
ディマンド・リスポンス実施時の最大供給容量	下げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kW
	上げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kW
ディマンド・リスポンス実施量	下げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kWh
	上げディマンド・リスポンス	<input type="text"/> kWh
	需給調整市場約定量	<input type="text"/> kWh

備考 1 ディマンド・リスポンス実施時の最大供給容量は、設置する工場等におけるディマンド・リスポンス実施時の最も大きい値を記載すること。
2 ディマンド・リスポンス実施量は、設置する工場等における年度の合計量を記載すること。

1-5 電気の需要の最適化に資する措置を実施するにあたり活用した設備（任意で報告を求める事項）

自家発電設備	<input type="text"/>
電気を消費する機械器具	<input type="text"/>
空気調和設備	<input type="text"/>
蓄電池及び蓄熱システム	<input type="text"/>
その他	<input type="text"/>

備考 1 ディマンド・リスポンスの対応を行うにあたり設置する工場等で活用した設備を報告すること。

5.3.2.4. 特定-第3表画面

① 第3表タブを選択すると特定-第3表画面が表示されます。

提出年度: 2023年

事業所を選択

ホーム

報告書作成から提出までの流れ

エネルギー使用量の入力

その他: 報告書情報の入力

定期報告書の入力

中長期計画書の入力

報告書の入力

GHGプロトコル向付け提出用

報告書の提出

外部連携・データ出力

管理機能

ログアウト

省エネ法: 定期報告書(特定表)

事業者情報やエネルギー使用量の修正が行われた場合は、右の報告書データの更新ボタンを押してください。→ 報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

事業分類		事業分類ごとのエネルギー消費原単位等の計算								
番号		エネルギーの使用量 (原油熱量kJ)	非化石燃料の補正を施したエネルギーの使用量 (原油熱量kJ)	販売した再生エネルギーの量 (原油熱量kJ)	購入したエネルギーの量 (原油熱量kJ)	$\frac{(C-1)}{(A-1)-B-C}$	$\frac{(C-1) \times 100}{(A-1)-B-C}$	生産数量又は仕掛品 在庫量との割合とエネルギーの使用量と 関連性指標をもつ値	エネルギー消費原単位	報告用のエネルギー消費原単位
1	工場等に係る 事業の名稱	673,379	673,379	0	0	673,379	100 %	— (名称: —) (単位: —)	—	—
	業分類別	(A-1) (合計) 673,379	(B-1) (合計) 673,379	① (合計)	② (合計)	(D-1) (合計) 0	673,379	100.0 %	③ 5368	(E-1) 125.4
事業者全体										

2-1 電気需要量化評価原単位等

事業分類		事業分類ごとの電気需要量化評価原単位等の計算								
番号		エネルギーの使用量 (原油熱量kJ)	非化石燃料化 及び炭化水素燃料 の補正を施したエネルギーの 使用量 (原油熱量kJ)	販売した再生 エネルギーの量 (原油熱量kJ)	購入した エネルギーの量 (原油熱量kJ)	$\frac{(C-1)}{(A-1)-B-C}$	$\frac{(C-1) \times 100}{(A-1)-B-C}$	生産数量又は仕掛品 在庫量との割合と エネルギーの使用量と 関連性指標をもつ値	電気需要量化評価 原単位	報告用の電気需要量 原単位
1	工場等に係る 事業の名稱	51	28	14	1	13	100 %	— (名称: —) (単位: —)	—	—
	業分類別	(A-1) (合計) 51	(B-1) (合計) 28	① (合計) 14	② (合計) 1	(D-1) (合計) 1	13	100.0 %	③ 10280	(E-1) 0.001244
事業者全体										

- ② 事業者基本情報入力画面の「連携省エネルギー措置による省エネ効果を報告しますか。」を「はい」に設定している場合は、1-2 と 2-2 が表示されます。

1-2 の「非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量」と 2-2 の「連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量」を入力後、入力欄からフォーカスアウトすると表内の各項目に計算結果が反映されます。

1-2 連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー消費原単位等

事業分類		事業分類ごとの連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギー消費原単位等の計算								
番号	エネルギーの使用量 (原油換算t)	非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (原油換算t)	販売した再生エネルギーの量 (原油換算t)	購入した未利用熱の量 (原油換算kWh)	$(\text{C-2}) = (\text{B-2}) - \text{B}'$	(D-2) の構成割合(%)	生産数量又は建物面積 は表面その他工場 ビルの使用面積と 隣接な面積を合計	エネルギー消費原単位	前年度のエネル ギー消費原単位	
(A-2)	(A-2)	(A-2)	(B)	(B')	(C-2)= (A-2)-(B)-(B')	(D-2)=(C-2)/(B-2)×100	(E)	(F)=((D-2)/ (E))	(G-2)	
1 工場名に係る 事業の名稱 識別番号	発電業 3311		14	1		-	- (名称: -) (単位: -)	-	-	
事業者全体		(A-2) (合計)	(A-2) (合計)	(B) (合計)	(B') (合計)	(C-2) (合計)	100.0 %	(D-2) 10280 (名称: 荷上重量) (単位: t)	(G-2) (D-2)/ (E)	

2-2 連携省エネルギー措置を踏まえた生気需要基準化評価原単位等

事業分類		事業分類ごとの連携省エネルギー措置を踏まえた生気需要基準化評価原単位等の計算								
番号	連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量 (原油換算t)	出気需要基準化、非 化石燃料の補正及び 連携省エネルギー措置 を踏まえたエネルギーの 使用量 (原油換算t)	販売した再生 エネルギーの量 (原油換算t)	購入した 未利用熱の量 (原油換算kWh)	$(\text{C-2}) = (\text{B-2}) - \text{B}'$	(D-2) の 構成割合(%)	生産数量又は建物面 積は表面その他工場 ビルの使用面積と 隣接な面積を合計	電気需要基準化評価 原単位	前年度の電 気需要基準化評 価原単位	
(A-2)	(A-2)	(B)	(B')	(C-2)= (A-2)-(B)-(B')	(D-2)=(C-2)/(B-2)×100	(E)	(F)=((D-2)/ (E))	(G-2)	(H-2)	
1 工場名に係る 事業の名稱 識別番号	発電業 3311		14	1	-	- (名称: -) (単位: -)	-	-	-	
事業者全体		(A-2) (合計)	(A-2) (合計)	(B) (合計)	(B') (合計)	(C-2) (合計)	100.0 %	(D-2) 10280 (名称: 荷上重量) (単位: t)	(G-2) (D-2)/ (E)	

- ③ 事業所情報詳細登録画面の「生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値」が全事業所で同じではない場合は、1-1、1-2、2-1、2-2 の「前年度のエネルギー消費原単位」に入力欄が表示されます。入力後、入力欄からフォーカスアウトすると表内の各項目に計算結果が反映されます。

事業分類		事業分類ごとのエネルギー消費原単位等の計算								
番号	事業分類	購入した 未利用熱の量 (原油熱量k)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④})}$	(③-1)の 構成割合(%)	生産数量又は建物延 床面積その他のエネ ルギーの使用量と 密接な関係を持つ値	エネルギー消費原 単位	前年度のエネルギー 消費原単位	エネルギー消費原 単位の対比年平均 割合(%)	エネルギー消費原 単位の対比年平均 割合(%)	
1	工場内に係る 事業の名称 金剛熱処理業	10	25	-	3555 (名称: 生産数量) (単位: 千t)	-	(②-1)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④}) \times 100$	②-1	
	部分类別 数	2465			1017 (名称: 原上重量) (単位: 千t)	-	(②-1)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④}) \times 100$	②-1	
2	工場外に係る 事業の名称 金剛熱処理業	0	0	-	-	-	(②-1)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④}) \times 100$	②-1	
	部分类別 数	2465			-	-	(②-1)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④}) \times 100$	②-1	
4	事業者全体	① (合計)	(②-1) (合計)	25	100.0 %	② (名称: -) (単位: -)	-	(②-1)	$\frac{(\text{②}-1)}{(\text{②}-1)-\text{③}-\text{④}) \times 100$	-

1-2 連携済エネルギー措置を踏まえたエネルギー消費原単位等

		事業分類ごとの連携済エネルギー措置を踏まえたエネルギー消費原単位等の計算							
番号	事業分類	エネルギーの使 用量	非化石燃料の補 正及び連携済エ ネルギー措置を 踏まえたエネル ギーの量	購入した未 利用熱の量	(③-2) = (②-2) - ③ - ④	(③-2)の 構成割合(%)	生産数量又は建物延 床面積その他のエネ ルギーの使用量	エネルギー消費原 単位	前年度のエネルギー 消費原単位

5.3.2.5. 特定-第4表画面

- ① 第4表タブを選択すると特定-第4表画面が表示されます。
- ② 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、事業者の過去5年度間の「エネルギーの使用に係る原単位」および「電気需要平準化評価原単位」を直接入力していただくようになります。また、エネルギー消費原単位と電気需要平準化評価原単位の欄には旧法に基づく数値と新法に基づく数値の両方が表示され、括弧書きで表示されている数値が旧法に、そうでないものが新法に基づいた数値となっています。
- ③ 過年度の原単位または対前年度比を変更する場合は、ヘッダー(添付資料アップロード)画面で説明書を添付してください。添付ファイルは、「5.3.6 添付資料の登録」を参照し、ファイルをアップロードしてください。

説明書を添付する場合はクリックしてください。画面の詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

※区分、対象となる事業・指標、定量目標の目安の値は、記入要領に従って入力してください。

区分	対象となる事業	指標	指標の実現状況				定量目標の目安
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
3-2 定量目標の目安に関する指標の状況							2030 年度
3-3 その他指標の状況							20
3-4 井化石電気の使用状況							

5.3.2.6. 特定-第5表画面

- ① 第5表タブを選択すると特定-第5表画面が表示されます。特定-第4表の入力で、原単位が改善できなかつた場合に、その理由を入力してください。(入力が不要な欄は紫で表示されます)。

※ 提出年度 2025年 事業所を選択

ホーム 報告書作成から提出までの流れ エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力 定期報告書の入力 中長期計画書の入力 報告書の提出 外部連携・データ出力 管理機能 ログアウト

※ 報告書用紙 : 定期報告書(特定表)

表紙 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表添付資料

特定-第5表 エネルギー消費原単位及び電気需要最適化評価原単位が改善できなかつた場合の理由 (認入のヒント)
色付さ工種の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1 エネルギー消費原単位の改善

事業者の過去5年度間のエネルギー消費原単位（連携省エネルギー計画の認定を受けた場合は連携省エネルギー措置を踏まえた原単位。以下この表及び2において同じ。）が前年度に比べ改善できなかつた場合、（イ）に理由を入力してください。

イ

2 電気需要最適化評価原単位の改善

事業者の過去5年度間電気需要最適化評価原単位が平均1%以上改善できなかつた場合、（ハ）に理由を入力してください。

ハ

3 非化石エネルギー使用割合の向上

非化石エネルギー使用割合が前年度に比べ向上しなかつた場合、理由を入力してください。

二

5.3.2.7. 特定-第6表画面

① 第6表タブを選択すると特定-第6表画面が表示されます。ベンチマーク指標の状況について入力します。

対象事業を行っている事業者は、管理機能メニューの事業者基本情報入力画面で「ベンチマーク指標の状況を報告する事業を行っていますか」に「はい」のチェックを入れてください。事業者情報管理画の入力は「操作マニュアル(共通編) 7. 事業者情報管理」を参照してください。

ベンチマーク指標の状況(該当年度～4年度前)、対象事業のエネルギー使用量、「ベンチマーク指標の見込み及び目標年度における目標値」について、入力してください。

省エネ法：定期報告書(特定表)

表紙 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 添付資料

特定-第6表 ベンチマーク指標の状況

色付きの欄の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

該当する箇所について、ベンチマーク指標の状況を入力します。
実施していない項目は空欄にしてください。
エネルギー使用量は、対象事業ごとに累積値で入力します。
・ベンチマーク指標の見込みには、昨年度以前で直近に提出した中長期計画に記載した
・達成率には達成率自動計算ボタンのクリックにより、以下の計算式で自動計算された
達成率(計算式の①、②、③は以下となります。
①は本報告の報告対象事業の前年度のベンチマーク指標の値
②は本報告の報告対象事業のベンチマーク指標の値
③は昨年度以前で直近に提出した中長期計画書に記載した、本報告の報告対象年度の

達成率自動計算

区分	対象となる事業の名称	対象事業の エネルギー使用量 (既定値)	ベンチマーク指標の状況(単位)					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1A	高炉による製鉄業		kit	kit	kit	kit	kit	
1B	電炉による普通鋼製造業		kit	kit	kit	kit	kit	
1C	電炉による特殊鋼製造業		kit	kit	kit	kit	kit	
2A	電力供給業 A指標							
	B指標	%	%	%	%	%	%	
2B	石炭火力電力供給業		%	%	%	%	%	
3	セメント製造業		MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	
4A	洋紙製造業		MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	
4B	板紙製造業		MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	MJ/t	
5	石油精製業							
6A	石油化学系基礎製品製造業		GJ/t	GJ/t	GJ/t	GJ/t	GJ/t	
6B	ソーダ工業		GJ/t	GJ/t	GJ/t	GJ/t	GJ/t	

4 いずれかの事業に対して、ベンチマーク指標の状況と対象事業のエネルギー使用量の両方を記入しないと特定-6表は出力できません。
対象事業のエネルギー使用量に特定-2表エネルギー使用量(S-1)より大きい値が入力されている場合、特定-6表は出力できません。
※対象となる事業はこちらをご参照ください。

5.3.2.8. 特定-第7表画面

- ① 第7表タブを選択すると特定-第7表画面が表示されます。特定-第6表で入力した「ベンチマーク指標の状況に關し、根拠・参考となる情報」を入力します。対象事業を行っている事業者は、管理機能メニューの事業者基本情報入力画面で「ベンチマーク指標の状況を報告する事業を行っていますか」「はい」のチェックを入れてください。事業者情報管理画の入力は「操作マニュアル(共通編) 7. 事業者情報管理」を参照してください。

※事業者情報のベンチマーク指標設定が「いいえ」の場合にすべて入力不可になります。

- ② 「ベンチマーク指標の算出に用いた発電設備」の情報を追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。
複数存在する場合は、件数分、追加する必要があります。

不要である発電設備情報については「削除」ボタンをクリックすると情報を削除できます。

クリックします。

クリックします。

5.3.2.9. 特定-第8表画面

① 第8表タブを選択すると特定-第8表画面が表示されます。「事業者の判断基準遵守状況」、および「ISO50001の活用状況」を入力します。判断基準に定めるア～ク項の遵守状況について選択します。

- イ) I-1(1)で「策定していない」を選択した場合、I-1(3)①イ、(6)、(7)の選択項目は「実施していない」以外の項目を選択することができません。
- ロ) I-1(2)、I-2(2)で「実施していない」を選択した場合は、「整備完了予定年」の入力が必須です。
- ハ) I-2Ⅱ. ISO50001の活用状況で「認証取得を検討している」を選択した場合は、「取得予定年」の入力が必須です。

The screenshot shows the 'Seisaku-sho: Chōsa-hōsho (Taisetsuhi)' (Specific-8 Form: Audit Report) page. The main content area is titled 'Seisaku-hōsho' and 'I-1 エネルギーの使用の合理化の基礎'. It includes several sections with questions and dropdown menus for selecting implementation status (e.g., '実施している' - Implemented, '実施していない' - Not Implemented). A red box highlights the 'I-1' section. On the left, there's a sidebar with various menu items like 'Home', 'Report Submission Flow', 'Energy Use Input', etc. At the top, there are buttons for file upload, search, and save.

5.3.2.10. 特定-第9表画面

① 第9表タブを選択すると特定-第9表画面が表示されます。「その他エネルギーの使用の合理化に関する事業者が実施した措置」について入力します。

- ② 「中長期計画書記載事項の実施状況入力」ボタンをクリックします。入力内容については「4 エネルギーの使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況」にあるボタンをクリックした場合は③-1を、「5 非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画書記載事項の実施状況」にあるボタンをクリックした場合は③-2を参照してください。

クリックするとエネルギー使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面が表示されます。

クリックすると非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面が表示されます。

③-1 エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面が開きます。

「内容」の欄、「中長期計画作成指針」の欄及び「該当する工場等」の欄には、昨年度以前で直近に提出した中長期計画書のIII-3に記載した、本報告の報告対象年度に実施する予定の計画を入力します。

③-2 非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面が開きます。

「内容」の欄及び「該当する工場等」の欄には、昨年度以前で直近に提出した中長期計画書のIV-2に記載した、本報告の報告対象年度に実施する予定の計画を入力します。

④ 入力欄を追加する場合には「行追加」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Implementation Status Input Screen' for energy use rationalization. A yellow box highlights the '行追加' (Add Row) button in the top left corner of the main input area. The input area has columns for '内容' (Content), '中長期計画作成指針' (Medium-Long-term Plan Preparation Guideline), '該当する工場等' (Factories etc. concerned), '中長期計画実施の有無' (Presence or absence of implementation of medium-long-term plan), '実施状況' (Implementation status), and '操作' (Operations). Below the input area, there are sections for '電気の需要の最適化に資する措置に関する事項' (Measures contributing to the optimization of electricity demand) and '非化石エネルギーへの転換に関する事項' (Measures regarding the transition to non-fossil energy). At the bottom, there are buttons for '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel).

⑤ 表の一番下に入力欄が追加されます。

入力欄の並び順を変更したい場合は上下の矢印ボタン(「↑」「↓」)を選択して入れ替えることが可能です。

The screenshot shows the same 'Implementation Status Input Screen' as before, but now with a new row added to the table. The new row is highlighted with a red box and contains fields for '内容' (Content), '中長期計画作成指針' (Medium-Long-term Plan Preparation Guideline), '該当する工場等' (Factories etc. concerned), '中長期計画実施の有無' (Presence or absence of implementation of medium-long-term plan), and '実施状況' (Implementation status). To the right of these fields are three buttons: '登録' (Register), 'キャンセル' (Cancel), and two small blue arrows (up and down) used for reordering. The rest of the screen remains the same, including the sections for electricity optimization measures and energy transition measures.

⑥ 不要な入力欄を削除する場合には「行削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use Rationalization' reporting interface. A yellow callout points to the 'Delete' button (削除) located in the bottom right corner of the data entry table. The table has columns for Content, Medium-term Plan Item, Applicable Factory, Medium-term Plan Report Item Availability, Implementation Status, and Operations.

内容	中長期計画 作成指針	該当する工場等	中長期計画書 記載の有無	実施状況	操作
内容①	(1) 空気調 作成指針を選択	工場①	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	△ (予定通り実施)	削除
内容②	(2) 換気設備 作成指針を選択	工場2	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	△ (計画より小規模の投)	削除

クリックします。

⑦ 確認メッセージが表示されます。削除して問題ないか確認後、「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Energy Use Rationalization' reporting interface with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box contains the message: '削除します。よろしいですか。' (Delete. Is it okay?). A yellow callout points to the 'OK' button. The background shows the same data entry table as the previous screenshot.

クリックします。

- ⑧ 「作成指針を選択」ボタンをクリックすると作成指針選択画面が表示されます。
大分類、中分類、小分類、細分類を選択し、「この内容で入力する」ボタンをクリックすると元の中長期作成指針に反映されます。

エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書登録

「内容」の欄、「中長期計画作成指針」の欄及び「該当する本報告の報告対象年度に実施する予定計画を記載すること一括で入力する場合は、下記リンクからエクセルファイルを読み込みフォーマット「(tokuite0_chuchoki.xlsx)」

行動指標 最近の中長期計画書を登録

内 容

この内容で入力する

中長期計画作成指針：(1) 空気調和設備

操作

実施状況

選択してください 増やす 削除

4 エネルギーの使用の合理化に関する中長期計画書登録事項の実施状況

中長期計画書登記事項の実施状況入力

5 非効率エネルギーへの転換に関する中長期計画書登記事項の実施状況

中長期計画書登記事項の実施状況入力

6 新設した物産専用設備に関する事項(該当する事業者のみ記入)

行動指標

7 バイオマス設備を行う物産専用設備に関する事項(該当する事業者のみ記入)

行動指標

⑨ 「登録」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。

エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面

「内容」の欄、「中長期計画書作成指針」の欄及び「該当する工場等」の欄には、昨年度以前で直近に提出した中長期計画書の②に記載した、本報告の報告対象年次に実施する予定の計画を記載すること。
一括で入力する場合は、下記リンクからエクセルファイルをダウンロードの上ご利用ください。
取りファイルマート : [\[link\]](#) chichoki.xlsx

操作: 行追加 従前の中長期計画書を転記 ファイルを選択 データの取り込み クリア

内容	中長期計画書作成指針	該当する工場等	中長期計画書記載の有無	実施状況	操作
内容① <input type="button" value="作成指針を選択"/>	(1) 空気調 <input type="button" value="作成指針①"/>	工場①	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> (: 予定通り実施)	<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>

登録 キャンセル

3. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
措置の概要を入力してください。

4. エネルギーの使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況
中長期計画書記載事項の実施状況入力

5. 非化石エネルギーへの転換に関する中長期計画書記載事項の実施状況
中長期計画書記載事項の実施状況入力

⑩～⑪は直近に提出した中長期計画より転記して入力したい場合の操作手順です。

⑩ 「直近の中長期計画書を転記」ボタンをクリックすると、中長期計画書記載事項の実施状況選択画面が表示されます。適切な内容を選択し、「選択した行の転記」ボタンをクリックします。

エネルギー使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況入力画面

「内容」の欄、「中長期計画書作成指針」の欄及び「該当する工場等」の欄には、直近に提出した中長期計画書の②に記載した、本報告の報告対象年次に実施する予定の計画を記載すること。
一括で入力する場合は、下記リンクからエクセルファイルをダウンロードの上ご利用ください。
取りファイルマート : [\[link\]](#) chichoki.xlsx

操作: 行追加 **直近の中長期計画書を転記** ファイルを選択 データの取り込み クリア

2. 電気の需要の最適化に関する措置に関する事項
措置の概要を入力してください。

3. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
措置の概要を入力してください。

4. エネルギーの使用の合理化に関する中長期計画書記載事項の実施状況
中長期計画書記載事項の実施状況入力

直近の中長期計画書を転記する

直近の中長期計画書の内容

選択	内容	中長期計画書作成指針	該当する工場等	提出年度
<input checked="" type="checkbox"/>	内容①	作成指針①	事業所①	2024
<input type="checkbox"/>	内容②	作成指針②	事業所②	2024

選択します。

選択した行の転記 キャンセル

2. 電気の需要の最適化に関する措置に関する事項
措置の概要を入力してください。

3. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
措置の概要を入力してください。

⑪ 中長期計画書記載事項の実施状況入力画面に戻り、選択した内容が反映されます。

「登録」ボタンをクリックすると、特定-第9表画面に戻ります。

The screenshot shows the 'Implementation Status Input' screen for Specific Item - Item 9. A modal dialog is open, prompting the user to register the selected data. The 'Register' button is highlighted with a red box and a yellow arrow pointing to it from a callout box.

⑫～⑯はファイルをアップロードして入力したい場合の操作手順です。なお、⑭～⑯はアップロードする EXCEL ファイル上の操作手順です。

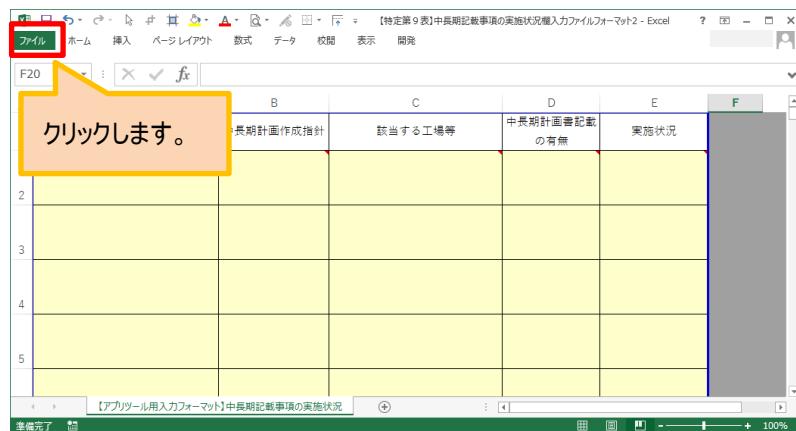
⑫ 「【特定第9表】中長期記載事項の実施状況欄入力ファイルフォーマット.xlsx」を利用して、タブ区切りのテキストファイルを読込むことにより、「中長期計画書記載事項の実施状況」を一括で入力することもできます。

「【特定第9表】中長期記載事項の実施状況欄入力ファイルフォーマット.xlsx」は、「中長期計画書記載事項の実施状況入力画面」に記載されている「取込ファイルフォーマット「tokutei9_chuchoki.xlsx」」をクリックするか、下記の URL よりダウンロードできます。

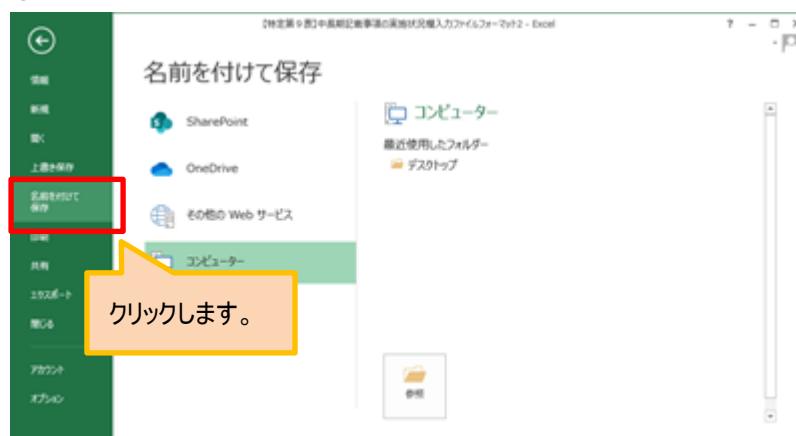
The screenshot shows the 'Implementation Status Input' screen for Specific Item - Item 9. A modal dialog is open, showing a link to download the import file format. A yellow callout box points to this link.

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/factory/support-tools/data/tokutei9-3.xlsx

⑬ 「【特定第9表】中長期記載事項の実施状況欄入力ファイルフォーマット.xlsx」を利用して入力し、入力が終わりましたら、メニューの「ファイル」を押下します。



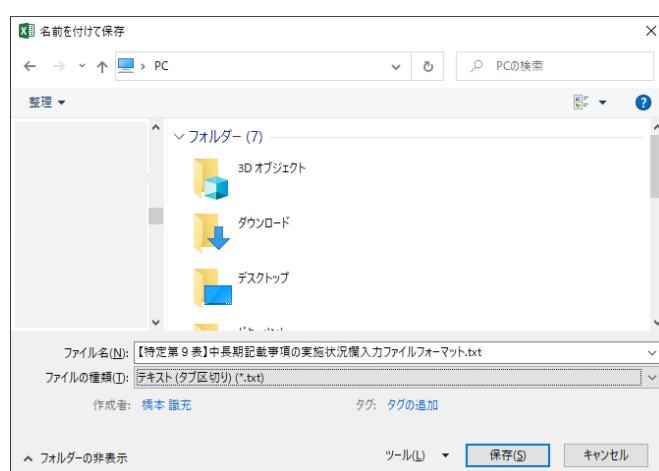
⑭ 「名前を付けて保存」をクリックし、ファイルの保存先を任意で選択します。



⑮ 保存先を選択すると、「名前を付けて保存」画面が表示されます。

ファイルの種類のプルダウンメニューから「テキスト(タブ区切り)(*.txt)」を選択し、保存ボタンを押下してください。

これでタブ区切りテキストの作成は完了です。

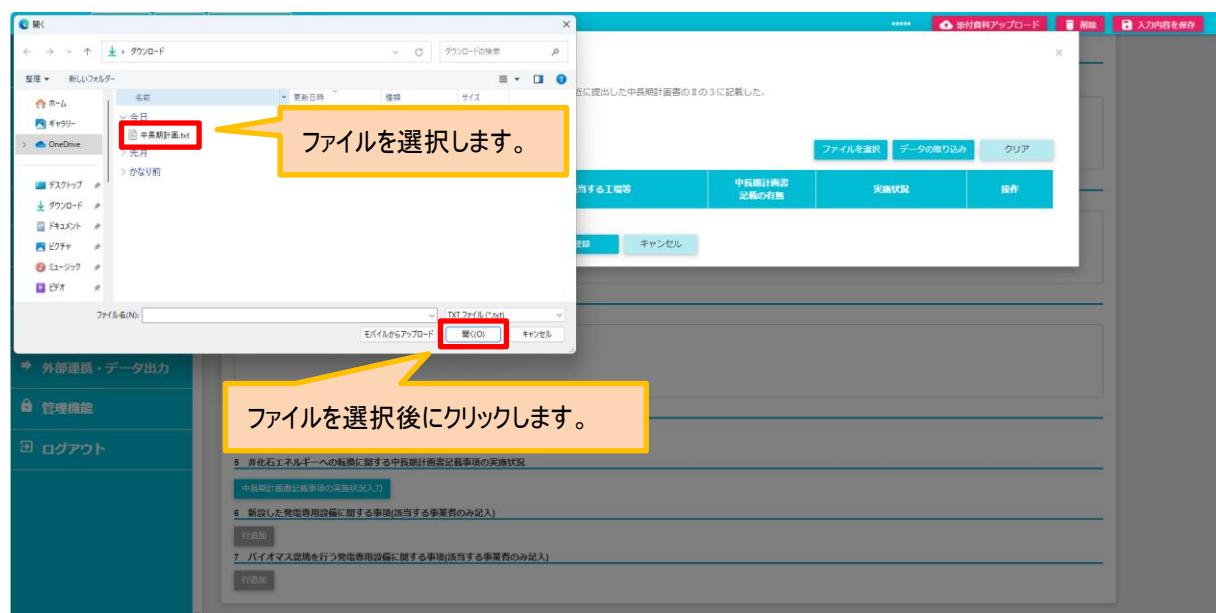


⑯ 保存したタブ区切りテキストファイルの内容をEEGSに読み込みます。

「ファイルを選択」ボタンをクリックします。



⑰ 読み込むファイルを選択後に「開く」ボタンをクリックします。



⑯ 「データの取り込み」ボタンをクリックすると、選択したファイルからデータが読み込まれます。



⑰ すでに入力欄に値がある場合は削除されることを示す確認メッセージが表示されます。

⑱ 「OK」ボタンをクリックすると、選択したファイルからデータが取り込まれます。



クリックします。

㉑ ファイルから読み込まれた内容が入力欄に反映されます。

The screenshot shows the 'Implementation Status Input Screen' for medium-term energy planning. A red box highlights the 'Content' and 'Location' input fields. The 'Content' field contains '(1) 空気調' and the 'Location' field contains '事業所①'. Other fields like 'Medium-term Energy Planning Objectives' and 'Implementation Status' are also visible.

㉒ 選択したファイルをクリアする場合には「クリア」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same 'Implementation Status Input Screen'. A yellow box highlights the 'Clear' button. Above the button, the text 'クリックします。' (Click here) is displayed with an arrow pointing to the button. The rest of the screen shows the same interface elements as the previous screenshot.

㉓～㉔は「新設した発電専用設備」が存在する場合の操作手順です。

㉓ 「新設した発電専用設備」が存在する場合は、「追加」ボタンをクリックして入力欄を追加してください。

The screenshot shows the reporting system's main menu on the left and a detailed form on the right. The right side has several sections with input fields. A yellow callout points to a red-bordered '追加' (Add) button located at the bottom of the fourth section, which is titled '新設した発電専用設備に関する事項(該当する事業者のみ記入)' (Items related to newly installed power generation专用 equipment (only for applicable companies)).

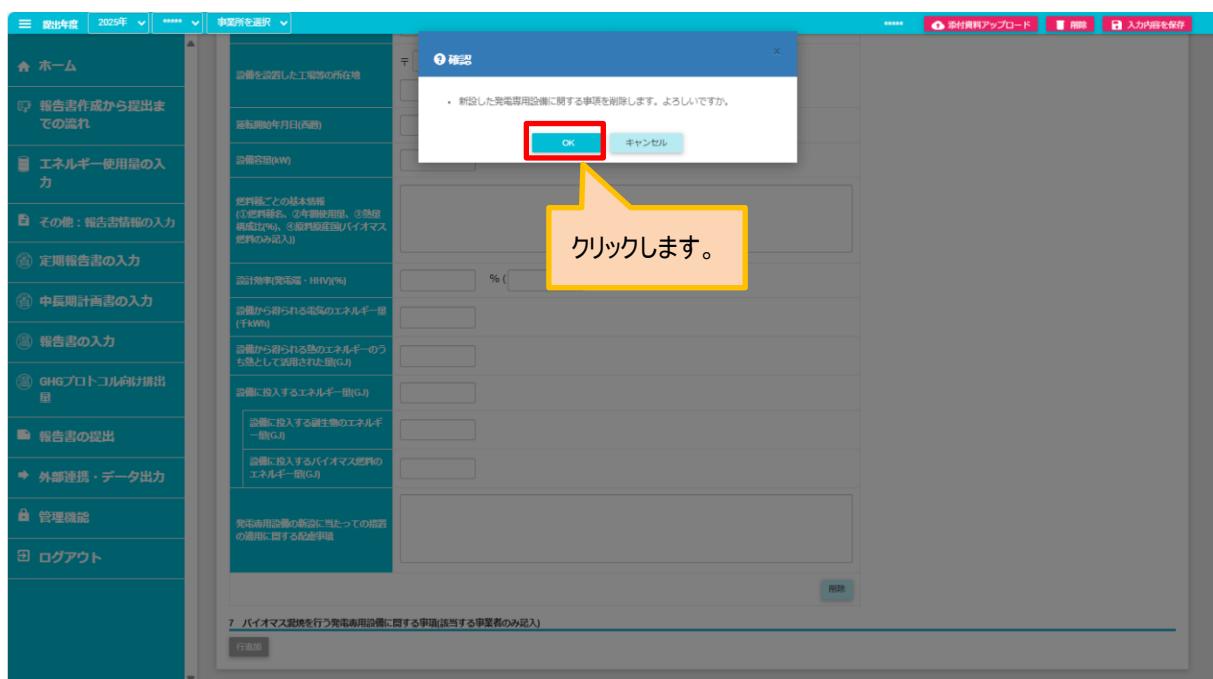
㉔ 「新設した発電専用設備」に関する事項を、設備毎に入力してください。

This screenshot shows the detailed entry form for 'Newly Installed Power Generation Equipment'. It includes fields for the equipment's name, location, start date, capacity, fuel type, design efficiency, and various operational parameters. A yellow callout points to the first field, '設備の名称' (Equipment Name), which is highlighted in blue.

②⑤ 不要な入力欄を削除する場合には「削除」ボタンをクリックします。



㉖ 確認メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックすると入力欄が削除されます。



㉗～㉙は「バイオマス混焼を行う発電専用設備」がある場合の操作手順です。

㉗ 「バイオマス混焼を行う発電専用設備」が存在する場合は、「追加」ボタンをクリックして入力欄を追加してください。

The screenshot shows the reporting system's main menu on the left and a detailed form on the right. A yellow box highlights the 'Add' button at the bottom of the form, which is also circled in red. A yellow arrow points from the text 'クリックします。' (Click here) to this button.

事業所を選択
1 エネルギーの使用の合理化に関する事項
2 燃料の需要の最適化に関する措置
3 非化石エネルギーへの転換に関する事項
4 エネルギーの使用の合理化に関する中長期計画記載事項の実施状況
7 バイオマス混焼を行う発電専用設備に関する事項(該当する事業者のみ記入)
行動規則

㉘ 「バイオマス混焼を行う発電専用設備」に関する事項を、設備毎に入力してください。

The screenshot shows a detailed reporting form for biomass co-combustion equipment. A yellow box highlights the '郵便番号から住所を入力' (Enter address from zip code) button, which is also circled in red. A yellow arrow points from the text 'クリックすると入力されている郵便番号から住所が反映されます。' (Click here to reflect the address based on the entered zip code) to this button.

報告対象年度
設備の名称
設備を設置した工場等の名称
設備を設置した工場等の所在地
運転開始年月日(西暦)
設備容量(kW)
設計效率(発電率・HV)(%)
燃料種別との基本情報
設備から排出される二酸化炭素の排出量(千t/a)
設備から排出される熱エネルギーのうち燃えきして発電された量(GJ)

㉙ 不要な入力欄を削除する場合には「削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the reporting system's input page. On the left is a sidebar with various menu items. The main area contains several input fields for energy usage data. A red box highlights a small blue '削除' (Delete) button located at the bottom right of the input section. A yellow callout bubble points to this button with the text 'クリックします。' (Click here).

㉚ 確認メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックすると入力欄が削除されます。

This screenshot shows the same reporting system interface as the previous one, but with a modal confirmation dialog box overlaid. The dialog has a blue header '確認' (Confirmation) and contains the message: 'バイオマス燃焼を行う発電専用設備に関する事項を削除します。よろしいですか？'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'OK' (highlighted with a red box and a yellow callout bubble pointing to it with the text 'クリックします。') and 'キャンセル' (Cancel).

5.3.2.11. 特定-第10表画面

① 第10表タブを選択すると特定-第10表画面が表示されます。エネルギー管理指定工場等の一覧を表示します。

※指定工場を211件以上登録した場合、エラーになります。211件以上の登録が必要な場合は、お問い合わせください。

② 指定表の入力が必要な場合は、「指定表の入力」ボタンをクリックして指定表画面を表示してください。

現在の 指定区分	エネルギー管理 指定工場登録	工場名の名称	工場の所在地	日本標準産業分類 における番分類番号	工場に係る 事業の名称	操作
第1種	指定区分の変更手 続きが必要			3311	発電業	指定表の 入力 指定区分の 変更
第2種	指定区分の変更手 続きが必要			3311	発電業	指定表の 入力 指定区分の 変更
第1種	指定区分の変更手 続きが必要			3311	発電業	指定表の 入力 指定区分の 変更
第1種	指定区分の変更手 続きが必要			3311	発電業	指定表の 入力 指定区分の 変更
第1種	指定区分の変更手 続きが必要			3311	発電業	指定表の 入力 指定区分の 変更

③ 指定表画面を表示すると、保存していない入力データが破棄されることを示す確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

確認

指定表の画面に切り替えます。保存していないデータがある場合、入力内容が破棄されますがよろしいですか。

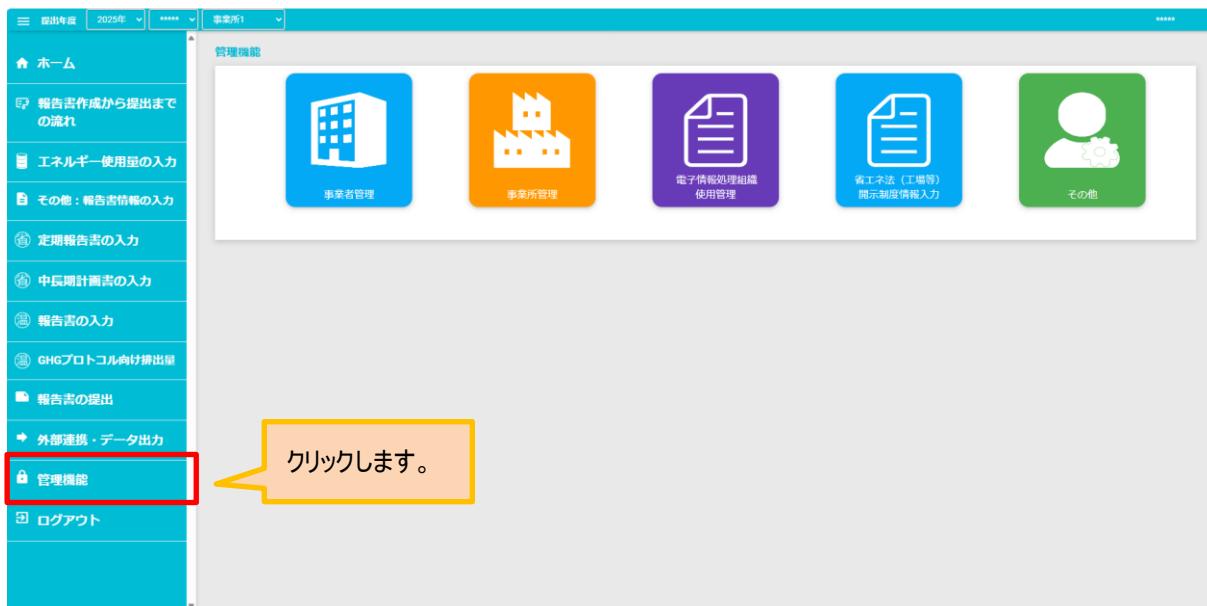
OK キャンセル

クリックします。

④ 指定表の入力方法は「5.3.1.定期報告書様式第9(指定表)」を参照してください。

⑤～⑫は指定区分の変更を行う場合の操作手順です。

⑤ 指定区分の変更を行う場合は、ホーム画面の「管理機能」メニューをクリックします。



⑥ 「事業所管理」をクリックします。



⑦ 「事業所一覧」をクリックします。



⑧ 事業所一覧から変更する事業所の「編集」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a list of business premises. The 10th row has an edit icon (pencil) in the 'Operations' column. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to this edit icon.

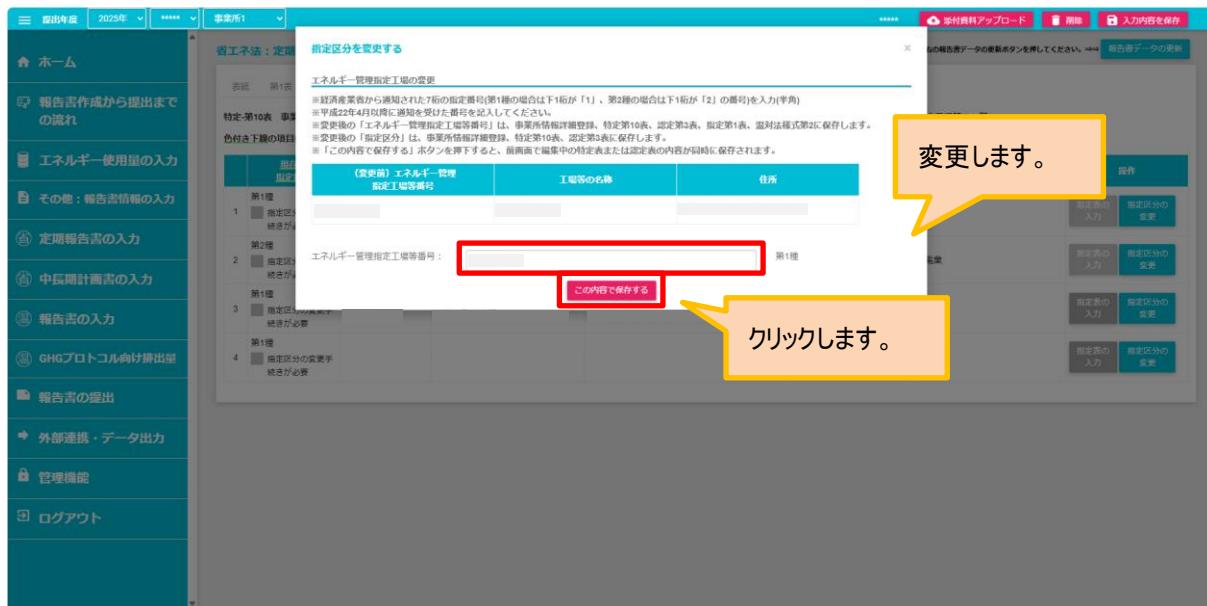
⑨ 「エネルギー管理指定工場の場合」の入力欄の内容を変更します。

The screenshot shows the 'Edit Energy Management Designated Factory' screen. A yellow callout box with the text '変更します。' (Change) points to the 'Change' button in the 'Change section' area.

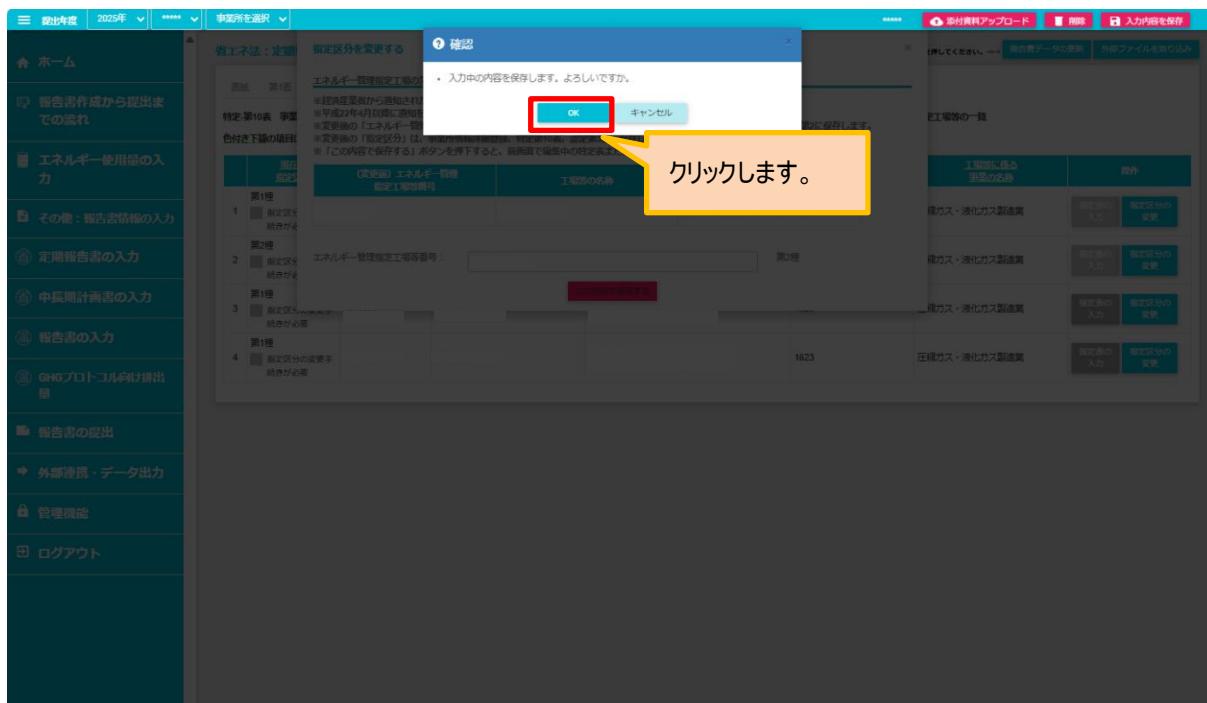
⑩ 特定-第 10 表画面で指定区分の変更ができます。一覧の「指定区分の変更」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Specific - 第 10 Table' screen. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to the 'Change' button in the 'Change section' area.

⑪ 「エネルギー管理指定工場等番号」を変更し、「この内容で保存する」ボタンをクリックします。



⑫ 確認メッセージが表示されるので問題なければ「OK」ボタンをクリックします。



5.3.2.12. 特定-第 11 表画面

① 第 11 表タブを選択すると特定-第 11 表画面が表示されます。エネルギー管理指定工場等に指定されていないが、「エネルギー使用量入力」の結果が 1,500kl 以上の使用量となった事業所を一覧にしています。

② 指定表の入力をする場合は、事業所リストで対象の事業所を選択し「指定表の入力」ボタンをクリックして指定表画面を表示します。指定表の入力は「5.3.1.定期報告書様式第 9(指定表)」を参照してください。

※ 計算結果やエネルギー使用量の修正が行われた場合は、右の報告書データの更新ボタンを押してください。※
報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

表紙 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 添付資料

特定-第11表 現在エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理関係エネルギー管理指定工場等の指定を受けない工場等であつて、エネルギーの使用量が令第6条に定める数値以上の工場等の一覧

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

これまでに入力した情報から、現在、エネルギー管理指定工場等に指定されていないがエネルギー使用量が1,500kl(原油換算)以上となっている事業所がある場合、以下に表示しています。

・エネルギー使用量に限りがない確認してください。
・該の事業所がエネルギー管理指定工場等から、当該事業所の所在地を入力してください。
・こちらに記載いただいた情報をもとに、当該工場等の指定手続きを行います。

事業所選択： 指定表が作成されている事業所がプルダウンで選択可能です。

工場等の名前	工場等の所在地	日本地図上に表示される位置	工場等に係る事業の名前	エネルギー使用量 (原油換算)
工場等の名前	工場等の所在地	日本地図上に表示される位置	工場等に係る事業の名前	エネルギー使用量 (原油換算)

5.3.2.13. 特定-第12表画面

① 第12表タブを選択すると特定-第12表画面が表示されます。

- ・ 特定-第12表1、2には、入力されたエネルギー使用量から自動計算したCO₂排出量が表示されます。
- ・ 特定-第12表2は、「発電所又は熱供給業を主たる事業とする事業所」の登録があった事業者について表示されます。
- ・ 特定-第12表3では、入力されたエネルギー使用量から自動計算した調整後温室効果ガス排出量が表示されます。
- ・ 特定-第12表4の1、4の2では、「エネルギー使用量入力」で入力した都市ガス供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・ 特定-第12表4の3、4の4では、「エネルギー使用量入力」で入力した電気事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・ 特定-第12表4の5、4の6では、「エネルギー使用量入力」で入力した熱供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・ 特定-第12表5では、温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用する場合に、その内容を入力します。
- ・ 特定-第12表6の1～6では、「国内認証排出削減量」、「海外認証排出削減量」、「非化石電源二酸化炭素削減相当量」に係る情報が表示されます。
- ・ 特定-第12表6の7～8では、「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力」で入力した回収した二酸化炭素に関する情報が表示されます。
- ・ 特定-第12表7で該当がある場合は「1:有」を選択し、必要書類を準備の上で、定期報告書に添付します。

事業分類		エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素			
事業者名	エネルギーの種類	燃料の使用による二酸化炭素	施設の使用による二酸化炭素	他人から供給された二酸化炭素	
特定事業者会員	主たる事業 区分別頭数 当該事業を所有する大店 各種又は複数	自動車部分・附属品製造業 3113 経済産業大臣	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	工場等に係る事業の名前 竣工年月日 当該事業を所有する大店	燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素 (施設物の 燃料としての使用及び施設物を原材料とする燃料の 使用に伴って発生するものを除く)	施設物の燃料としての使用又は施設物を原材料とす る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	他人から供給された二酸化炭素	
1. 自動車部品・附属品製造業 3113 経済産業大臣	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2		
2. 両事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給施設を設置している事業者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果力又は算定排出量					t-CO2

事業者情報やエネルギー使用量の修正が行われた場合は、右の報告書データの更新ボタンを押してください。➡➡ 報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

添付資料

② 「4の3」、「4の4」の算定係数追加を行う場合はそれぞれの「行追加」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'GHG Reporting System' interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area displays a table with several rows. Two specific rows are highlighted with yellow boxes and labeled 'クリックします。' (Click here). The first highlighted row corresponds to question 4.01, and the second corresponds to question 4.04. Both rows have a red-bordered '行追加' (Add Row) button at the far right.

基準の値	基準の根拠	基準の適用範囲
4.01 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数		
4.02 調整後温室効果ガス排出量のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数		
4.03 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数		
4.04 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数		
4.05 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数		
4.06 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数		
5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容 下記に入力してください。		
6.01 温室効果ガス算定排出量又は調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出量、海外認証排出量及び非化石電源二酸化炭素削減相当量の欄 ※が付与された国内認証排出量と海外認証排出量、及び全ての非化石電源二酸化炭素削減相当量について、事業者が無効化又は移動を行ったことを確認できる資料を添付すること。		
総額	合計	

③ 4 の 3、4 の 4 の入力欄が不要な場合はそれぞれの「行削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a reporting system interface with a sidebar containing various menu items. The main area displays several tables for reporting greenhouse gas emissions. A yellow callout with the text "クリックします。" (Click here) points to the "Delete" button in the bottom right corner of the third table in the list.

④ 確認メッセージが表示されるので問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a reporting system interface with a sidebar containing various menu items. The main area displays a confirmation dialog box titled "確認" (Confirmation) with the message "削除してもよろしいですか？" (Is it okay to delete?). A yellow callout with the text "クリックします。" (Click here) points to the "OK" button in the dialog box.

クリックします。

「報告書データの更新」で

OK

キャンセル

OK

⑤ エネルギー使用量の入力画面において、独自係数及び実測排出量の入力を行った場合は「5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容」を入力します。独自係数及び実測排出量の入力画面で入力した「当該算定方法又は係数の内容」を転記するには、「実測値の内容を転記」ボタンをクリックしてください。

ホーム

報告書作成から提出までの流れ

エネルギー使用量の入力

その他：報告書情報の入力

定期報告書の入力

中長期計画書の入力

報告書の入力

GHGプロトコル向け排出量

報告書の提出

外部連携・データ出力

管理機能

ログアウト

事業所選択

6の1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の2 調整後温室効果ガス排出量のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の3 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の4 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の5 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の6 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
下記に入力してください。

実測値の内容を転記

⑥ 「実測値の内容を転記」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックしてください。

ホーム

報告書作成から提出までの流れ

エネルギー使用量の入力

その他：報告書情報の入力

定期報告書の入力

中長期計画書の入力

報告書の入力

GHGプロトコル向け排出量

報告書の提出

外部連携・データ出力

管理機能

ログアウト

事業所選択

6の1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素
係数
OK キャンセル

6の2 調整後温室効果ガス排出量のうち、都市ガスの使用に伴う二酸化炭素
係数
6の3 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素
係数
6の4 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の5 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

6の6 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数
係数の値
係数の根拠
係数の適用範囲

5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
下記に入力してください。

実測値の内容を転記

6の1 減温室効果ガス許定排出量又は調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出削減量、海外認証排出削減量及び非化石電源二酸化炭素削減相当量の値
※が付与された国内認証排出削減量と海外認証排出削減量、及び全ての非化石電源二酸化炭素削減相当量について、事業者が無効化又は移転を行ったことを確認できる資料を添付すること。

6の2 国内認証排出削減量に係る情報
6の3 国内認証排出削減量のうち電力に係る情報及び非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報等
6の4 国内認証排出削減量のうち熱に係る情報
6の5 海外認証排出削減量に係る情報
6の6 非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報

- ⑦ 6 の 5「非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報」を入力する場合、「行追加」ボタンをクリックし、入力欄を追加します。(入力した際は、非化石証書の口座残高証明書等を必ず添付してください。添付方法の詳細は、「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。)
- ⑧ 「事業者」をリストから選択してください。
- ⑨ 「種別」は、リストより選択し、非化石証書の量は手動入力します。
- ⑩ 「削減相当量計算」ボタンをクリックすると、合計量が自動算出され、6 の 1 に反映されます。
- ⑪ 行が不要の場合は、追加した行の右にある「削除」をクリックしてください。

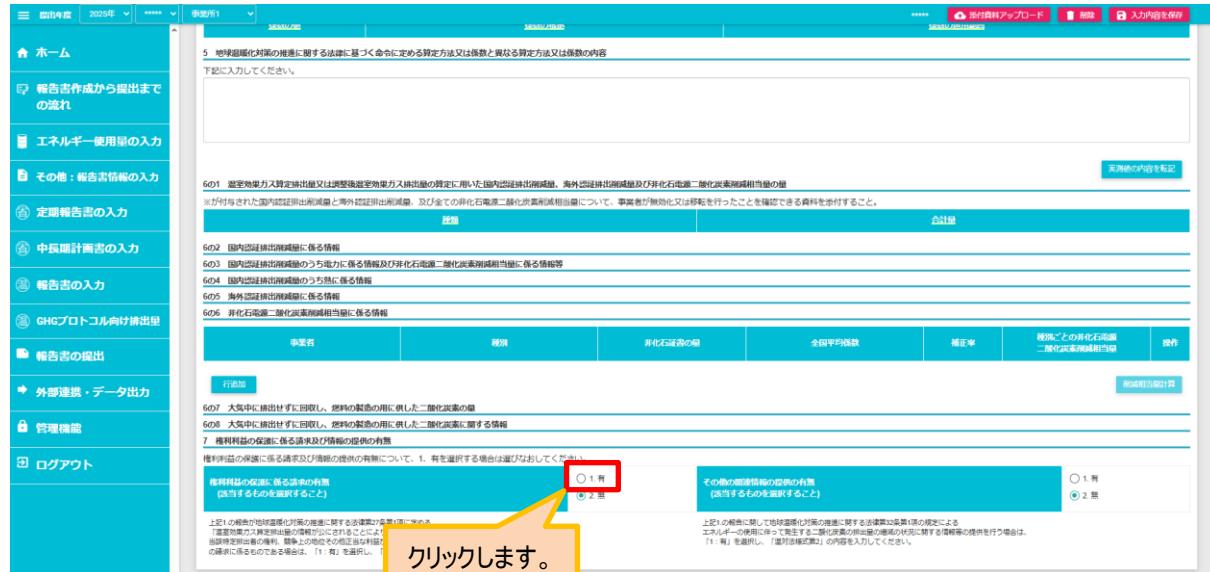
The screenshot shows the GHG Reporting System's reporting page for the fiscal year 2025. The left sidebar lists various reporting categories. The main area displays a table for reporting 'Renewable Energy Generation Reduction Equivalent Information' (6.01). A new row has been added, indicated by a red box around the '事業者' (Operator) dropdown menu. A yellow box labeled '⑧選択します。' (Select) points to the dropdown. A red box labeled '⑦クリックします。' (Click) points to the '行追加' (Add Row) button at the bottom of the table. A yellow box labeled '⑨選択します。' (Select) points to the '種別' (Type) dropdown menu, which is open and shows options like 'FIT証券' (FIT Certificate). Another yellow box labeled '⑪クリックします。' (Click) points to the '削除' (Delete) button in the top right corner of the new row's header. The table includes columns for '事業者' (Operator), '種別' (Type), '非化石証券の量' (Quantity of non-fossil fuel certificates), '全国平均係数' (National average coefficient), '換算率' (Conversion rate), and 't-CO2/kWh'.

⑫ 権利利益の保護に係る請求を行う場合、「権利利益の保護に係る請求の有無(該当するものを選択すること)」

欄の「1.有」を選択します。請求を行わない場合は「2.無」を選択します。

「1.有」を選択後、温対法様式第1の2タブが表示されます。

(記入方法については「5.3.4 温対法報告書様式第1の2」を参照してください。)



クリックします。



表示されます。

- ⑬ 「権利利益の保護に係る請求の有無(該当するものを選択すること)」で「2:無」を選択すると、温対法様式第1の2タブが非表示になります。

The screenshot shows the GHG Reporting System's main interface. The left sidebar contains navigation links: Home, Report Submission, Energy Use Input, Other (Report Submission), Periodic Report Submission Input, Medium-Long-term Plan Input, Report Submission Input, GHG Protocol Calculation Input, Report Submission, External Links - Data Output, Management Functions, and Logout.

The main content area has a header "Report Submission" and a sub-header "Periodic Report Submission". It displays a table for reporting greenhouse gas emissions:

5. 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容 下記に入力してください。						
601 涨壓効率又は算定排水量又は調整後底効率又は排水量の算定に用いた国内認証排出量、海外認証排出量及び非化石電源二酸化炭素削減相当量について						
602 国内認証排出削減量	合計量					
603 国内認証排出削減量のうち発行した情報及び非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報等						
604 国内認証排出削減量のうち未発行情報						
605 海外認証排出削減量に係る情報						
606 非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報						
事業者	算定	非化石電源の量	全国平均係数	補正率	補正率との非化石電源二酸化炭素削減相当量	操作
石油業						削減相当量計算
607 大気中に排出せずに回収し、機器の製造の用に供した二酸化炭素の量						
608 大気中に排出せずに回収し、溶剤の製造の用に供した二酸化炭素に係る情報等						
7 種別割合の算出に係る請求及び割合の提出の義務						
権利の行使に係る請求又は割合の提出の有無について、1. 有を選択する場合は選びなおしてください。						
種別割合の算出に係る請求の有無 (該当するものを複数選択すること)		<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 2. 無			
		その他の選択肢の選択の有無 (該当するものを複数選択すること)				
		<small>上記の権利の行使に係る請求又は割合の提出に係る請求の有無についての選択肢は選択肢の複数による 「種別割合の算出に係る請求」に該当することにより 当該権利の行使の権利、請求上の地位その他の権利が付与される形態があると認めたとき の選択に該当するものである場合は、「1. 有」を選択し</small>				
左側メニュー						

クリックします。

非表示になります。

- ⑭ 温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報等の提供を行う場合、「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「1:有」を選択します。提供を行わない場合は「2:無」を選択します。
「1:有」を選択後、温対法様式第2タブが表示されます。

(記入方法については「5.3.5.温対法報告書様式第2」を参照してください。)

クリックします。

画面年度		事業所名													
ホーム	2028年	事業所1	事業所2												
<p>省エネ法：定期報告書(特定店)</p> <p>事業者情報やエネルギー使用量の入力者が修正が行われた場合は、お知らせデーターの更新ボタンを押してください。</p> <p>添付資料アップロード 削除 外部ファイルを読み込み</p> <p>表題 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 第13表 情報提供用表 添付資料</p> <p>特定-第12表 事業者の全社及び事業分類ごとのエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の収支割合及び貢献度</p> <p>色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で自動の入力内容が反映される項目です。</p> <p>1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の収支割合及び貢献度</p> <p>該当欄が開示用表を上回っている場合、奥の値ではなくて報告してください。</p> <p style="text-align: center;">表示されます。</p> <p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>他のの使用に伴って発生する二酸化炭素（収支割の燃料としての使用及び燃焼物を収材料とする燃物の使用に伴って発生するものの合計）</p> <p>収支割の燃料としての使用又は燃焼物を収材料とする燃物の使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>他人から供給された水気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>自動車部分品・附屬品製造業 3113 経済産業大臣</p> <p>0 t-CO2 0 t-CO2 0 t-CO2</p> <p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>自動車部分品・附屬品製造業 3113 絏済産業大臣</p> <p>0 t-CO2 0 t-CO2 0 t-CO2</p> <p>2. 燃料の燃焼に供する供給元及び供給先の事業の用に供する熱供給設備を設置している事業者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の収支割合及び貢献度</p> <p>「燃焼の燃焼しての使用」、「直燃由自家の熱供給の用に供して発生する二酸化炭素を含めて報告してください。」</p> <p>※GJCS登録事業者である場合は、上記をもとに回答用紙を提出して下さいと表示されています。</p> <p>該当欄が開示用表を上回っている場合、奥の値ではなくて報告してください。</p> <p>エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素</p> <p>主たる事業 特記事業者全般</p> <p>t-CO2</p>															

表示されます。

- ⑯ 「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「2:無」を選択すると、温対法様式第2タブが非表示になります。

5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
下記に入力してください。

6.01 温室効果ガス算定排出量又は調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出削減額、海外認証排出削減額及び非化石電源二酸化炭素削減相当量

※付与された国内認証排出削減額、及び全ての非化石電源二酸化炭素削減相当量について、事業者が無効化又は移転を行ったことを確認できる書類を添付すること。

種類	合計量
6.02 国内認証排出削減額に係る情報	
6.03 国内認証排出削減額のうち電力に係る情報及び非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報等	
6.04 国内認証排出削減額のうち熱に係る情報	
6.05 海外認証排出削減額に係る情報	
6.06 非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報	

事業者 種類 非化石電源の種類 全体平均値 総計量 極端ごとの非化石電源二酸化炭素削減相当量 操作

行動履歴 行動履歴 計算

6.07 大気中に排出せずに回収し、燃料の熱能の用に供した二酸化炭素の量
6.08 大気中に排出せずに回収し、燃料の熱能の用に供した二酸化炭素に係る情報
7. 税利利益の保護に係る請求及び清算の段階の有無
税利利益の保護に係る請求及び清算の段階の有無について、1. を選択する場合は選びなさい。
○ 1. 有 ○ 2. 無
その他の開示情報の提供の有無
（該当するものを選択すること）
上記1の報告が地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第1項に定める
「温室効果ガス算定排出量の算定に係る情報」に該当することにより
開示する場合は、該当する情報を記載する旨の開示があると想料すます。
の隣にあらわすものである場合は、「1. 有」を選択し、「温対法様式第12の 内容を入力してください。」

クリックします。

特定第12表 事業分類

特定第12表 事業の全体及び事業分類ごとのエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量
付記下線の項目は、「報告書データの更新」で最初の入力内容が反映される項目です。

1 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量
控除量が排出量を上回っている場合、負の値ではなくて報告してください。

事業分類		エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
主たる事業	自動車部分品・附属品製造業	機器の使用としての使用又は運搬等を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	機器の使用としての使用又は運搬等を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	他人から供給された電気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素
特定事業者会社	3113	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
	当該事業を所管する大臣			
1 自動車部分品・附属品製造業	3113	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2

2 既存事業の用に供する施設又は熱供給事業の用に供する熱供給施設を設置している事業者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量
「施設の燃料としての使用」、「施設の由來の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
※EGSで報告書を作成する場合は、上記を含めた項目を自動で計算して表示しています。
控除量が排出量を上回っている場合、負の値ではなくて報告してください。

事業分類		エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
特定事業者会社	主たる事業	エネルギーの使用としての使用又は運搬等を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	エネルギーの使用としての使用又は運搬等を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	他人から供給された電気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素
	3113	t-CO2	t-CO2	t-CO2

5.3.2.14. 総括表画面

認定管理統括事業者／認定管理統括荷主の場合は、「総括表」タブが表示されます。

- ① 総括表タブを選択すると総括表画面が表示されます。報告内容を入力します。
- ② 認定表の入力が必要な場合は、「認定表の入力」ボタンをクリックして認定表画面を表示してください。認定表の入力は「5.3.3.定期報告書様式第9(認定表)」を参照してください。

省エネ法：定期報告書(特定表)

事業者登録やエネルギー使用量の修正が行われた場合は、その報告書データの更新ボタンを押してください。➡➡➡ 報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

表紙 第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 第8表 第9表 第10表 第11表 第12表 総括表 添付資料

認定-総括表 認定管理統括事業者及び管理関係事業者において、エネルギーの使用量が今第2条第1項に定める数値以上の事業者の一群
色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1. 認定管理統括事業者

※法人名（英語表記）、納税コードは、表紙画面で要要してください。

認定管理統括事業者名	認定管理統括事業者の名前	法人名	法人名（英語表記）	法人類別	納税コード	操作
						認定表の入力

2. 管理関係事業者

管理関係事業者名	管理関係事業者の名前	法人名	法人名（英語表記）	法人類別	納税コード	操作
						認定表の入力

- ③ 「認定表の入力」ボタンをクリックすると、保存していない入力データが破棄されることを示す確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

省エネ法：定期報告書(特定表)

確認

認定表の画面に切り替えます。保存していないデータがある場合、入力内容が破棄されますがよろしいですか。

OK キャンセル

1. 認定管理統括事業者

※法人名（英語表記）、納税コードは、表紙画面で要要してください。

認定管理統括事業者名	認定管理統括事業者の名前	法人名	法人名（英語表記）	法人類別	納税コード	操作
						認定表の入力

2. 管理関係事業者

管理関係事業者名	管理関係事業者の名前	法人名	法人名（英語表記）	法人類別	納税コード	操作
						認定表の入力

5.3.3. 定期報告書様式第9(認定表)

事業所が指定表を作成した後で、管理関係事業者、または認定管理統括事業者が認定表を作成します。「報告書データの更新」ボタンを押してから入力を開始してください。

定期報告書様式第9(認定表)の表示手順は「5.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

5.3.3.1. 認定-第1表画面

① 第1表タブを選択すると認定-第1表画面が表示されます。事業者情報で登録されている内容が、自動的に反映されます。報告書提出にあたり不足している情報を入力します。

なお、*印は必須入力項目です。制度上で必要な項目について「*」を付けるように、システムで統一しております。既に、事業者情報で入力がされている場合は、その画面入力時点で「*」を付けるようにしています。

② 「産業分類から細分類番号を取得」ボタンをクリックすると細分類番号検索画面が表示されます。大分類、中分類、小分類、細分類を選択し、「この内容で入力する」ボタンをクリックすると元画面の細分類番号に反映されます。

※細分類番号は直接入力もできます。存在しない値を入力するとエラーメッセージが表示されます。

5.3.3.2. 認定-第2表画面

① 第2表タブを選択すると認定-第2表画面が表示されます。

省エネ法：定期報告書(認定)

第1表 第2表 第3表 第4表 黒5表 確3表 確4表 添付資料

第2表

事業所2 事業者のエネルギーの使用量等

認定-第2表 事業者のエネルギーの使用量等

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1-1 エネルギーの使用量及び燃焼ガスエネルギーの排出量を踏まえたエネルギーの使用量

(※1) 認定-第2表は、エネルギーの使用量の対前年度比(%)を算出するため、前年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を入力します。
(※2) 前年度に定期報告書を提出している事業者は報告した数値を入力してください(記入のヒント)。

エネルギーの種類	単位	使用量		他のに供給する熱・電気を発生させるために使用した燃料の使用量		販出した再生エネルギーの量		購入した主要用熱の量	
		数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
		④	⑤ = ④ × ①	⑥	⑦ = ⑥ × ①	⑧	⑨ = ⑧ × ①	⑩	⑪ = ⑩ × ①
液化石油ガス (コンデンセート抜く)	kL							—	
液化石油ガスのうちコンデンセート (NGL)	kL	10	348			5	174	—	
揮発油	kL							—	
ナフサ	kL							—	
ジェット燃料	kL							—	
灯油	kL							—	

② 前年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を入力してください。

③ 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、「前年度原油換算 kL」の値を直接入力していただくようになります。

省エネ法：定期報告書(認定)

第1表 第2表 第3表 第4表 黒5表 確3表 確4表 添付資料

第2表

事業所2 事業者のエネルギーの使用量等

認定-第2表 事業者のエネルギーの使用量等

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

1-1 エネルギーの使用量及び燃焼ガスエネルギーの排出量を踏まえたエネルギーの使用量

(※1) 認定-第2表は、エネルギーの使用量の対前年度比(%)を算出するため、前年度の事業者全体の原油換算エネルギー使用量を入力します。
(※2) 前年度に定期報告書を提出している事業者は報告した数値を入力してください(記入のヒント)。

エネルギーの種類	単位	使用量		他のに供給する熱・電気を発生させるために使用した燃料の使用量		販出した再生エネルギーの量		購入した主要用熱の量	
		数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
		④	⑤ = ④ × ①	⑥	⑦ = ⑥ × ①	⑧	⑨ = ⑧ × ①	⑩	⑪ = ⑩ × ①
液化石油ガス (コンデンセート抜く)	kL							—	
液化石油ガスのうちコンデンセート (NGL)	kL	10	348			5	174	—	
揮発油	kL							—	
ナフサ	kL							—	
ジェット燃料	kL							—	
灯油	kL							—	
合計 GJ		2,586	—		0	—	1,279	—	
うち非化石 GJ		724	—		0	—	118	—	
原油換算 kL	⑪	67	—		0	—	33	—	⑫
うち非化石 kL		19	—		0	—	3	—	
前年度原油換算 kL(半角入力)		5431	—		0	—	—	—	
対前年度比(%)		1.2	—		—	—	—	—	

備考

1. 他者に供給する熱・電気を発生させるために使用的した燃料の使用量については、自ら使用的する熱・電気を発生させるために使用的する化石燃料及び非化石燃料も含めた全体のエネルギー使用量の内訳とすること。
2. ⑪欄に記入する熱量換算値は、電気の1度1千ワット時を熱量6.64キログラムとして換算した値を用いること。また、この熱量換算値は小分けには含めないこと。

- ④ 電気需要の最適化の為、再生エネルギー余剰時などに電力需要を増加させる「上げ DR」、電力供給ひつ迫時に電力需要を抑制させる「下げ DR」など、DR(ディマンド・リスpons)に資する措置を実施した回数、実績値、実施状況を入力します。

1-3 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数	日
備考 1 ディマンド・リスponsの対応を行った日数を記載すること。 2 ディマンド・リスponsとは、電気の需給に係る状況の変動に応じて電気の需要量を増加又は減少させることをいう。 3 1日に数回ディマンド・リスponsの対応を行った場合にも、「1日」として報告を行うこと。 4 設置する指定工場等のうち最も多い事業所の日数を記載すること。	

1-4 電気の需要の最適化に資する措置の実績値等（任意で報告を求める事項）

アグリゲーター等とのディマンド・リスponsに関する契約の状況		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
ディマンド・リスpons実施時の最大供給容量	下げディマンド・リスpons	<input type="text"/> kW
	上げディマンド・リスpons	<input type="text"/> kW
ディマンド・リスpons実施量	下げディマンド・リスpons	<input type="text"/> kWh
	上げディマンド・リスpons	<input type="text"/> kWh
需給調整市場約定量		<input type="text"/> kWh
備考 1 ディマンド・リスpons実施時の最大供給容量は、設置する工場等におけるディマンド・リスpons実施時の最も大きい値を記載すること。 2 ディマンド・リスpons実施量は、設置する工場等における年度の合計量を記載すること。		

1-5 電気の需要の最適化に資する措置を実施するにあたり活用した設備（任意で報告を求める事項）

自家発電設備	<input type="text"/>
電気を消費する機械器具	<input type="text"/>
空気調和設備	<input type="text"/>
蓄電池及び蓄熱システム	<input type="text"/>
その他	<input type="text"/>
備考 1 ディマンド・リスponsの対応を行うにあたり設置する工場等で活用した設備を報告すること。	

5.3.3.3. 認定-第3表画面

- ① 第3表タブを選択すると認定-第3表画面が表示されます。エネルギー管理指定工場等の一覧を表示します。
※指定工場を211件以上登録した場合、エラーになります。211件以上の登録が必要な場合は、お問い合わせください。

- ② 指定表の入力が必要な場合は、「指定表の入力」ボタンをクリックして指定表画面を表示してください。

現在の 指定区分	エネルギー管理 指定工場登録	工場名の名称	工場名の所在地	日本標準産業分類 における指定区分登録	工場名に係る 重要性の名称	操作
第1種 1 指定区分の変更手 続きが必要				3311	発電業	指定表の 入力
第2種 2 指定区分の変更手 續きが必要				3311	発電業	指定表の 入力

- ③ 指定表画面を表示すると、保存していない入力データが破棄されることを示す確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックします。

確認

指定表の画面に切り替えます。保存していないデータがある場合、入力内容が破棄されますがよろしいですか。

OK キャンセル

④ 指定表の入力は「5.3.1.定期報告書様式第9(指定表)」を参照してください。

省エネ法：定期報告書(指定表)

指定-第1表 エネルギー管理指定工場等の名称等

*は必須項目です。
色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

エネルギー管理指定工場等番号	
エネルギー管理指定工場等の名称	
変更前名称	※前回定期報告から事業所の名称が変更になっている場合は記入してください（変更がない場合は空欄としてください）。
エネルギー管理指定工場等の所在地	
組分類番号	3311
主たる事業	発電業
エネルギー管理者(員)情報	
職名	
氏名	氏名 A S
エネルギー管理者の生産性 又は調査結果の担当	
電話	001-1234-5679 例03-1234-5679 勤務先の代表番号ではなく、該当者に直接連絡がとれる電話番号を記入

⑤ 認定-第3表画面で指定区分の変更ができます。「指定区分の変更」ボタンをクリックしてください。指定区分の変更については「5.3.2.11 特定-第10表画面」を参照してください。

省エネ法：定期報告書(認定表)

認定-第3表 事業者の設置する工場等のうちエネルギー管理指定工場等、浄化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理個別エネルギー管理指定工場等の一覧

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

現在の 指定区分	エネルギー管理 指定工場等番号	工場等の名称	工場等の所在地	日本標準産業分類 コード	工場区分名	操作
第1種	指定区分の変更手続きが必要			3311	発電業	<input type="button" value="指定表の
指定区分の
変更"/>
第2種	指定区分の変更手続きが必要			3311	発電業	<input type="button" value="指定表の
指定区分の
変更"/>

5.3.3.4. 認定-第4表画面

- ① 第4表タブを選択すると認定-第4表画面が表示されます。エネルギー管理指定工場等に指定されていないが、「エネルギー使用量入力」の結果が1,500kl以上以上の使用量となった事業所を一覧にしています。
- ② 指定表の入力をする場合は、事業所リストで対象の事業所を選択し「指定表の入力」ボタンをクリックして指定表画面を表示します。指定表の入力は「5.3.1.定期報告書様式第9(指定表)」を参照してください。

省エネ法：定期報告書(認定表)

事業者登録やエネルギー使用量の入力履歴の修正が行われた場合は、その報告書データの更新ボタンを押してください。⇒ 報告書データの更新 外部ファイルを取り込み

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 確3表 確4表 添付資料

認定-第4表 現在エネルギー管理指定工場等、連鎖化エネルギー管理指定工場等、管理統括エネルギー管理指定工場等又は管理個別エネルギー管理指定工場等であつて、エネルギーの使用量が令第6条に定める数量以上の工場等の一覧

色付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。

これまでに入力した情報から、現在、エネルギー管理指定工場等に指定されていないがエネルギー使用量が1,500kl(原油換算)以上となっている事業所がある場合、以下に表示しています。

エネルギー使用量に誤りがない確認してください。

・下記の事業所がエネルギー管理指定工場等なら、当該事業所の所在地を入力してください。

・こちらに記載いただいた情報をもとに、当該工場等の指定手続きを行います。

事業所選択： 指定表の入力 指定表が作成されている事業所がプルダウンで選択可能です。

工場等の名稱	工場等の所在地	日本標準産業分類における区分類別	工場等に係る事業の名稱	エネルギー使用量(原油換算)
事業所名	所在地	区分	事業名	エネルギー使用量(原油換算)

リストから事業所を選択します。 クリックします。

5.3.3.5. 認定-第5表画面

① 第5表タブを選択すると認定-第5表画面が表示されます。報告内容を入力します。

- ・認定-第5表1、2には、入力されたエネルギー使用量から自動計算したCO₂排出量が表示されます。
- ・認定-第5表2は、「発電所又は熱供給業を主たる事業とする事業所」の登録があった事業者について表示されます。
- ・認定-第5表3では、「調整後温室効果ガス排出量算定」に必要な事項を入力します。
- ・認定-第5表4の1、4の2では、「エネルギー使用量入力」で入力した都市ガス供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・認定-第5表4の3、4の4では、「エネルギー使用量入力」で入力した電気事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・認定-第5表4の5、4の6では、「エネルギー使用量入力」で入力した熱供給事業者のCO₂排出係数が表示されます。
- ・認定-第5表5では、温室効果ガス排出量の算定に際して法定外の算定方法又は係数を使用する場合に、その内容を入力します。
- ・認定-第5表6の1～6では、「国内認証排出削減量」、「海外認証排出削減量」「非化石電源二酸化炭素削減相当量」に係る情報が表示されます。
- ・認定-第5表6の7～8では、「大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量の入力」で入力した回収した二酸化炭素に関する情報が表示されます。
- ・認定-第5表7で該当がある場合は「1:有」を選択し、必要書類を準備の上で、定期報告書に添付します。

事業分類		エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
事業分類		燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素 (燃費物の燃料としての使用及び燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生するものを指す)		
事業者全体	またる事業 区分別総量 区分別細目 区分別名を記載する大臣 自然又は森林等	主として管轄事業を行う本社等 5400 厚生労働大臣 経済産業大臣	0 t-CO ₂	0 t-CO ₂
工場等による事業の名前 区分別総量 区分別細目 区分別名を記載する大臣 自然又は森林等	主として管轄事業を行う本社等 5400 厚生労働大臣 経済産業大臣	0 t-CO ₂	0 t-CO ₂	0 t-CO ₂
2 電気事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給施設を設置している特定排出者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果力算定期間	事業分類	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
またる事業		燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素 (燃費物の燃料としての使用及び燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生するものを指す)		

② 4の3、4の4の算定係数追加を行う場合はそれぞれの「行追加」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the GHG Reporting System interface. The main content area displays several tables for calculating greenhouse gas emissions. In the first table (4.1), the 'Add Row' button is highlighted with a yellow box and arrow. In the second table (4.2), another 'Add Row' button is highlighted. A large orange callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to the second 'Add Row' button.

③ 4の3、4の4の入力欄が不要な場合はそれぞれの「削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the GHG Reporting System interface. It displays two tables. In the first table (4.1), there is a text input field containing '1.5 t-CO2/kWh'. To its right, a red box highlights the 'Delete' button. In the second table (4.2), there is also a text input field containing '1.5 t-CO2/kWh'. To its right, another red box highlights the 'Delete' button. Two large orange callout boxes with the text 'クリックします。' (Click here) point to each of these 'Delete' buttons.

- ④ 確認メッセージが表示されるので問題なければ、「OK」ボタンをクリックします。

確認してもよろしいですか。

OK キャンセル

クリックします。

- ⑤ エネルギー使用量の入力画面において、独自係数及び実測排出量の入力を行った場合は「5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容」を入力します。独自係数及び実測排出量の入力画面で入力した「当該算定方法又は係数の内容」を転記するには、「実測値の内容を転記」ボタンをクリックしてください。

4.05 エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の温室効果ガス排出量の算定に用いた係数

4.06 調整後温室効果ガス排出量のうち、他人から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素の調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた係数

5 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく命令に定める算定方法又は係数と異なる算定方法又は係数の内容
下記に入力してください。

実測値の内容を転記

クリックします。

6.01 温室効果ガス排出量又は調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた国内認証排出削減量、海外認証排出削減量及び非化石電源二酸化炭素削減相当量の額
※が付与された国内認証排出削減量と海外認証排出削減量、及び全ての非化石電源二酸化炭素削減相当量について、事業者が無効化又は移転を行ったことを記載してください。

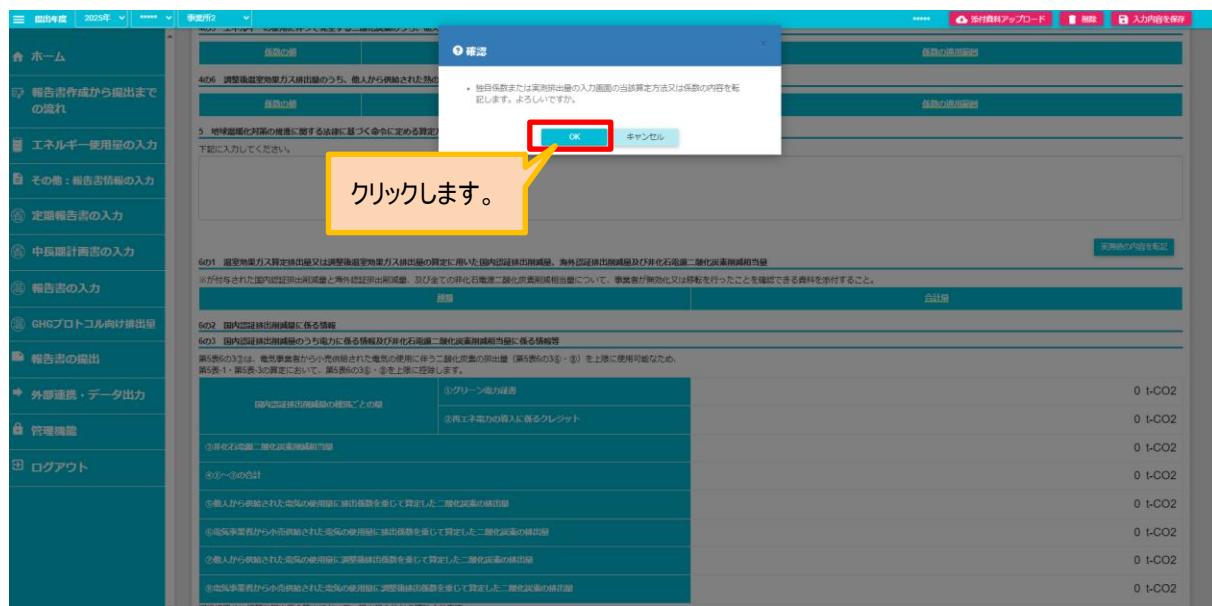
6.02 国内認証排出削減量に係る情報

6.03 国内認証排出削減量のうち電力に係る情報及び非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報等

第5表6.03⑧は、電気事業者から小売供給された電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量（第5表6.03⑧・⑨）を上記に使用可能なため、第5表1・第5表3の算定において、第5表6.03⑧・⑨を上記に控除します。

国内認証排出削減量の経緯	①クリーン電力証書	0 t-CO2
	②再エネ電力の導入に係るクレジット	0 t-CO2
③非化石電源二酸化炭素削減相当量		0 t-CO2
④合計		0 t-CO2
⑤他人から供給された電気の使用に伴う排出量を乗じて算出した二酸化炭素の排出量		0 t-CO2
⑥電気事業者から小売供給された電気の使用に伴う排出量を乗じて算出した二酸化炭素の排出量		0 t-CO2

- ⑥ 「実測値の内容を転記」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。問題なければ「OK」ボタンをクリックしてください。



⑦ 権利利益の保護に係る請求を行う場合、「権利利益の保護に係る請求の有無(該当するものを選択すること)」欄の「1.有」を選択します。請求を行わない場合は「2.無」を選択します。

「1.有」を選択後、温対法様式第1の2タブが表示されます。

(記入方法については「5.3.4 温対法報告書様式第1の2」を参照してください。)

温室气体排放量

事業者 種別 非化石炭素の量 生産平均係数 振正率 種別ごとの非化石炭素 減量化率相当額 操作

行追加

6007 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の際に供した二酸化炭素の量
6008 大気中に排出せずに回収し、燃料(水素等及び二酸化炭素から得たもの)の製造の際に供した二酸化炭素の量

7. 権利利益の保護に係る請求の有無
(該当するものを選択すること)

1. 有 2. 無

その他的情報の提供の有無
(該当するものを選択すること)

1. 有 2. 無

クリックします。

温対法様式第1の2

表示されます。

事業分類	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
主たる事業 製造業 当該事業を所管する大臣 経済産業大臣	燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(燃 料物の燃料としての使用及び燃耗物を原材料 とする燃料の使用に伴って発生するものを除 <>)	0 t-CO2	0 t-CO2
工場等に係る事業の名称 主たる事業 当該事業を所管する大臣 経済産業省	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 (燃 料物の燃料としての使用又は燃耗物を原料 料とする燃料の使用に伴って発生するものを除 <) 0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
事業分類	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		

- ⑧ 「権利利益の保護に係る請求の有無(該当するものを選択すること)」で「2:無」を選択すると、温対法様式第1の2タブが非表示になります。

温室効果ガス削減措置

事業者から供給された熱の使用量に排出係数を乗じて算定した二酸化炭素の排出量
事業者から供給された熱の使用量に調整後排出係数を乗じて算定した二酸化炭素の排出量
経済活動区分は既存後掲出量の記述において、排出量全体から扣除されます。
(注) 経過措置の詳細は、下記のURLを参照。
https://rgt-santeikohyo.env.go.jp/files/aboutgreen_certificate_2024.pdf

クリーン熱認証(2024年3月1日までに認定された認証措置分)
クリーン熱認証(2024年4月以降に認定された分)

6005 海外認証排出量に係る情報
6006 非化石電源二酸化炭素削減相当量に係る情報

事業者	種別	非化石証明の場	全発行枚数	修正率	算定ごとの非化石電源 二酸化炭素削減相当量	操作
[追加] 削減相当量計算						
6007 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量						
6008 大気中に排出せずに回収し、燃料（水素等及び二酸化炭素から合成した気体の燃料に限る。）の製造の用に供した二酸化炭素に関する情報						
7 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無						
権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無について、1. 有を選択する場合は選びなおしてください。						
<input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無				その他の関連情報の提出の有無 (該当するものを選択すること)		
<small>上記1の報告が既存選択化対象の範囲に該当する場合は、既存選択化対象の範囲に該当する場合は、「温室効果ガス削減措置の情報が公にござる」の欄に「是」を選択して下さい。 当該特許権者は、権利保護上の地位にあって、該当するものである場合は、「1: 有」を選択して、「温対法様式第2」の内容を入力してください。</small>						

省エネ法：定期報告書(認定表)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 第6表 第7表 添付資料

認定-第6表 事業者の全体及び事業分類ごとのエネルギーの使用量

色付き下線の項目は「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映されています。

1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果力又は排出量

控除量が削除量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

事業分類			エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
			燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(廃棄物の燃焼としての使用及び廃棄物を燃料とする燃料の使用に伴って発生するものを除く)	廃棄物の燃焼としての使用又は廃棄物を燃料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	事業者から供給された出気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素
事業者全体	主たる事業	発電業			
	最高階層	3311			
	当該事業を所管する大臣	経済産業大臣	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2
最高階層又は最高段階					
1. 発電業	工場名	最高階層	当該事業を所管する大臣	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	
	3311	経済産業省	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2

2. 電気事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給施設を設置している事業者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果力又は削除量

「廃棄物の燃焼としての使用」、「廃棄物由来の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。
 ※EEGSで報告書を作成する場合は、上を含めた削除量を自動で計算して表示しています。
 控除量が削除量を上回っている場合、負の値ではなく0で報告してください。

事業分類			エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素		
			燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(廃棄物の燃焼としての使用及び廃棄物を燃料とする燃料の使用に伴って発生するものを除く)	廃棄物の燃焼としての使用又は廃棄物を燃料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素	事業者から供給された出気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素
事業者全体	工場名	最高階層	当該事業を所管する大臣	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	
	3311	経済産業省	0 t-CO2	0 t-CO2	0 t-CO2

- ⑨ 「温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報等の提供」を行う場合、「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「1: 有」を選択します。提供を行わない場合は「2: 無」を選択します。
 「1: 有」を選択後、温対法様式第2タブが表示されます。

(記入方法については「5.3.5 温対法報告書様式第2温対法報告書様式第2」を参照してください。)



クリックします。



表示されます。

- ⑩ 「その他の関連情報の提供の有無(該当するものを選択すること)」で「2:無」を選択すると、温対法様式第2タブが非表示になります。

報告書作成から提出までの流れ

その他：報告書情報の入力

定期報告書の入力

中長期計画書の入力

報告書の入力

GHGプロトコル向け排出量

報告書の提出

外部連携・データ出力

管理機能

ログアウト

事業所を選択

事業者

種別

非化石資源の量

全括弧内値

補正率

算出ごとの非化石資源
二酸化炭素削減相当量

操作

削減相当量計算

6007 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の量

6008 大気中に排出せずに回収し、燃料（水素等及び二酸化炭素から合成した気体の燃料に限る。）の製造の用に供した二酸化炭素に関する情報

7 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無

権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無について、1. 有を選択する場合は適切におしてください。

1. 有

2. 無

その他の関連情報の提供の有無
(該当するものを選択すること)

1. 有

2. 無

上記1の報告が地球温暖化対応の推進に要する法律第27条第1項に定める「温室効果ガス算定排出量の算出が公にされることにより、当該算定排出量の権利、権利上の地位その他の正当な利益が害られる恐れがあると想測するとき」の請求に係るものである場合は、「1. 有」を選択し、「温対法様式第2」の内容を入力してください。

上記1の報告に際して地球温暖化対応の推進に要する法律第27条第1項に定める「温室効果ガス算定排出量の算出が公にされることにより、当該算定排出量の権利、権利上の地位その他の正当な利益が害られる恐れがあると想測するとき」の請求に係るものである場合は、「1. 有」を選択し、「温対法様式第2」の内容を入力してください。

クリックします。

報告書作成から提出までの流れ

その他：報告書情報の入力

定期報告書の入力

報告書の入力

GHGプロトコル向け排出量

報告書の提出

外部連携・データ出力

管理機能

ログアウト

事業所を選択

省エネ法：定期報告書(認定表)

事業者全体

事業者を所有する大店

事業者又は商号登録

事業分類

主たる事業

実業家

商号登録番号

3311

当該事業を所有する大店

経済産業大臣

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の量

燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(燃費物の燃料としての使用及び燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生するものを除く)

燃費物の燃料としての使用又は燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素

他人から供給された電気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素

0 t-CO2

0 t-CO2

0 t-CO2

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素

燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(燃費物の燃料としての使用及び燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生するものを除く)

燃費物の燃料としての使用又は燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素

他人から供給された電気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素

0 t-CO2

0 t-CO2

0 t-CO2

2. 電気事業の用に供する発電所又は熱供給事業の用に供する熱供給設備を設置している事業者に係る燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の量

「燃費物の燃料としての使用」、「燃費物由来の燃料の使用」に伴って発生する二酸化炭素を含めて報告してください。

※EECS-E報告書を作成する場合は、上記を含めた排出量を自動で計算して表示しています。

控除量が排出量を上回っている場合、負の値ではなくて報告してください。

事業分類

工業等に係る事業の名前

商号登録番号

当該事業を所有する大店

1. 実業家

3311

経済産業大臣

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素

燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素(燃費物の燃料としての使用及び燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生するものを除く)

燃費物の燃料としての使用又は燃費物を原材料とする燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素

他人から供給された電気及び熱の使用に伴って発生する二酸化炭素

0 t-CO2

0 t-CO2

0 t-CO2

非表示になります。

5.3.3.6. 認定-確3表画面

- ① 確3表タブを選択すると認定-確3表画面が表示されます。
- ② 情報詳細登録画面の「生産数量又は建物延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値」が全事業所で同じではない場合は、1-1、2-1 の「エネルギーの使用に係る前年度の原単位」に入力欄が表示されます。入力後、入力欄からフォーカスアウトすると表内の各項目に計算結果が反映されます。

省エネ法: 定期報告書(認定)

事業分類		事業分類ごとのエネルギー消費単位等の計算								
番号		直近の年次報告書 提出を終了した事業 のエネルギー消費単位 (既述済)	輸入した 主要原燃 料の量 (既述済)	(D-1) = (D-1) - B - C	(D-1)の 構成割合%	生産数量又は建物延 床面積の直近の上 一年の実績と 既述の数値を比較	エネルギー消費単 位	前年度のエネルギー 消費単位	エネルギー消費単 位の既述比率 (既述比率)	エネルギー消費単 位の既述比率の 既述比率に対する 差分%
1	工場に属 する施設 群	回管製造業 2234	0	0	0	0	419707 (名称: 燃費走査値) (単位: t)	-	<input type="text"/>	①-1
2	工場に属 する施設 群	回管製造業 2234	0	0	0	-	208721 (名称: 燃費走査値) (単位: t)	-	<input type="text"/>	②-1
4	事業者全体	(D-1) (合計)	① (合計)	⑦ (合計)	(D-1) (合計)	100.0 %	⑧ (名称: -) (単位: -)	(D-1) -	(D-1) (D-1) / (D-1) * 100 -	(D-1) (D-1) / (D-1) * 100 -

2.1 電気需要量換算評価単位等

事業分類		事業分類ごとの電気需要量換算評価単位等の計算								
番号		直近の年次報告書 提出を終了した事業 のエネルギー消費単位 (既述済)	輸入した 主要原燃 料の量 (既述済)	(D-1)= (D-1)-B -C	(D-1)の 構成割合%	生産数量又は建物延 床面積の直近の上 一年の実績と 既述の数値を比較	電気需要量換算評 価単位	前年度電気需要量 換算評価単位	前年度電気需要量 換算評価単位の 既述比率	前年度電気需要量換 算評価単位の既述 比率に対する 差分%
1	工場に属 する施設 群	回管製造業 2234	0	0	0	0	419707 (名称: 燃費走査値) (単位: t)	-	<input type="text"/>	①-1
2	工場に属 する施設 群	回管製造業 2234	0	0	0	0	208721 (名称: 燃費走査値) (単位: t)	-	<input type="text"/>	②-1
4	事業者全体	(D-1) (合計)	① (合計)	⑦ (合計)	(D-1) (合計)	100.0 %	⑧ (名称: -) (単位: -)	(D-1) -	(D-1) (D-1) / (D-1) * 100 -	(D-1) (D-1) / (D-1) * 100 -

5.3.3.7. 認定-確4表画面

- ① 確4表タブを選択すると認定-確4表画面が表示されます。
- ② 入力欄からフォーカスアウトすることにより、該当する表の対前年度比(%)の再計算が行われます。前年度にEEGSで入力・報告された場合は自動的に反映されますが、前年度にEEGSを利用されていない場合は、事業者の過去5年度間の「エネルギーの使用に係る原単位」および「電気需要平準化評価原単位」を直接入力していただくようになります。

省エネ法：定期報告書(認定表)

事業者情報やエネルギー使用量の入力確認が行われた場合は、この報告書データの更新ボタンを押してください。➡➡ [報告書データの更新](#) [外部ファイルを取り込み](#)

第1表 第2表 第3表 第4表 第5表 確3表 **確4表** 添付資料

特記-第4表（データ種別用） 事業者の過去5年度間のエネルギー消費原単位、電気需要量平準化評価原単位
値付き下線の項目は、「報告書データの更新」で最新の入力内容が反映される項目です。
事業者の過去5年度間の
エネルギー消費原単位及び対前年度比と
電気需要量平準化評価原単位及び対前年度比
を入力します。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	5年平均±1%変動範囲
エネルギー消費原単位	() () () ()	-	②-1	②-1	②-1	-
対前年度比(%)	-	②-1	②-1	②-1	②-1	-

2 電気需要量平準化評価原単位

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	5年平均±1%変動範囲
電気需要量平準化評価原単位	() () () ()	-	②-1	②-1	②-1	-
対前年度比(%)	-	②-1	②-1	②-1	②-1	-

5.3.4. 溫対法報告書様式第1の2

① 定期報告書内(指定表は第10表画面、特定表は第12表画面、認定表は第5表画面)の、「権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無」の項目で「1:有」を選んだ場合、「温対法報告書様式1の2」への入力も必要となります。

クリックします。

6007 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の削減
6008 大気中に排出せずに回収し、燃料（水素等及び二酸化炭素）の供給による二酸化炭素の削減
7 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無
権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無について、1. 有を選択する場合は選択してください。
権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無（該当するものを選択すること）
 1. 有
 2. 無

② 「1:有」を選択すると、「温対法報告書様式1の2」タブが表示されます。

「温対法報告書様式1の2」タブをクリックします。

クリックします。

温対法報告書様式第1の2

※提出者の情報やエネルギー使用量の入力欄の修正が行われた場合は、右側のデータの更新ボタンを押してください。⇒
報告データの更新 外部ファイルを取り込む

提出先
＊提出日
＊郵便番号
＊住所
＊法人名
法人名（英語表記）
法人登号
経営コード
＊代表者の役職名
＊代表者の氏名

③ 溫対法報告書様式1の2画面が表示されます。「詳細」ボタンをクリックします。

画面内に表示される情報:

- 左側メニュー: ホーム、報告書作成から提出までの流れ、エネルギー使用量の入力、その他: 報告書情報の入力、定期報告書の入力、中長期計画書の入力、報告書の入力、GHGプロトコル向け排出量、報告書の提出、外部連携・データ出力、管理機能、ログアウト。
- 上部メニュー: 年度選択 (2025年), 報告書選択 (温対法報告書), ページナビゲーション (第1表, 第2表, 第3表, 第4表, 第5表, 第6表, 第7表, 第8表, 第9表, 第10表, 第11表, 第12表, 温対法報告書第1の2, 付資料), 報告書データの更新, 外部ファイルを取り込み。
- 主な表示内容:
 - 権利利益の保護に係る請求書一覧**: 表示内容: 選定効率ガスのガス別算定結果出典 (エネルギー起源CO2: 6479 t-CO2, 詳細), 調整後温室効率ガス結果出典 (6579 t-CO2, 詳細), 国内認証排出削減又は海外認証排出削減の種別ごとの合計量 (国内クレジット: 100 t-CO2, 詳細).
 - 大気中に排出せずに回収し、燃料の製造の用に供した二酸化炭素の合計量**: 表示内容: 0 t-CO2 (詳報).

④ 権利利益の保護に係る請求書画面が表示されます。必須項目を入力し「請求対象に設定」ボタンをクリックします。

画面内に表示される情報:

- 左側メニュー: ホーム、報告書作成から提出までの流れ、エネルギー使用量の入力、その他: 報告書情報の入力、定期報告書の入力、中長期計画書の入力、報告書の入力、GHGプロトコル向け排出量、報告書の提出、外部連携・データ出力、管理機能、ログアウト。
- 上部メニュー: 年度選択 (2025年), 報告書選択 (温対法報告書), ページナビゲーション (第1表, 第2表, 第3表, 第4表, 第5表, 第6表, 第7表, 第8表, 第9表, 第10表, 第11表, 第12表, 温対法報告書第1の2, 付資料), 報告書データの更新, 外部ファイルを取り込み, 入力履歴を削除。
- 主な表示内容:
 - 権利利益の保護に係る請求書**: 必須項目 (選定効率ガスのガス別算定結果出典: エネルギー起源CO2, 6479 t-CO2), 権利利益が害されるおそれがあると想定する理由 (未記入).
 - 権利利益の保護に係る請求書**: 必須項目 (選定効率ガスのガス別算定結果出典: エネルギー起源CO2, 6479 t-CO2), 権利利益が害されるおそれがあると想定する理由 (未記入).
 - 権利利益の保護に係る請求書**: 必須項目 (選定効率ガスのガス別算定結果出典: エネルギー起源CO2, 6479 t-CO2), 権利利益が害されるおそれがあると想定する理由 (未記入).
- ボタン: 「請求対象に設定」 (赤枠で囲まれて表示), 「通常対象から削除」, 「削除」.

5.3.5. 温対法報告書様式第2

① 特定表の様式第12表や指定表の様式第10表の画面の「7 権利利益の保護に係る請求及び情報の提供の有無」にて「その他の関連情報の提供の有無」を「1. 有」に選択している場合、温対法様式第2タブが表示されます。温対法様式第2タブを選択すると温対法様式第2画面が表示されるので、報告内容を入力します。

特定第12表の入力画面から表示された場合と指定第10表の入力画面から表示された場合で入力項目が一部異なります。

なお、*印は必須入力項目です。制度上で必要な項目について「*」を付けるように、システムで統一しております。既に、事業者情報で入力がされている場合は、その画面入力時点で「*」を付けるようにしています

特定第12表の入力画面から表示された場合

The screenshot shows the '定期報告書(特定表)' page for the '特定法'. The '温対法様式第2' tab is highlighted with a red box. The page includes sections for '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報その他の情報' and '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報その他の情報' (repeated). It features input fields for '提出先' (Recipient), '提出年月日' (Date), and '特定排出者コード' (Code of Specific Emitter). There are also sections for '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報' and '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報'.

指定第10表の入力画面から表示された場合

The screenshot shows the '定期報告書(指定表)' page for the '特定法'. The '温対法様式第2' tab is highlighted with a red box. The page includes sections for '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報その他の情報' and '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報その他の情報' (repeated). It features input fields for '提出先' (Recipient), '提出年月日' (Date), and '特定排出者コード' (Code of Specific Emitter). There are also sections for '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報' and '温室効果ガス算定排出量の増減の状況に関する情報'.

- ② 特定-第1表画面の「エネルギー管理企画推進者」欄に記入した情報を温対法様式第2画面に反映させるには、「エネルギー管理企画推進者欄を反映」ボタンをクリックします。

特定-第1表で記入した、エネルギー管理企画推進者の氏名と電話番号が反映されます。

特定-第1表画面

エネルギー管理企画推進者

氏名
* 氏名
エネルギー管理士登録番号
又は講習修了番号
勤務地
* 電話
例) 03-1234-5679 勤務先の代表番号ではなく、該当に直接連絡がとれる電話番号を記入
FAX
例) 03-1234-5679
* メールアドレス
注釈) メールアドレスは、クラス分け判定結果や執行上の注意事項等の連絡のために使用いたします。

担当者(問い合わせ先)
部署
(ふりがな)
氏名
電話番号

エネルギー管理企画推進者欄を反映

クリックします。

5.3.6. 添付資料の登録

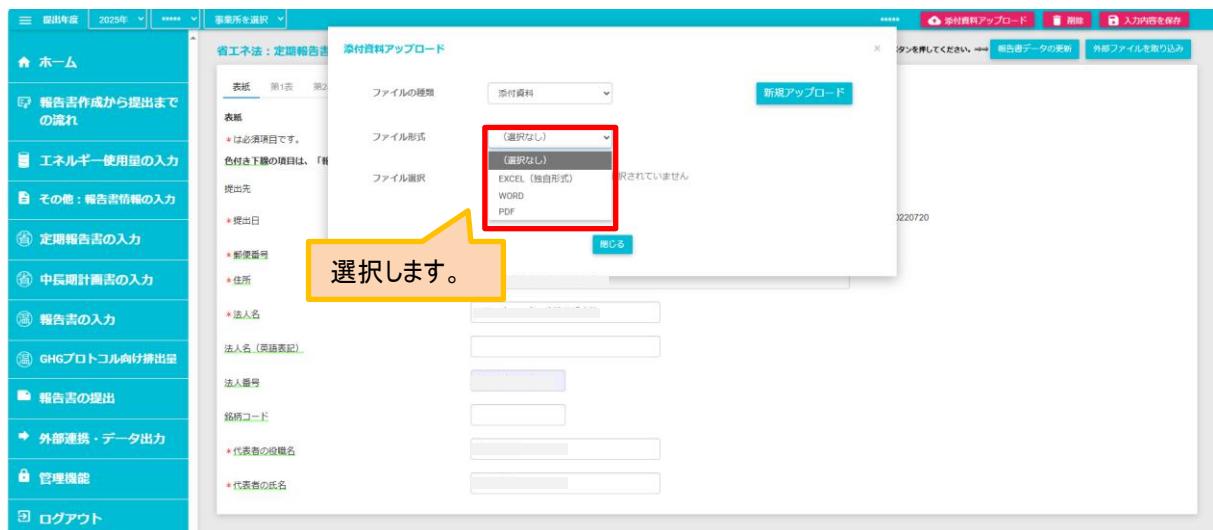
- ① 定期報告書に添付する資料をアップロードするには「添付資料アップロード」ボタンをクリック、または「添付資料」タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Report Submission' interface. On the left sidebar, the 'Attachment' tab is highlighted. The main area displays the 'Report Submission Method: Periodic Report (Specific Form)' page. A red box highlights the 'Attachment' button at the top right of the form. A yellow callout bubble points to this button with the text 'クリックします。' (Click here). Another yellow callout bubble points to the 'Attachment' tab on the sidebar with the text 'クリックします。' (Click here).

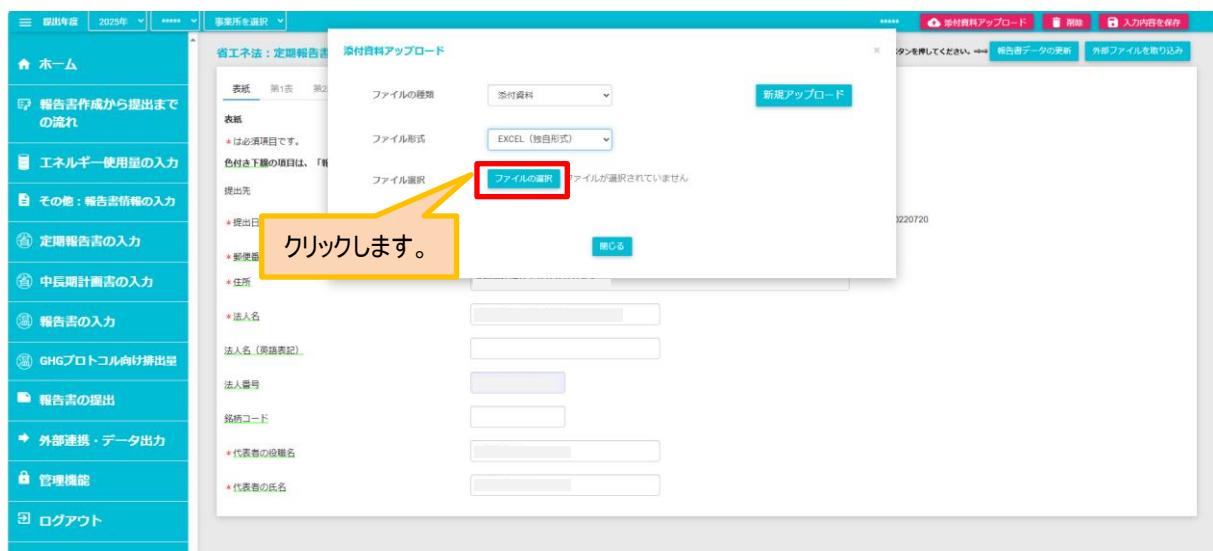
- ② 添付資料アップロード画面が表示されます。まずファイルの種類をリストより選択します。

The screenshot shows the 'Attachment Upload' dialog box overlaid on the report submission interface. The dialog has a dropdown menu for 'File Type' with several options listed. One option, 'Standard Document', is highlighted with a red box. A yellow callout bubble points to this highlighted option with the text '選択します。' (Select here).

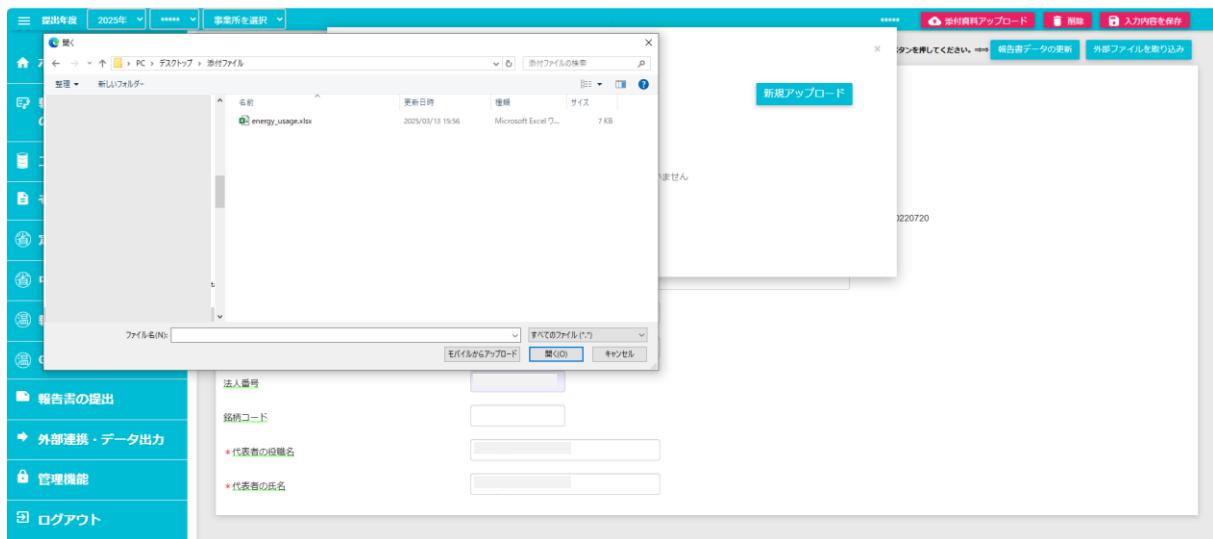
③ ファイル形式を選択します。ファイルの形式は、ファイルの種類により異なります。



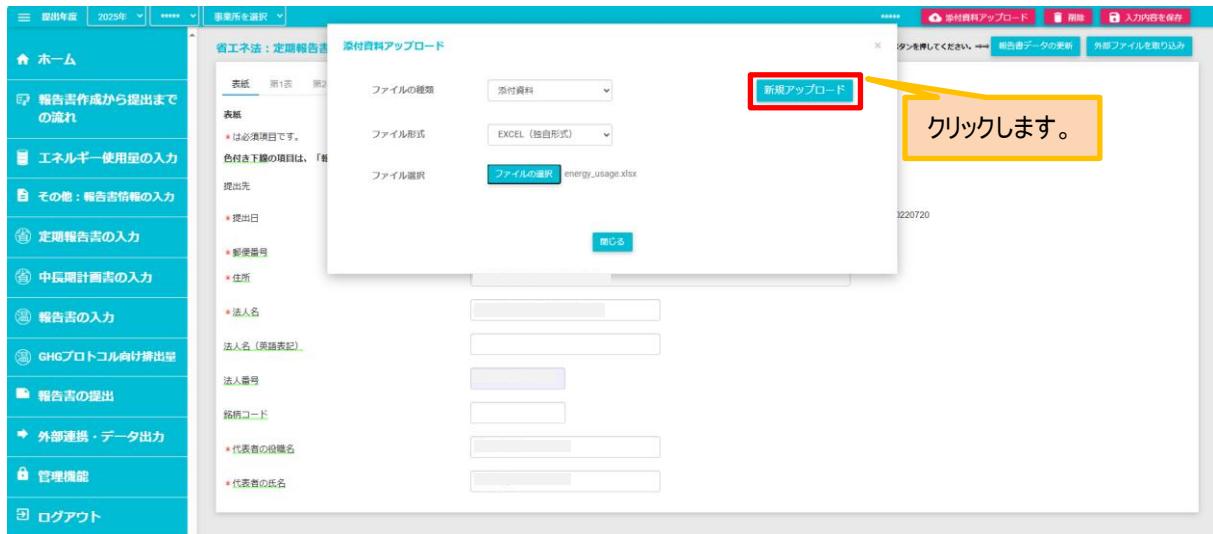
④ 「ファイルの選択」ボタンをクリックします。



⑤ ファイルを選択します。



⑥ 「新規アップロード」ボタンをクリックします。



⑦ アップロードが完了すると、ファイル選択の下に表示されます。

⑧ 「閉じる」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。



5.4. 定期報告書入力エラー時の対応方法

「入力内容を保存」ボタンクリック時、保存の前に入力内容がチェックされます。

エラーがあった場合、赤色でエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容は修正が必要ですので内容に従って修正してください。

警告があった場合、オレンジ色で警告メッセージが表示されます。警告メッセージは内容の適否に関わらず報告書の提出は可能ですが内容を再度確認し必要であれば修正してください。

- ① 「入力内容を保存」ボタンクリック時、保存の前に入力内容がチェックされます。報告書の入力時に不備があった場合、画面上部にエラーメッセージや警告メッセージが表示されます。
- ② メッセージの内容に従って、入力内容を修正してください。

The screenshot shows the GHG Reporting System interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area is titled '省工法等：定期報告書(特定表)' and contains several sections of text. A red box highlights a section of text at the top of the page, and an orange box highlights another section further down. To the right of these boxes, a callout box with a yellow border contains the text '赤色: エラーメッセージ' (Red: Error message) and 'オレンジ色: 警告メッセージ' (Orange: Warning message).

※ 説明文
表紙：提出年月日は必ず入力してください。
第2表：「既存の必要な基準化に資する措置を実施した日割」は、必須入力となります。DRを実施していない場合は「0日」で入力してください。
第3表：「過去省エネルギー削減を認めたエネルギー消費原単位等について、「工場等に係る事業の名称」または「細分類番号」に記載がある場合、A-2を記載してください。
第3表：「過去省エネルギー削減を認めた製造業者最適化評価単位等について、「工場等に係る事業の名称」または「細分類番号」に記載がある場合、A-3を記載してください。
第5表：「特定4表A-1、2-2、3-3のいずれかに於いて、省エネエネルギー使用状況が前年度に比べて、前年度と等しいもしくは向上してないか場合、特定5表B-3は必須入力となります。
第6表：「エネルギー一括評価基準化の目標及び実現に取り組んできた結果は必ず入力してください。
第12表：「特定-第12表-6-2(国内認定削減量情報)、申請方法別の種類が未入力です。入力してください。
第12表：「特定-第12表-6-2(国内認定削減量情報)、申請方法別の種類が未入力です。入力してください。
第12表：認証済出荷履歴について、無効化を行ったことを確認できる資料の添付が必須です。添付されているかどうかご確認ください。
第12表：エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量が年度次の報告内容と比較して、1桁以上かつ3%以上異なります。間違いありませんでしょうか？

表紙
*提出年月日
*提出先
*提出日
*郵便番号
*住所
*法人名
法人名(英語表記)
法人番号
鉛筆コード

赤色: エラーメッセージ
オレンジ色: 警告メッセージ

6. 報告書ファイル(XML 形式)のアップロード

EEGS では省エネ法定期報告書(工場等)の XML 形式のファイルフォーマット(XML 構造定義書)に従った報告書ファイルをアップロードすることにより、報告書内容を入力することが可能です。

報告書ファイルを作成する際は、事業者情報の「特定排出者コード／特定漏えい者コード」及び「法人番号」を、また事業所情報のエネルギー管理指定工場等番号を EEGS に登録されている情報と一致させてください。上記が異なるとアップロード時にエラーが発生する場合がございます。

6.1. 報告書ファイル(XML 形式)のアップロード手順

6.1.1. 定期報告書様式第9(特定表)

省エネ法定期報告書(工場等)のファイルをアップロードする場合は、まず「報告書(届出書等)ファイルアップロード画面」で報告書種別「省エネ法定期報告書(工場等)」を選択し、特定表のファイルをアップロードします。

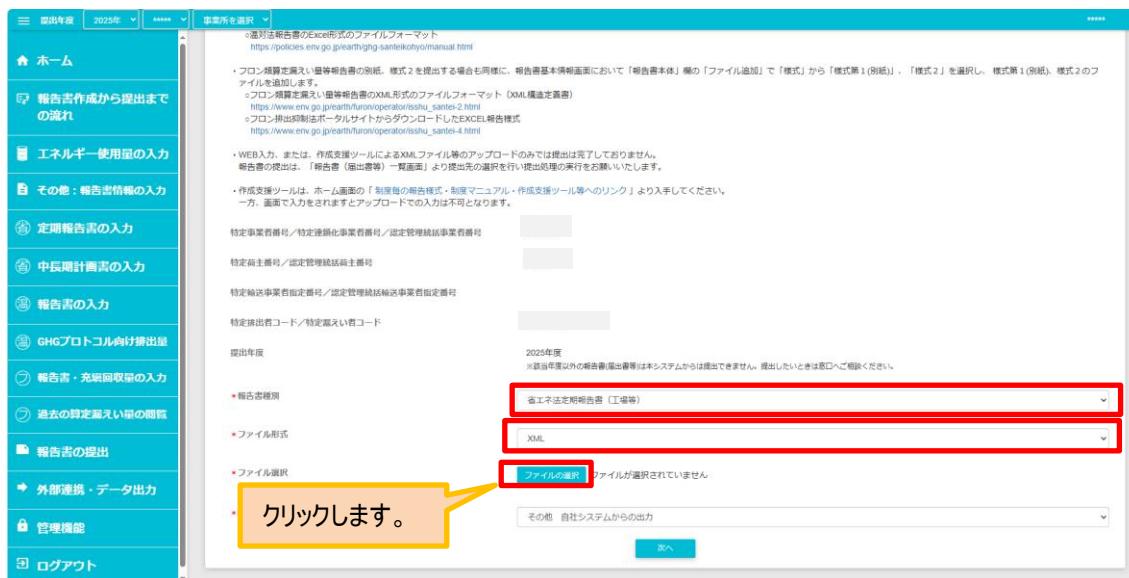
- ① ホーム画面の「報告書の提出」メニューをクリックします。



② 「報告書(届出書等)のファイルアップロード」をクリックします。



③ 該当する「報告書種別」を選択し、「ファイル形式」は XML を選択してください。「ファイルの選択」ボタンをクリックします。



④ アップロードする報告書ファイルを選択します。

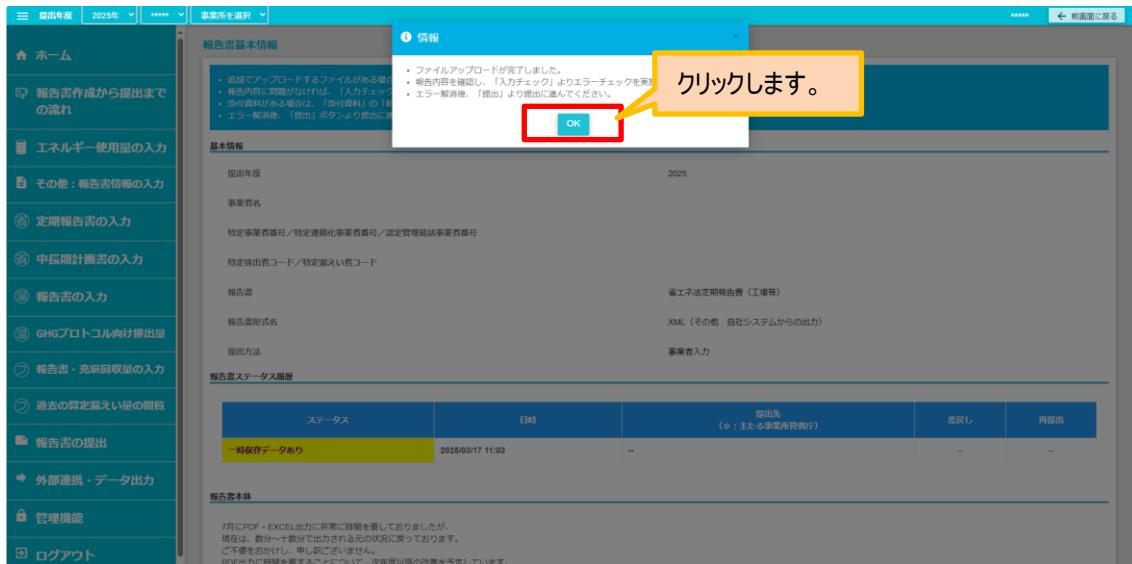
お手元に報告書本体 XML 形式のファイルが用意できました。
XML 形式で提出する場合は、この XML ファイルをアップロードしてください。
※提出書類等はシステムからは提出できません。提出したいときは窓口へご相談ください。

⑤ ファイルが指定された状態になるので「次へ」ボタンをクリックします。

次へ

クリックします。

⑥ 確認ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



⑦ アップロードが完了すると、報告書基本情報画面が表示されます。



システムへのファイルアップロードが終了した状態であり、提出まで終了している状態ではありません。
ホーム画面に以下のようなメッセージが表示されている場合は、提出対象の全てのファイルアップロードの完了後、提出手続きを行ってください。

提出手続きについては、操作マニュアル(共通編)「13.報告書提出」を参照ください。



6.1.2. 定期報告書様式第9(指定表)

特定表の報告書ファイル(XML)をアップロードした後、報告書基本情報画面の下側に移動し、指定表を続けてアップロードすることが可能となっております。

- ① 「アップロード様式」で提出する報告書の様式「指定表」を選択します。

The screenshot shows the 'Report Body' section of the reporting system. On the left, a sidebar lists various report categories. In the main area, there's a note about PDF and EXCEL output formats. Below it, a dropdown menu for 'Upload Style' is open, with '指定表' (Designated Form) highlighted and surrounded by a red box. Other options like '選択なし' (None), '標準' (Standard), and '形式第2' (Format No. 2) are also visible. To the right, there are download and file selection buttons.

- ② 様式を選択後、「事業所選択」欄の選択を行います。

This screenshot continues from the previous one. The 'Upload Style' dropdown now shows '指定表' (Designated Form). The 'Business Location Selection' dropdown is also highlighted with a red box. A modal window titled '事業所を追加する' (Add Business Location) is displayed over the interface, indicating that a business location is being added. The background shows the standard reporting interface with various sections like 'Report Body' and 'Report Submission'.

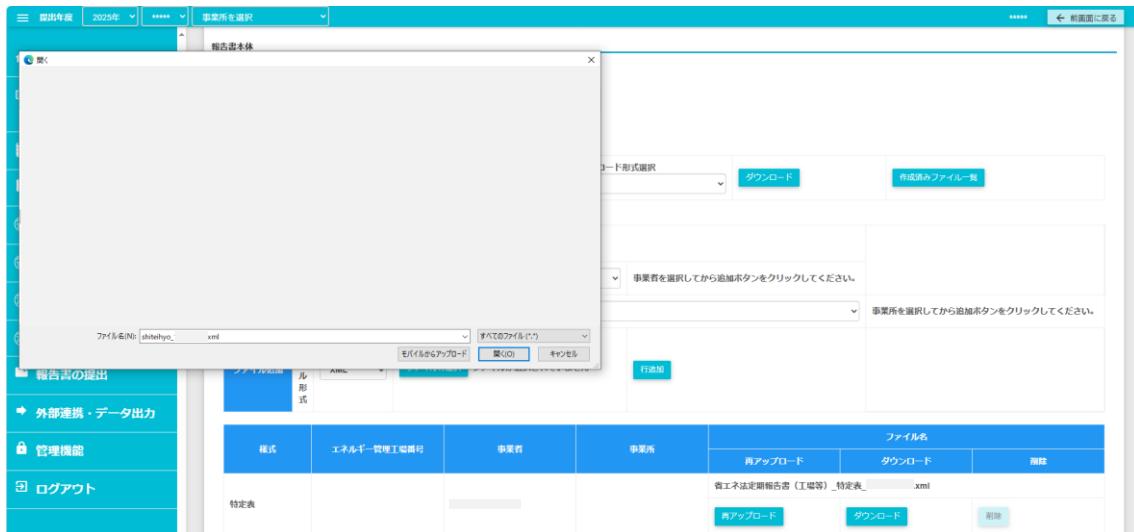
③ アップロードする指定表報告書ファイルの事業所を選択し、「ファイル形式」欄で XML を指定します。

The screenshot shows the reporting system's main menu on the left with various options like Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, etc. The current page is 'Report Body' under 'Report Submission'.

In the center, there's a form for specifying report details:

- Format: 指定表 (Selected)
- Business Entity Selection: 事業者選択 (Business Entity Selection) dropdown set to '本社' (Headquarters).
- File Format Selection: ファイル形式 (File Format) dropdown set to 'XML'.
- Buttons: '選択なし' (Not Selected), 'ダウンロード' (Download), and '作成済みファイル一覧' (List of Pre-created Files).
- Table: A table for managing files with columns: 構造 (Structure), エネルギー管理工場番号 (Energy Management Factory Number), 事業者 (Business Entity), 事業所 (Business Location), and ファイル名 (File Name). It shows one entry: '省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_.xml'.
- Buttons: '再アップロード' (Re-upload), 'ダウンロード' (Download), and '削除' (Delete).

④ 「ファイルを選択」ボタンをクリックし、アップロードする報告書ファイル(XML)を選択します。



- ⑤ ファイルが指定された状態になるので「行追加」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Report Body' section of a web-based reporting application. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has tabs for 'Web編集' and 'Web閲覧'. Below these are dropdown menus for '本体一括ダウンロード形式選択' (Select format for bulk download) and '選択済みファイル一覧' (List of selected files). A red box highlights the 'shiteiyo_.xml' file in the 'Selected files' list. To the right of the file list is a blue 'Add Row' button. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button. At the bottom, there's a table showing file details like 'ファイル名' (File name), '再アップロード' (Upload again), 'ダウンロード' (Download), and '削除' (Delete).

- ⑥ アップロードが完了すると、報告書基本情報画面の報告書本体部分に、アップロードを行った事業所名、アップロードファイルが表示されます。

This screenshot shows the 'Report Basic Information' section. The 'Report Body' tab is active. A message at the top says 'ファイルアップロードが完了しました。' (File upload completed). Below it, a table lists the uploaded file 'shiteiyo_.xml' along with its details: '事業所' (Business location) is '特定表' (Specific table), and there are buttons for '再アップロード' (Upload again), 'ダウンロード' (Download), and '削除' (Delete).

This screenshot shows the 'Report Body' section again. The 'Report Body' tab is active. A message at the top says 'ファイルアップロードが完了しました。' (File upload completed). Below it, a table lists the uploaded file 'shiteiyo_.xml' along with its details: '事業所' (Business location) is '特定表' (Specific table), and there are buttons for '再アップロード' (Upload again), 'ダウンロード' (Download), and '削除' (Delete).

⑦ 複数事業所の指定表ファイルがある場合は、②～⑤の操作を繰り返してください。

または、複数の事業所の指定表ファイルを一括でアップロードすることも可能です。

「事業所選択」欄で、「《一括アップロード》」を選択してください。「ファイル形式」で「ZIP」形式のファイルの選択が可能となります。

報告書本体

7月にPDF・EXCEL出力に非常に時間が要しておりましたが、
現在は、数分～十数分で出力される元の状況に戻っております。
ご不便をおかけし、申し訳ございません。
PDF出力に時間が要することについて、次年度以降の改善を予定しております。

Web編集 Web編集 本体一括ダウンロード形式選択
(選択なし) ダウンロード 作成済みファイル一覧

追加でファイルをアップロードする場合はこちらから追加してください

アップロード 指定表 事業者選択 事業者を選択してから追加ボタンをクリックしてください。
事業所選択 《一括アップロード》 事業所を選択してから追加ボタンをクリックしてください。

ファイル追加 ファイル形式
(選択なし) ZIP ファイルの選択 ファイルが選択されていません 行追加

形式	エネルギー管理工場番号	事業者	事業所	ファイル名		
				再アップロード	ダウンロード	削除
特定表				省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_...xml	再アップロード ダウンロード 削除	

⑧ 「ファイル形式」で「ZIP」形式を選択し、「ファイルの選択」ボタンをクリックします。

報告書本体

7月にPDF・EXCEL出力に非常に時間が要しておりましたが、
現在は、数分～十数分で出力される元の状況に戻っております。
ご不便をおかけし、申し訳ございません。
PDF出力に時間が要することについて、次年度以降の改善を予定しております。

Web編集 Web編集 本体一括ダウンロード形式選択
(選択なし) ダウンロード 作成済みファイル一覧

追加でファイルをアップロードする場合はこちらから追加してください

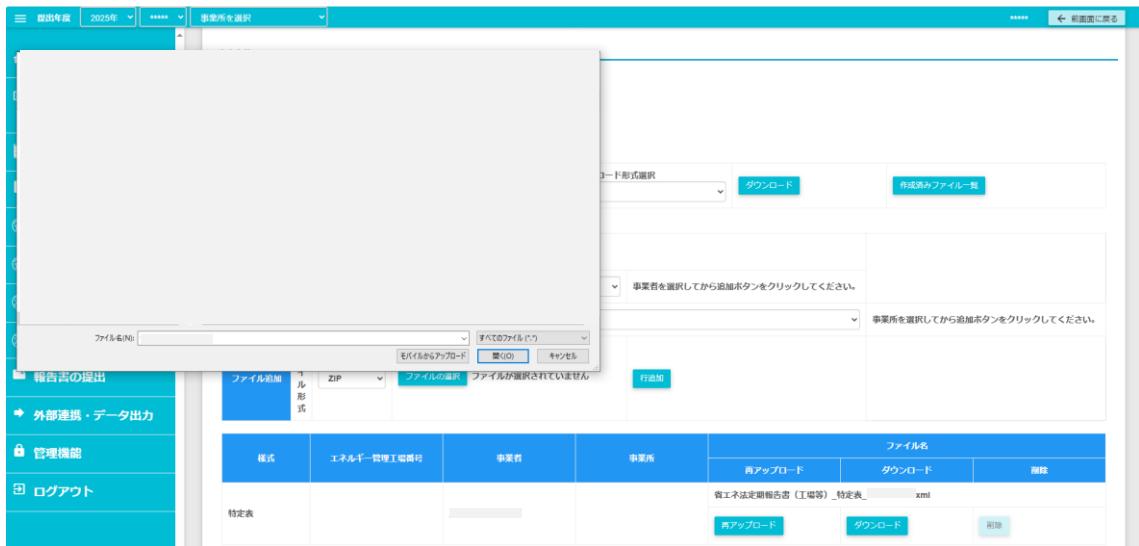
アップロード 指定表 事業者選択 事業者を選択してから追加ボタンをクリックしてください。
事業所選択 《一括アップロード》 事業所を選択してから追加ボタンをクリックしてください。

ファイル追加 ファイル形式
ZIP ファイルの選択 ファイルが選択されていません 行追加

クリックします。

形式	エネルギー管理工場番号	事業者	事業所	ファイル名		
				再アップロード	ダウンロード	削除
特定表				省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_...xml	再アップロード ダウンロード 削除	

⑨ アップロードする一括ファイルを選択します。



・ZIP ファイル構成について

事業者様にて、一括でアップロードする指定表 XML ファイルを同じフォルダ階層に配置し、ZIP 形式(暗号化しない)で圧縮したものを用意して頂きます。

ZIP ファイル配下の XML ファイル名は、「shiteihyo_[アップロードする指定表の事業所 ID].xml」となるようにしてください。

This screenshot displays two side-by-side windows. On the left, a '構成例' (Configuration Example) window shows a '指定表.ZIP' folder structure with files named 'shiteihyo_{事業所ID 1}.xml', 'shiteihyo_{事業所ID 2}.xml', and so on up to 'shiteihyo_{事業所ID n}.xml'. On the right, a 'イメージ' (Image) window shows a file explorer view of a 'デスクトップ > 指定表.zip' folder containing two files: 'shiteihyo_100002605.xml' and 'shiteihyo_110004996.xml'. Both windows have a light gray background.

事業所 ID については、事業所検索画面の事業所 ID 欄で確認してください。



- ⑩ ファイルが指定された状態になるので「行追加」ボタンをクリックします。

形式	エネルギー管理工場番号	事業者	事業所	ファイル名
特定表				省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
特定表				shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
指定表			工場	shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
指定表			事業所	shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]

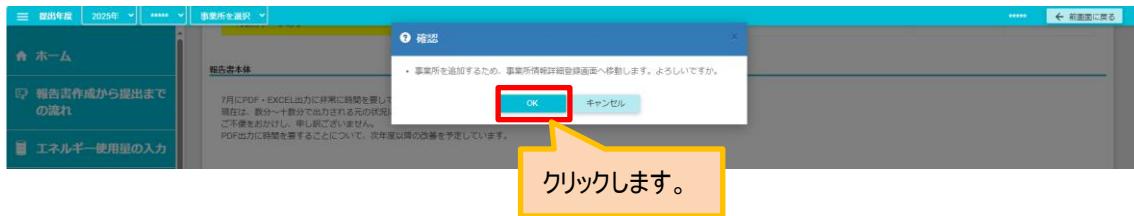
- ⑪ アップロードが完了すると、報告書基本情報画面の報告書本体部分に、アップロードを行った事業所名、アップロードファイルが表示されます。

ZIP ファイルを構成するすべての指定表ファイルがアップロードされていることを確認してください。

また、アップロードに失敗したファイルがあった場合はエラーファイルが出力されますので、エラーの内容についてご確認ください。

形式	エネルギー管理工場番号	事業者	事業所	ファイル名
特定表				省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
特定表				shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
指定表			工場	shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]
指定表			事業所	shiteiyo_.xml [再アップロード] [ダウンロード] [削除]

- ⑫ 新しく事業所を追加したい場合は、「事業所選択」欄で「《事業所を追加する》」を選択してください。確認のダイアログが表示され、「OK」ボタンをクリックすると、事業所情報詳細登録画面へ遷移します



事業所情報詳細登録画面で追加したい事業所の情報を登録し、「入力内容を保存」ボタンをクリックしてください。事業所情報の登録方法については、操作マニュアル(共通編)「8.2.1. 事業所情報の登録・変更」⑤以降を参照してください。

事業所情報詳細登録画面で「入力内容を保存」ボタンをクリックすると、報告書基本情報画面に戻ります。「事業所選択」の欄には追加した事業所が選択された状態になりますので、③以降の操作を行ってください。

システムへのファイルアップロードが終了した状態であり、提出まで終了している状態ではありません。ホーム画面に以下のようなメッセージが表示されている場合は、提出対象の全てのファイルアップロードの完了後、提出手続きを行ってください。
提出手続きについては、操作マニュアル(共通編)「13.報告書提出」を参照ください。



6.1.3. 定期報告書様式第9(認定表)

特定表の報告書ファイル(XML)をアップロードした後、報告書基本情報画面の下側に移動し、認定表を続けてアップロードすることが可能となっております。

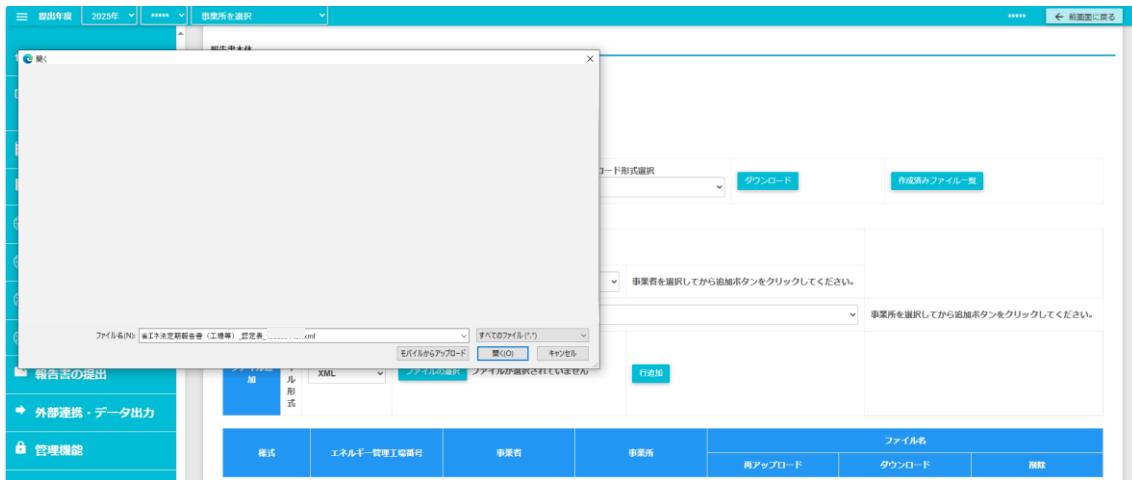
- ① 「アップロード様式」で提出する報告書の様式「認定表」を選択します。

The screenshot shows the 'Report Body' section of the reporting system. On the left, there's a sidebar with various reporting-related options. In the main area, there's a note about PDF-EXCEL output times. Below it, there are dropdown menus for 'Upload Format' (set to 'None'), 'Business Partner Selection', and 'Business Location Selection'. A red box highlights the 'Format' dropdown in the 'Upload Format' section, which lists 'Certification Form' as one of the options.

- ② 「ファイル形式」欄で XML を指定して、「ファイルの選択」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the same 'Report Body' section as the previous one. The 'File Format' dropdown is set to 'XML', and the 'File Selection' button next to it is highlighted with a red box. An orange callout bubble with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button.

③ アップロードする報告書ファイルを選択します。



④ ファイルが指定された状態になるので「行追加」ボタンをクリックします。



⑤ アップロードが完了すると、報告書基本情報画面の報告書本体部分に表示されます。

The screenshot shows the 'Report Basic Information' page. At the top, a message says 'ファイルアップロードが完了しました。' (File upload completed). Below it, there's a table for basic information with columns for '提出年度' (Submission year) and '2025'. On the left, a sidebar lists various report categories like 'Report Submission Status', 'Energy Use Input', etc.

On the right, there's a detailed file upload section:

- Upload Method: 指定表 (Designated Form)
- Business Operator Selection: 事業者選択 (Business Operator Selection) dropdown set to '認定表' (Designated Form).
- Business Location Selection: 事業所選択 (Business Location Selection) dropdown set to '(選択なし)' (None selected).
- File Format: ファイル追加 (File Addition) dropdown set to 'XML'.
- File Preview: ファイルの確認 (File Confirmation) button.
- File Status: ファイルが選択されていません (File has not been selected).
- File List Table:

種別	エネルギー管理工場番号	事業者	事業所	ファイル名			
				再アップロード	ダウンロード	削除	
特定表				省エネ法定期報告書（工場等）_特定表_.xml	再アップロード	ダウンロード	削除
指定表			本社	shiteiho_.xml	再アップロード	ダウンロード	削除
認定表				省エネ法定期報告書（工場等）_認定表_.xml	再アップロード	ダウンロード	削除

システムへのファイルアップロードが終了した状態であり、提出まで終了している状態ではありません。
ホーム画面に以下のようなメッセージが表示されている場合は、提出対象の全てのファイルアップロードの完了後、提出手続きを行ってください。
提出手続きについては、操作マニュアル(共通編)「13.報告書提出」を参照ください。

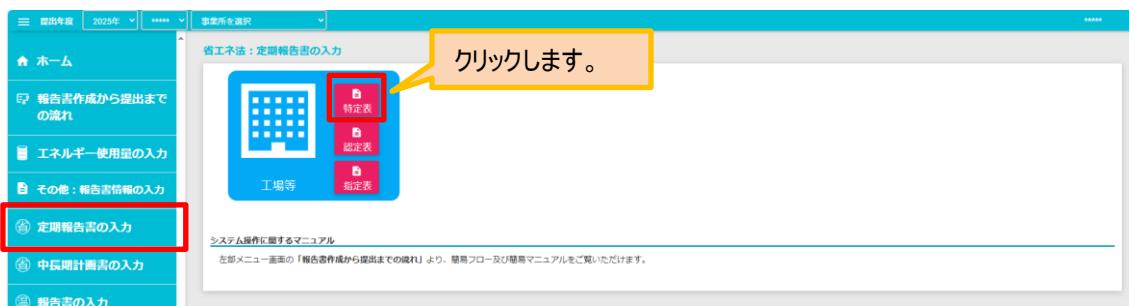


6.2. 事業者基本情報との差分の修正手順

省エネ法定期報告書(工場等)の XML 形式のファイルフォーマット(XML 構造定義書)に従った報告書ファイルをアップロードした場合、報告書内の事業者基本情報と、EEGS に設定された事業者基本情報が異なっている場合があります。

必要に応じて、事業者基本情報の内容を報告書に反映、または報告書の内容を事業者基本情報に反映することが可能です。

- ① メニューより「定期報告書の入力」を選択し、「特定表」アイコンをクリックします。

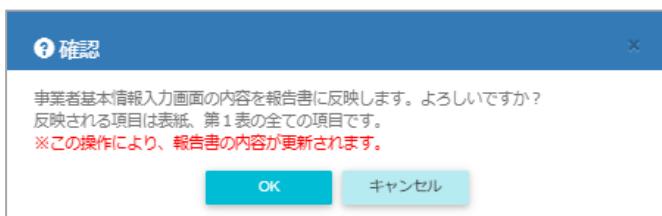


- ② 「表紙」タブに、「事業者基本情報の内容を報告書に反映」、「報告書の内容を事業者基本情報に反映」ボタンが表示されます。

当該ボタンが表示されるのは、報告書ファイルをアップロードした場合のみとなります。

【事業者基本情報の内容を報告書に反映する場合】

「事業者基本情報の内容を報告書に反映」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。

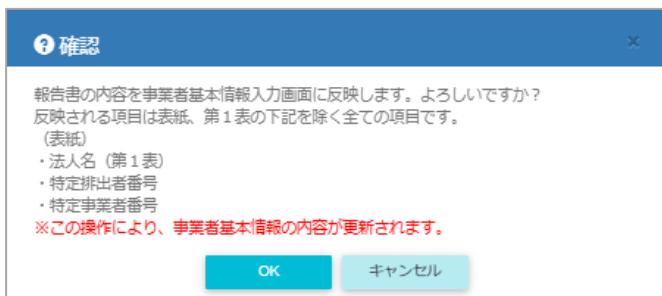


ダイアログの内容をご確認の上、「OK」をクリックすると以下ダイアログが表示され、事業者基本情報の内容が報告書に反映されます。



【報告書の内容を事業者基本情報に反映する場合】

「報告書の内容を事業者基本情報に反映」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



ダイアログの内容をご確認の上、「OK」をクリックすると以下ダイアログが表示され、事業者基本情報の内容が報告書に反映されます。



※指定表・認定表についても特定表と同様に、事業者基本情報との差分を修正することができます。

第1表にボタンが表示されますので、同様の操作を行ってください。

7. 中長期計画書の作成(中長期計画書項目の補完)

まず、事業者ユーザが中長期計画書様式第8を作成し、その後、事業所ユーザが中長期計画書様式第8の「計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果」の入力を行います。

なお、報告書の作成には複数のユーザが関わっているため、必ず、「報告書データの更新」を行った上で作業を行ってください。

7.1. ヘッダー部の操作説明

中長期計画書の入力画面で使用するヘッダー部の操作説明です。

7.2. 中長期計画書データの入力準備

中長期計画書のデータの更新について説明します。他の画面で入力・変更した内容を反映させるため、報告書の入力を行う前に、報告書データを最新化します。

- ・中長期計画書データの最新化

7.3. 中長期計画書の入力

省エネ法中長期計画書の様式に沿って入力を行います。

事前に入力した事業者情報は既に反映されています。ここでは、中長期計画書提出にあたり不足している情報を入力し、中長期計画書を完成させます。

- ・中長期計画書様式第8(事業者入力画面)
- ・中長期計画書様式第8(事業所入力画面)
- ・添付資料の登録

7.4. 中長期計画書入力エラー時の対応方法

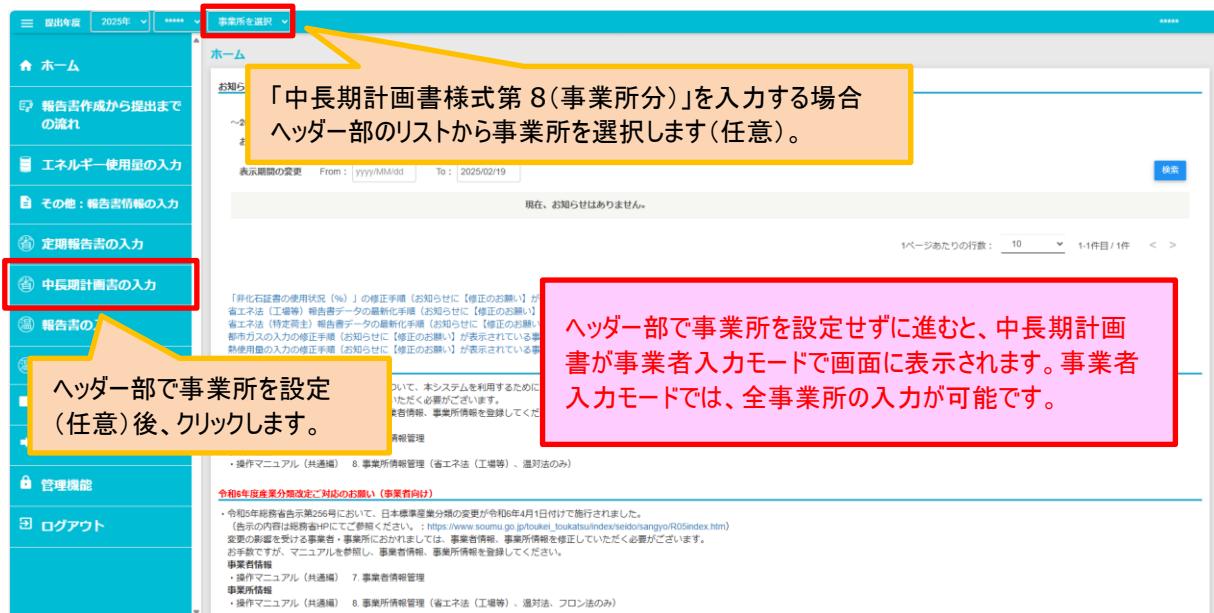
「入力内容を保存」ボタンクリック時、保存の前に入力内容がチェックされます。中長期計画書の入力時にエラーがあった場合、エラーメッセージの内容に従って、修正します。

7.1. ヘッダー部の操作説明

中長期計画書の入力画面で使用するヘッダー部の操作説明です。

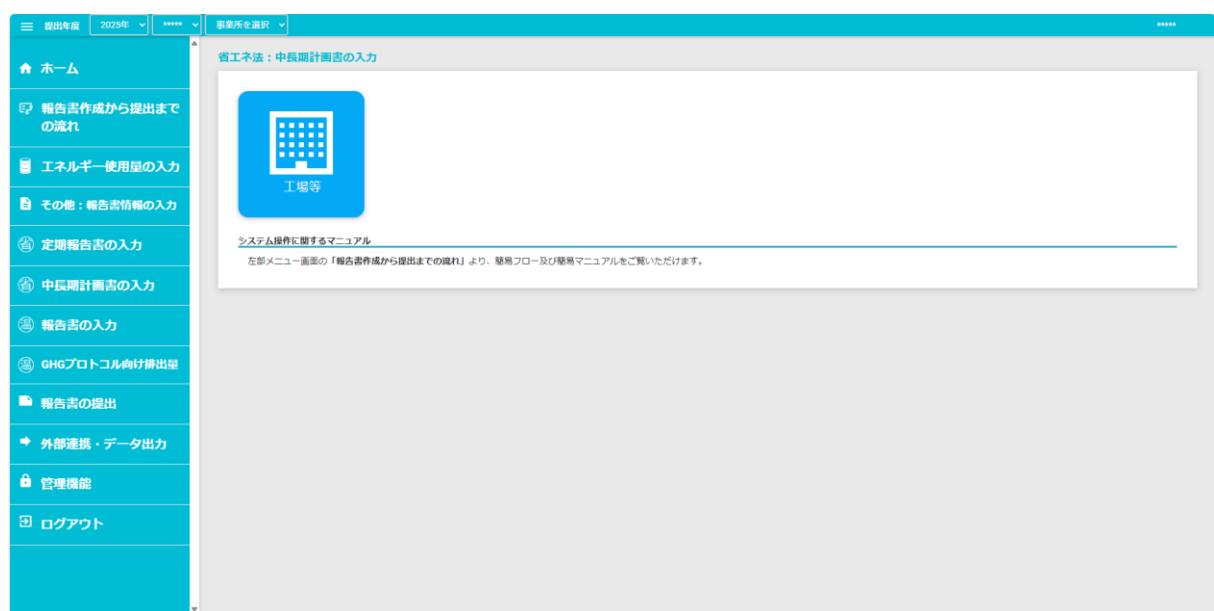
- ① ホーム画面のメニューより「中長期計画書の入力」をクリックします。

なお、「中長期計画書様式第8(工場等)」の特定の事業所分のみ入力を行う場合は、ホーム画面のヘッダー部のリストから対象の「事業所」を選択後、ホーム画面の「中長期計画書の入力」メニューをクリックします。



- ② 入力する報告書のボタンをクリックすると中長期計画書の入力画面に遷移します。

ヘッダー部で事業所を設定していない場合、事業者入力画面で表示されます。



- ③ 中長期計画書の入力画面では「添付資料アップロード」、「入力内容を保存」の機能が使用できます。
- 「添付資料アップロード」ボタンは、添付資料を EEGS にアップロードする際に使用します。詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。
 - 「入力内容を保存」ボタンは、現在入力している内容を一時保存する場合に使用します。
なお、「入力内容を保存」ボタンをクリックせずに、EEGS を終了すると入力内容が保存されません。保存するには、必ず「入力内容を保存」ボタンをクリックしてください。

「添付資料アップロード」ボタンをクリックすると添付資料アップロード画面が表示されます。画面の詳細は「5.3.6 添付資料の登録」を参照してください。

「入力内容を保存」ボタンをクリックすると表示している画面の内容が保存されます。

7.2. 中長期計画書データの入力準備

中長期計画書データの入力準備についての説明です。他の画面で入力・変更した内容を反映させるため、報告書の入力を行う前に、報告書データを最新化します。中長期計画書の入力画面を表示するまでの手順は「5.1 ヘッダ一部の操作説明」を参照してください。

7.2.1. 中長期計画書データの最新化

EEGS では事業所の担当者単位でアカウントを付与することが可能であるため、事業所の各担当者が、自身の事業所に関する「中長期計画書様式第 8」を入力することが可能です。

「中長期計画書様式第 8」は事業者(事務局)、事業者の担当者または事業所の担当者が作成することを想定しています。

各事業所の担当者が入力した「中長期計画書様式第 8」を取り込むために、必ず「報告書データの更新」ボタンをクリックし、最新の状態にしたうえで、「中長期計画書様式第 8」の作成を実施してください。

「計画書データの更新」ボタンをクリックすることにより、事業者基本情報、中長期計画書様式第 8(事業所入力分)の入力画面で変更を行った内容を報告書に反映します。

The screenshot shows the 'Mid-to-long-term Plan Document Input' screen. On the right side, there is a blue button labeled 'Report Data Update'. An orange callout bubble with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button. The left sidebar contains various menu items such as 'Home', 'Report Submission from Creation to Submission', 'Energy Use Input', 'Other: Report Submission Information Input', 'Periodic Report Input', 'Mid-to-long-term Plan Document Input', 'Report Input', 'GHG Protocol Submission', 'Report Submission', and 'External Connection - Data Output'.

7.3. 中長期計画書の入力

事前に入力した事業者・事業所情報は既に反映されています。ここでは、報告書提出にあたり不足している情報を追加で入力し、中長期計画書を完成させます。

定期報告書の入力画面を表示するまでの手順は「5.1 ヘッダー部の操作説明」を参照してください。

7.3.1. 中長期計画書様式第8(事業者入力画面)

① 初期登録時には事業者情報で登録されている内容が、自動的に反映されます。報告書提出にあたり不足している情報を入力します。

なお、*印は必須入力項目です。制度上で必要な項目について「*」を付けるように、システムで統一しております。

既に、事業者情報で入力がされている場合は、その画面入力時点で「*」を付けるようにしています。

電話番号・FAX 番号は、半角英数字で入力してください。ハイフンの有無は問いません。(例) 0123456789, 012-3456-7890

前年度データ反映ボタンをクリックすると、前年度提出した中長期計画書の情報が画面に反映されます。前年度の中長期計画書の提出が行われていない場合は、反映されません。

ファイル取込ボタンをクリックすると、Excel 様式の中長期計画書様式第8を取り込むことが出来ます。

様式は報告書基本情報画面からダウンロードすることが出来ます。

クリックすると前年度の中長期計画書情報を画面へ表示させます。

クリックするとファイル取込画面を表示させます。

クリックすると入力されている郵便番号から住所が反映されます。

クリックすると入力されている郵便番号から住所が反映されます。

クリックすると細分類番号検索画面が表示されます。

②「産業分類から細分類番号を取得」ボタンをクリックすると細分類番号検索画面が表示されます。大分類、中分類、小分類、細分類を選択し、「この内容で入力する」ボタンをクリックすると元画面の細分類番号に反映されます。



※細分類番号は直接入力もできます。存在しない値を入力するとエラーメッセージが表示されます。



③「定期報告書データ反映」ボタンをクリックすると、当年度の定期報告書より「1. 前年度のエネルギー使用量等」、「2. ベンチマーク指標の見込み」、「1-1. 非化石電気の使用状況」を取得し画面へ反映されます。



④「作成指針を選択」ボタンをクリックすると作成指針選択画面が表紙されます。

大分類、中分類、小分類、細分類を選択し、「この内容で入力する」ボタンをクリックすると元の中長期作成指針に反映されます。

2. ベンチマーク指標の見込み

ベンチマーク指標の見込み（単位）						
区分	年度	年度	年度	年度	年度	目標年度
						2030 年後

3 - 1. エネルギーの使用の合理化に関する計画内容及び期待効果

内容	中長期計画 作成指標	該当する工場名	着手時期	完了時期	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}	ベンチマーク 対象	新規 追加	削除

3 - 2. 合計

年度	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}

3 - 3. 原単位削減期待効果

年度	原単位削減期待効果

3 - 1. エネルギーの使用の合理化に関する計画内容及び期待効果

内容	中長期計画 作成指標	該当する工場名	着手時期	完了時期	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}	ベンチマーク 対象	新規 追加	削除

3 - 2. 合計

年度	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}

3 - 3. 原単位削減期待効果

年度	原単位削減期待効果

2. ベンチマーク指標の見込み

区分	年度	年度

3 - 1. エネルギーの使用の合理化に関する計画内容及び期待効果

内容	中長期計画 作成指標	該当する工場名	着手時期	完了時期	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}	ベンチマーク 対象	新規 追加	削除

3 - 2. 合計

年度	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}

3 - 3. 原単位削減期待効果

年度	原単位削減期待効果

3 - 1. エネルギーの使用の合理化に関する計画内容及び期待効果

内容	中長期計画 作成指標	該当する工場名	着手時期	完了時期	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}	ベンチマーク 対象	新規 追加	削除

3 - 2. 合計

年度	エネルギー ^{一 使用合理化期待効果 (原油換算t/年)}

3 - 3. 原単位削減期待効果

年度	原単位削減期待効果

7.3.2. 中長期計画書様式第8(事業所入力画面)

- ①事業所が入力を行えるのは「計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果」と「前年度計画書との比較」、「非化石エネルギーへの転換に関する計画内容及び期待効果」と「前年度計画書との比較」の明細のみです。

7.3.3. 添付資料の登録

- ① 中長期計画書に添付する資料をアップロードするには「添付資料アップロード」ボタンをクリックします。

- ②添付資料アップロード画面では「ファイル形式」を設定後、「ファイルの選択」ボタンから添付するファイルを指定できます。「新規アップロード」ボタンをクリックすると添付が完了します。

7.4. 中長期計画書入力エラー時の対応方法

① 「入力内容を保存」ボタンクリック時、保存の前に入力内容がチェックされます。中長期計画書の入力時にエラーがあった場合、画面上部にエラーメッセージが表示されます。

② エラーメッセージの内容に従って、入力内容を修正してください。

エラー内容が画面上部に表示されたままになります。修正が完了し「入力内容を保存」をクリックし、エラーが解消されたと判断されるまで表示され続けます。

The screenshot shows the 'Medium-Long Term Plan Document Input' page. A red box highlights the top section where error messages are displayed. Below this, the input fields for 'Submission Date' and 'Submission Year' are shown, with a note indicating the required date format (yyymmdd).

※提出日は必ず入力して下さい。
・Ⅰ 特定事業者番号、特定連絡化事業者又は認定管理把括事業者の名称等：計画書（合理化）の計画期間開始年度は必ず入力して下さい。
・Ⅱ 特定事業者番号、特定連絡化事業者又は認定管理把括事業者の名称等：計画書（合理化）の計画期間終了年度は必ず入力して下さい。
・Ⅲ 特定連絡化事業者又は認定管理把括事業者の名称等：計画書（非化石配慮）の計画期間開始年度は必ず入力して下さい。
・Ⅳ 特定連絡化事業者又は認定管理把括事業者の名称等：計画書（非化石配慮）の計画期間終了年度は必ず入力して下さい。
・Ⅴ エネルギー使用量：エネルギー使用量は必ず入力して下さい。

・ 入力内容を保存しました。

中長期計画書の入力
要紙

＊は必須項目です。

提出先

＊ 提出日

※日付の形式(yyymmdd)で入力してください。

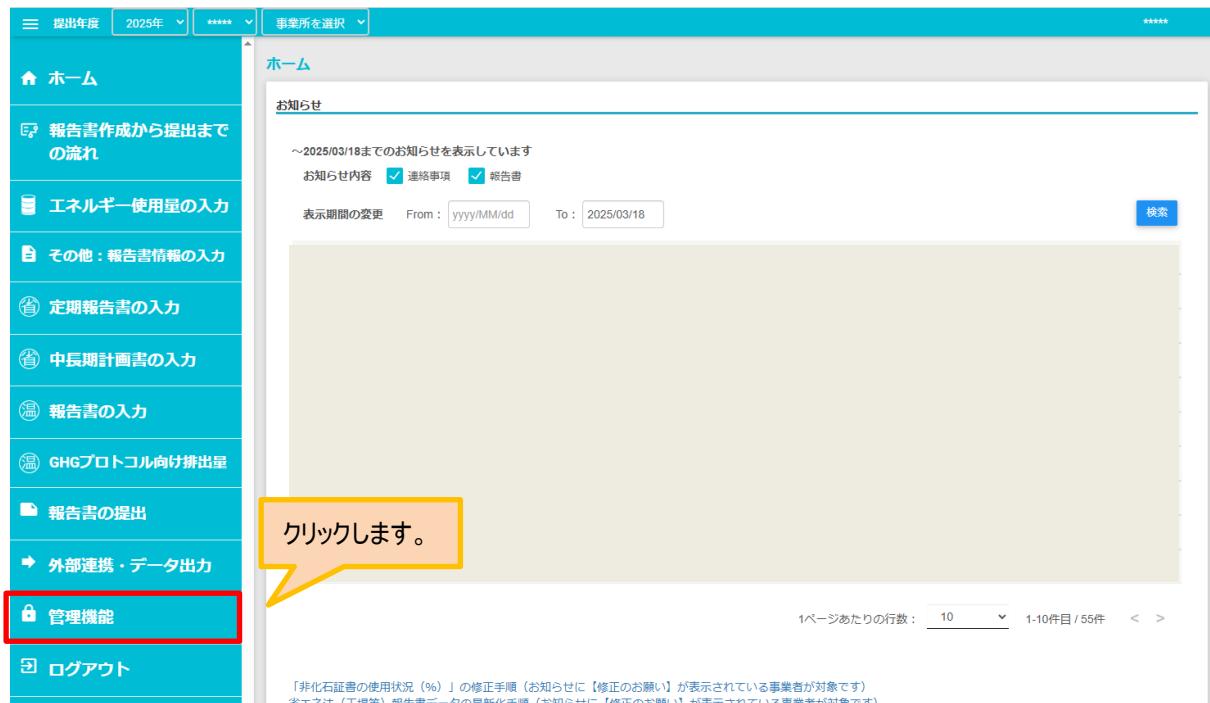
8. 開示制度情報の入力

省エネ法定期報告情報(工場)の開示制度に関する情報の入力をを行います。

8.1. 遷移方法・画面項目の説明

開示制度情報入力 ー 省エネ法(工場)画面への遷移方法と画面項目についての説明です。

- ① メニューより「管理機能」をクリックします。



- ② 「省エネ法(工場等)開示制度情報入力」ボタンをクリックします。

(※省エネ法定期報告情報(工場)の開示制度に関する情報の入力権限がない場合、ボタンは表示されません。詳しくは操作マニュアル(共通編)「5.4.11. 管理機能メニュー」をご参照ください。)



- ③ 開示制度情報入力 – 省エネ法(工場)画面に遷移します。画面上部には対象年度が表示されます。年度を変更したい場合は、メニューの「ホーム」ボタンをクリックし、ヘッダーにて年度を切り替えてください。

2025 年度（2024 年度実績）の省エネ法定期報告情報に対する開示情報の入力を行います。
開示対象年度を切り替える場合は、ホーム画面に戻り、ヘッダの「提出年度」を切り替えてください。
資源エネルギー庁の開示制度担当より、EEGSに登録されているメールアドレス宛てに連絡する場合があります。
担当者管理画面に登録されている事務局ユーザのメールアドレス、および事業者基本情報画面に登録されているエネルギー管理企画推進者のメールアドレスが正しいものとなっているか、必ずご確認ください。
省エネ法定期報告情報の開示制度（※）に従い、開示することに同意する報告書項目を選択してください。
また、必要に応じて取組の概要を入力してください。なお、本制度への参加は任意です。
※本制度の概要は以下の資源エネルギー庁HPにてご確認いただけます。
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/disclosure/
内には以下の手引きをご参照ください（上記HPにて公開されています）。
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/disclosure/pdf/kaiji_tebiki_r7.pdf

2025/04/01 ~ 2025/11/14
自由記述欄 : 2025/09/01 ~ 2025/11/30
※自由記述欄の登録がない場合も公表されます。その場合、自由記述欄は空欄で公表されます。
ただし、以下の日程までに参加宣言等を登録した場合は、速報版の対象者になります。
参加表明・選択開示項目 : 2025/04/01 ~ 2025/08/31

トヨタ自動車株式会社 本部環境部門エネルギー課
自由記述欄へ登録された内容は、速報版の対象者となります。お問い合わせください。

対象年度を切り替える場合は「提出年度」プルダウンより年度を切り替えてください。

- ④ 「登録・編集受付期間」には開示制度情報の登録・編集が可能である期間が表示されます。開示制度情報を登録・編集する場合は、表示されている期間内に実施してください。
(※受付期間の表示は登録状況によって変化しますので、ご注意ください。)

登録・編集受付期間
登録・編集受付期間
参加表明・選択開示項目 : 2025/04/01 ~ 2025/11/14
自由記述欄 : 2025/09/01 ~ 2025/11/30
※自由記述欄の登録がない場合も公表されます。その場合、自由記述欄は空欄で公表されます。
ただし、以下の日程までに参加宣言等を登録した場合は、速報版の対象者になります。
参加表明・選択開示項目 : 2025/04/01 ~ 2025/08/31

上記期間に参加宣言し速報版の対象となった場合、自由記述欄の登録期間が変わります。ご注意ください。
①自由記述欄（速報版への反映） : 2025/09/01 ~ 2025/09/30
②（①の期間で登録がない場合）自由記述欄（速報版への反映）: 2025/10/01 ~ 2025/11/30
③（①の期間で登録がある場合）自由記述欄（速報版への反映）: 2025/11/01 ~ 2025/11/30

開示情報入力についての問い合わせ先
次の操作を行いたい場合は、以下へお問い合わせください。
・受付期間外に開示情報の登録・編集を行いたい。
・速報版のみ開示したい。
資源エネルギー庁省エネルギー課 開示制度担当
電話番号 : 03-3501-1511 (内線4541)
メールアドレス : bzi-syoene-sikko@meti.go.jp

⑤ 「参加表明」には参加表明の登録状況が表示されます。

報告書/計画書の該当表	共通開示項目の概要	開示内容
表紙	事業者の基本状況	事業者名
		事業者名（英語） 銘柄コード 法人番号 日本標準産業分類（コード、項目名） エネルギー管理統括者の役職・氏名
特定第1表		エネルギー総使用量（GJ、kJ） 前年度エネルギー総使用量（kJ） 調整後温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）
		主たる事業におけるエネルギー消費原単位 原単位分子（名称、単位） 主たる事業の構成割合
特定第2表1-1		事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比（%） 事業者全体の5年間平均エネルギー消費原単位変化（%）
特定第12表3		
特定第3表1-1	エネルギーの使用の合理化に関する情報	
特定第4表1		

⑥ 「選択開示項目」には選択開示項目の登録状況が表示されます。

定期報告書の該当表	選択開示項目の概要	開示内容	開示への同意
特定第2表1-1	事業者の基本状況	非化石エネルギー総使用量（GJ、kJ）	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第12表6の1	温対法開連情報	温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減相当量（最大4項目）	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第3表2-1		主たる事業における電気需要最適化評価原単位	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第2表1-3		DR実施日数	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第4表2	電気の需要の最適化に関する情報	事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比（%）	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
		5年度間平均電気需要最適化評価原単位変化（%）	<input type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない

開示宣言の登録
参加を表明する場合のみ登録できます

⑦ 「自由記述欄」には自由記述欄の登録状況が表示されます。

The screenshot shows the 'Freedom of Expression' section of a reporting system. At the top right, it says '登録状況：登録されていません' (Registration status: Not registered). On the left is a vertical navigation menu with options like 'ホーム', '報告書作成から提出までの流れ', 'エネルギー使用量の入力', etc. The main content area has several sections:

- 業界の特色について**: Includes notes about industry characteristics being recorded and a link to the disclosure guide.
- 取組の概要①：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）**: Notes about the main business being recorded and a link to the disclosure guide.
- 取組の概要②：業界の事情等を考慮した取組について（定性的な事項）**: Notes about the business being recorded and a link to the disclosure guide.
- 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項（全角285文字：1行95文字×3行推奨）**: Notes about the transition to non-fossil energy and a link to the disclosure guide.

8.2. 参加表明・選択開示項目の登録

省エネ法定期報告情報(工場)の開示制度への参加を表明する場合は、参加表明と選択開示項目の登録を行ってください。選択開示項目の登録をせずに参加表明をすること、また参加表明をせずに選択開示項目の登録を行うことはできません。

参加表明・選択開示項目の登録内容は年度を跨いで引き継がれます。選択開示項目は「参加表明・選択開示項目」の受付期間内であれば何度でも編集可能ですが、一度開示制度への参加を表明すると次年度以降も参加表明済みの状態となり、EEGS の画面からは参加を取り下げることが出来ません。

- ① 開示制度への参加を表明する場合、「参加する」チェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

(※既に開示制度への参加を表明済みの場合、本手順の実施は不要です。)

提出年度 2025年 **** 事業所を選択

登録状況： 参加表明されていません

参考用
ホーム 報告書作成から提出までの流れ 工エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力

参考用
参加表明

「参加する」を選択して登録を行うと、以降共通開示項目については開示取り下げができません。
よくご確認の上登録してください。
※「開示宣言の登録」ボタンを押下するまでは登録されません。

省エネ法定期報告情報の開示制度に参加しますか。 参加する

報告書/計画書の該当表	共通開示項目の概要	開示内容
表紙		事業者名 事業者名（英語）

- ② 「参加する」チェックボックスにチェックを入れると、選択開示項目の登録が可能になります。すべての項目について「開示する」または「開示しない」を選択してください。

提出年度 2025年 **** 事業所を選択

登録状況： 登録されていません

参考用
ホーム 報告書作成から提出までの流れ 工エネルギー使用量の入力 その他：報告書情報の入力 定期報告書の入力 中長期計画書の入力 報告書の入力 GHGプロトコル向け排出量 報告書の提出 外部連携・データ出力

参考用
選択開示項目

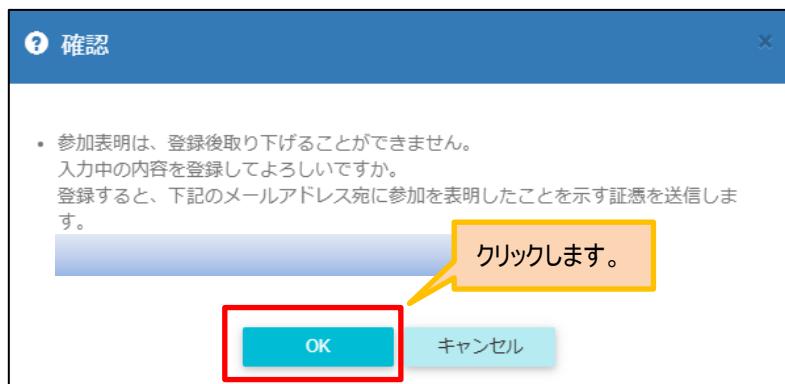
定期報告書の該当表	選択開示項目の概要	開示内容	開示への同意
特定第2表1-1	事業者の基本状況	非化石エネルギー総使用量 (GJ、k)	<input checked="" type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第12表6の1	温対法開連情報	温対効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減相当量 (最大4項目)	<input type="radio"/> 開示する <input checked="" type="radio"/> 開示しない
特定第3表2-1		主たる事業における電気需要最適化評価原単位	<input checked="" type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない
特定第2表1-3	電気の需要の最適化に関する情報	事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比 (%) 5年度間平均電気需要最適化評価原単位変化 (%)	<input checked="" type="radio"/> 開示する <input type="radio"/> 開示しない <input type="radio"/> 開示する <input checked="" type="radio"/> 開示しない <input type="radio"/> 開示する <input checked="" type="radio"/> 開示しない
特定第4表2			

- ③ 入力した内容を登録するには、「開示宣言の登録」ボタンをクリックします。

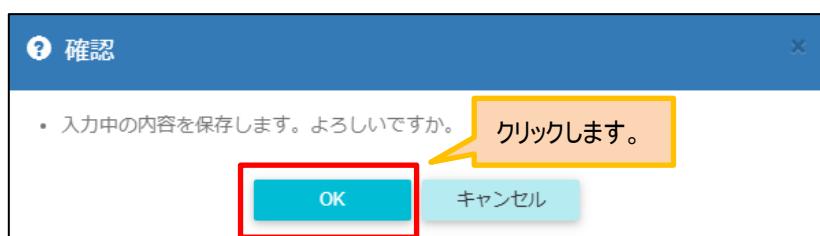
選択開示項目			
定期報告書の該当表	選択開示項目の概要	開示内容	開示への同意
特定第2表1-1	事業者の基本状況	非化石エネルギー総使用量 (GJ, kJ)	<input checked="" type="radio"/> 展示する <input type="radio"/> 展示しない
特定第12表6の1	温対法開通情報	温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減相当量 (最大4項目)	<input type="radio"/> 展示する <input checked="" type="radio"/> 展示しない
特定第3表2-1		主たる事業における電気需要最適化評価原単位	<input checked="" type="radio"/> 展示する <input type="radio"/> 展示しない
特定第2表1-3		DR実施日数	<input checked="" type="radio"/> 展示する <input type="radio"/> 展示しない
特定第4表2	電気の需要の最適化に関する情報	事業者全体の電気需要最適化評価原単位 5年度間平均電気需要最適化評価原単位変化 (%)	<input type="radio"/> 展示する <input checked="" type="radio"/> 展示しない

開示宣言の登録

- ④ 新しく開示制度に参加する場合は、登録済みのメールアドレス宛てに参加を表明したことを示す証憑を送信する旨のダイアログが表示されます。表示されているメールアドレスを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 (※送信先のメールアドレスを変更する場合は担当者管理画面から編集してください。詳しい操作方法は、操作マニュアル(共通編)「9.3. 担当者情報の変更」をご参照ください。)
 (※参加表明後は EEGS の画面から参加を取り下げることはできません。開示制度への参加を取り下げたい場合は「8.4 開示制度への参加の取り下げ・その他開示制度に関する問い合わせ」を参照してください。)



開示制度に参加表明済みの場合は、入力内容を保存する旨のダイアログが表示されます。登録を実行する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



- ⑤ 開示宣言の登録が完了すると、登録内容が画面に表示されます。以後「参加表明・選択開示項目」の受付期間内であれば選択開示項目の編集は可能ですが、参加を取り下げることはできません。

8.3. 自由記述欄の登録

自由記述欄の登録を行う場合は、以下手順に従って登録を実施してください。各項目の登録は任意です。

自由記述欄に登録した情報は当年度のみ有効であり、年度を跨いで引き継がれることはできません。必要に応じて年度ごとに入力を行ってください。

- ① 「取組の概要①」には、事業者の主たる事業が「取組の概要①」の対象業種である場合のみ入力欄が表示されます。必要に応じて入力してください。

事業者の主たる事業は事業者基本情報入力画面で設定します。目的の業種の入力欄が表示されない場合は、事業者基本情報入力画面から細分類番号を変更してください。詳しい操作方法は、操作マニュアル(共通編)「7.1. 事業者情報の編集」をご参照ください。

(例 1) 主たる事業が鉄鋼業(細分類番号の先頭 2 衔が「22」)の場合

取組の概要①：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）

※取組の概要①の対象業種については、省エネ法定期報告情報の開示制度手引きをご確認ください。
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/disclosure/pdf/kaiji_tebiki_r7.pdf#page=33

業種	定量指標				
		廃熱回収等由来	副生ガス由来	燃料由来	買電分
22 鉄鋼業	主たる事業の総電力使用量に占める電気の割合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	主たる事業の産業用蒸気使用量に占める蒸気の割合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※上記表の各入力欄を空で登録した場合、開示シート上の対応する欄は空で表示されます。

(例 2) 主たる事業がパルプ・紙・紙加工品製造業(細分類番号の先頭 2 衔が「14」)の場合

取組の概要①：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）

※取組の概要①の対象業種については、省エネ法定期報告情報の開示制度手引きをご確認ください。
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/disclosure/pdf/kaiji_tebiki_r7.pdf#page=33

業種	定量指標		
		非化石エネルギー割合	再生可能エネルギー
14 パルプ・紙・紙加工品 製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業のエネルギー総使用量に占める非化石エネルギー割合	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %

※上記表の各入力欄を空で登録した場合、開示シート上の対応する欄は空で表示されます。

※対象業種でない場合

「取組の概要①」の対象業種でない場合、入力欄は表示されません。

取組の概要①：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）

貴社の主たる事業は取組の概要①の対象外です。

※取組の概要①の対象業種については、省エネ法定期報告情報の開示制度手引きをご確認ください。

取組の概要①を記載したい場合は、業界団体を通じて省エネ課までご連絡ください。

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/disclosure/pdf/kaiji_tebiki_r7.pdf#page=33

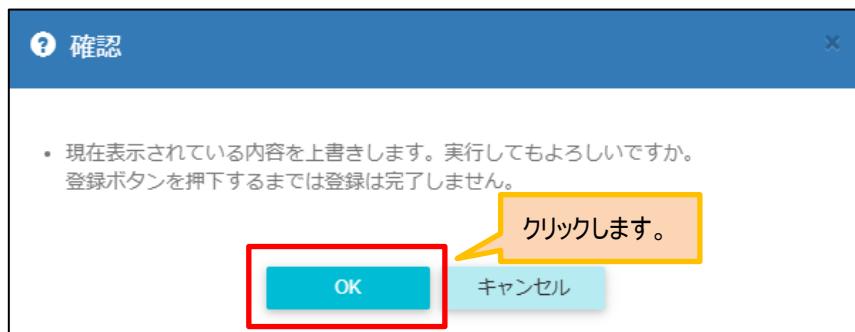
② 必要に応じて「取組の概要②」を入力してください。

③ 「取組の概要③」の1で該当するラジオボタンを選択してください。選択した項目によって表示される入力欄が変わります。

「関連リンク」を登録する場合は「行追加」ボタンをクリックし、追加された行に入力を行ってください。行を削除したい場合は「削除」ボタンをクリックしてください。

④ 前年度に EEGS で自由記述欄の登録を行っている場合は、前年度データを画面に反映させることができます。前年度データの反映を実施する場合は、「前年度データ反映」ボタンをクリックしてください。

「前年度データ反映」ボタンをクリックすると、現在表示されている内容を上書きする旨のダイアログが表示されます。問題が無ければ「OK」ボタンをクリックしてください。



- ⑤ 自由記述欄のいずれかの項目に対して入力を行うと、自由記述欄の登録が可能となります。登録を実施する場合は「取組概要の登録」ボタンをクリックしてください。



「取組概要の登録」ボタンをクリックすると、入力内容を保存する旨のダイアログが表示されます。登録する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



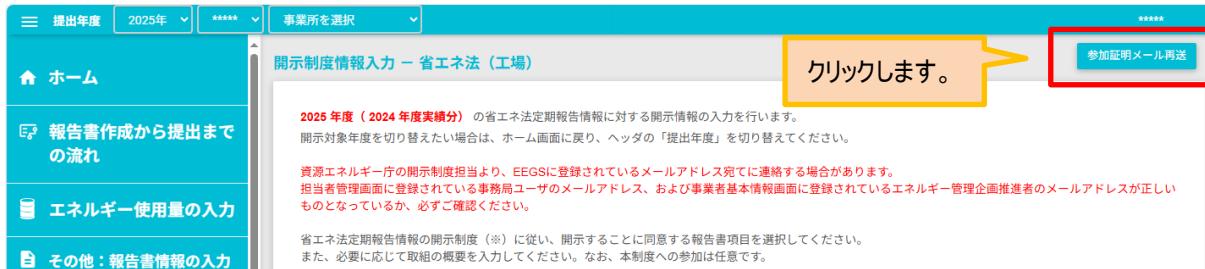
- ⑥ 取組概要の登録が完了すると、登録内容が画面に表示されます。以後「自由記述欄」の受付期間内であれば編集が可能です。

8.3.1. 参加証明メールの再送

省エネ定期報告情報(工場)の開示制度への参加を表明済みの場合は、参加証明メールの再送が可能です。

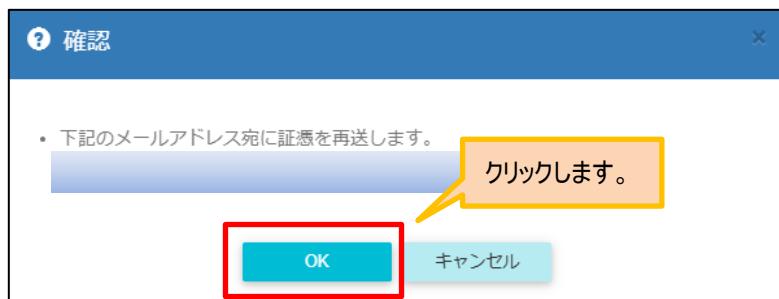
2024 年度に資源エネルギー庁 HP より開示制度に参加した事業者も本機能にて参加証明を取得できます。

- ① 参加証明メールの再送を行いたい場合は、画面上部の「参加証明メール再送」ボタンをクリックします。



- ② 登録済みのメールアドレス宛てに証憑を送信する旨のダイアログが表示されます。表示されているメールアドレスを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

(※送信先のメールアドレスを変更する場合は担当者管理画面から編集してください。詳しい操作方法は、操作マニュアル(共通編)「9.3. 担当者情報の変更」を参照してください。)



8.4. 開示制度への参加の取り下げ・その他開示制度に関する問い合わせ

省エネ定期報告情報(工場)の開示制度への参加を取り下げたい場合、またはその他開示制度に関するお問い合わせは「登録・編集受付期間」に記載の宛先へご連絡ください。



9. 外部システム連携

9.1. LAPSSとのデータ連携

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム(LAPSS)からデータを取込みます。

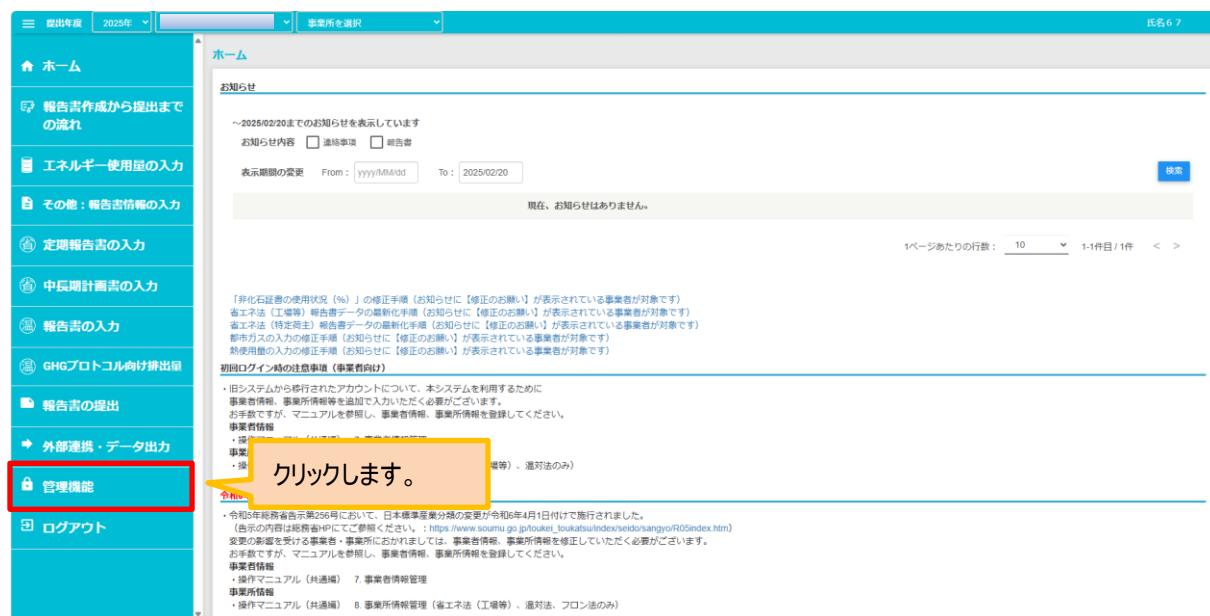
- ・LAPSS 施設一覧表示
- ・LAPSS 施設とEEGS 事業所の紐づけ
- ・エネルギー使用量、活動量の取込み

9.1. LAPSSとのデータ連携

この機能を利用できるのは、地方公共団体に所属する事業者ユーザのみです。利用する前に、事業者情報に地方公共団体IDを登録する必要があります。LAPSSからのデータ連携を行うためにはまず、EEGSに登録されている事業所とLAPSSに登録されている施設の紐づけを行う必要があります。

【参考】事業者情報に地方公共団体ID登録

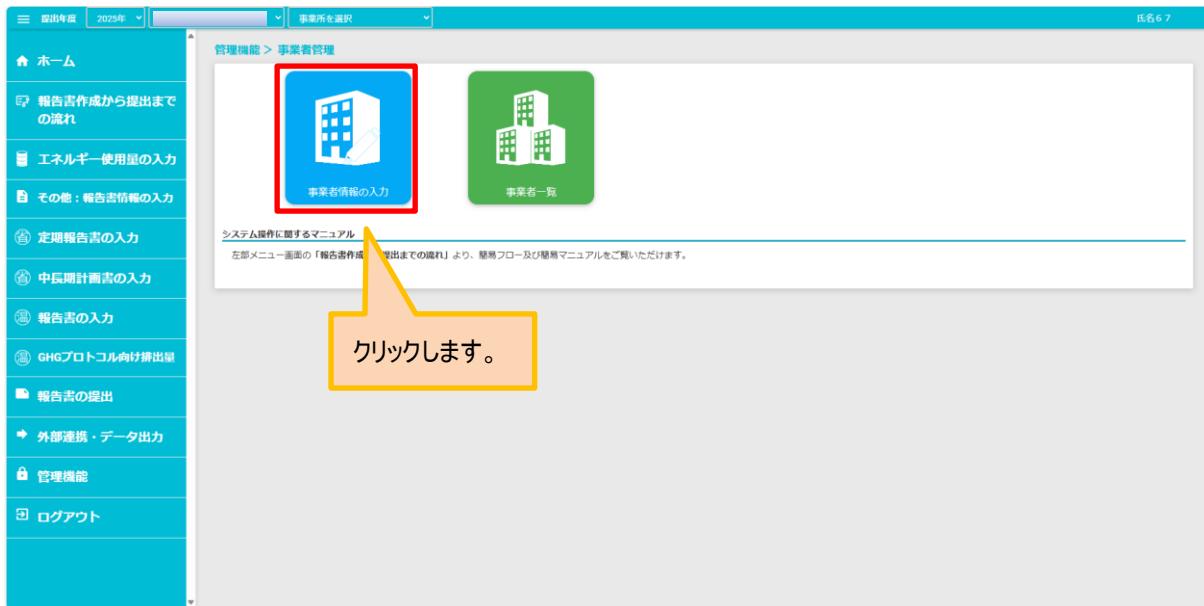
- ① 事業者情報を確認、編集するには、ホーム画面の「管理機能」メニューをクリックします



- ② 「事業者管理」をクリックします。



③ 「事業者情報の入力」をクリックします。



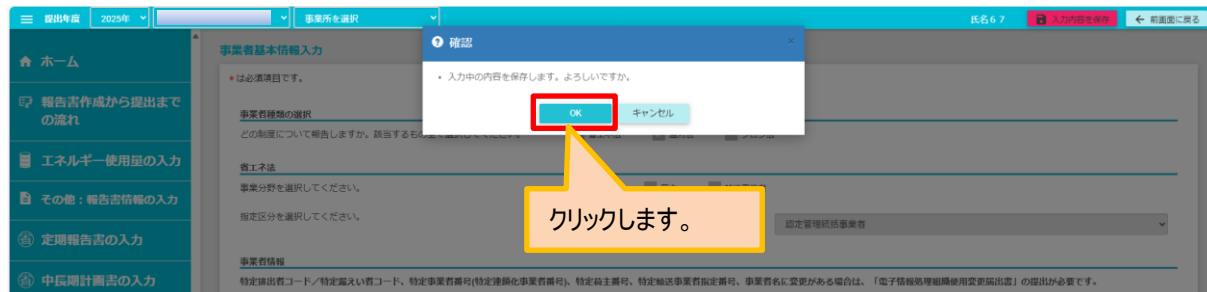
④ 事業者基本情報入力画面が表示されるので、地方公共団体 ID を入力または編集します。



⑤ 内容の変更を入力後、「入力内容を保存」ボタンをクリックします。



⑥ 入力内容の保存の確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



⑦ 変更が完了しました。



9.1.1. LAPSS 施設一覧表示

① LAPSS 施設の一覧を表示するには、ホーム画面の「外部システム等との連携」メニューをクリックします。

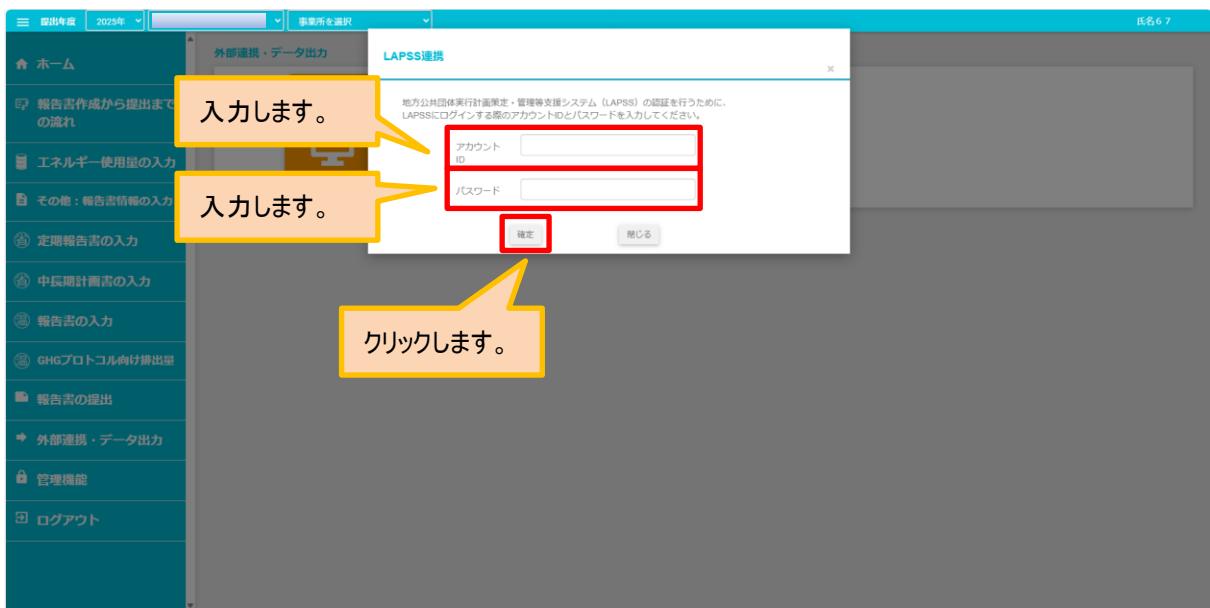


② 「LAPSS 連携」ボタンをクリックします。

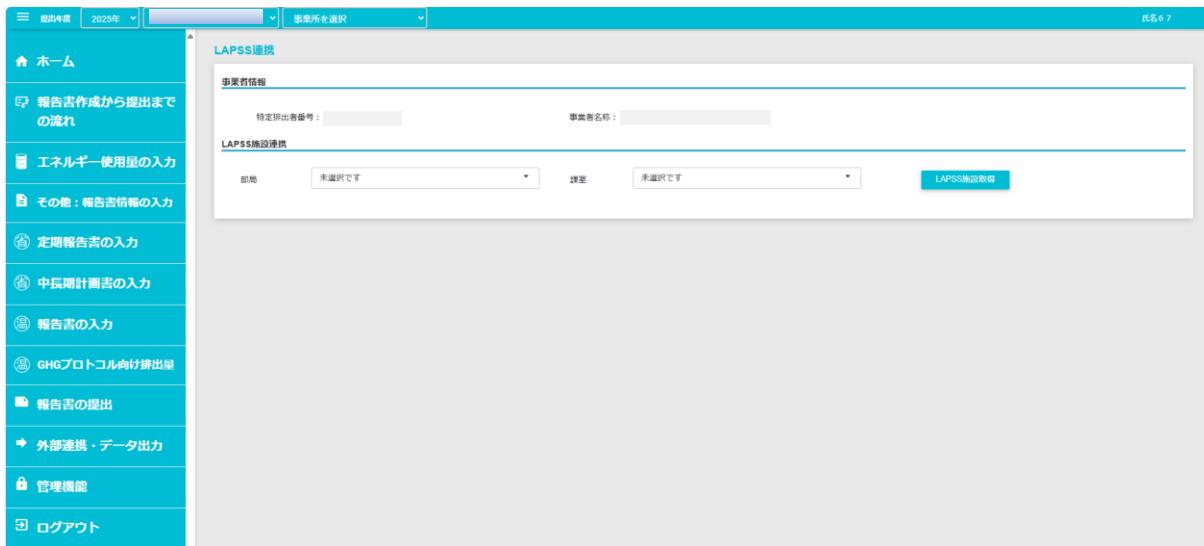


③ 初回実行時には、LAPSS 連携のログイン画面が表示されます。

LAPSS 連携のログイン画面から LAPSS のユーザー名とパスワードを入力し、「確定」ボタンをクリックします。



④ LAPSS 連携画面が表示されます。



LAPSS連携

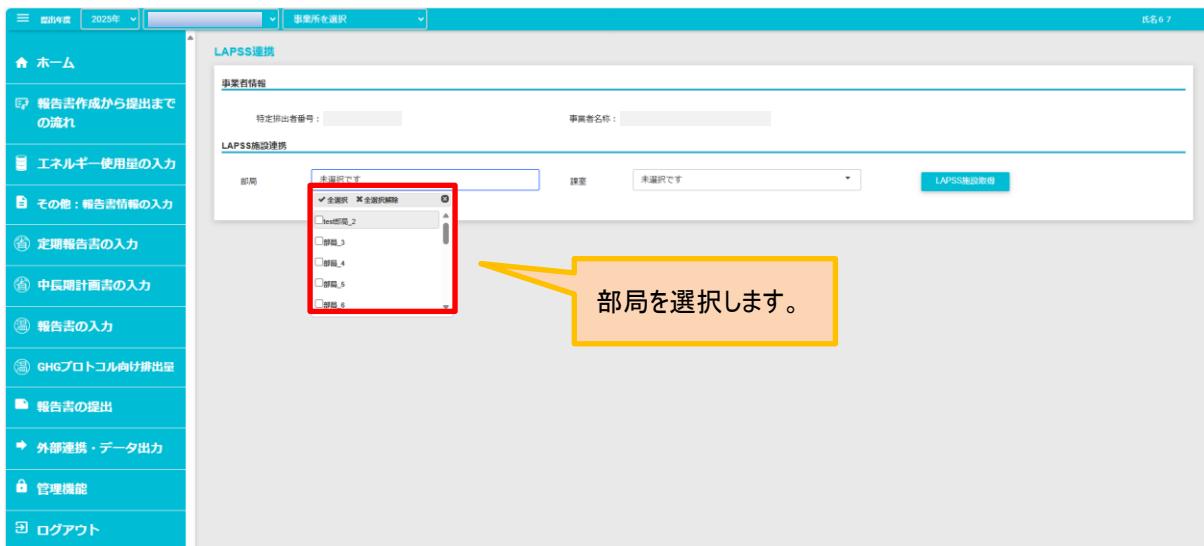
事業者情報

特定提出者番号: 事業者名称:

LAPSS施設連携

部局: 未選択です 課室: 未選択です LAPSS連携取得

⑤ LAPSS からのデータ連携を行う施設を所管している部局を選択します。部局は複数選択できます。



LAPSS連携

事業者情報

特定提出者番号: 事業者名称:

LAPSS施設連携

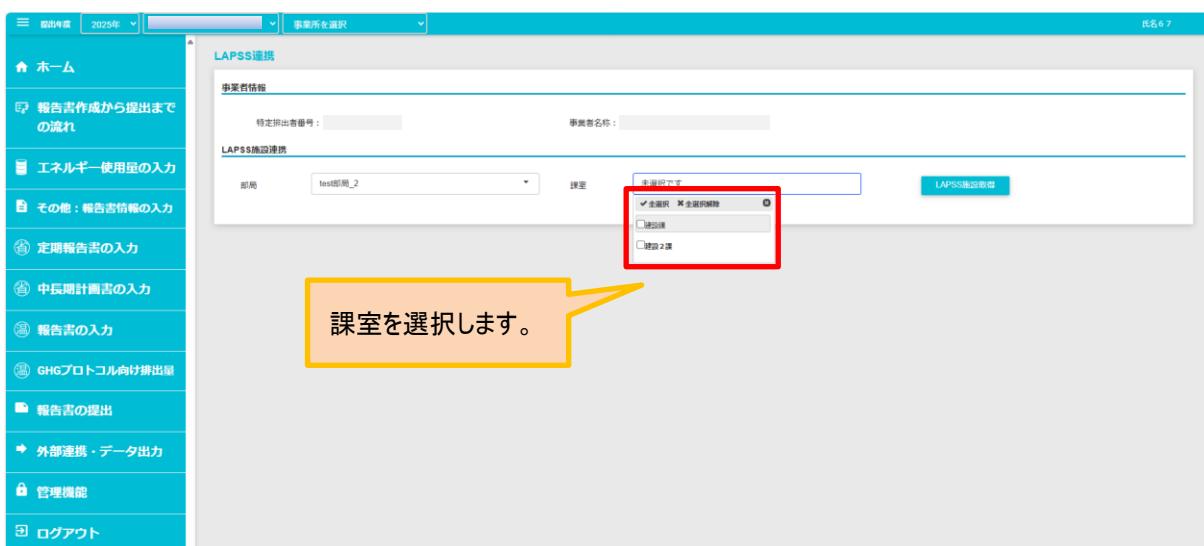
部局: 未選択です 課室: 未選択です LAPSS連携取得

部局リスト (複数選択可):

- 全選択 全選択解除
- test部局_2
- 部局_3
- 部局_4
- 部局_5
- 部局_6

部局を選択します。

⑥ LAPSS からのデータ連携を行う施設を所管している課室を選択します。課室は複数選択できます。選択しない場合は、全ての課室が一覧に表示されます。



LAPSS連携

事業者情報

特定提出者番号: 事業者名称:

LAPSS施設連携

部局: test部局_2 課室: 未選択です LAPSS連携取得

課室リスト (複数選択可):

- 全選択 全選択解除
- 通常
- 通常2課

課室を選択します。

⑦ 「LAPSS 施設取得」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the LAPSS system's main menu on the left with various options like 'ホーム', '報告書作成から提出までの流れ', 'エネルギー使用量の入力', etc. The central area is titled 'LAPSS連携' (LAPSS Integration). It contains two dropdown menus: '部局' (Department) set to 'test部局_2' and '課室' (Classroom) set to '建設課'. To the right of these dropdowns is a blue button labeled 'LAPSS施設取得'. A yellow callout bubble with the text 'クリックします。' (Click here) points to this button.

- ⑧ 指定した部局、課室の LAPSS に登録されている施設の一覧が表示されます。一覧に表示する施設がすでに EEGS 事業所と紐づけ済みの場合は、EEGS 事業所情報の事業所名に紐付けられた EEGS 事業所の名称が表示されます。EEGS 事業所と紐づけていない場合は、EEGS 事業所情報の事業所名に「(登録なし)」と表示されます。

The screenshot shows the 'LAPSS施設一覧' (LAPSS Facility List) section. It displays a table with three rows of facility information. The first row shows '建設課' under 'LAPSS施設情報' and '(登録なし)' under 'EEGS事業所情報', with three buttons: '事業所検索', '事業所候補', and '事業所候補'. The second and third rows show 'test部局_2-建設課' under 'LAPSS施設情報' and '(登録なし)' under 'EEGS事業所情報', also with three buttons each: '事業所検索', '事業所候補', and '事業所候補'. Below the table, a message says '3件の施設を取得しました' (3 facilities obtained).

- ⑨ 表示された LAPSS 施設一覧から、部局、課室を選択し、「検索」ボタンをクリックすると表示を絞り込むことができます。個別に LAPSS 施設を絞り込み、紐づけた EEGS 事業所の確認や修正時に利用できる便利機能です。

The screenshot shows the LAPSS system's facility search interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area has two dropdown menus: '部局' (test部局_2) and '課室' (建設課). To the right of these is a blue '検索' (Search) button. Three orange callout boxes point to these elements with the text '選択します。' (Select). Below this is a table titled 'LAPSS施設一覧' (List of LAPSS facilities) showing one row: 'test部局_2' (部局), '建設課' (課室), and '検索' (Search) button. Further down is a section titled 'LAPSSエネルギー使用量・活動履歴取込' (Import of LAPSS energy usage and activity history) with explanatory text and a 'LAPSSエネルギー使用量・活動履歴取込' (Import of LAPSS energy usage and activity history) button.

9.1.2. LAPSS 施設と EEGS 事業所の紐づけ

下記の2つの方法により、LAPSS 施設と EEGS 事業所を紐づけることができます。所属する地方公共団体の施設数が多い場合、紐づけ処理に時間がかかります。

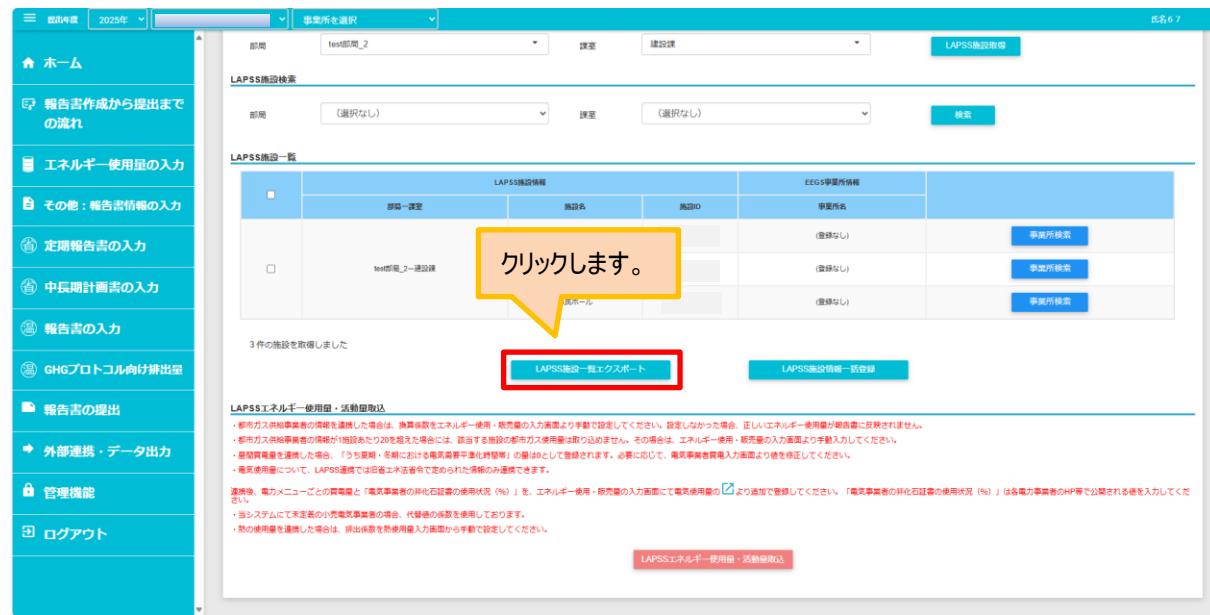
LAPSS に登録されている施設と EEGS に登録されている事業所の紐づけ処理を実施すると、「2.7 LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み」を実施することができます。

- ・LAPSS 施設一覧エクスポート、一括登録による紐づけ
- ・事業所検索による紐づけ

9.1.2.1. LAPSS 施設一覧エクスポート、一括登録による紐づけ

指定した LAPSS 施設一覧を CSV ファイルにエクスポートし、CSV ファイルを編集後、そのファイルをアップロードして LAPSS 施設情報を一括登録することにより、EEGS 事業所との紐づけができます。

- ① EEGS 事業所と紐づけしたい LAPSS 施設を一覧に表示し、「LAPSS 施設一覧エクスポート」ボタンをクリックします。施設一覧のチェックボックスと関係なく、画面上に表示されているすべての施設の情報がエクスポートされます。



The screenshot shows the LAPSS system's main menu on the left with various reporting and facility management options. The central area is titled 'LAPSS Facility List' and displays a table of facilities. A yellow callout box with the text 'クリックします。' (Click here) points to the blue rectangular button labeled 'LAPSS Facility List Export'. The entire interface has a light blue header and footer.

② LAPSS 施設一覧情報の CSV ファイルがダウンロードされます。

The screenshot shows the LAPSS system's facility list page. A red box highlights the 'ダウンロード' (Download) button in the top right corner of a modal window. The modal window displays a single file entry: 'LAPSS施設情報.csv' (LAPSS Facility Information.csv). Below the file name are download and more options buttons.

ダウンロードされたcsvファイルをテキストエディタで開くと、以下のようなイメージです。

ファイルの内容は

- ・タイトル行
- ・画面上の LAPSS 施設一覧に表示されたすべての施設情報(編集対象)
- ・LAPSS 施設と紐づけされていない事業所情報(参考情報)

で構成されます。

The CSV file contains the following data:

施設名	所在地	面積	用途	内閣総理大臣
東京支店	東京都渋谷区渋谷1丁目1号	1000	事務所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所A	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所B	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所C	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所D	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所E	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所F	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所G	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所H	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所I	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所J	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所K	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所L	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所M	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所N	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所O	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所P	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所Q	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所R	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所S	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所T	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所U	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所V	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所W	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所X	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所Y	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)
新規事業所Z	新規住所	500	新規事業所	内閣総理大臣 (内閣官房)

LAPSS 施設と紐づけされていない事業所情報。

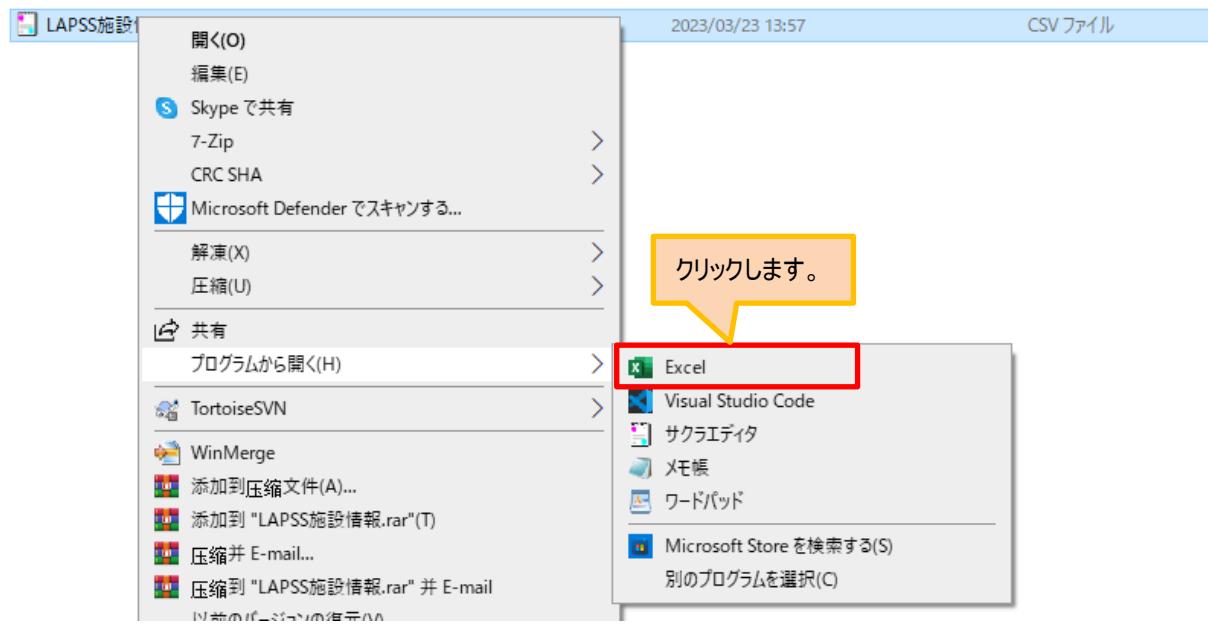
編集するための参考情報となります。

画面上の LAPSS 施設一覧に表示されたすべての施設情報。この部分だけを編集します。

③ ダウンロードされたファイルを EXCEL で開きます。

ファイルを右クリックして、「プログラムから開く」→「Excel」でファイルを開きます。

編集完了後は、「保存」ボタンで編集した内容を保存します。



A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	LAPSS施設情報名	LAPSS施設名へ反映	LAPSS施設ID	EEGS事業所ID	EEGS事業所名(ひらがな)	新規登録番号(ひらがな)	住所	店舗(ひらがな)	新規登録コード	登出番号	新規登録コード	当該事業所を登録する大区	当該事業所を登録する大区	当該事業所
2	"2ST"	"東京本社"	"1000"	"1010"	"11"	"新規登録番号000000011"	"020-0000"	"住所0000000011"	"0100"	"1"	"17"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "総理官房選定大区"
3	"25B"	"営業所"				"新規登録番号00000010"	"150-0097"	"新規登録番号1500000010"	"1623"	"1"	"01"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "総理官房選定大区"
4	"26G"	"東京支社"				"新規登録番号00000004"	"951-8937"	"新規登録番号9510000004"	"0971"	"1"	"19"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "総理官房選定大区"
5						"新規登録番号00000012"	"020-4211"	"新規登録番号00000012"	"1623"	"1"	"19"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "
6						"新規登録番号00000013"	"150-0097"	"新規登録番号1500000013"	"1011"	"1"	"02"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "
7						"新規登録番号00000014"	"150-0097"	"新規登録番号1500000014"	"5331"	"1"	"02"			"内閣府選定大区(内閣直管)" "
8														

- ④ EXCEL でダウンロードした LAPSS 施設情報の CSV ファイルを編集します。

【画面上の LAPSS 施設一覧に表示されたすべての施設情報】だけを編集する必要があります。

すべての項目は、ダウンロードした LAPSS 施設情報の CSV ファイルと同様に、ダブルクオーテーション（"）で囲って入力してください。

項目位置(EXCEL 位置)	項目名	必須	編集内容
1 番目(A 列)	LAPSS 施設 ID		LAPSS から連携された内容。編集不要。
2 番目(B 列)	LAPSS 施設名称		LAPSS から連携された内容。編集不要。
3 番目(C 列)	LAPSS 施設延べ床面積		LAPSS から連携された内容。編集不要。
4 番目(D 列)	LAPSS 産業細分類コード		LAPSS から連携された内容。編集不要。
5 番目(E 列)	EEGS 事業所 ID		新規登録際に空白、既存 EEGS 事業所と紐づく際に EEGS 事業所 ID を入力。
6 番目(F 列)	EEGS 事業所名	○	EEGS に登録される事業所名を入力。必須入力。
7 番目(G 列)	EEGS 事業所名(ふりがな)		EEGS に登録される事業所名(ふりがな)を入力。
8 番目(H 列)	郵便番号	○	EEGS に登録される郵便番号を入力。
9 番目(I 列)	住所		EEGS に登録される住所を入力。
10 番目(J 列)	住所(ふりがな)		EEGS に登録される住所(ふりがな)を入力。
11 番目(K 列)	産業分類細コード		EEGS に登録される産業分類細コードを入力。
12 番目(L 列)	算出単位		EEGS に登録される算出単位について、下記のいずれかを半角数字で入力。 1: 単一算出、2: 一括算出
13 番目(M 列)	都道府県コード		EEGS に登録される都道府県コードを半角数字で入力。
14 番目(N 列)	当該事業を所管する大臣 1		EEGS に登録される当該事業を所管する大臣を入力。
15 番目(O 列)	当該事業を所管する大臣 2		EEGS に登録される当該事業を所管する大臣を入力。
16 番目(P 列)	当該事業を所管する大臣 3		EEGS に登録される当該事業を所管する大臣を入力。
17 番目(Q 列)	エネルギー使用量と密接な 関係を持つ値/項目		EEGS に登録されるエネルギー使用量と密接な関係を持つ値の項目を入力。
18 番目(R 列)	エネルギー使用量と密接な 関係を持つ値/単位		EEGS に登録されるエネルギー使用量と密接な関係を持つ値の単位を入力。
19 番目(S 列)	エネルギー使用量と密接な 関係を持つ値/数量		EEGS に登録されるエネルギー使用量と密接な関係を持つ値の数量を入力。
20 番目(T 列)	指定-第8表の選択		EEGS に登録される指定-第8表の選択について、下記のいずれかを半角数字で入力。 1: 専ら事務所、2: 工場、0: 未指定

⑤ LAPSS 施設一覧画面にて、「LAPSS 施設情報一括登録」ボタンをクリックします。

The screenshot displays the LAPSS system interface with various sections and features:

- Top Bar:** Includes "画面年度" (Year), "2025年", and "事業所選択" (Facility Selection) dropdowns, and "氏名6" (Name 6).
- Left Sidebar:** Navigation menu with links: ホーム (Home), 報告書作成から提出までの流れ (Flow from Report Creation to Submission), エネルギー使用量の入力 (Energy Usage Input), その他: 報告情報の入力 (Other: Report Information Input), 定期報告書の入力 (Periodic Report Input), 中長期計画書の入力 (Medium-Long Term Plan Book Input), 報告書の入力 (Report Book Input), GHGプロトコル向け排出量 (Emissions for GHG Protocol), 報告書の提出 (Report Submission), 外部連携・データ出力 (External Integration and Data Output), 管理機能 (Management Functions), and ログアウト (Logout).
- Main Content Area:**
 - LAPSS施設検索 (LAPSS Facility Search):** A search form with fields for 部局 (Department) and 部室 (Office), and a "検索" (Search) button.
 - LAPSS施設一覧 (LAPSS Facility List):** A table showing facility details. The first row is for "test部局_2" (Department Office test), and the second row is for "test部局_2_建設課" (Construction Department). The table includes columns for 部局 (Department), 施設名 (Facility Name), 施設ID (Facility ID), and 建設所名 (Construction Department Name). Buttons for "事業所検索" (Search by Organization), "事業所登録" (Register Organization), and "事業所削除" (Delete Organization) are available for each row.
 - Callout Box:** A yellow callout box with the text "クリックします。" (Click here.) pointing to the "事業所登録" (Register Organization) button.
 - Bottom Buttons:** Buttons for "LAPSSエネルギー・活動量取込" (Import LAPSS Energy and Activity Data) and "LAPSSエネルギー・活動量サポート" (LAPSS Energy and Activity Support).

⑥ LAPSS 施設情報一括登録画面が表示されます。

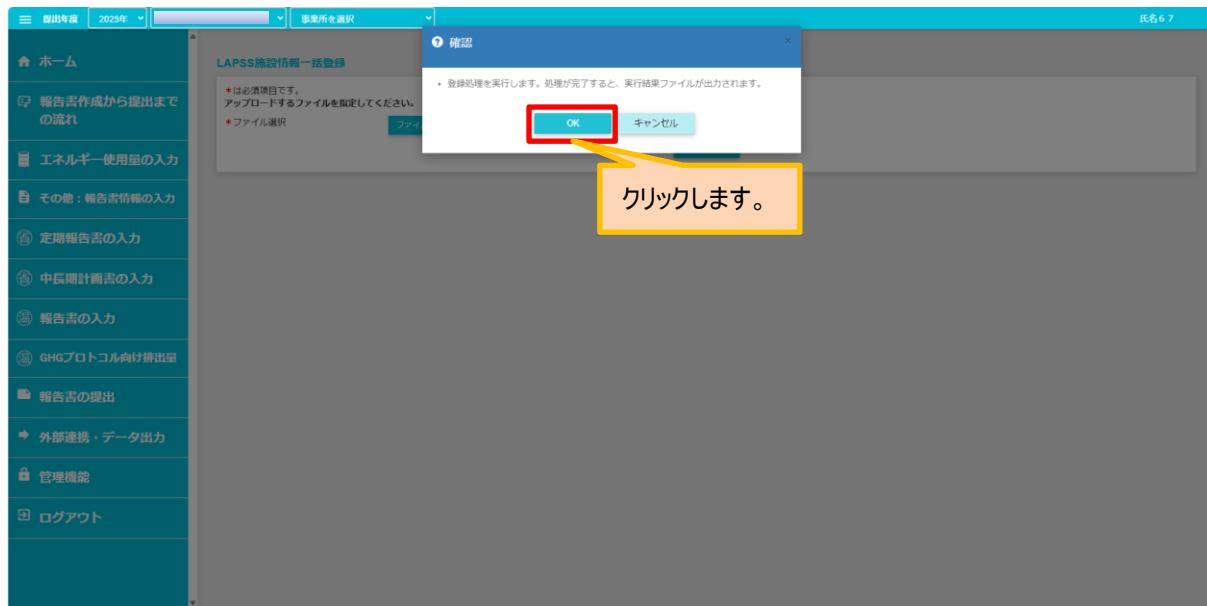
「ファイルの選択」からアップロードするファイルを選択し、「アップロード」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the LAPSS facility information reporting system interface. On the left, a sidebar lists various menu items such as Home, Report Submission Flow, Energy Use Input, etc. The main area is titled 'LAPSS Facility Information Reporting - Single Submission' and contains a form with fields for file selection and upload. A red box highlights the 'File Selection' button, and another red box highlights the 'Upload' button. A yellow callout box points to the 'File Selection' button with the text '③で編集した CSV ファイルを選択します。' (Select the CSV file edited in ③). Another yellow callout box points to the 'Upload' button with the text 'クリックします。' (Click).

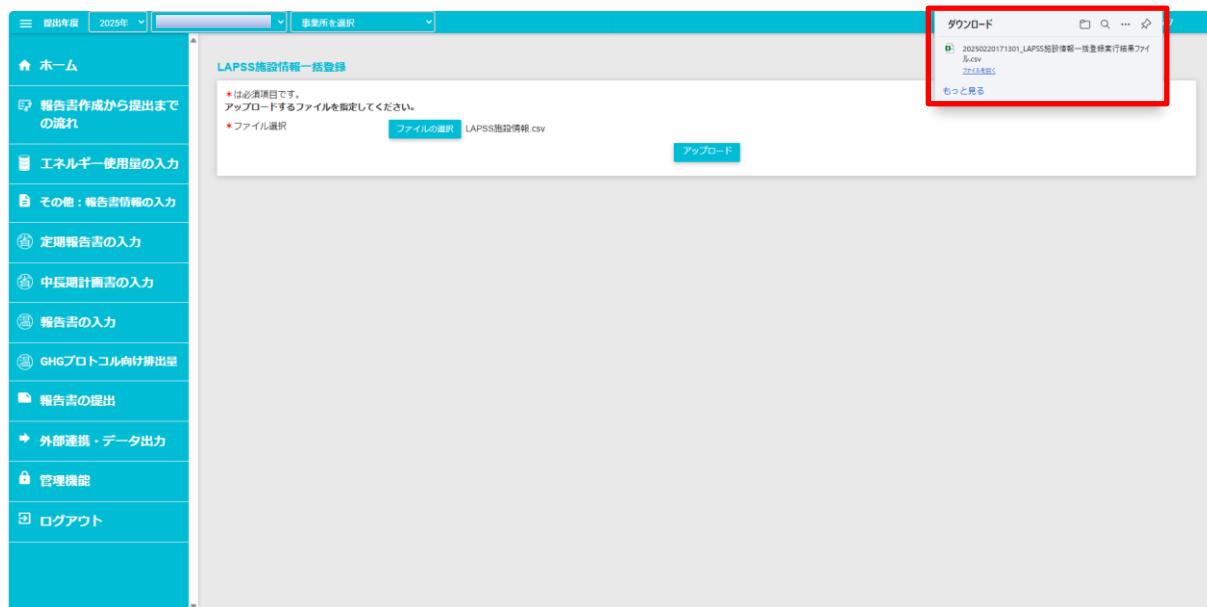
③で編集した CSV ファイルを選択します。

クリックします。

⑦ 確認ダイアログが表示されます。内容を確認の上、「OK」ボタンをクリックします。



⑧ 登録が完了すると、実行結果ファイルが CSV 形式で出力されます。



実行結果ファイルの 21 番目 (U 列) に実行結果が出力されます。内容をご確認ください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
1	LAPSS施設登録	LAPSS施設登録	LAPSS施設登録	EEGS事業者登録	EEGS事業者登録	EEGS事業者登録	EEGS事業者登録	登録番号	住所	(ふりがな)	登録事業者登録番号															
2	あ	県民ホール				事業所1	「ふりがな」「100-0001」「住所1 1 「ふりがな」「4522」「2」「13」「農林水産大臣」																			
3	260	「県民ホール」「あ」				事業所1	「ふりがな」「100-0001」「住所1 1 「ふりがな」「4522」「2」「13」「農林水産大臣」																			
4	260	「県民ホール」	「あ」			事業所1	「ふりがな」「100-0001」「住所1 1 「ふりがな」「4522」「2」「13」「農林水産大臣」																			
5	260	「県民ホール」		「あ」		事業所1	「ふりがな」「100-0001」「住所1 1 「ふりがな」「4522」「2」「13」「農林水産大臣」																			
6	260	「県民ホール」				事業所1	「ふりがな」「100-0001」「住所1 1 「ふりがな」「4522」「2」「13」「農林水産大臣」																			

LAPSS施設IDが正しくないため登録できませんでした。
LAPSS施設IDが正しくないため登録できませんでした。
LAPSS施設IDが正しくないため登録できませんでした。
EEGS事業者登録番号が正しくないため登録できませんでした。
登録が完了しました。

9.1.2.2. 事業所検索による紐づけ

事業所検索から個別に EEGS 事業所との紐づけができます。

- EEGS 事業所と紐づけしたい LAPSS 施設を一覧に表示し、「事業所検索」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the LAPSS system's main menu on the left and a search results page for facilities. The search results table has columns for Facility ID, Facility Name, Facility Type, and Address. A callout box points to the '事業所検索' (Facility Search) button located at the bottom right of the table area.

- 事業所検索画面から、紐づけしたい EEGS 事業所の詳細登録画面を表示します。

登録済みの EEGS 事業所に紐づける場合は、該当する EEGS 事業所を検索し、鉛筆マークのボタンをクリックします。

検索方法については、操作マニュアル(共通編)「8.1. 事業所情報の一覧検索」④以降を参照してください。

当該 LAPSS 施設に対応する事業所が EEGS に登録されていない場合は、「事業所登録」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the facility registration screen. It includes a search bar, a table of registered facilities with columns like Facility ID, Facility Name, Address, etc., and a 'New Registration' button. Two callout boxes highlight the 'New Registration' button for unregistered facilities and the edit icon for registered facilities.

③ EEGS 事業所情報詳細登録画面にて、LAPSS 施設 ID を入力し、保存します。

未登録の事業所の場合、その他の情報も入力する必要があります。入力内容は、操作マニュアル(共通編)「8.2.1. 事業所情報の登録・変更」⑤以降を参照してください。

事業所情報詳細登録

LAPSS施設ID

事業所名

郵便番号

都道府県

住所

LAPSS施設ID

事業所番号

備考

OK キャンセル

事業所名(ふりがな)

郵便番号(半角入力) 郵便番号から住所を取得 郵便番号がわからない方はこちら

住所(ふりがな)

前回報告から事業所の名称が変更になっている場合は以下に記入してください。※変更がない場合は空欄としてください。

4522

事業所番号から細分類番号を取得

④ 確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックし、入力内容を保存します。

確認

OK キャンセル

事業所名

郵便番号

都道府県

住所

ふりがな

前回報告から事業所の名称が変更になっている場合は以下に記入してください。※変更がない場合は空欄としてください。

事業所番号

4522

事業所番号から細分類番号を取得

⑤ LAPSS 施設と EEGS 事業所の紐づけ完了です。

事業所情報を更新しました。

*は必須項目です。

事業所情報

*事業所名

*郵便番号

*都道府県

*住所

住所(ふりがな)

LAPSS施設ID

LAPSS施設延べ床面積

事業所情報 (フロン法での報告時のみに使用)

事業所番号

備考

当該事業所の主たる事業(日本標準産業分類細分類)

9.1.3. エネルギー使用量の取り込み

これは課室単位でエネルギー使用量を一括で取り込むことができる機能です。選択した LAPSS 課室に所属する施設と紐づく EEGS 事業所に、すでにエネルギー使用量が入力されている場合は、使用量と活動量が上書きされます。
※「2.7 LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み」は、LAPSS 施設(EEGS 事業所)単位で個別にエネルギー使用量を取り込む機能です。

LAPSS から以下のエネルギー使用量の取り込みをすることができます。

- ・化石燃料の使用
- ・非化石燃料の使用
- ・電気の使用

※1 電気について、月別の使用量は連携できますが、時間帯別の使用量は連携できません。

※2 電気について、電気事業者からの買電(使用量の合計及び化石電気・非化石電気の割合)については連携できません。

※3 熱について、連携できません。

① LAPSS 施設一覧を表示し、エネルギー使用量を取り込む LAPSS 施設を選択します。

「LAPSS エネルギー使用量・活動量取込」をクリックします。

(LAPSS 施設一覧の表示方法は「9.1.1 LAPSS 施設一覧表示」をご参照ください。)

The screenshot shows the LAPSS system interface. On the left, a sidebar lists various menu items. A callout box with the text '選択しチェックを付けます。' points to the first two checkboxes in a list of LAPSS facilities. Another callout box with the text 'ここを選択すると、一覧の施設全てにチェックを付ける、または解除することができます。' points to a checkbox at the top of the facility list. A large yellow box highlights the 'LAPSSエネルギー使用量・活動量取込' button at the bottom right. A callout box with the text 'クリックします。' points to this button. A note at the bottom of the page provides instructions for entering data from electricity companies.

選択しチェックを付けます。

ここを選択すると、一覧の施設全てにチェックを付ける、または解除することができます。

クリックします。

LAPSSエネルギー使用量・活動量取込

■ LAPSSエネルギー使用量・活動量取込
・都電力供給事業者の情報を通過した場合は、換算部をエネルギー消費量・熱元量の入力画面より手動で設定して下さい。熱元量がなかった場合、直近1ヶ月のエネルギー使用量が報告書に反映されません。
・都電力供給事業者の情報が施設あたり20件以上の場合は、該当する施設の都電力使用量は切り離して登録する必要があります。
・運送荷量を通過した場合、「うち夏期・冬期における電気消費平準化時短率」の値は0として登録下さい。
・電気使用量について、LAPSS運送では都電工事法務省で定めた標準のみ選択できます。

運送後、電力メニューごとの貢献度と「都電力供給事業者の非化石比率の使用状況(%)」を、エネルギー使用量より手動で設定して下さい。「都電力供給事業者の非化石比率の使用状況(%)」は各電力供給事業者のHP等で公開される値を入力してください。
・当システムにて未老熟の小売電力供給者の場合、代替燃の値を使用しております。
・他の使用量を通過した場合は、排出体質を熱使用量入力画面から手動で設定して下さい。

② エネルギー使用量、活動量の登録が完了しました。

The screenshot shows the LAPSS system's main interface. On the left is a vertical navigation menu with various options like Home, Report Generation Flow, Energy Usage Input, and Logout. The main content area has a header "LAPSS連携" (LAPSS Integration) with a message: "本年度のエネルギー使用量、活動量を登録しました。" Below this are sections for "事業者情報" (Business Operator Information), "LAPSS施設連携" (LAPSS Facility Integration), and "LAPSS施設検索" (LAPSS Facility Search). The "LAPSS施設一覧" (LAPSS Facility List) table shows one facility entry:

■	LAPSS施設情報			EEG事業所情報	事業所名
	部屋一課室	施設名	施設ID		
<input checked="" type="checkbox"/>	test部屋_2-建設課	建設課		(選択なし)	建設所検索
		施会所		(選択なし)	事業所検索
		異常ホール		事業所 1	事業所検索

At the bottom, there are two buttons: "LAPSS施設一覧エクスポート" (Export LAPSS Facility List) and "LAPSS施設情報一括登録" (Batch Register LAPSS Facility Information).

- ③ LAPSS エネルギー使用量・活動量を取り込んだ後は、EEGS での操作が必要になります。以下の内容を参考に、EEGS で操作を行ってください。詳しい操作方法については、「2.7 LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み」を参照してください。

(i) 都市ガス供給事業者の情報を連携した場合

- ・ 換算係数をエネルギー使用・販売量の入力画面より設定してください。設定されていない場合、正しいエネルギー使用量が報告書に反映されません。
- ・ 都市ガス供給事業者の情報が 1 施設あたり 100 件を超えた場合には、該当する施設の都市ガス使用量は取り込めません。

(ii) 電気使用量を連携した場合

- ・ LAPSS 連携では R6 年度より省エネ法定期報告書に適用される省令改正に対応した情報のうち、月別データ・自家発電のみ連携することができます。連携後、電気事業者からの買電については、電力メニューごとの買電量と「電気事業者の非化石証書の使用状況(%)」を、自家発電については、「自家発電設備の発電能力(kWh)」と「販売した副生エネルギー量(千 kWh)」、「発電方式」(その他(非燃料由来の非化石電気)のみ)をエネルギー使用・販売量の入力画面にて  より追加で入力してください。電気事業者からの買電の「電気事業者の非化石状況の使用状況(%)」は各電力事業者の HP 等で公開される値を入力してください。温対法報告にも同様の情報を使用するため、省エネ法定期報告が不要の事業者も対象です。

(iii) 热の連携について

- ・ 热(「産業用蒸気」「産業用以外の蒸気」「温水」「冷水」)については連携できません。热を使用した場合は、「2.6.9 热補助画面」を参照し、热使用量を入力してください。

(iv) EEGS にて未定義の小売電気事業者について

EEGS にて未定義の小売電気事業者の場合、代替値の係数を使用しております。

10. よくある質問事項

カテゴリ	質問	回答
提出方法	多数のエネルギー管理指定工場等を有しているが、省エネ法定期報告書について各工場等の指定表をまとめて提出することは可能か。	可能です。工場等ごとの指定表を1つずつアップロード又は、Webで入力をして頂く必要がありますが、一度にまとめて提出することができます。
	紙媒体による報告書の提出スケジュールと、省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)を使用した場合のスケジュールは異なるか。	e-Gov電子申請システムと同様に、紙媒体による報告書の提出と、省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)を使用した報告書の提出は同じスケジュールです。
	省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)から自動送信されるメールは、登録された担当者全てに同じメールが送信されるか。	報告制度の管理者権限を持つユーザに届きます。
	現在、紙媒体で報告書の提出を行っており、提出時に受領印をもらっているが、省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)での扱いはどのようになるか。	省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)では、報告書を提出時に受領証明がダウンロード可能となります。また、省庁側で受理した場合に、どの省庁が受理したかが明記されたメールが自動で送信されるため、それをもって受領印に代えて頂くことになります。
	現在、紙媒体の報告書について社内稟議を回し、社長の承認印が捺印されたものを提出している。電子申請の場合は、同等の稟議をどのように取ればよいか。社長の承認印が捺印された原本と、提出する電子書類との整合性をどのように考えたらよいか。	省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)において、Webで直接入力頂いた報告書のファイル出力が可能です。報告書を出力、印刷いただき、稟議を回して頂くことを想定しています。なお、国としてはシステムで提出されたものを原本とします(捺印不要)。
	「報告書(届出書等)のファイルアップロード」画面の報告書種別でアップロードしたい報告書が表示されない。	アップロード前の場合は、「事業者基本情報入力」画面にある「事業者種類の選択」の「省エネ法」に、正しくチェックが入っているかご確認ください。チェックが正しくない場合は、電子情報処理組織使用届出書を提出された省庁様に、チェックを修正するようご連絡ください。 再度アップロードいただく場合は、初回アップロードの手順と異なります。操作マニュアル(共通編)「16.5. 報告書の再アップロード」をご参照ください。なお、WEB入力で定期報告書を作成されている場合も報告書種別のリストに表示されません。 また、中長期計画書はアップロード提出ができません。本操作マニュアル「7 中長期計画書の作成(中長期計画書項目の補完)」に従って、WEB入力で報告書を作成してください。

カテゴリ	質問	回答
その他	変更届出書はどのような変更が生じた場合に提出が必要となるか。	<p>変更届出書は、下記のいずれかに変更がある場合に提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者名または法人名 ・特定排出者番号 ・特定漏えい者番号 ・特定事業者番号 ・特定連鎖化事業者番号 ・認定管理統括事業者番号 ・特定荷主番号 ・認定管理統括荷主番号 ・特定輸送事業者指定番号 ・認定管理統括貨物輸送事業者指定番号
	定期報告書及び中長期計画書等の電子提出先について、提出様式等の基本的な内容が知りたい。	<p>こちらをご確認ください。</p> <p>https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/factory/support-tools/index.html#aa01</p>
報告書	事業所ごとに入力すれば指定表が作成され、本社は特定表の情報を入力すれば完成するのか。	事業所ごとにエネルギー使用量・その他活動量を入力して、指定表のWeb入力を実施いただくことで、指定表が作成されます。その状態で、事業者(本社)で特定表の作成をすることで、事業所ごとに入力していただいたエネルギー使用量・その他活動量のデータがすべて特定表に反映され、提出可能となります。
	「事業所が選択されていません。ホーム画面に戻り事業所を選択してください。」と表示される。	<p>ホーム画面のヘッダー部のリストから対象の「事業所」を選択してください。</p> <p>選択方法は、本操作マニュアルの「2.1 ヘッダー部の操作説明」「5.1 ヘッダー部の操作説明」をご参照ください。</p>
特定-第2表	事務所が多数あります。すべての事業所登録が必要か。	<p>以下の項目を満たす場合はまとめて登録が可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)各事業所のエネルギー使用量がいずれも 1,500kL 未満(原油換算) 2)各事業所の主たる事業が、いずれも同じ産業分類(細分類番号) 3)各事業所のエネルギーの使用と密接な関係を持つ値が、いずれも同じかつ同じ単位 <p>まとめて登録を実施する場合は、算出単位として「一括算出」を選択する必要があります。</p> <p>詳細は共通編(8.2.1. 事業所情報の登録・変更 ⑥)をご覧ください。</p>
特定-第2, 3, 12表	特定-第2表と第3表、又は第12表について、「使用量の合計値が一致しない」との表示が出る。	事業所データの合計と事業者全体の値が一致しないとの警告表示です。 四捨五入程度の差であれば、問題ありません。

カテゴリ	質問	回答
報告書	特定-第5表	特定-第5表が活性にされない。
	特定-第6表	特定-第6表のベンチマークのエネルギー使用量の入力がエラーになる。
	特定-第6,7表	特定-第6表、第7表(ベンチマーク)で、当社はベンチマーク対象ではないのに、エラー表示ができる。
		ベンチマーク事業はやっているが、報告対象未満である。特定-第6表、第7表が朱記されている。
	特定-第8表	特定-第8表(判断基準)で、全てチェックを入れたのにエラーとなる。
	特定-第10表	特定-第10表「エネルギー管理指定番号がDBに存在しません」と表示される。
	特定-第11表	使用量が少ない事業所を集約し、事業所ごとに入力する場合の注意点は何か。

カテゴリ		質問	回答
報告書	特定-第 11 表	特定-第 11 表(未指定 1,500kL 以上)で、エラーの解決方法がわからない。	以下の 2 つのケースがあります。 1) 非指定事業所合計で 1,500kL 以上の場合は「その他の情報入力」の「特定第 11 表」で、「特定第 11 表から削除する事業所」にチェックを入れてください。 2) 1,500kL 以上となって、指定を受ける事業所は、「基本情報入力」で住所等を入力してください。
		指定工場ではない事業所の場合、入力不要であるはずの項目が「未入力」との理由で「指定-第 1 表、第 3 表、第 8 表」等がエラー表示となる。	特定-第 11 表で、「削除する事業所」にチェックを入れると、これらのエラーが解除されます。
		特定-第 11 表 エネルギー使用量が 1,500kL 未満(原油換算)の未指定工場が表示される。	未指定工場を複数まとめて登録する場合、「事業所情報詳細登録」の「算出単位」で「一括算出」を選択してください。 その後、特定表を開き「報告書データの更新」、「入力内容を保存」を押下してください。
	特定-第 12 表	電気事業者の係数を変更したいが、特定-第 12 表で修正できない。	特定-第 12 表ではなく、「エネルギー使用の量入力」の電気事業者買電入力画面から、変更したい電気事業者のメニューの欄に使用量を入れ替えてください。
		その他の電気事業者を選択し、排出係数を入力したところ、CO2 排出量の計算結果が異常に小さい。	kWh 当たりの係数を入力している可能性があります。この欄は千 kWh 当たりで入力するので、千倍して入力してください。 (省エネ法では千 kWh、温対法では kWh が用いられています)
		電気事業者を変更したところ特定-第 12 表に消去したはずの排出係数が残っている	「エネルギー使用量の入力」→「昼間買電・夜間買電の入力はこちらから」の画面で、削除と入力を再度行い、OK ボタンを押すと消えます。
	特定-第 12 表	小売電気事業者の選択で、メニューに A、B、C、(残差)、(参考値)事業者全体、など複数の表記がある。どれを選択すればよいか。	下記の電気事業者の例について説明します。 日本電力株式会社(メニューA) 日本電力株式会社(メニューB) 日本電力株式会社(メニューC(残差)) 日本電力株式会社((参考値)事業者全体) メニューA 又は B は再エネ電力主体の契約の場合です。 そうでない一般の契約の場合は残差と表示されたメニュー(上記の場合はメニューC)を選択してください。残差と表示されたメニューがない場合は参考値を選択してください。 不明な場合は、まずは社内の電気主任技術者にご確認ください。それでも不明な場合は、契約している電力小売事業者に直接お問い合わせください。その際、省エネ法・温対法の報告に使用する旨をご担当者にお伝えください。

カテゴリ		質問	回答
報告書	特定-第 12 表	<p>特定-第 12 表の調整後の CO₂ 排出量について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整後の排出量が異常に小さい。 ・調整後の排出量が昨年度の値よりかなり小さい。 	電気事業者で、調整後の排出係数がゼロとなるメニューを選んでいると調整後の排出量が小さくなりますので、メニューの選択が正しいか確認してください。
		特定-第 12 表 4-1、4-2 で電気事業者メニュー(調整後排出係数)を変更したい。	電気事業者メニューをご変更ください。変更方法の詳細は操作マニュアル(省エネ法(工場等)編)「2.6.6 電気事業者買電入力画面」をご参照ください。なお、不要な電気事業者メニュー削除する場合、削除を行いたいメニューのチェックマークを外して「追加する」を押下すると削除されます。
	認定-第 3 表	認定-第 3 表で、「管理関係事業者に紐付いていない事業所が存在します。」とのエラー表示が出る。	<p>認定-第 3 表で、以下の操作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) チェックボックスが空白の事業所を確認する。 2) その事業所を紐づけたい事業者を「認定」欄で選び、事業所のチェックボックスをクリックする。

11. お問い合わせ

- EEGS の操作に関するご質問は、EEGS ヘルプデスクにて対応いたします。

<https://eegs.env.go.jp/eegs-portal/>

- 制度に関するお問い合わせ先は、以下をご参照ください。

■省エネ法(特定事業者)

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/factory/support-tools/